

津山松平藩町奉行日記 二十五 文化四年（一八〇七）

津山郷土博物館紀要第三十一号

津山郷土博物館

平成三十一年三月
津山郷土博物館紀要第三十一号

文化四年（一八〇七）

津山松平藩町奉行日記 二十五

津山郷土博物館

津山松平藩町奉行日記 二十五

凡例

一、本書には、津山郷土博物館に所蔵する愛山文庫から、「町奉行日記」文化四年正月〜十二月を収録した。
一、本文の表現は、つとめて原文の形にそうようにしたが、読解の便宜を図って、つぎの点に留意した。

1 平出・欠字は、省略した。

2 漢字は、原則として常用漢字（人名用漢字を含む）に改めたが、他は正字体とした。

3 誤字・脱字と思われる場合は、右傍らに（ママ）と注記した。

4 近世期一般に慣用されていた左記のような文字・用語等は、そのまま記載した。

てい 体 扣 ひかえ 暖 あつかう 歟 あ 喧嘩 けんか 音物 いんもつ 稠敷 ちゆうしき 又候 またさう 風 かぜ 風 かぜ 駢 せがれ 麩 ほ 持 かせぐ 糞 こうじ 綺 いろろ 得 とく

5 変体がなは、原則としてひらがなに改めたが、助詞等に用いられている、而（て）、江（え）、者（は）、茂（も）、与（と）及び片仮名のニは、小活字で示した。

か（より）、メ（しめ）、ノ（して）、ト（とも）は、例外として残した。

6 訂正・削除がある場合、消された文字の左側に見消記号（々）を付し、右側に訂正の文字を記した。

また、消された文字が不明の場合はその文字を■で示した。

7 虫損・破損などで解読できない文字は、字数を推定して「」で括り虫損・破損によらない場合は、右傍らに（不詳）と注記した。

8 日記の表紙・奥書等は、その部分を□で囲み、（表紙）のように注記した。

9 日記の天の小口には小見出しの付箋が貼られており、はがれて各丁の綴じ目に挟んでも多いが、元の場所に残っていない文字を記してあるものは、その箇所にも○として示した。

10 記載を配慮すべき地名・固有名詞は□□のようにした。

一、本資料中に、封建的身分差別を表現する名辞・賤称が認められるが、事実に基づく科学的な歴史研究を進める立場から、これらをそのまま揚げた。もとより我々は、この不当な差別を容認するものではなく、科学的な歴史認識を通じて差別と差別意識の根絶にいたることを望んでいる。読者においても、この立場を理解し、この資料を正しく利用されることを期待する。

一、本書の翻刻・編集は東万里子・服部綾乃が担当した。

文化四_丁 卯年

町奉行御用日記

六十 江口勘大夫

(表紙)

御家老 安藤丹後殿

御年寄 海老原極人殿

大目附 黒田頼母

大年寄

齋藤孫右衛門

諸吟味

宮田喜左衛門

正月_{癸卯} 元旦 快晴

一 有役御徒格以上之面々御礼被為請候ニ付五ツ時揃登城

一 頭格之面々_(マツ)黄帝之間御縁座敷格式之御疊目ニ御礼申上夫より御

敷居際ニ御流頂戴先規之通

一 七間廊下ニおゐて御奏者番以下三奉行迄蕙心院様江年頭御祝義御

小性頭_江 謁申上候三奉行一同御用所_江 罷出年頭嘉儀申述退出懸ケ

大目付役所_{江茂} 同様及挨拶

一 九ツ半時前退出尤御用所御退出見請「」下城内山下辺廻勤今日
檢之間衆中登城無之候得共勝手通り之方ニ付御逢相済

一 今朝出仕前組中不殘罷出三方出置候_而一同謁年頭嘉儀申述

正月二日 雪折々

一 無役之面々御礼被為請候_而諸事元日之通

一 今朝大年寄月番孫右衛門罷出候_而町方御静謐之段届出承置ク

一 御用初ニ付四ツ時登城

一 御用所_江 罷出候様大目付_ハ達有之候_而当役勘定奉行郡代御藏奉行

御金奉行一統罷出御用初御祝義申上候旨当役申述之畢_而当役町方

御静謐之段御用番御年寄_江 申上候郡代同様申上畢_而退座

一 大目付役所_{江茂} 御用初之御祝義申述候

一 御用所_江 大守様被為入候ニ付御用所入候_ニ御時宜仕候_而忝人ツ

、役席_江 罷出相揃候_而前段之「」

一 焼火之間におゐて吸物御酒被下置日參「」役人一同罷出頂戴忝献

相済候_而大目付挨拶有之右相済候_而大目付_江 一統御礼申上候

一 今日退出八時過

一 御藏米五拾三匁五分 町米四拾九匁五分

正月三日 雪少し

一 五ツ時登城

一 左之面々五時揃_ニ御礼被為請登城

大年寄三人同見習 札元同見習

久山勘八 宮田喜左衛門 町医師

木屋太兵衛 御藏元 同並吟味

当病之左之面々

茂渡庄右衛門 川口藤左衛門

茂渡藤右衛門 久山勘八

北山修斎

一 右惣名面書当病之もの記候 而 大目付「」御使番 江 指出ス

一 大年寄分町医師御藏元迄登城仕候義は前以中奥目付 及通用置且

献上もの裏下より町人足 而 鉤台持出候義故以「」より中奥目付

江 申達右通用之義且亦右持夫等中奥目付分割場達有之候事

一 今日登城之町人共相揃当病不參之もの共書付 而 月番大年寄分指出ス

一 右之もの共御礼席前以心得させ置献上もの等は銘々持参 而 御礼

席 江 指出置候 而 休息所ニ 扣居候

一 大目付分繰込候様達有之候ニ 付何も御礼席 江 指出置ク尤大庄屋等

同様郡代申談候 而 取計候事

一 市郷之もの御礼席前之御雨戸御障子不残取はつしニ 相成候事今日

御座敷奉行心得違候哉御障子計取はつし候様申聞候「」大目付 江

申談候処御図面ニ 茂 不残取放候様有之候ニ 付大目付分御座敷奉行

江 右之段達有之候 而 不残取放ニ 相成候ニ 付以来為心得記置ク

一 隠居之御礼頭分并組中之面々御礼被為請相濟候 而 市郷之もの御通

懸御目見ニ 付右隠居御礼等相濟候節郡代申談而役檢之間御縁座敷

紅葉之御杉戸際 江 相詰

一 今日御礼之面々不残相濟候ニ 付勝手次第引取候様大年寄月番 江 申

達ス

一 御用所御退出見請候 而 退出

一 明日五半時御供揃 而 左之通三ヶ寺御参詣被仰出候段中奥目付後

藤郷助分通用有之

地藏院 泰安寺 本源寺

一 右御参詣之義大年寄 江 達御先払之義小頭 江 申達ス

一 去寅年銭相場壹月切平均左之通書付大年寄より指出ス尤三通指出

候ニ 付近々生野御代官所分取ニ 指越候節指遣候事

寅正月 丁銭百九文五歩 二月 同 百九文

三月 同 百八文 四月 同 百五文五歩

五月 同 百四文五歩 六月 同 百文「」

七月分十二月迄百七文

一 来五日御用日延引ニ 相成六日御用日と相成候段大目付分頼母分類

役連名ニ 申来

正月四日 雪折々

一 今五半時御供揃 而 三ヶ寺御参詣被成候 而 御先払和四郎平左衛門

罷出候 而 無御滞相濟候段届出候

一 因州八東郡福地村惣治郎母いと申女四国 江 罷出伊予国宇摩郡入

野村ニ 而 相煩歩行不相叶送り出古城村 江 送り来候ニ 付村継承届置

候間可然旨取計候旨郡代申来大年寄 江 申達置

一 深信院様明五日五半時御供揃 而 泰安寺妙法寺 江 御参詣被成候旨

古谷嘉左衛門分通用有之候ニ 付大年寄并小頭 江 「」候

一 明五日五時揃 而 大年寄札元諸吟味等 江 謁「」右引継候 而 御藏元

別格町年寄問屋目明頭大保頭平目明等謁候旨大年寄申付候処夫々
相達候段届出候

但年寄以下ハ六日謁候処御用日相成候ニ付右之通五日ニ謁候様
申付候

一四国分_ニ之送りもの古城村分西今町江送り来同町より人足老人指出
送りもの歩行ニて候処送り人足荷物先江林田村江指遣跡より参り
候筈之処兎角相休候而も参不申候ニ付道々相尋候処相見江不申候
旨届出候ニ付何分人足指出候而早々相尋出先村江相送り候様申付
置候処問屋分も人足指出所々相尋候処横山村江参り居候ニ付様子
相尋候処道々迷罷越候由ニ付早々林田村江連罷越候而相送り候段
届出承置ク

正月五日 快晴

一深信院様ニケ寺御参詣ニ付御先弘嘉七源藏罷出無滞相濟候段届出
候

一今日大年寄札元諸吟味例年之通謁候而益事いたし候先規之通

熨斗鮑三方 土器三方 八寸取有卷するめ 銚子とそ酒
こんふ

不参之面々

藏合孫左衛門 川口藤左衛門 茂渡藤右衛門 久山勘八

一右相濟候而木屋太兵衛御藏元同並吟味役別格之者惣町年寄問屋目

明頭大保頭平目明等先規之通席々ニおゐて謁候而諸事相濟尤熨斗

三方夫々席ニ指出置ク

一右惣名面書当病不参記之大年寄分指出ス

右面謁之節出席之面々

下彦彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎
大年寄三人 諸吟味兩人

但大年寄札元等面謁之節は小頭計札元面謁之節月番大年寄出席
候事

一昼後例年之通大年寄「茂渡庄右衛門」格別ニ付組中牢屋番三軒屋
番不残「年礼」

一旧臘十一日届出候今津屋橋下夕行倒れもの之乞食海田村音吉申者
候而同所人別ニ有之候由ニ而同村弥七（無難計也）与申者其外二三人駕籠為持

罷越舟頭町年寄江段々介役ニ罷成候段及挨拶今般村人別之もの
ニ候間連帰候旨相断候旨大年寄伺出候ニ付相渡可然旨大年寄及

差図候段届出候然ル処右行倒れものは大目付結所ニ行倒れ候節大
目付江相届候事ニて大目付分御差図無之候はは難行渡候処大年寄

心得違及指図候由ニ付最早彼是申達候而取計後之義ニ付明日登
城之上大目付及噂大年寄不束之段申述存寄次第ニて指扣ニても

相伺候事

正月六日 曇

一御用日ニ付登城

一今日寺社御礼被為請候ニ付御礼過迄は麻上下着用ニ而可然旨大目

付江類役辰右衛門問合候処右之通被申聴由右御礼式ニ不拘罷出候

ものは裏付上下ニ而も可然哉与勘定「心得候而」裏付上下

ニ而罷出候得共右之通被相成候然と「御礼過御用所江罷出候ニ

付何裏付上下ニ而罷出相濟候事

一西新町冲屋宇吉義旧臘拔荷いたし其上他所札受取候ニ付右口書を

以左之通御答候義相伺置ク

手鎖懸ケ追込十日

西新町沖屋
宇吉

受取候他札取揚

一 今津屋橋下行倒れもの海田村^江引渡候義大年寄月番孫右衛門差図違^ニ而伺出候筈之処無其義候^ニ付委細之趣大目付^江申達且亦大年

寄孫右衛門不束之取計仕候段指扣^ニ而茂相伺候^而可然哉之段及相談候処何れ外取計方も無之候事故指扣伺^ニも及申間敷被申聴候^ニ付其段孫右衛門^江相達以後入念候様申達ス

一 西川永岡唯左衛門大屋代藏先例之通年始祝書指越及返書

正月七日 曇

一 明八日御仏詣御延引被仰出候旨中奥目付後藤郷助分通用有之夫々^江申達ス

一 坪井田中徳藏分先例之通年始祝書指越及返書

一 元魚町亀屋弥七義中ノ町秋田屋惣兵衛所持之自国受酒株去ル寅正月相願借受^一致候処限月来候^ニ付猶亦当卯正月切借請商売仕度旨願書指出承届候

一 河辺村右吉旧臘廿七日夕五ツ時分四時迄之内長屋部屋^ニ而被盜

取候左之品々例之通触流之義郡代分通用有之 同廿四日無之段届

一夜着 壹ッ

但シ表空色と茶との立横島^(マ)すつき空色裏浅黄

代式拾匁位

一 四布ふとん 壹ッ

但シ表浅黄と赤との立横大島裏浅黄

代拾匁位

一 敷ふとん 壹ッ

但シ表浅黄と赤との立島裏同様

代三匁五分位

一 綿布 壹ッ

但白木綿

代七分位

右之通今日町触差出ス

一 勝山榊原九郎左衛門田中仁左衛門膝付介右衛門分年始書状差越先例之通及返書

正月八日 風

一 御用日^ニ付登城

一 当組中山勇藏義由諸も有之候^ニ付中村^与改姓仕度旨伺書指出候^ニ付承届候

一 例年之通左義長之町触差出

一 西新町沖屋宇吉義旧冬操綿拔荷之上他所札取扱候^ニ付答之義相伺

置候処今日伺之通左之通被仰付

商内

取扱候他札不残取揚

手鎖懸ケ十日追込

西新町沖屋
宇吉

右之通今昼後大年寄孫右衛門宅^江呼出左之もの立合申渡ス

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎 出番源藏

一 右取計相済候段御用番并大目付^江相届

一東海道小田原宿是迄式割増之処又候三割増都合五割増ニ来ル辰ノ
年迄被仰付候旨公儀より被仰出候旨大目付廻状到来ニ付例之通町
方組中江触書差出ス

一町方之もの共旧年指上金銀改候ニ付右御会釈振之義相考候而指出
候様御用番極人殿御用達ニ有之

正月九日 晴風

一今般江戸御普請御用ニ付左之大工共出府申付候旨御作事奉行吉田
文左衛門令通用有之

安岡町大工 吉治

同 喜左衛門

新魚町大工 伝之丞

元魚町同 長左衛門

堺町同 半兵衛

一橋様御八男松平久之助様旧臘廿二日御逝去ニ付公方様大納言様
御半減之御忌服被為仰候依之今日令明後十一日迄鳴物停止普請ハ
不苦候旨御触書到来ニ付組中并町触差出ス

正月十日 晴風

一山西村龜右衛門出牢帰村申付候間立合指出候様申来出番林平罷出
取計候段届出候

一元魚町大工長左衛門義昨日御作事ニ出府被申付候処病後ニ急
出立難相成申出候ニ付全快次第出立致候様申付右代り中ノ町大工
左四郎江申付候旨御作事奉行令通用有之承置ク

一京町古金屋三之丞義役介伊勢藏去ル十二月新職人町塗師屋文四郎

方ニ同町滝本屋庄藏喧嘩一件吟味之義古金屋三之丞より指出候
ニ付右庄藏江手鎖懸ケ組合預ケ申付置候処今度二階町山木屋周右
衛門嚶ニ内濟致候ニ付以来申分無之庄藏手鎖指免候様願下ケ願
書指出候ニ付明日登城之上及御沙汰願之通承届庄藏手鎖指免願書
指戻可然旨伺之上聞届申達ス

一新職人町滝本屋庄藏借屋罷在候由九十郎申もの盜致候趣ニ付
は庄藏伊勢藏喧嘩之発端ニ付九重郎可召取組之者指向ケ候処母子
共不居合仍ニ庄藏組合共尋申付置候然ル処右母子共旧冬十七日
之夕欠落致候ニ付所々相尋候得共行方相知不申候由届書指出尤右
九十郎母子共人別ニも無之庄藏借屋住作人平吉役介ニ仕置候趣
之届書ニ付追ニ庄藏平吉共無願役介ニ指置候義相札可申尤右喧嘩
一件相濟候而後取計可然旨明日可及御さた候事

正月十一日 晴

一御用日ニ付登城
一深信院様明十二日泰安寺御仏詣候御延引被成候旨古谷嘉左衛門
令由来夫々江申達ス

一京町古金屋三之丞義役介伊勢藏喧嘩一件吟味願指出候ニ付新職人
町滝本屋庄藏手鎖懸ケ組合預ケ申付置候処今般内濟山木屋周右衛
門取暖候而熟談仕以来無申分候間先頃は願書下ケ之義并滝本屋庄
藏手鎖指免候様願出候ニ付願之通承届
一夜廻り左四郎平左衛門指向滝本屋庄藏手鎖組合預ケ指免候段届出
候

正月十二日 昼後風立

一 明十三日之御仏詣御延引被仰出候段中奥目付藤井嘉津馬今通用有
之大年寄并小頭へ申達ス

一 配当場城美代^江相懸り西新町歌之一より配当割之義^ニ付願書指出
候由^ニ而^レ城美代^江返答書為致候由^ニ而^レ致内見候様大年寄月番より
指出ス

正月十三日 快晴

一 今日別条無是

正月十四日 朝雪昼晴

一 堺町大工半兵衛義御普請御用^ニ付御作事方^ニ而^レ出府申付有之候処
家内病人有之出府難仕仍^而悴岩吉^ニ出府被仰付候様御作事方へ相
願候^ニ付願之通聞届岩吉^江出府申付大工何^茂明十五日出立仕候様
申付候段御作事奉行^レ通用申来り承置ク

一 去寅年人別増減書付指出候^ニ付左之通書付相認御用番中^江指出ス
郡代申談候^而十九日出ス

覚

一 他所^今引越 百三拾六人内 男七拾三人 女六拾三人

一 出生 百五拾五人内 男子八拾式人 女子七拾三人

ノ式百九拾壹人

一 他所^江引越 七拾八人内 男四拾壹人 女三拾七人

一 死失 百六拾五人内 男八拾三人 女八拾式人

ノ式百四拾三人

差引^而四拾八人増

右之通去寅年中町方生死人別出入相改書上申候以上

正月 町奉行

正月十五日 快晴

一 式日^ニ付五半時麻上下着用登城

一 今日謁^ニ而^レ御祝義申上候様大目付被申達候旨勘定奉行^レ通用有之

一 左之趣大目付^レ演達有之候旨勘定奉行より通達有之

御家中屋敷^ニ而^レ鉄砲打候ものも有之趣相聞甚心得違之事^ニ候

以来急度相慎可申旨大目付頼母より演達有之

一 七間廊下^ニおゐて例之通御奏者番以下三奉行迄一同罷出当日御祝

義御小性頭^江謁申上候

一 来十八日御用日十九日^ニ相成候旨十郎左衛門より通用有之

一 林田村高福寺来ル三月五日^今同十四迄開帳願濟^ニ付南大橋^江建札

仕候段寺社取次野条金平^今通達有之

一 銀札場御用^ニ付浅川下シ并御作事御用^ニ付材木等川下ケ之節当役

^ニて川下切手裏印取計来候処以来は右兩役所奉行裏印^ニ而^レ川下取

計候様改度旨勘定奉行^江申談候処同意^ニ付右之段書付^ニ而^レ御用

番極人殿^江指出置ク

一 町大工五人^今のもの共今朝江戸表^江出立仕候旨町棟梁より届出候旨

大年寄^今相届候

正月十六日 快晴

一 今日御具足御祝^ニ付五時揃登城

一 宮島之間^ニおゐて例之通御目見被仰付三奉行一同罷出候^而御家老

御用番御取合何^茂御具足御祝申上候旨御申上候処御意有之末座よ

り退座

〔職制〕

一御使番指図ニ任焼火之間^江相廻候処名面調有之候^而竹之間^江御餅
台据有之銘々順々忝人宛罷出頂戴之

一七間廊下ニおるて例之通御奏番番以下一同御祝頂戴之御札御小性
頭^江謁申上候

一忝御祝頂戴之御札大目付役所^江罷出月番大目付^江御札申述候
一今日九ツ時御供揃^ニ而御対面所^江御出被成候

一阿州名西郡桑島村平治兵衛手代庄助^与申もの忝人例年之通藍玉壳
ニ参り候ニ付逗留為仕度京町今出屋半兵衛宿切手指出ス 八月八
日帰届

一阿州板野郡中富村兵助手代平兵衛^与申もの例年之通藍玉壳^ニ昨日
参り候ニ付逗留為仕度右同人宿切手指出ス 八月八日帰届

右宿切手差出候て旧臘廿二日之日
正月十七日 雨

一西新町沖屋宇吉義明十八日朝手鎖追込指免候^ニ付大年寄^江差紙遣
小頭^江も立合之義申達ス

一明十八日具足祝^ニ付組中牢屋番三軒屋番不残并牢屋下番高石垣番
迄四ツ時頃罷出候様小頭^江申付候

正月十八日 晴

一今朝六半時左之もの手鎖追込指免候^ニ付大年寄宅^ニ而申渡立合左
之もの指出ス

手鎖追込指免 西新町沖屋 宇吉
立合之面々左之通

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎 出番宇左衛門

一右指免之段御用番中并大御目付^江相届候

一今四ツ時揃^ニ而具足披并年始盃事支配之もの共^江左之通
具足餅 紙^ニ包 壺台
熨斗添 座敷中程^江出置

右者 銘々罷出候^而壺包ツ、持届候畢^而
自分座敷^江罷出候^而嘉儀申述

土器三方 取肴八寸 卷するめ
こんぶ

片木したみ土器 銚子とぞ酒
右之通指出忝人ツ、盃事致返盃有之候^而諸事先規之通相濟畢^而間
酒差出ス

碗ふた 焼玉子 九年母
田作り 皮たけ 鉢肴 せん大根
せん牛房 生子

吸物 ふな 重箱 数の子
皮鯨 た、き牛房

平のつやい 鴨とふふこ、りこんにやく 少付飯
右之通指遣候^而何も相祝相濟謝詞申述罷届候

一今朝深信院様両寺御仏詣有之御先弘和四郎平左衛門罷出候^而無滞
相届候段相届候

一西新町高松屋太助義林田町持家屋敷南側^ニ而表口六間半裏行拾七
間御役式軒役右之家屋敷今度代銀札式貫目^ニ相極小性町塩屋七三
郎^江壳渡申度願書指出候^ニ付承届候 同廿八日壳券状差出ス

一元魚町豊島屋伝治義所持之旅人宿屋株当正月今来ル十月迄林田町
福吉屋安右衛門^江預ケ申度旨預り主連印願書指出承届

正月十九日 風

一御用日ニ付登城

上田邑村北 多藏

一 例月之通四ツ時御供揃ニ而 泰安寺御仏詣被遊御先弘平宇左衛門
罷出候 而無御滞相濟候段相届候

一 町会所ニ而 教信講釈旧年久々無之候ニ付明廿一日夕より取計申度
旨喜左衛門伺出候ニ付宜取計候様申付明夕より取計候由

一 札元山本恒助実父平右衛門義昨夜死去仕候ニ付左之もの共忌中引
込候旨大年寄之届出候ニ付御用番中并大御目付江相届候

正月廿一日 雪風

忌五十日 山本恒助

一 御用日ニ付登城
一 左之もの共無帳もの指置候咎之義左之通口書差添相伺置

同廿日 但し伯父ニ付 茂渡藤右衛門

一 当所人別ニ無之九十郎并母弟共 新職人町作人 平吉
役介ニいたし滝本屋借屋借受

一 新職人町松野屋重右衛門義伊勢山田御師御被屋四郎大夫内柏木庄
右衛門 与申もの忝人当所江罷越用事有之候ニ付三十日計逗留為仕

指置并弟長吉妻人別入不願出久々家内結居候様ニ付
追込十日

度旨願書差出承届候 三月七日帰届

右九十郎家内借屋指置候 同町滝本屋 庄藏

一 広嶺魚住藏人より年始祝書指越候京町花屋権兵衛之指出ス尚亦返
書同人江相渡ス

右同断ニ付急度叱

右平吉組合

一 西新町沖屋宇吉義取揚被申付候因幡札五枚五拾匁今日返納候由ニ
而 大年寄之指出ス

以来入念候様

同庄藏組合
右同町年寄

一 佐藤八郎左衛門役用ニ而 昼後罷越及内談

作人平吉弟長吉妻入帳ものニも
無之もの先年平吉同様借屋ニ

桶屋町大坂屋家守
さか屋宇之助

一 西今町菱屋治兵衛義倅治助因州鳥取四十自亀屋与兵衛方江商用ニ
而 罷越廿日計逗留仕度旨願書大年寄江指出承届候旨当人願書指出

指置候ニ付追込三日

右字之助組合

ス 二月六日帰届

右同断ニ付叱置尔来入念候
様申付

右同町年寄共

一 左之もの共牢番預ケ申付候間立合指出候様郡代より申来出番勇藏
罷出候 而 入牢取計候段届出候

右之通御用番極人殿江伺書指出置ク
一去十五日相伺置候銀札奉行御作事奉行川下ケ切手裏印之義相伺置
候処今日伺之通相濟候旨大目付頼母之違有之候段勘定奉行辰右衛

円宗寺村 常治

門今通用有之

一 左之名面之もの共当所住居不相成候ものにて当所徘徊博奕專ニ致候ニ付住居等不相成候様ニ致度旨博奕吟味方佐藤八郎左衛門今申聞候ニ付夫々江巖敷申付見合候ハ、召捕候様申付置ク尤右之内徘徊相成候もの有之他所ものも有之

一元来勇吉備前もの 伏見町横本琳寺前 藤十郎

一 実名なすひ源 片原紺屋町原田屋 東之方源助

一 実名長甚 小川町八兵衛稲荷前 甚之丞

新魚町初五郎隣家 三之丞

上戸河町若水屋 安兵衛

三町目横戸河町分り 福恵屋清助

一 初五郎方へ入込徘徊候由 乙之助

柄巻屋平助 七

一角力取小島川 小河町辺 要助

一 河原町伊兵衛方ニ常々罷在 鍛冶 勘治

東新町延屋方ニ久々罷在 高野聖人 坊主

正月廿二日 風

一 別条無之

正月廿三日 昼後風雪

一 明廿四日正四ツ時御供揃ニ而泰安寺江御仏詣被仰出候旨中奥目付後藤郷助今通用有之大年寄并小頭江申達ス
一 今九ツ時より牢屋敷江罷出候ニ而左之者及吟味 山北村 亀七

右出役之面々左之通

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番嘉七字左衛門

正月廿四日

一 今四ツ時泰安寺御仏詣被遊御先弘嘉七字左衛門罷出候ニ而無御滞相濟候段相届

一 西新町玉屋栄蔵義所持之自国請酒株去十一月相願伏見町和氣屋万吉江貸置候処双方勝手ニ付取戻候旨断書を以届出承届候

一 安岡町村永屋吉右衛門義御代官布施孫三郎殿御支配所当国内吉野郡粟井中村秀蔵当卯廿九才并同人母いち六拾才右兩人共役介ニ引請申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人より別紙差越候旨願書指出伺之上聞届申達ス 二月十三日住宅証文出ス

一 京町角屋利兵衛義先達ニ而赤穂花岳寺宝物愛染寺ニ而開帳之節付添罷越候後藤一山義其後も妙願寺ニ而手島字并軍書講釈仕候猶亦今

般借屋ニ居申候砂屋宇平引受世話仕右一山呼寄来月中旬寺社方借請晴天十五日夜分講釈為仕度尤場所日限等は追ニ而相届候旨願書指出候ニ付伺之上聞届申達ス
町役江直ニ 組合預ケ申付候旨佐藤

一 左之もの兩人博奕吟味之義ニ而

八郎左衛門今通用有之并大年寄よりも届出候

桶屋町池淵屋才治
伴民藏

同 吉兵衛伴
吉之助

右吉之助義ハ堺町江別宅之処旧冬右親桶屋町ニ罷在候吉兵衛方江引越居候処未夕堺町より送り不差遣候由ニ桶屋町年寄今堺町江引取呉候様申立候得共堺町借屋上ケ候ニ付引取候ニも居所無之両年寄より彼是大年寄場江申出候ニ付桶屋町吉兵衛宅ニも堺町組合共答致候ニ可然旨尤呼出有之候節も堺町年寄差添罷出候様申付置候段申出承置ク

一東新町延屋三治後家方高野聖久々致逗留候ニ罷在候由相聞候ニ付今夕夜廻り和四郎勇藏指向候ニ為相糺候処旧冬以来折々罷越既ニ今夕も逗留致罷在候ニ付目明江相渡候ニ早々追払候様申付并延屋後家年寄宅江呼寄以来右之もの老夜も不仕候様申付先ツ今般之処其分ニ致置候此後見当り候ハ、町役組合等迄も難指返旨申付置候段届出候

生国備後福山
高野聖人寿法

正月廿五日 晴昼後風

一御用日ニ付登城

但し今日より元御用所ニ相成大目付役所江薄之間ニ相成都ニ以前之通りニ相成候事

一左之もの銀札場御用多ニ付忌御免之義勘定奉行今申立有之候処伺

之通被仰出候間明日忌御免之義申達呉候様勘定奉行辰右衛門今通用有之

父之忌 山本恒助

伯父之忌 茂渡藤右衛門

右御免之義切紙指懸ニして今日奉書差遣又
一銀札場奉行御作事奉行印鑑勘定奉行今相廻候ニ付龍野役所懸合書状下案御用番極人殿指出候処答無之候旨御申ニ付近々龍野表江書状差遣候事

一龍野江指遣候飛脚之義大目付江申達又

一今日佐藤八郎左衛門方江桶屋町民藏堺町吉之助呼出吟味有之候処民藏義は新職人町滝本屋庄藏借屋借受候ニ罷在候節博奕宿致候由ニて手鎖懸ケ組合預ケ申付吉之助義は参会候不仕旨申口明白ニ付他参留申付候由八郎左衛門罷越申聞候

一新職人町滝本屋庄藏右引合ニ付呼出度ニ付明廿六日四ツ時罷出候様相達呉候様八郎左衛門申聞候ニ付町役組合差添指出候様大年寄江申付候

一京町原田屋嘉四郎引合之ものニて八郎左衛門今直ニ町役江申遣候処致他行候由ニ付組合共ニ殿敷尋申付候由大年寄申出候

正月廿六日 晴昼後風

一札元山本恒助茂渡藤右衛門忌御免之義今日より出勤候様申達候段御両所江相届

一左之もの共左之通中村候旨八郎左衛門より通用有之入牢手形認直し指遣出番源藏罷出入牢立合取計候段届出候

吟味中入牢

桶屋町才治悴

民藏

三人之もの共
他参留

新職人町民藏家主
滝本屋
庄藏
同
庄藏借屋
両隣和吉
すゑ

在宿不仕候ニ付
組合尋申付候由

京町原田屋
嘉四郎

一 右民藏入牢申付候段御両所江相届候

一 龍野役所江銀札場奉行作事奉行印鑑相廻候ニ付長尾三郎兵衛平野

七郎兵衛江書状指遣今夕飛脚河野伊右衛門罷出相渡ス

正月廿七日 晴

一 材木町桶屋重右衛門義伯州川村郡江北村百性嘉左衛門当卯式拾八

才同人母りん五拾四才右両人役介ニ引受申度住宅之義願出尤向方

旦那寺并村役人よりも別紙差越候之旨願書指出伺之上聞届達ニ

月十八日住宅証文出ス

一新職人町高昌生齋家守作人権七義本多大和守殿御領分播州宍粟郡

父文村孫右衛門悴惣助并同人妻のふ両人八ヶ年以前申年九月相願

役介ニ引請候処右惣助去々年病死候而後家のぶ渡世送かたく候ニ

付祖父御当国内土屋安三郎殿御領分勝北郡中村大藏方江引越し

申度当所支配相離町内人別指除願書指出伺之上

一 御藏米五拾四匁五分 町米五拾匁五分

一 下紺屋町作人市六義吉田弥一郎長屋もの新助当卯五拾才妻娘両人

悴壹人ノ五人借屋江引受申度町内人別人願書指出候ニ付弥一郎江

引合之上

一 細工町元結屋六兵衛義娘ふミ当卯拾五才然ル処当月廿一日不計罷
出候ニ付所々心懸之処相尋候処行衛一向相知不申候段届出候ニ付
例之通百日尋申付候

一 久世手代堀川定兵衛分舟頭町今津屋孫十郎方江出役ニ付非常之節
手当申付呉候申来及相答尤昨年郡代江申来候節例之通手当申付置
候ニ付今般別段申付候ニ不及候返書孫十郎分取ニ罷出相渡候

一 町会所教信講釈昨夜切ニて無滞相濟今度ハ聞人も多分有之候旨宮
田喜左衛門分相届候

一 京町角屋利兵衛義借屋ニ居申候砂屋宇兵衛義用事有之大坂大川町
綿屋儀兵衛方へ往来廿日計之逗留ニて罷越申度願書指出大年寄承
届候旨当人願書指出ス 二月十七日届届

一 元魚町福永屋豊三郎義借屋もの南屋孫三郎用事有之大坂大川町綿
屋義兵衛方へ往来廿日之逗留ニて罷越申度願書指出大年寄承届候
旨当人願書指出ス

一 戸川町岩見屋孫兵衛勘当之悴岩治義孫兵衛方江立帰り罷在候而目
明頭とも召捕候旨届出候ニ付兼盜賊筋携候趣にも相聞候ニ而非
人小屋江召連罷越一応内吟味致候様申付候処目明共及内吟味候処

盜賊携候趣にも相聞候ニ付直ニ入牢可申付候間目明頭初五郎宅江
連帰候様申付番源藏字左衛門初五郎宅江指向入牢申付候段申渡
せ入牢取計候段出番分届出御両所江相届候

一 坪井町日野屋五助義京都ニ罷在候兄久五郎用事有之罷越候ニ付
八十日之逗留願指出候処右久五郎近來風聴不宜既ニ先達而以来暫

ク当所罷在候^而何角商売も致候旨相問候^ニ付先ツ風聞不宜趣を以
逗留不承届願書指戻ス

正月廿八日 晴

一 式日^ニ付麻上下着用五半時登城

一 今日より御座之間御目見^ニ相成候^而都^而御目見御取合等之振合先
例之通三奉行一同罷出御座之間^ニノ御問御入口^ニ壹晷目^ニ而御目見
申上御家老中御取合御意有之

一 当組遠藤和四郎義柔術劍術出情仕候趣^(マ)西村半左衛門本郷所左衛門
ノ通用も有之勤向等も出情仕候^(マ)ニ付右之段御賞御座候^而鳥目壹貫
五百文^ニ下置候様仕度旨伺書大目付^江も及相談候^而仍之存寄も無
之候^ニ付御用番中へ伺書指出置ク

一 松之間^ニおゐて御講釈大村成夫相勤之^ニ大守様御出座被遊御家中之
面々麻上下^ニ罷出候

一 万福寺開帳願御届済^ニ付東西大橋^江建札之義寺社取次ノ通用有之
候^ニ付大年寄^江申達ス

一 雲州様七里飛脚玉置源五兵衛方^江罷越当夏出羽守様御初入^ニ而勝
間田駅御止宿之御積^ニは候得共下宿等御指支も有之候ハ、当所御
止宿^ニ可相成候尤左之御日取御止宿之義御請致候様申聴候^ニ付如
何可仕哉之旨伺出候^ニ付大目付^江も申談御用所^江相伺候処其通御
請致可然旨御達^ニ付則源兵衛^江申付候

○五月廿三日 廿五日 廿七日

一 寺社振鬮之節使組ノ同心代り指出来候処以来は同心組指出度左候
得^者何角締り等も宜候^ニ付何卒右之通致度寺社取次^江申立有之候

間指出可申万一故障之節は指出不申候^而宜候旨大目付頼母申聴候
^ニ付何分請持申^ニは無之候得共指支無之節ハ指出可申夫共指支有
之候ハ、御断^ニ及申候旨申達候処大目付頼母承知^ニて其段以来右
之通取計可申旨小頭^江申付候

一 京町原田屋嘉四郎昨夜罷帰候^ニ付博奕吟味方^江相届候段申出候^ニ
付届出候旨大年寄より相届候

一 左之もの共左之通伺相濟明朝申渡候旨夫々^江申付置ク

追込十日 新職人町滝本屋庄藏
借屋借受人作人
平吉

追込五日 同町家主滝本屋
庄藏

急度叱 同町市助借屋
家守作人平吉
組合

叱 右同町年寄
喜平次

追込三日 桶屋町大坂屋京右衛門
借屋家守さかや
宇之助

叱 右同人組合共
右同町年寄共

一 旅御用着発之節饞別土産無用^ニ可致并道中荷物過貴目無之様大目
付廻状到来組中^江触書差出

正月廿九日 快晴

一昨日何之通被仰出候無帳もの指置候「」もの共今朝大年寄孫右衛門宅ニおゐて夫々申渡ス立合として小頭利右衛門部屋目付藤四郎罷出

一右申渡取計相濟候段夫々より届出候ニ付御用番極人殿大目付頼母江相届候

一郡代所より左之もの共牢番預ケ申付候間立合指出候様申来和右衛門罷出入牢取計立合候旨届出ル

真加部村 政治

元治

ノ四人

瀬助 勇治

一^{脇紙}生野布施孫三郎手代中沢良助桑名善藏より例年之通壹ケ年銭相場書取ニ指越候ニ付則先例之文段認方ニ而返書差遣ス

一京町原田屋嘉四郎罷帰候ニ付博奕吟味方へ呼出吟味中人牢申付候旨入牢手形相廻候而手形認直し相廻林平立合罷出取計候段届出

一左之もの共博奕吟味方ニて昨日召捕吟味中手鎖懸ケ組合預ケ申付置候由之処今日呼出吟味之上入牢申付其外之もの共左之通申付候

段八郎左衛門并大年寄分も相届候

伏見町田邑屋 治助

吟味中人牢

同町 因幡屋 茂市

材木町元屋 五郎「」

京町久世屋 和兵衛

右之段御用番并大御目付^江も相届

手鎖懸ケ組合預り 伏見町治助妻 千渡

他行ニ付組合^江尋申付候 同町備前屋 勘介

田邑屋治助両隣

他参留

伊平次 藤吉

一今昼後西新町髪結久米吉方^江□□□□穢多岩吉与申もの庭之内^江這込居候由ニて不届之趣申券及打擲^{ウツ}同町備前屋戸「」行倒居候ニ

付夜廻り^江和四郎平左衛門町役方罷越始末相糺候内向方穢多仲間も拾人計参り合右□□□□構之庄屋中原村七郎右衛門与申もの参合

当方^江ニては目明頭太兵衛懸合内済及熟談候得共引取延引相成候旨夜廻り分当番宛手紙差越大年寄分も右之段町役申出候ニ付相届候旨罷出候ニ付何分致内済可然旨申付置ケ

正月晦日 晴昼後雨

一昨夜廻り西新町一件ニ付夜中相詰彼是取計内済之義も申付候得共相方熟談不仕致破談引取候旨且亦右破談ニ而中原村庄屋七郎右衛門も罷帰候段届出候ニ付右庄屋罷帰候^江は猶以熟談不仕候間先ツ

呼帰指置候様申付候^江和四郎彼是取計左之通名面書和四郎分指出ス

御在所但州出石^{大庄屋罷在候所 倉敷少東妙頭村}

仙石越前守殿御領分当国之内勝南郡□□□□穢多岩吉与申候由

疵所は脇之下骨折候哉ニ相見候由

相手打擲人

西新町髪結 久米吉 同人弟 忠治郎

手伝ニても候哉

同町

乙右衛門

高倉村

栄藏

橋本町高ま屋

同人人

東新町

兵八

中原村

七郎右衛門

大崎村

藤助

目明頭

太兵衛

三人のもの共

暖候得共不及

熟談候由

其場ニ居合候もの

一 小性町美瀬屋茂兵衛義所持之家屋敷表口壹間半裏行拾間半御役三歩七厘五毛右之家屋敷代銀札百五拾匁相極元魚町ふし屋孝之助へ壳渡し申度連印願書指出承届候

一 例月之通三ヶ所番賃銀相渡ス

一 西新町行倒居候穢多疵所為見分部屋目付三船藤四郎指出候処及深更罷帰医師岩佐孝順容体書添見分一札都ニ三通指出疵所等左之通

仙石越前守様御領分

作州勝南郡□□□□□□穢多

岩吉 年四十壹才

一 西新町打擲一件昨夜夕彼是暖有之候得共不及熟談候旨町役分届出候由ニ而大年寄孫右衛門分相届候ニ付左候ハ、無程見分のもの指出可申候間右之用意致居可申且亦外科岩佐孝順へ療治可申付候間

一 右足三里之下袋打チ壹ヶ所

但骨行意候様相見候

右之外病所無御座候

岩吉倅

彦三郎

親類□□穢多

平助

右同断

常右衛門

一部屋目付見分之義小頭江申付候処無程藤四郎罷出候ニ付見分之義并見分後右穢多之義ニ候得共往来ニ指置候義不相成候ニ付右髮結裏口小屋懸ケニて致」指置可申旨委細申合藤四郎指出ス

一 龍野役所江銀札場御作事両奉行印鑑相廻吉ヶ原御番所江被相達候様申遣候処承知之旨御番所江早々相達可申旨返書来候

一 鍛冶町山形屋与次兵衛義用事有之大坂大川町和泉屋六郎兵衛方江往来十五日之逗留ニて罷越申度願書指出承届ル

一 西今町中屋忠右衛門義小島屋孫市所持之他国受酒株去ル丑年正月相願当卯ノ正月迄借受商売候処限月来候ニ付尚又当卯二月分巳ノ正月迄凡二年間借受商売仕度願書指出承届候 已正月限月ニ付願

文化四丁卯年

日記

二月大

江口政好

御家老 山田主膳殿

御年寄 大橋十大夫殿

延差出ス

大目付 平井半平

大年寄 蔵合孫左衛門

諸吟味 宮田喜左衛門

二月^壬朔日 日曇夜中小雨

一式日并御用日^ニ付五ツ半時登城

一御座之間当日之御祝義申上御目見等御取合之振合先例之通御意も有之

一西新町喧嘩一件□□穢多岩吉疵所見分一札并岩佐孝順診察容体書等今日御用所^江指出大目付^江茂及沙汰置尤右一件内濟熟談不仕様子^ニ付但州出石^江之立合之義文通下案を以相何置ク

一同心組遠藤和四郎義勤向出情之上柔術剣術出情仕奇得之義^ニ付鳥目壹貫文被下之候段御用所^ニ御用番十大夫殿御申渡大目付侍座

一明二日八幡惣社一ノ宮^江御社參被遊御出懸ケ田町御門御通行被遊候段中奥目付出九大夫分通用有之大年寄^江御見通し候之町々^江達候様申付候

一桶屋町大坂屋京右衛門借屋家守嵯峨屋宇之助追込明朝指免候様大年寄^江申付候

一夜中大年寄孫右衛門罷出西新町^江中原村庄屋七郎右衛門同外^ニ兩人罷越候^而喧嘩一件^者内濟懸合度旨^ニ相聞候旨右町年寄申出候^ニ付届出候^ニ付早々太兵衛^江申達内濟懸合可申旨申付候

一今夕夜廻り藤四郎外^ニ和四郎義も參懸詰合候^而内濟之義彼是太兵衛より懸合候得共向方殊之外申分募り候^而急に熟談も仕兼候^ニ付

猶暖之義東新町播磨屋惣十郎^江申付具候様藤四郎和四郎分申来

一左之通今日御役被仰付

御供頭表御見習 川崎權大夫

兼帯

一龍野役所分之返書来候^ニ付今日分銀札場奉行御作事奉行裏印被取計候様御達候様勘定奉行辰右衛門^江相達ス

一來ル五日之御用日四日^ニ相成候旨大目付分被申達候

二月二日 風

一東新町播磨屋宗十郎^江西新町一件之義小文字屋太兵衛申合候^而取扱候様可申付旨大年寄^江申付候

一西新町喧嘩一件^ニ付立合出役有之候様但州出石^江書通下案何之通何之思召も無之候^ニ付様子^ニ寄懸合可申旨御用番十大夫殿分申来

一桶屋町大坂屋京右衛門借屋家守嵯峨屋宇之助追込指免候段申渡取計候旨大年寄届出候^ニ付兩所^江相届

一明三日五半時御供揃^而左之通御社參被仰出候旨中奥目付寛良助分通用有之

白神宮 徳守宮 秋葉宮 高野宮

御追筋

田町御門より椿高下通白神宮夫より長沢横丁渡部惣馬横丁より細工町通り市村九助門前より徳守宮表門夫より同所裏門宮脇町西今町妙法寺門前分秋葉宮夫より又妙法寺前寺町安岡町二ノ宮

御帰候節北御門御払ニ付取計無之

右之趣大年寄^江御道触申達小頭^江御先払之義申付候

(狭み込まれては)

一西新町年寄共々町内久米吉并弟忠治兩人ニて□□□□□□□□□□穢多岩吉ヲ打擲いたし始末御届申上置候処中原村庄屋七郎右衛門并太兵衛町内岩金屋嘉藏方へ罷越候^而御上御懸合ニ相成候^而ハ恐多候ニ付播磨屋惣十郎小文寺屋太兵衛打寄内濟取扱申度候ニ付出石表御懸合之義候ハ、少し御猶予被成下候様右之もの共々願出候旨願書指出承置ク

一昨晚小頭^江奉書指遣し遠藤和四郎同道明二日四ツ時罷出候様尤麻上下着用候旨申達置候処今日左之面々立合左之通申渡ス

其方動向出情其上柔術

劍術格別出精奇特之事ニ候

遠藤和四郎

仍而鳥目老貫文被下之候

右立合

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

一御駕籠之もの被召抱候間望之ものも有之候ハ、割場役所申出候様町触差出ス

一夜中及深更大年寄源五兵衛罷出西新町喧嘩一件噁人等彼是及懸合候得共熟談不仕及破談候旨町役今届出候ニ付相届候旨尤右ニ付^而は中原村庄屋兩人も為引取候^而可然候哉此段相伺候旨申出候ニ付右及破談候上は引取候^而可然旨申付

一小文字屋太兵衛義東新町播磨屋宗十郎申合彼是取噁候得共不及熟談破談仕候段右同様届出候

一当組嘉七義不快并老母病氣ニ^而引込候ニ付助之義大目付^江申遣候処加島宗平罷出

一久世御城米積切相濟候段舟頭町今津屋孫十郎今相届候

二月三日 曇風

一御社参五半時御出御座候^而御先払林平宇左衛門罷出候^而無御滞相濟候段届出候

一今朝明見大庄屋古田治郎兵衛今藏合孫左衛門^江書状指越西新町久米吉弟兩人ニて□□□穢多岩吉を打擲候始末何卒内濟ニ仕度旨

^ニ而向方今庄屋兩人指越候由書状指出如何取計可申哉候旨伺出候

^ニ付是迄向方今兩人罷越候^而宗十郎太兵衛取扱候得共不及熟談破

談候義昨夜届出候趣^ニ而「」中々内濟相整申間敷候得共打角向

方今申越候義且庄屋兩人も指越候ニ付是迄之噁人宗十郎太兵衛今

委敷持相断候^而今度罷越庄屋兩人之存寄次第ニて返書指遣候方可

然候間先ツ右之通取計候様申達ス

一元魚町紙屋助右衛門義大坂御仏通五丁目阿弓屋其助手代藤助^与申もの老人当所用事有之罷越五日計逗留為致度願書指出承届 同八

日届届

一橋本町山形屋喜八義用事有之大坂大川町和泉屋六兵衛方^江罷越申度尤往來廿五日計逗留仕度留守中林田町年寄相頼置候旨願書指出承届候 同廿一日届届

一西今町公文屋清左衛門義商売用ニ付撰州大坂梶木町玉子屋九郎兵衛方^江罷越申度尤往來三十日計逗留仕度旨願書指出候ニ付承届

同廿七日届届

一 玉置源五兵衛義居宅裏御堀端覆昨日之風御堀^江式間半計吹落申候^ニ付引上ケ取膳等仕度旨足代おろし申度願書指出大目付^江指出ス

一 左之もの呼出候^ニ付立合指出候様佐藤八郎左衛門より申来

伏見町 治助

材木町 五郎吉

右出牢立合藤四郎入牢立合勇藏罷出候^而取計候段相届

一 左之もの博奕吟味方^ニ付呼出有之候処在方^江商行^ニ罷越候由^ニ付在宿不仕帰り次第届出候様申付置候旨八郎左衛門分申来

伏見町忠兵衛倅古川ヤ

徳治郎

同町 利七倅大坂屋

万吉

一 今夕及深更大年寄罷出西新町^{△年寄共より同町}△喧嘩一件中原村七郎右衛門太郎兵衛東新町播磨屋宗十郎京町小文字屋太兵衛取暖候^而内济及熟談後

年申分無之段一札取遣候^ニ付□□穢多岩吉義も為引取候旨断書指出候^ニ付内济之段承届右穢多引取候義勝手次第并田野村屋久米

吉并同人弟忠治郎組合預ケ申付置候処組合預ケ指免候段申達ス

一 小文字屋太兵衛義も罷出候^而取暖之次第并取遣一札文段申出候^ニ付宜取計候様申付候

付宜取計候様申付候

一 妙見村大庄屋古田治郎兵衛分藏合孫左衛門へ書状差越候処右之通内济相整候^ニ付則返書指遣右之段可申遣旨伺出候^ニ付其通宜取計候様申付候

二月四日 晴

一 御用日^ニ付登城

一 新職人町滝本屋庄藏義無帳もの借家^ニ指置候咎去ル廿九日追込申付置候処昨日迄^ニて五日^ニ相成候^ニ付今朝追込指免候旨大年寄^江申付候処申渡取計候段届出候^ニ付御所^江相届

一 御用所^ニおゐて御用番十大夫殿左之通御申渡大目付半平侍座

真加部村 政吉

博奕致参会

元治

不届^ニ付五十敲

瀬助

之上帰村

清吉弟勇吉

上田邑村北 多藏

円宗寺村上分 常治

一 右之段来ル九日取計候旨御用所大目付^江相届

一 今日郡代十郎左衛門不参^ニ付郡代申上候御用無御座候旨御用所^江申述

一 郡代より伺書指出有之分不残伺相济候段十大夫殿御達^ニ付郡代^江相廻ス

相廻ス

一 元魚町亀屋弥七義中ノ町秋田屋宗兵衛所持之自国受酒株当卯正月相願借受商売致候処猶亦二月分同八月迄七ヶ月之間借受商売仕度旨連印願書指出承届

一 西今町永野屋安兵衛義商用有之大坂心齋橋大川町玉子屋九郎兵衛方へ往来三十日計逗留^ニて罷越申度願書指出大年寄承届候旨当人願書指出ス 同廿八日帰届

一 助宗平夜廻り之処不快引込^ニ付加藤甚藏助^ニ罷出候尤已来は中江

庄治罷出候由

一 坪井町一文字屋文助義商用ニ付京都「」屋町姉小路上ル町一文字屋茂右衛門方へ往来三十日計逗留ニて罷越度旨願書指出大年寄間届候旨当人願書指出ス

一 西新町喧嘩一件内済相整候ニ付年寄共分断書指出候ニ付内済承届候段御用所 相届願書指出置大目付江も及沙汰

一 西今町平田屋清助義月取間違ニ付今朝大年寄宅ニおゐて叱申渡ス

二月五日 曇

一 中江庄治今日夕助ニ罷出候事

一 河内村長三より目明頭太兵衛江申越候者「」召捕有之候而

此方吟味済候得者追払候間入用ニ候ハ、早々罷越候様申来候旨伺出候ニ付早々指遣召捕罷帰候様申付候

二月六日 昼後晴

一 牢舎桶屋町民藏京町嘉四郎博奕吟味方ニ而呼出有之立合林平罷出候

一 左之もの共左之通申付候旨佐藤八郎左衛門より申来

入牢 伏見町忠兵衛悴 徳治郎

入牢 同町「」悴 万吉

去ル廿九日今手錠懸ケ 同町治助妻

組合預ケ候処今日指免 ちえ

去ル廿五日他参留申付 堺町

有之候処今日差免 吉之助

一 今朝指出置候民藏嘉四郎又候入牢為致候旨徳治郎万吉入牢立合平

左衛門罷出取計

一 左之もの咎牢舎申付候間立合指出候様郡代より申来手形相廻候ニ付猶亦林平罷出候而取計相済候段届出候

牢舎 沼村喜三右衛門悴 安之介

同 同村善左衛門悴 源三郎

一 明七日四ツ時御供揃ニ而泰安寺江御仏詣被仰出候旨中奥目付藤井嘉津馬今通用有之大年寄并小頭江申達ス

一 佐藤郷左衛門門前垣之上ニ錢箱有之候由ニ而同人門内江引入置候段届出先日役筋へ引渡候様達有之候間宜取計候様大目付半平今申来承知之旨及即答候

一 斎藤梅治罷越候而佐藤郷左衛門此節郷中江罷出候処前文之次第ニ付御届申上候処御役筋江御引渡申候様被仰出候間御引渡可「」

「」来候ニ付勝手次第被廻候様申達ス候処則「」ニ付受取候

段申遣ス

一 明日梶並ニ而富興行有之候ニ付郷中目明も罷越候ニ付指出可申哉候旨小頭伺出候ニ付指遣候様申付候処目明不足ニ付助戸川町勇治申付指遣候旨届

二月七日 曇

一 明日被仰出候通四ツ時御仏詣被遊平右衛門林平罷出無御滞相済候旨届出候

一 吹屋町釜屋市郎右衛門義数年鑄物職仕渡世相統候処此度江戸表御屋敷中所御用水水溜鑄物ニ付仕差上申度尤壱口ニ而式石余入候位ニ仕度御入用之數御改被仰付候様仕度「」願書指出候ニ付御

用番中^江 御同意申上指出置ク

一惣豆腐屋共并へ八百屋平吉今只今迄豆腐^丁ニ付拾七文ツ、商売仕候処近來大豆高直^ニ而^レ 壺^丁拾八文商売仕度願書指出伺之上聞届郡代^江及通用

一豆腐^丁拾八文ツ、売立

但し壺箱分

代銀札壺匁六分八厘

五拾壺匁相場

内 壺匁貳厘 大豆貳升

三分 薪代

メ壺匁三分貳厘元入

引残^而 三分六厘手間代

一福渡町植月友輔後家家守和七義借屋^ニ居申候伊助役介惣兵衛義去九月出奔届出百日尋申付置候処最早百日余^ニも相成候得共行衛相知不申候^ニ付町内人別指除候様願書指出候^ニ付伺之上聞届申達ス
一元魚町伊勢屋又助義因州八東郡郡家村源右衛門娘なを当卯三拾才此度役介^ニ引受申度住宅之義願出尤向方且那寺并村役人より別紙差越候旨町内人別入願書指出伺之上聞届 同十日住宅証文出ス

二月八日 晴

一御用日^ニ付登城

一今日四ツ時例月之通御仏詣被遊候^ニ付御先^平左衛門勇藏罷出候^而無御滞相済候段届出ル

一先日大目付より御箱訴被相渡柴田長屋長兵衛妻さの^与申ものより

申出候訴面趣意不相分候得共林田町かと屋西新町野田屋兩人受人之由^ニ付相糺候様被申聞候^而相糺候処受人^ニ相立候義相違無之旨書付指出候^ニ付今日大目付^江指出ス

一坪井町小浜屋佐七義当五日之夕表分盗人入込店^ニ有之候錢箱内^ニ銀札七八匁計有之外に髮付油式升被盜取候由之旨届出尤右錢箱ハ佐藤郷左衛門前^ニ有之候旨^而役所受取置候^ニ付追^而御用日之節相伺候^而引渡遣可然哉之旨相伺候処十一日伺相済

一一目頭太兵衛義非人式人召連候^而坊主岩召捕として河内村^江罷越候処右河内村よりは追払候跡^江罷越候^ニ付段々跡付罷越候^而勝山領途中^ニ而^レ召捕罷帰候旨届出候^ニ付先ツ今日之処出番藤四郎源藏召連候^而牢番預ケ申付尤盜賊名面左之通^ニ候得共実は坊主岩^ニ而^レ六年已前御赦^ニ付地飛脚^ニ而^レ髮を剃追払被仰付候藤本伴右衛門長

屋住岩藏^ニ相違無之旨太兵衛召届出候 無宿盗人友藏^{廿三才}

一明九日郷中もの敲取計候義并四ツ時今牢屋^江罷越候^而吟味もの取計候間右之用意致置候様小頭^江申付候

一明朝新職人町作人平吉追込指免候間申渡候様大年寄^江差紙遣ス
一梶並富興行有之候^而目明助勇治指遣候処今日罷帰り無別条無之候由届出候入り札千式百六十六枚入候由申出候

二月九日 晴

一今朝牢屋敷^ニ而^レ左之もの共敲取計立合等左之通

真加部村 政吉

元治

瀬助

博奕致参会
不届^ニ付五十敲之上

婦村

清吉弟 勇吉

上田邑村北 多藏

円宗寺村 常治

右立合左之面々

御徒目付吉村弥平治 下目付彦人

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎 出番勇藏

一右取計相濟候段御両所^江相届候

一左之もの追込昨日迄十日ニ相成候ニ付今朝追込指免

追込指免

新職人町市助 借屋家守作人 平吉

一右之段御両所^江及御届

一今四ツ時牢屋敷^江罷出左之面々立合責問等取計之穢多頭九郎右衛門罷出候

門罷出候

山北村 亀七

今日入牢申付候

戸川町孫兵衛勘当之悴 岩治

今日入牢申付候尤其段

無宿盗人 友藏

御両所^江相届候

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番勇藏宇左衛門 目明頭兩人

一牢舎左之もの共呼出吟味有之候ニ付立合指出候様佐藤八郎左衛門

夕申来今日之出番立合出入取計

伏見町 治助

茂市

徳治郎

万吉

材木町 五郎吉

京町 利兵衛

一牢舎万助病氣ニ付医師願出候ニ付大年寄^江申付置候処吉武修格^江

申付今日診察之処難拾置旨申出候ニ付療治申付今日より薬指遣候

段届出候

一孫兵衛悴岩治義及吟味候処先年源吉^与申もの申合光嚴寺外屋敷庵

ニ坊主老人罷在候処^江這入候^而木綿式反反物卷ソ銀札四拾匁盗取

候由申口ニ付源吉召捕候様申付置候処夜中召捕候旨藤四郎源藏目

明金藏召連罷出候ニ付居所之義承糺させ候処当時宗永寺長屋住之

旨申之ニ付右引合ニ付召捕候処右宗永寺長屋ものニ付預置候^而御

懸合も可申候得共預ケ之手当も不行届迷惑^ニも可有之ニ付今夕之

処牢番預ケ申付置明日御届^ニも及候ては如何可有御座哉候段寺社

取次十郎左衛門^江及内談候処随分其通ニ候至極宜候旨申来候^ニ付

今夕牢番預申付

二月十日 晴

一宗永寺長屋住源吉^与申もの盗賊引合ニ候吟味致度候間役筋^江引渡

候様ニ相達候様大目付三平^江申遣候処承知之旨申来候

一下紺屋町とり屋利兵衛義役介久六当正月廿八日不計罷出候^ニ付組

合等迄方々相尋候得共一向行方相知不申候段届出候ニ付例之通百

日尋申付置ク

一 東新町飯綱屋石右衛門義悖佐吉一昨丑年二月相願林田上ノ町清六養子ニ指遣置候処今般離縁仕候而石右衛門方江引請候ニ付町内人別入願書指出承届候

一 西新町高松屋忠右衛門義去ル丑五月相届候而高松屋龜之助方へ引越居申候処此度右宅へ罷帰商売仕候旨届書指遣承届候

一 宗永寺長屋もの源吉義吟味之義有之候而大目付江申遣置候処寺社役所へ引渡可申旨尤引渡之義一応申渡候義近例ニも候間寺社役所江相廻候様申来候ニ付番兩人目明壱人指添候而寺社取次十郎左衛門江指遣ス

一 右源吉義引渡候旨十郎左衛門へ下代目明等指添指越候ニ付受取候段返書ニおよぶ

一 源吉義一応及吟味左之面々立合

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番源藏和右衛門

右之段御用番并大目付江相届候

一 左之もの牢番預ケ申付候間立合指出候様郡代より申来出番

海田村 宇吉

一 惣社振鬮今日徳守宮ニ而興行有之候ニ付警古出役当組より指出候様相成候而今日今指出昼廻り⁽⁴⁾和四郎庄治罷出無滞相濟候旨相届候其段寺社取次十郎左衛門江申遣ス

二月十一日 小雨風

一 御用日ニ付登城

一 藤堂撤三郎様御事御叔父之御統ニ付御一代御而敬被仰合候旨大目付廻状到来組中江触達ス

一 郡代十郎左衛門痛所ニ付仕相断候ニ付紫保井村兎追願書指出具候様申来御用番中相伺候而御聞届相濟其段及通用

一 元魚町二文字屋清次郎義商用ニ付京都烏丸通六角下ル所二文字屋九兵衛方へ往来四十五日計之逗留ニて罷越申度願書指出大年寄聞届候旨当人願書指出ス 三月晦日又廿日追

一 堺町稲実屋義七郎義播州姫路東魚町池田屋本次郎与申者内縁ニ付当所用事有之候而罷越候ニ付五十日計逗留為仕度願書指出候ニ付承届候

一 林田町常盤屋丈右衛門義眼病ニ付播州宿村へ療治ニ罷越申旨往来三十日計之逗留ニて罷帰申度願書指出承届候 同廿八日帰届

二月十二日 晴

一 深信院様御仏參被成候而和四郎宇左衛門罷出無滞相濟候段相届候

一 備前邑久郡牛窓大工五郎左衛門市兵衛喜左衛門半兵衛善助小作以上六人昨日参り候ニ付例之通逗留為仕度新職人町松野屋十右衛門宿切手指出 十二月廿九日帰届

一 御蔵米五拾四匁 町米五拾匁

一 御払米三百俵 落札瓜生原屋惣兵衛

代正銀五拾四匁六分九厘 町米准之

一 備前岡山山西中島塩屋清助与申もの例年之通小間物太物畳表砂糖紙類荒物卸売ニ昨日参り候ニ付宿仕候旨新職人町松野屋十右衛門宿

切手出ス 十二月廿九日帰届

一右同国小畑町鼠屋清兵衛并手代文十郎与申もの式人例年之通元結

卸売ニ昨日参り候ニ付右同人宿切手指出ス 八月八日帰届

一町方博奕マツ都合マツのもの共佐藤八郎左衛門ニて遂吟味口書相廻候ニ付

左之通御裁許相伺候旨伺書御用番十大夫殿江指出

一 新職人町借宅中博奕

宿ニ而夫役九十日

但し二罪ニ付

一 右同断ニ付夫役一同

五日ツ、

一 右同断ニ付追込五日

一 無願新職人町江民蔵

借宅為致候ニ付急度叱

一 民蔵方ニ而博奕参会

付夫役七十日

但し二罪

一 博奕宿ニ付夫役七十日

一 右同断ニ付夫役五日ツ、

一 右同断ニ付追込三日

一 博奕参会ニ付夫役五十日ツ、

同町古川屋徳治郎

同町大坂屋万吉

伏見町備前屋 勘之介

尋申付置候

一 他参ニ付組合共江嚴敷

一 斎藤孫右衛門義近々出立ニ而勝山金田何某方江十日計之逗留ニて

罷越申度願書承届 同廿二日帰届

二月十三日 快晴

一 例月之通四ツ時御供揃ニ而泰安寺江御仏参被遊御先弘勇蔵平左衛門罷出無御滞相濟候段届出候

一 船頭町山北屋伊兵衛義所持之旅人旅籠屋株去寅才今来ル午才迄五ヶ年之間勝間田町佐伯屋八十治方ニて商売不仕候旨願書指出承届

付此度差戻以後八十治方ニて商売不仕候旨願書指出承届

一 材木町年寄佐之右衛門今大番所前関貫小門上江横ぬき破損仕候旨番人共今申出候ニ而此段相届候旨願書指出又大目付江指出

一 林田町鍋屋治之助此度割場中間ニ住込候ニ付町内人別指除候様願書指出中間頭引一聞届申達ス

二月十四日 小雨風

一 今日無別条

二月十五日 晴風

一 式日并御用日ニ付五半時登城

一 御座之間ニおゐて御礼被為請御家老御取合之振合先例之通

一 来ル十八日御用日十九日ニ相成尤講釈等も右同様十九日ニ相成候

旨勘定奉行の演達有之

一 近々御囃子被遊候ニ付拜見ニ罷出候勝手次第之旨是亦同人より演説有之

二月十六日 快晴

一 今日四ツ時牢屋敷江罷出候而左之もの共及吟味

無宿盗人友藏

孫兵衛勘当之悴

岩次

宗永寺長屋住

源吉

右出役之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番勇藏宇左衛門 目明頭初五郎 目明介金吾

一 穢多頭九郎右衛門等罷出候而責問之義共取計之

一 左之もの出牢申付候間立合指出候様郡代より申来勇藏罷出取計

沼村善左衛門悴 源三郎

一 左之もの入牢申付候間立合指出候様佐藤八郎左衛門より申来今日

出役之出番立合候旨而入牢取計

十五日之取計 下横野村上組 喜四郎

同村 利八

二月十七日 快晴

一 京町角屋利兵衛借屋砂屋宇兵衛義先達而相願候後藤一山呼寄候而

今般妙願寺拜殿借受来ル廿日夕より相始申度届書指出候ニ付寺社

取次引合之上相伺聞届

一 東新町作人宇吉後家借屋ニ居申候伝吉当卯三十九才同人妻くま

二十八才娘しう十九才悴伝次十七才右四人此度勝手ニ付林田上ノ町甚七方江引越申度町内人別除願書指出承届候

一 中ノ町田中屋文藏義伴与藏当卯廿五才此度往来中間ニ被召抱候ニ

付町内人別指除候様願書指出中間頭引合之上聞届申

一 茅町斛屋元治義娘ふみ当卯式拾九才然処七ヶ年已前酉ノ十二月義

絶勘当相願候而其後流浪当時当国之内寺和田村吉兵衛方ニ罷在候

近来心底相改今更先非悔勘当指免呉候様相歎候ニ付相免申度旨歎

書指出候ニ付伺之上聞届申達ス

〔読みまちえい〕

常盤屋丈右衛門

橋本町借屋家守茂七

借屋もの 忠七

右組合 又平

源藏後家

万右衛門

甚藏

和助

組頭 宇兵衛

右忠七義先達而 出奔届致候ニ付百日尋申付置候処今般罷帰候之

処帰往居之義組合共願書連印不致候旨強而 申募我意申立候ニ付

左之もの三人江手鎖懸置候

甚藏

手鎖 和助

〔宇兵衛〕

二月十八日 曇昼風烈

一 深信院様四ツ時兩寺御参詣被成御先弘源藏平左衛門罷出候 而無滯相濟候段届出候

一 御蔵米五拾五匁五分 町米五拾壹匁五分

一 今日風烈ニ付町々月行事火用心申付候様致度旨伺書候ニ付其通取計候様申付候

二月十九日 風

一 御用日ニ付登城

一 例月之通四ツ時御仏參被遊御先弘ニ和四郎庄治罷出候 而無御滯相濟候段相届候

一 於御用所御用番御年寄左之通御申渡大目付出席

一 沢田村忠吉義博奕宿いたし不届ニ付百敵之上帰村申付候此段可被取計候以上

一 左之もの共同之通宜取計候様十大夫殿御申渡有之

一 夫役九十日博奕宿ニ付

桶屋町池測屋

才治悴 民藏

一同五日ツ、

右借宅新職人町家主 滝本屋 庄藏
右同人組合并隣家共

隣家之内加有之候ニ付

御過料七百文

一 追込三日

新職人町年寄

桶屋町年寄并

一 急度叱

〔才治同人組合共〕

一 夫役七十日博奕宿ニ付

伏見町田邑屋

治助

一同五日ツ、

同人組合隣家共

一 追込三日

同町月番年寄

京町久世屋

利兵衛

一 夫役五十日ツ、

材木町元屋

五郎吉

博奕参会ニ付

伏見町因幡屋

茂市

同町古川屋忠兵衛悴

清治郎

同町大坂屋利七悴

万吉

一 右之もの共明廿日申渡候ニ付町役組合共不残五ツ時指出候様大年寄江申遣置

二月廿日 昼後雨

一 今五ツ時左之もの共呼出左之通申渡夫役之もの共江直ニ御作事方引渡候ニ付年寄召連罷越候様申付ル

新職人町ニ池測屋民藏博奕宿ニ付右参会之もの并其外引合

もの共伏見町田邑屋治助方同様ニ付参会并引合候もの昨日伺

相濟候御裁許渡ス

右立合之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番林平宇左衛門 大年寄源五兵衛 諸吟味喜左衛門

一 右取計相濟候段御用番并大目付江相届

一 明廿一日正四ツ時泰安寺江御仏參被遊候旨中奥目付寛良助申来

大年寄并小頭等江申達ス

一堺町西川屋善助義大坂伏見堀籠屋町後藤一山与申もの夜前罷越御
当所ニて晴天十五日講釈仕候由ニ付右日数相濟候まで逗留仕申度
願書指出承届候

一新職人町松野屋重右衛門義伊勢山田御師御被屋四郎大夫内柏木正
右衛門与申もの罷越候ニ付当正月十九日相願逗留為仕候処未用事
相濟不申候ニ付今廿日計逗留追願指出候ニ承届候 三月七日帰
届

一二階町河本屋清助義居宅裏御堀端堀覆四間計御堀江倒申候ニ付御
堀江足代おろし取膳申度願書指出大目付江指出ス

一京町野田屋佐右衛門義裏西境堀覆家根三間半計吹落候旨届書指出
先例問屋場御作事普請ニ付願書大目付江指出ス

二月廿一日 晴

一御用日ニ付登城

一去十九日御裁許被仰出候郷中敵之もの明後廿三日取計候段御用番
并大目付江相届候

一伏見町田邑屋治助隣家小田屋伊平次夫役五日申付候処昨日不快ニ
付致不参候仍而快気次第御作事方召連候様年寄江申付置候処快気
ニ付今日御作事江召連候段届出候

一美濃職人町作人登之助義親其一「并同人悴孫四郎右兩人大坂原
道庵方江修行ニ罷越候処昨日罷帰候旨届書を以届出承置ク

一大坂山本町大坂屋忠兵衛手代伊兵衛庄一「孫兵衛嘉兵衛右四人
例年之通小間物おろし売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度旨二丁目勝
田屋茂兵衛宿切手指出 同三十日帰届

一牢舎万助病氣ニ而 吉武修膳療用之処段々快候ニ付休薬為致候旨同
人今届出候段大年寄分相届候

二月廿二日 昼後曇

一御蔵米五拾七匁 町米五拾三匁

一福渡町野上玄養義伯州米子大谷其佐与申もの縁類之ものニ候処年
礼ニ罷越用事有之候ニ付当月中逗留為仕度旨願書指出承届候 三
月三十日帰届延引候旨申出

一斎藤孫右衛門昨夜勝山宿分罷帰候旨届出候

一御囲米為御改御代官国々順行有之候ニ付席を以播州辺聞合候様大

年寄江申付置候処今般承合七候もの罷帰候由ニ而 書付指出尤右御
代官豊後肥田（とく）御着陣之羽倉権九郎殿申口書付指出候ニ付御用番
并大目付江も及御さた候事

一佐藤八郎左衛門分左之もの呼出候間牢屋立合候者指出候様申来

下横野上組弁四郎 同村同利八

右立合出牢和四郎入牢源藏罷出取計候段届出候

一左之もの入牢申付候旨八郎左衛門分申来源藏立合入牢取計候段届
出候

二月廿三日 雪少々

一 下横野村下組熊七悴平次

一大熊鞆負殿家来西川善平罷越逢申度候一「逢申候処鞆負宅江夜
前盜賊入込大小七腰被盜取候定而外ニも被盜取品も可有之候得共
未相調不申先ツ右之段御噂申候様申付候何分右手当等宣頼候旨ニ
付委細承知之旨及返答小頭江申付目明頭共江得申付且関貫等相

調候様申付

一今朝左之もの牢屋敷^ニ而敲左之通取計

博奕宿^ニ付 沢田村 忠吉

百敲之上帰村

右立合左之面々

御徒目付徳山左内 目付組彦人 小頭利右衛門

部屋目付藤四郎 出番和右衛門

右取計相済候段御両所^江相届候

一今朝昼廻り夕和四郎源藏牢渡^ニ罷出候^而取計候処別条無之候旨相

届出候

一御囃子松之間^ニ而御催被遊御家中之面々拜見被仰付候

一左之もの共追込申付置候処昨日迄三日^ニ相成候^ニ付今朝追込指免

候段申達置候処申渡取計候段大年寄より届出候^ニ付其段御両所^江

相届

新職人町年寄 喜平次

伏見町年寄 宇左衛門

二月廿四日 晴昼後曇

一橋本町のしや茂七義借屋^ニ居申候中屋忠七去ル十二月出奔仕候段

相届候^ニ付同月廿九日より百日尋申付置候処忠七親類備前西賀部

村^ニ罷在候様子^ニ付罷越相尋候処借銀^ニ差詰り無拠罷出候様子^ニ

付右夫々銀主方懸合筋立申候^ニ付連帰申候^ニ付帰住指免候様組合

一同連印之願書指出仍^而先例之通無願久々他行致不束之段叱候^而

帰住承届候段申達候様申付候

但し右忠七義は当月朔日^ニ罷帰候由之処帰住願組合不承知^ニ

て彼宅組合^ニ付先頃組合之内三人^江手鎖等も申付置候処其後

熟談^ニて連印可致之旨申出候^ニ付手鎖指免候処今日右願書指

出

一桶屋町作人甚蔵義所持屋敷之内裏之方東西式間南北三間半但御役

彦歩役^ニて此度右之地所代銀札三拾匁^ニ相究町内桶屋与太郎^江売

渡シ申度願書指出承届候 同廿八日売券状出ス

一橋本町のし屋茂七義中屋忠七呼出し叱之義申達帰住指免候段申渡

取計相済候段大年寄より相届候

一舟頭町舟持共三拾八人壹艘^ニ付銀札五拾匁ツ、為借被仰付候様尤

上納之義は当秋御登米川舟賃を以上納可仕候旨舟持惣代組頭四人

より願書指出伺之上聞届達ス

一町方関貫取膳算用書并番賃銀請払帳面大年寄今指出受取置ク

二月廿五日 晴

一今日御用日^ニ付登城可仕候処風邪^ニ付当病不參候義三浦子^江相頼

且亦舟持共拜借願之義願書指出是亦同人^江相頼遣候処夫々相届舟

持願書御聞届相済候段申来

一新職人町借宅^ニ而池淵屋民蔵博奕宿仕并伏見町田邑屋治助博奕宿

^ニ而家主組合隣家左之もの夫役申付置候処昨日迄^ニて五日夫役相

済候段御作事奉行今申来候^ニ付其段御両所^江相届候

新職人町

ぬし屋孫三郎 松野屋重右衛門

滝本屋庄蔵 松山屋利吉

伏見町

錦屋藤吉 姫路屋文助

京屋徳兵衛 田邑屋宇左衛門

一 堺町稲実屋義七郎義用事ニ付大坂堂島北町瀬屋源兵衛方へ往来

三十日計之逗留ニて罷越申度願書指出承届 三月六日帰届ケ

一 鍛冶町かち五郎右衛門同伝七共義心願有之候ニ付妻伊勢参宮為仕

度往来四十日計之逗留ニ而 罷帰申度願書指出大年寄承届候旨当人

願書指出ス

一 二階町志那屋恵十郎義今般当所為賑花形晴天十五日興行仕度右之

段於御許答日限場所等は追ニ而 相願可申■願書指出候ニ付郡代寺社

取次等引合之上相伺候処

二月廿六日 晴

一 今九ツ時今牢屋敷ニ而 左之もの吟味ニ付出役可致候処風邪ニ付不

参ニ付左之面々指出源吉岩治及吟味

出役之面々

下組彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番和四郎源藏

一 境町小林主水義立願ニ付讚州金毘羅江 往来七日之逗留ニ而 来月七

日 出立参詣仕度願書指出大年寄聞届候旨当人願書指出 三月三日

帰届

一 吹屋町持福院義讚州同所へ同様日数逗留ニて参詣仕度旨願書指大

年寄承届候旨当人願書指出ス 三月三日帰届

一 同町熱田数馬義同所江 七日之逗留ニて来七日出立参詣仕度旨同様

願書指出候旨当人願書指出ス

二月廿七日 晴

一 大坂金田町金屋半兵衛手代宇兵衛与 申もの例年之通大工道具売ニ

昨日参り候ニ付逗留為仕度旨新職人町松野屋重右衛門宿切手指出

ス 十二月八日帰届

一 備中郡都早島金田屋伝藏手代栄八与 申もの老人例年之通雲齋足袋

卸売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度右同人宿切手指出ス 八月八日

帰届

一 新職人町借宅池淵屋民藏隣家ス多過料銭左之通取立相納候旨大年

寄より指出ス

一九六錢七百もん 但し百七文通用

代銀札六匁式分八厘

一 上紺屋町円楽院義讚州金毘羅江 来月七日出立ニて往来十日逗留参

詣仕度願書之趣大年寄承届候旨当人願書指出ス 三月十三日帰届

二月廿八日 曇

一 今日御用日ニ付登城可仕候処当病不参之義三浦子江 相頼遣尤外ニ

御用向無之候段申遣ス

一 河原町熱田大内藏義立願ニ付讚州金毘羅江 往来七日之逗留ニて参

詣仕度旨願書大年寄承届候旨当人願書指出 三月四日帰届

一 中ノ町日上屋儀助義所持之家屋敷表口三間半裏行拾七間御役四歩

役右之家屋敷代銀札七百匁ニ取極同町秋田屋宗兵衛江 壳渡申度旨

願書指出承届 同壳券状差出ス

一 元魚町富士屋小兵衛義二階町井筒屋弥三郎所持之他国受酒株去ル

丑ノ二月相願当卯二月迄借受商売候処猶亦当卯三月今巳ノ二月迄丸二ヶ年之間借受商売仕度旨連印願書指出候ニ付承届候 巳二月願延出ス

一久山勘八義近来及老年綿実油絞元方役大切之御用向難相勤候ニ付御役御免有之候ハ、悴鶴蔵^江 家名相続為仕度茂渡庄右衛門加判ニて願書指出勘定奉行引合之上御用所^江 可申上候

但し油方之義ニ付勘定奉行引受候事故諸事取向は勘定奉行ニ而取計候事

一今日被為召候^而 左之面々役替格昇進被仰付候

大目付 ^(職別也) 渡部惣馬

物頭 古市隼人

勘定奉行 松島郡平

銀札場奉行 本郷所左衛門

御蔵目付 伊達駒之助

高直御番入 田中八朔

一^下紺屋町一楽院義讚州金毘羅^江 来月七日出立ニて往来十日之逗留

ニて罷帰申度願書大年寄聞届候旨当人願書指出ス 三月十三日帰届

二月廿九日 晴風

一左之もの咎牢舎申付候間立合之もの指出候様郡代より申来林平罷出入牢取計候段届出候

林田上ノ町 茂八

一左之もの牢番預ケ申付候間立合指出候様郡代より申来嘉七罷出入

牢取計候段相届

戸島村弥市事
孫右衛門

二月晦日 晴

一 例月之通関貫番賃銀相渡ス

一 細工町元結屋六兵衛義娘ふみ去ル正月廿七日之夜罷出行方不相知候段届出候ニ付百日尋申付置候処上紺屋町津島屋榮吉借屋作屋義助借り名代ニて音七^与 申もの連帰隠置候旨ニ付親類組合罷越内濟仕当月朔日召連帰候ニ付右一件ニ付以後申分無之候間帰住指免候様願書指出承届候

文化四年^丁 卯年

日記

甲 三月大 町奉行

乙 四月小 江口政好

御家老 山田主膳殿

御年寄 大橋十大夫殿

大目付 赤見類助

大年寄 齋藤孫右衛門

諸吟味 宮田喜左衛門

三月^壬朔旦 昼夜雨

一 式日并御用日^ニ付五半時登城

一 御座之間^ニ而 御目見被仰付三奉行一同罷出御家老主膳殿御取合御座候^而御意有之

一 妙願時^ニおみて後藤一山軍書講釈昨夜迄十日相濟候処一山不快^ニ

付兩三夕相休候旨届出御所及御噲置ク

一 明二日五半時御供揃^ニ而 左之通御參詣被遊候旨中奥目付出九大夫

夕通達有之

京橋御門より町通り山本屋横町^ノ 天神宮

渡し場

渡し場より土手平岡屋横町より

大隅宮

町通りいさきや横町より^迄

上ノ町通り

稻荷宮

一 於御用所御用番御年寄左之通御申渡大御目付出席

博奕宿致し不届^ニ付百敲之上

下横野村上組 喜四郎

帰村

利八

博奕参会いたし不届^ニ付五十

同

敲之上帰村

下組 熊七 平治

一 右之通取計候様御申渡候^ニ付那代引合候^而追^而日限取極申上候事

一 八之日松之間御講釈去月廿八日切^ニ而 御会無之候旨大目付夕通用

有之候旨勘定奉行より通達有之

一 京町妹尾屋松右衛門義所持之家屋敷表口式間裏行十七間御役三步役右之家屋敷此度町内河内屋孫平^江代銀札式百五拾匁^ニ相極売渡申度願書指出承届 同四日売券状出ス

一 小性町杉屋七兵衛義海老原極人殿家来川野伝兵衛娘まき当卯拾八才此度妻^ニ引請申度願書指出海老原殿^江引合候上聞届

一 油年行司高松屋平左衛門油方山手屋理兵衛より大坂油近年高直^ニ付是迄油壺升売三匁三分之処今日夕壺升^ニ付三匁五分売^ニ仕度旨届書差出承届候

届書差出承届候

一 西今町公文屋清左衛門義借屋^ニ居申候丸屋治兵衛娘もよ歳廿二才俸幸吉四才此度大久保安芸守殿領分久米南条郡押測村伝助妻子^ニ指遣し申度依之当所支配相離町内人別指除候様願書指出伺之上聞届達ス

一 鞆負殿被盜物大小七腰外^ニ服紗包^{（カ）}鑿其外小道具類書付大目付夕被相渡例之通触流取計可申尤名面は出し不申相触候様被相達則町触差出郡代^江及通用右品書相廻ス 同十三日無之届出

差出郡代^江及通用右品書相廻ス 同十三日無之届出

三月二日 晴

三月二日 晴

一 昨日被仰出候通三ヶ所御社参被遊候^ニ付御先弘藤四郎宇左衛門罷出候処無御滞相濟候段四半時過届出候

一 堺町团屋吉郎兵衛義去月廿八日之夜六半時より五半時之間^ニ店物陰^ニ有之候白砂糖壺桶三拾斤入相見^江不申左候得^者盜賊入込候^而右盜取候哉^ニ被存候旨届書を以届出候^ニ付来ル御用日^ニ而 御沙汰申上候^而触流^ニ不及目明^江申付ル

申上候^而触流^ニ不及目明^江申付ル

一先日鞞負殿紛失物^与相見^江 大小之小道具類風呂敷一包宮川御門外
當時普請所やうい之内^ニ有之候旨作事方^ニ見出差出候^ニ付為心得
通用有之候旨大目付類助^江申来候

三月三日 快晴

一上巳^ニ付五半時麻上下着用登城

一御座之間^ニおゐて御目見被仰付御家老中御取合先規之通御意有之
一梅之間^ニおゐて御奏者番以下三奉行迄一同蕙心院様^江 上巳之御祝
義御小性頭^江 謁申上候

一御用所^江 三奉行一同罷出候^而 当日之御祝義申述退座懸大目付役所
へも同様及挨拶

一去ル朔日御裁許被仰出候在方敲之もの共三人来六日取計候段郡代
申談御用所大目付^江 及さた

一町方之もの共差上金銀仕候もの共御取扱振之義相伺置候処大目付
今申出左之通^ニ 伺相濟候間取計可申旨類助被申達

一町方之もの共町奉行所^江 呼出御賞申渡候義相止大年寄宅^江 一
統呼出奇特之旨御賞共急度申達江戸表御普請も追々出来寄御

殿御棟上ヶ等も相濟恐悦之御事^ニ 候依之御酒被下候旨^而 吸
物肴式種御酒被下之尤加登屋源左衛門以下一統同様^ニ 可然
旨

但し極段奇特之もの共御取扱振之処猶亦追^而 之御評義^ニ 而
可然哉之旨

右之通被仰付候間早々取調可申大目付類助被申達候事

一宗永寺長屋住源吉妻相尋候義有之候^ニ 付明四日八ツ時受人指添指

出候様被相達候様寺社取次野条金平^江 及通用候処承知候由申来

一備中辺盜賊吟味として目明頭太兵衛指遣^ニ 付平目明宗藏も指添罷
越ス

三月四日 晴

一御藏米六拾匁 町米五拾六匁

一西新町稲屋彦兵衛義無抛用事^ニ 付大坂難波橋筋瓦町二丁目大や弥
兵衛方^江 往来廿日計逗留^ニ 罷越申度願書指出承届 同廿六日帰
届

一元魚町伊勢屋半四郎義当所^江 上方表^江 之町飛脚致度左候得^者 夫々
商売先之注文を以大坂大川町淀屋橋西詰和泉屋六郎兵衛方^江 年々
用事相調次第幾度^茂 往返仕度願書指出承届候

一配當場城美代義西新町歌都寺当時袖都懸合之義^ニ 付右之始末京内
藤檢校^江 申遣候処文通^ニ 而 相濟不申候^ニ 付上京致候様申越候^ニ 而
往来五十日計之逗留^ニ 而 罷越申度尤留守中之義は高野山東村左馬
都^江 相勤させ候間右之通申付候様願書指出承届 四月五日帰届

一西新町福住屋利八義石田平六組小頭西村平八役介治兵衛当卯貳拾
九才同人娘くし当五才右兩人役介^ニ 引受申度町内人別人願書指出

石田平六^江 引合之上聞届申達ス
一京町角屋利兵衛義借屋砂卯兵衛義相願妙願寺客殿^ニ 而 軍書并手島
学講釈之「昨日迄十一日相濟候処何卒今七日日延之義願書指出

伺之上聞届
一今日八ツ時宗永寺長屋住源吉妻呼出候^而 遂吟味尤請人指添

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付和四郎
出番嘉七平左衛門 目明頭初五郎

三月五日 快晴

一御用日ニ付登城

一御用所ニ而御用番御年寄十大夫殿御申渡大目付類助出席

及壹年候ニ付油方御用

久山勘八

御免被成下度并悴鶴藏江

家名相統為仕度段願書差出無余義趣ニ付

願之通被成御許容候尤数十年出情相勤候ニ付

是迄之通帶刀被成御免

油方御用出情相勤其上

親勘八数年之勤切も有之

久米屋
鶴藏

ニ付苗字門松被成御免

一西新町袖都義配當場城美代江相懸り願書指出候ニ付城美代江返答

書為致候処右一件ニ付京都内藤檢校江呼登候旨ニ而城美代上京願

差出候ニ付右荒増御用所江及尋右書類御用番十大夫殿江指出置ク

一下紺屋町是迄出火之節どら打候処右どら損候而取膳為致候処折節

半鐘払物有之候ニ付以後半鐘ニ替申度旨同出候ニ付右之段内々御

用番十大夫殿江相伺候処役筋存寄次第取計候様御申ニ付大目付江

も及沙汰置右半鐘取替之義申付候

一国分寺村伝治下人部屋江去月廿九日之夕六半時頃夕飯膳之間ニ盜

人入込候左之品々被盜取候由町触差出候様大目付被申達則町触差

出ス

一男着袷袴ツ 一はたはこ入 壹ツ

一紙入外ニ入共壹ツ 一柳こり 壹ツ

右ニツ之内ニ左之品々

一男着袷羽折袴ツ 一男着布子 壹ツ

一男着単物袴ツ 一男帶 壹筋

一男着古しゅはん袴 一小拍 壹本

一反古類品々 同十日無之候段届出

メ拾壹品 代メ六拾式匁位外ニ銀札八匁

一酒改三人分米相場今冬分追々高直ニ相成候ニ付是迄之酒直段都而

壹升ニ付壹分ツ、直高仕度旨願書指出尤以前与違イ当時ハ直段勝

手次第下直ニ致商売候様申付候義ニ候ニ付伺ニ不及直ニ聞届申達

ス

一奈良今井町墨屋伊兵衛手代源助与申もの例年之通墨筆白粉売ニ昨

日参り候ニ付逗留為仕度元魚町延屋三治宿切手指出ス 四月三日

届届

一來ル八日御用日九日ニ相成候旨大目付類助分通用有之類役江及通

用

一京町大村屋源右衛門義堺町三津屋平右衛門所持之他国受酒株去寅

三月相願借受商売候処限月来り候ニ付猶亦当卯三月分来辰ノ二月

迄借受商売仕度旨連印願書指出承届候

一京町高栄仲義用事有之ニ付江戸御屋敷内佐野惣左衛門方罷越申度

左候得者来ル十三日出立来八月中旬迄逗留仕罷帰申度旨願書指出

承届候

一坪井町益野屋弁助義備前磐梨郡田原下村文兵衛弟喜代八当卯貳拾八才此度私養子ニ引請申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人ノも別紙差越候旨願書指出候ニ付相伺候而聞届申達ス 同十九日住宅証文出ス

一近々御登駕被遊候ニ付先例之通明六日馬見分明後七日御道見分取計申度旨大年寄伺出候ニ付其通取計候様申付候尤出役之義小頭部屋目付江申付候

一久山勘八江明六日五半時役所江罷出候様直奉書差遣ス悴鶴藏義も同刻罷出候様大年寄江奉書差遣ス

一明六日五半時左之もの指出候様大年寄江差紙指遣ス

去月晦日之夕坪屋方江

腰物質置候罷越候もの

有之候処坪屋及断候由ニテ

持帰候由右之もの鳥散成

もの、由大目付今も人体面持等も見覚候哉

一応相尋置候様申事ニ付明朝呼出ス

西今町坪屋藤十郎

下人嘉兵衛

同町久保田屋

利右衛門

一牢舎在方之もの明朝敲取計候間右之手合取計置候様小頭江申付候
一先月晦日夜西今町坪屋方へ大小質入ニ持参候もの有之及断候処本源寺之方へ罷越候趣見請候もの有之候由定而坪屋面体なども相知可申候間聞札候様大目付江申來

三月六日 快晴

一今朝左之もの共敲取計無滞相濟候旨出役之もの共相届候

博奕宿致不届ニ付

百敵之上帰村

下横野村上組

喜四郎

利八

同村下組熊七

平次

右出役左之面々

御徒目付徳山左内 下目付組吉人

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎 出番平左衛門

右取計相濟候段御両所江相届候

一左之もの呼出左之通申渡書を以直ニ申渡候

願之通油方御免被成尤家名

悴鶴藏江相統為仕度は亦

御許容被成数十年出情相動候ニ付

是迄之通り帯刀被指免候旨

油方出情相動候ニ付苗字

門松御免被成尤親勘八数年

出情相動候訳も有之ニ付

久山勘八病氣ニ付

名代茂渡庄右衛門

久米屋鶴藏

右参合之面々左之通

下役彦左衛門 小頭利右衛門 大年寄源五兵衛

諸吟味助清右衛門 鶴藏申渡候節部屋目付立合藤四郎

右申渡相濟候旨御両所江相届候

一今日四ツ時より牢屋敷江罷越左之もの共遂吟味

光嚴寺外屋敷江岩治同道ニテ盗ニ

罷越候義決而無之旨強而申立候

右外屋敷江源吉同道ニテ

盗ニ罷越押取致候旨申口ニ付

源吉をも召取及吟味候得共不及同状仍

尚亦岩治嚴敢責問ニ及候処先日以來之申口全ク

宗永寺長屋住

源吉

孫兵衛勘当悴

岩治

右外屋敷^江参り候義無之候得共実正疑敷候^ニ付無廻

右之段申候得共偽之旨いか様不参之義実正之趣^ニ今日決ス

高松屋盜候次第逃候

及吟味

僧王岩

友藏

右出役左之面々

下役彦左衛門 小頭部屋目付兼和四郎

出番平左衛門 目明頭初五郎

一 今日穢多頭九郎右衛門病氣^ニて不罷出代人差出ス

一 宿馬見分先例之通取計相濟毛付帳巻册指出尤仕替馬も余り無之忝

正仕替候様^ニ申付候段小頭利右衛門部屋目付藤四郎届出候

一 御蔵米六拾匁 町米五拾六匁

一 御払米三百匁 荷札直米屋長菊

代正銀六拾匁八分九厘 町米准之

一 三丁目福永屋林右衛門又助右衛門今晚病死^ニ付右は川口藤十郎実

父^ニ付定式之通忌五十日引込候旨届出候右藤十郎義は見習之事ゆ

へ何方^江も御届^ニ不及候事当役所限承置ク

但し川口藤左衛門為^ニは候姉^江付藤左衛門^江ハ忌服等無

之旨是亦申出承置ク

一新魚町金井屋助一郎義用事有之京都麩屋町四条上ル近江屋七三郎

方^江廿五日計逗留^ニて罷越申度願書指出大年寄先例之通承届候旨

当人願書指出ス 四月二日帰届

三月七日 昼後雨

一 明日之御仏詣御風氣^ニ付御延引被仰出候旨中奥目付後藤郷助^江通

用有之候旨大年寄并御先私之もの^江申達ス

一新魚町金井屋助一郎義本郷所左衛門長屋住人清兵衛当卯六拾六

才同人妻さへ五拾九才同人悴又六廿三才右三人此度役介^ニ引請相

応之渡世為仕度町内人別人願書指出候^ニ付本郷所左衛門^江引合之

上聞届申達ス

一 茅町木屋幸八義御領分西々条郡二ノ宮村伊助悴友吉義当卯廿五才

此度役介^ニ引請相応之渡世為仕度町内人別人願書指出尤下方引合

相濟候旨^ニ付願之通承届

一新魚町作人亀吉義姉たけ当卯三十五才同人悴庄吉七才右兩人龍野

御預り所当国之内久米北条郡錦織村丈助妻子^ニ差遣申度左候ハ、

当所支配相離町内人別差除候様願書指出伺之上聞届申達ス

一 牢舎戸島村弥市事孫右衛門病氣^ニ付順番中村益庵診察候義申付候

三月八日 昼後晴

一 江戸御普請御用^ニ付西今町石工角屋宇助へ出府申付候旨御作事奉

行吉田文左衛門より通用有之

一 鍛冶町山形屋与治兵衛妻義并下紺屋町亀屋勘右衛門娘義心願有之

伊勢参宮仕らせ度尤来ル十日出立^ニて往来三十日計逗留罷帰り申

度右両町兩人より願書指出承届 四月十五日帰届

一 林田町上田屋久平義心願^ニ付伊勢参宮仕度往来三十日計之逗留^ニ

て罷帰り申度願書指出大年寄承届候旨当人願書指出候

一 牢舎孫右衛門義病氣^ニ付中村益庵療治申付候処中風之様体候由^ニ

付尋常之様子^ニも無之趣^ニ付容体書為差出今日様体書差出ス郡代

^江及噂置

三月九日 快晴

一 今日御用日ニ付登城

一 御首途御祝有之由ニ而御供之面々麻上下ニ而 出仕候由

一 左之面々今日左之通被仰付

中奥目付役

太田縫兵衛

中奥目付役御免

後藤郷助

一來ル十八日御発駕之節大年寄共同様見習齋藤久米治郎為御見立罷

出可申哉之旨御用番中江 相伺候処罷出候 而可然旨御申達ニ而 其段

大年寄源五兵衛江 申達ス

一 宗永寺長屋源吉義岩治引合候ものニて寺社方受取再応及吟味候

処盜筋携無之申立明白ニ付差戻可申旨御用番中江も申上且大目付

も右之趣寺社取次江 達有之候様申達候処早々達有之候ニ付野条

金平江 申談今七ツ時引渡可申申合置則左之もの共立合左之通申渡

ス

今般盜筋引合ニ付

宗永寺長屋住

牢舎源吉

再応及吟味候処盜携

無之全く岩治申懸ケ

候趣相分り疑無之候ニ付出牢手鎖指免寺社役所江 引渡候旨申渡

立合之面々

下役彦左衛門 小頭兼部屋目付藤四郎

出番嘉七勇藏

一 博奕吟味方佐藤八郎左衛門左之もの共揚屋入并ニ入牢申付候間

立合指出候様申来嘉七罷出入牢取計尤入牢手形認直候 而例之通相

廻又

揚屋入

下高倉村西分 社男丹治

同村 東分 是吉

同 和七悴菊治

同 惣兵衛下人音助

同 利兵衛下人島治

入牢

一 林田上ノ町茂八出牢申付候間立合指出候様郡代より申来勇藏罷出

取計候段届出候

一 材木町万屋与三兵衛家守清兵衛義箕打屋庄助悴七兵衛当卯廿八才

此度往来中間ニ被召抱候ニ付町内人別指除候様願書指出尤中間頭

も噂有之候ニ付願書承届候

一 船頭町米屋藤右衛門義要用ニ付伯州赤崎西紙屋佐兵衛方へ往来

三十日計之逗留ニて罷越申度願書指出承届候 同廿九日帰届

一 小性町ニ而 今津屋家守坂口屋平助義妻よし心願ニ付四国遍路ニ罷

出度左候得者 来ル十日出立往来百日計之逗留ニて罷帰申度願書差

出承届候 五月廿九日帰届

一 坪井町羽織屋九平右衛門義近江国伊香郡竹生島常行院役僧林瑞と

申僧当所用事有之昨日罷越候ニ付廿日計逗留為仕度願書指出承届

候

一 舟頭町高松屋平吉義林田上ノ町長兵衛借屋ニ居申候衆吉当卯貳拾

壹才此度役介ニ引受申度町内人別人願書指出承届候

一 二宮村三之助并作右衛門義去秋以来備中国上房郡卯廿村豊治新藏

与申もの日雇稼ニ指置候処去ル二月廿五日之夜左之品々取逃ケ仕

候ニ付触流願出候て例之通町触差出候様大目付類助々被申聴則町
触差出ス 同廿二日無之申出ル

一米式拾三升位 一大豆壹升位

一古米六合位 一銀札七拾三匁位

一男着単物壹ツ 一蒲団 壹ツ

一敷ふとん 壹 一木綿蚊屋壹たれ

一くり綿五百匁位 一脇指焼身壹尺五六寸

一焼鉄鑊 壹枚 一かみそり 壹

一といし 壹 一機櫃(つと) 壹ツ

一小桶 壹 一かまき 式ツ

一十六品 代メ百三拾八匁四分位三之助分

一よき 壹丁 一横切にとふのこ 壹

一ちやうちん壹張 一さるほふ 壹本

一小柄小刀とも壹本

但し赤銅にくろめもやふかにさし

メ五品 代メ拾四匁位

一本覺寺為修行当三月分来辰十二月まで夜念仏罷出候旨願相濟候由
寺社取次野条金平分通用有之大年寄江及樽置ク

三月十日 快晴

一 小性町烏屋与市義借屋ニ居申候赤穂屋庄之助去ル寛政十一未年相
願桶屋町桶屋市右衛門役介ニ引受罷在候処此度勝手ニ而森右兵衛
殿御領分播州赤穂郡西有年村弟左石衛門方へ罷帰申度左候得者当
所支配相離町内人別差除候様願書指出伺之上聞届申達ス

一 明十一日正四ツ時御供揃ニ而泰安寺江御仏詣被仰出候旨中奥目付

藤井嘉津馬分通用有之候ニ付大年寄并小頭江も御先払之義申達ス

一 牢舎戸島村孫右衛門義今般病氣ニ付出牢申付候間立合指出候様部

代より申来宇左衛門罷出出牢立合取計候段届出候

三月十一日 快晴

一 昨日被仰出候通正四ツ時泰安寺御參詣被遊御先払藤四郎宇左衛門

罷出無御滞相濟候段相届候

一 御用日ニ付登城

一 左之もの入牢申付候間立合之義佐藤八郎左衛門より申来和四郎罷

出取計候段相届

下高倉村東分

善藏粹
徳治

一 札元玉置卯左衛門妹播州鶴村平井八郎右衛門妻ニ候処昨日病死之
旨申越候仍而定式之通忌十日引込候旨届出候ニ付御両所江相届候

一 右者美濃出屋清右衛門姪之続ニ付是亦忌三日相懸り引込候旨相届

承置ク

一 明日御酒被下候内蔵合孫左衛門方之分札元共ニ候而役所出仕刻限
ニ指支候ニ付五半時罷出候様申達候旨孫左衛門より届出候ニ付賄

方江右之手合ニ取計候様小勘者内山藤大夫江申遣

一 元魚町紙屋助右衛門義妻召連西国順礼致度左候得者往來日数百日
計ニ罷帰申度旨願書指出承届候 六月十四日帰届

一 左之通大目付廻状到来組中江全文指出町触は十八日御発駕御規定
之御触達之節指出候而今日は不指出

火之用心 御発駕前堅申付当日八別而

一 酒之義堅相慎候様

一 御発駕之砌人込二而喧嘩口論無之様

一 左之通御奏者廻状到来

来ル十五日御発駕前御目見御徒格以上且又御目見相濟候拾五才

以下家督并部屋持猶亦小従人以上之隠居之面々麻上下十徳着用

五半時登城之事

三月十二日 快晴

一 今五半時揃二而蔵合孫左衛門宅二おゐて左之通左之面々江申渡吸

物御酒肴式種被下之尤昨日孫左衛門差紙を以申遣ス

斎藤孫右衛門 茂渡庄右衛門 川口藤左衛門

山本恒助 茂渡藤右衛門 玉置卯左衛門

山本三右衛門 川口如元 宮田喜左衛門

美濃出屋清右衛門 ム拾人

一 何茂指上物仕江戸御普請も追々出来寄恐悦之御事二而御酒吸物

被下之候旨申渡

一 右之下物者御賄方罷越候而取計尤前以大目付江右之通申達置候処

大目付江小勘者江達有之候由二付内山藤大夫江聞合も有之二付委

細人数等取調申達ス

一 小頭代り藤四郎諸事締のため同刻蔵合孫左衛門宅江指出頂戴之節

挨拶等之振合申含指出ス

一 四ツ時揃二而玉置源五兵衛宅二おゐて御酒御吸物肴式種被下置候

町人共六拾九人取計都而前件之通不殘頂戴八ツ時過相濟候而届出

候

一 孫左衛門源五兵衛両家二而被下之義取計相濟候段御用番中并大御

目付江相届候

一 今日忌中二而不參之面々左之通

玉置卯左衛門 美濃出屋清右衛門 川口如元

和泉屋庸蔵 福永屋林右衛門

一 明十三日四ツ時御供揃二而三ヶ寺左之通御順二て御參詣被仰出候

旨中奥目付助清水寛右衛門より申来夫々江申達ス

地藏院

泰安寺

本源寺

此分上二日可侍
一 鞠負殿先頃之被盜候腰物類小道具沓包ハ先頃宮川普請所二捨有之

候然ル処尚亦右残之大小類其外小道具類不殘大熊殿門下夕二捨有

之候由尤数日水二濡有之候趣二も沓品も紛失之品無之候間其旨指(ウツ)

心得置候様大目付類助沙汰有之先日鞠負殿江も右之段担申来候

一 深信院様御仏參例月之通御出被成御先弘和四郎平左衛門罷出無滯

相濟候旨届出候

三月十三日 昼雨

一 昨日被仰出候通三ヶ寺御參詣被遊御先弘源蔵和右衛門罷出無御滯

相濟候旨届出

三月十四日 快晴

一 左之もの共呼出吟味致候二付立合指出候様佐藤八郎左衛門江申来

出牢之方勇蔵罷出取計入牢昼廻り取計

下高倉村西分 丹治
同村 東分 音助

菊治
政治
是吉

德治

一 郷中寄七馬七疋指出候様人馬問屋より書付指出郡代江懸合置ク
一來ル十八日御発駕之節立宿左之通之旨書付指出ス

一 物頭

小豆屋
与平次

一 御徒目付
下目付

桶屋
乙吉

一 同心組
御先抔

戸島屋
伝吉

一 戸川町作人宇八義借屋居申候作人伊八去寅ノ正月月中旬備前吉田村
親類惣左衛門方へ罷越久々相勝不申毎度逗留願指出罷在候処右惣
左衛門方病人有之介抱得不致候ニ付当国之内久米南条郡神目村宇
之助与申もの右伊八親類ニ付猶亦彼方へ罷越及養為仕度今八十日
計逗留願書指出承届候 六月廿二日此上八十日逗留追願

一 勝間田町美濃屋伝七義近来不手際ニ付大坂上本町四丁目鐘屋嘉兵衛
方へ当卯ノ年より来ル巳ノ年迄奉公拜罷越申度尤留守中弟下紺
屋町藤助ニセ話為仕候旨願書指出承届候 文化七年今来ル申迄三
ヶ年延願承届ル

一 勝間田町栄屋与三左衛門義心願ニ付京都妙覚寺参詣仕度明後十五

日出立往来日数四十日計逗留ニて罷帰申度願書指出承届四月廿三日

一 徳屋多四郎義借屋ニ居申候治部屋松之助当卯廿七才同人妻みや廿
七才同人娘たか二才右三人広川八百平長屋江引越申度町内人別指
除候様願書指出候ニ付八百平ノ役所江案内有之候様申達置ク八百平より通

用有之同廿七日
日開届達文

一 林田町山形屋斎之丞義借屋ニ居申候八神屋清藏妻かや当卯四十才

此度双方得心之上離縁仕御城代組井汲又蔵渡り屋敷江為引越申度

町内人別除願書指出候ニ付又蔵より案内有之候様相達候様申達置

ク

三月十五日 快晴

一 御発駕前ニ付御家中之面々并部屋住且亦小従人以上之隠居之面々
迄御目見被仰付候旨五半時揃惣登城

一 御用日ニ付登城当役者御発駕前日御目見被仰付候ニ付今日御目見無之

一 御徒目付下目付御発駕之節京町立宿ニ不及候旨大目付江承合候而

相決候以来右之兩役立宿申付候ニは不及候段大年寄江達置

一 深信院様来ル十八日御仏参御延引被成候而十九日五半時御供揃両

寺御参詣被成候旨古谷嘉左衛門より通用有之大年寄小頭江相達
置ク

一 左之通御奏者廻状到来取組町触差出候ニ不及候

一 来十八日発駕被遊候ニ付御徒格以上且亦小従人以上之嫡子并二

男三男拾六才以上之面々晚七時登城先格之場所へ可罷出候由

一 福渡町浜屋源右衛門家守庄助義借屋ニ居申候大松屋茂兵衛并妻子

今般三浦志摩守殿御領分勝山金田庄右衛門方へ罷越当卯三月より

来巳三月迄三ヶ年之間出職稼^ニ罷越申度旨願書指出承届 限月来候間猶来ル酉迄と願書指出し聞届ル

一同町阿賀屋助五郎家守右助義借家^ニ居申候小兵衛後家きく悴巳助義当二月風^与家出仕候^ニ付方々相尋候得共行衛相知不申候段届出候^ニ付例之通百日尋申付候

一吹屋町釜屋市郎右衛門義用水水溜^ニ鑄物^ニて仕借上申度先頃願書指出候^ニ付相伺置候処今日願書之趣被仰付候間存寄次第^ニ仕立数拾仕立指出候様御用番中御申達^ニ付則右之趣申達ス

一来ル十八日御発駕^ニ付当役出役立宿茂渡藤右衛門^江申付候段届出当人も為案内来

一御発駕之節寄馬七疋取計呉候様問屋分願出候旨大年寄申出候^ニ付郡代^江申談置

三月十六日 風

一御用日日勤^ニ付登城

一来ル十八日御発駕^ニ而先例之場所へ出役其外都^而先例之通取計候旨御用番并大目付^江及御さた

一御発駕前夜左之町々関貫小門開置立番付置候段届出候^ニ付御両所^江及御届

材木町 壹ヶ所 二階町 二ヶ所

元魚町 二ヶ所 戸河町 壹ヶ所

鍛冶町 壹ヶ所

一十八日出役^ニ付御貸人馬之義大目付^江達置ク

一御発駕当日同心組加入者人取計候様小頭分申出候^ニ付大目付^江達

置ク

一来ル十八日同心組役割左之通小頭分指出

御先払^{小頭利右衛門 嘉七 勇藏} 掃除見分^{和右衛門 林平}

京町人留源藏^{勇藏} 供之分兩人^{宇左衛門 使組加入}

明ヶ番藤四郎 当番平左衛門 夕番和四郎

一備中辺^江盜賊吟味として目明頭太兵衛并平目明宗藏去ル朔日立^ニ

て指遣候処今日罷帰り盗人友藏高松屋^ニ而盜取候品々盗物之分致

内済^ニて取帰候旨届出候

一鍛冶町鍛冶利左衛門義脇坂中務大輔殿御預り所当国内勝南郡瓜

生原村弥平次悴弥吉当卯三十九才同人妻いせ三十七才右兩人役^ニ

引受申度住宅之義願書尤向方村役人より別紙指越候旨願書指出

伺之上聞届申達ス 四月六日住宅証文出ス

一来十八日御発駕^ニ付寄馬七疋相廻候様郡代へ及対談置候処猶亦今

日雲州先触到着^ニて十八日通行之馬荷五六疋も有之候^ニ付甚指支

候間此上式疋増都合九疋在馬寄取計候様問屋願出候旨大年寄申出

候^ニ付尚亦郡代^江申遣候処指出候様可申付候旨申来

三月十七日 晴風

一御用日并今日御目見被仰付候^ニ付麻上下着用四ツ時登城

一於御座之間三奉行一同御目見被仰付御家老主膳殿御取合有之候処

是^江与御意有之説劍^ニ而壹人ツ、御側罷出候処御手熨斗被下之末

座迄順々相済候^而一統御礼申上候節息才^ニと御意御座候^而一同退

座

一御用日御留守中三八ニ相成御飛脚仕舞八日廿三日御定日ニ候旨勸定奉行通用有之

一明十八日寅ノ中刻御発駕被遊候旨中奥目付出九大夫より通用有之一妙願寺ニおゐて後藤一山軍書講釈昨夜限ニ而相濟候旨届出候ニ而右之段御両所江相届候

一明朝御発駕ニ付大年寄藏合孫左衛門出役可仕候処不快ニ付不參候旨届出候ニ付其段大目付類助申遣ス

一御前江被為召候而御用談被遊御留守中「」被仰出候

三月十八日 快晴

一今朝御発駕ニ而晚七ツ時供揃ニ而七半時頃出宅立宿茂渡藤右衛門宅江罷出相揃候処松之段注文八半時頃有之候ニ付早々供相揃候処京橋御門注文ニ而拝顔先例之場所罷越候処無程御通行候趣御奏者付御徒坂井万平罷越候ニ而出役仕候段相述候而扣罷在御打物之所ニ而下座仕罷在候処御駕籠所御供頭市村九助名披露之節平伏仕候而諸事無滞相濟

一大年寄左之面々是亦先例之場所江罷出都而先規之通

齋藤孫右衛門 玉置源五兵衛 齋藤久米治郎

一大押海老原極人殿通行迄扣罷在候処中小性罷越候而御用ニ付会釈無之旨申来候ニ付入御念候旨及答

一右御役行烈通相濟候而引取尤先例之通引取懸ケ御年寄御用番十大夫江罷越町分御通行無御滞相濟候段御届ノ上大目付類助江以使右之段「」都而御発駕之次第無御滞相濟

一坪井町小倉屋百々吉家守鶴屋弥七義借屋住唐屋藤吉養子平兵衛并

妻いよ娘三人去ル寅ノ十二月相願引受罷仕候処相方得心之上離縁

仕御代官塩谷代四郎殿御支配当国之内吉野郡川上村親元与三右衛門方へ指返申度当所支配相離町内人別差除候様願書指出伺之上聞届達ス

一御発駕ニ付大年寄札元其以下町年寄迄恐悦廻勤先例之通帳付罷越ス

三月十九日 快晴

一深信院様五半時御供揃ニ而両寺御參詣被成候ニ付御先弘嘉七勇藏罷出無滞相濟候段相届候

一御蔵米五拾九匁 町米五拾五匁

一安岡町橋留屋喜之松義因州八東郡安井村新治郎娘つね当卯三拾貳才此度妻ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人よりも別紙指越候旨願書指出候ニ付伺之上聞届申達ス 四月八日住宅証文出ス

一伏見町江田立齋義去子ノ三月相願医「」修行ニ京都江罷越猶亦翌年丑ノ年日延願指出候処此度罷帰候旨願書を以届出承置

三月廿日 昼後曇

一新職人町安田屋伊吉并滝本屋庄藏組合ニて先頃歩役五日申付置候処不快ニ付昨日迄ニて右日数相濟候旨御作事奉行并大年寄より届出御両所江相届候

三月廿一日 雨

一牢舎豊治義不快ニ付服薬之義牢番より願出候ニ付大年寄江申付候処順番吉武修格江申付診察候処時季当リニて候得共難捨置候旨申

出候ニ付服薬之義申付候 四月四日休業

三月廿二日 晴昼後雨

一堺町小坂屋平兵衛義先頃京町砂屋宇兵衛相願候妙願寺ニて軍書并手鳥学講釈右講釈師後藤一山風邪ニて逗留罷在候処今度引受徳守神主小原丹波方ニて晴天七日右講釈為仕度旨願書指出寺社取次江も引合伺之上聞届申達ス

三月廿三日 快晴

一御用日ニ付登城

一毎月三日十八日七間廊下ニ講釈有之候旨大御目付より達有之候旨勘定奉行辰右衛門より通用有之

一夏秋中足袋相用申度伺書辰右衛門江相頼指出候処伺之通被仰付候旨同人より申聴候

一湯谷村忠兵衛去ル十日之夕左之品々被盜取候由触流指出候様大目付達有之候ニ付則町触差出 四月八日無之段届出

一木綿しほり小紋類 拾四五反

一 小倉島帯地 六筋 代式拾八匁八分

一 羅せ板赤地腰着 壹本 代三匁

一 小倉島腰着 壹本 代壹匁

一 さすか小刀 貳本 代三匁五分

一 懐中鏡 壹ツ 代式分五厘

一元魚町からし屋文吉義商用ニ付大坂大川町綿屋義兵衛方江往来三十日計之逗留ニて罷越申度願書大年寄聞届候旨兩人願書指出ス

四月十六日帰届

三月廿四日 晴

一 無別事

三月廿五日 折々雨

一 鍛冶町鍛冶太兵衛義吟味筋有之候ニ付昨夜手鎖懸ケ組合預ケ申付候旨佐藤八郎左衛門より通用有之

一 西新町中島屋袖の都義所持之家屋敷表口三間裏行十七間御役半役右ハ八ヶ年以前申正月右家屋利右衛門取次ニて質物書入銀札百五拾匁借受候処元利共相済し受返シ候旨届書を以届出承置ケ

一 鍛冶町鍛冶太兵衛義久々病氣ニ罷在候所今般博奕吟味方手鎖懸ケ組合預ケ申付候処手鎖之義甚病氣ニ指障り候間組合共ニて急度預り置可申候間手鎖指免呉候様歎書指出佐藤八郎左衛門江も内分相移候処強ニ病氣之様子ニも無之候ニ付右手鎖申付候由申事故歎書難取上ケ指戻候様大年寄江申付候

一 郡代十郎左衛門今日他行ニ付受持候様頼来候得共留守中御用向無之

三月廿六日 快晴

一 広川八百平より材木町治部屋松之助義長屋指置申候旨通用有之

一 左之もの牢番預ケ申付候間立合指出候様十郎左衛門分申来勇藏立合罷出取計候段相届候

上田邑村北分
弁藏

一 昨夜左之もの共左之通申付置候旨佐藤八郎左衛門分通用有之

組合預ケ 新魚町河本屋 初五郎

手鎖懸ケ 同町 備中屋 兵吉

組合預ケ

河原町中野屋 利七

（他行ニ付組合 尋申付置ケ

東新町江戸庄事 庄助

一左之もの町方ニ而致小盜候ニ付昨日非人共江預ケ置今日目明頭太兵衛罷越候而一応内吟味いたし候処去ル十五日より東新町延屋方ニ「宿致候而昨日迄罷在町方所々ニ而盗いたし候旨申口ニ付昼廻り岡山広瀬町三津屋文治郎悻當時計候段届出候

一右入牢申付候段御両所江相届候

一新魚町目明頭三巴初五郎義去ル丑十一月目明頭役申付置候処近年（病臺訂正の跡あり）病臺相成候而役義難相勤候ニ付役指免候様願書指出候尤近来風聞不宣今度も誕生寺ニて博奕携も有之候ニ而博奕吟味方より組合預ケ申付候程之義ニ而是等之趣ニて役願も指出候事ニも可有之候ニ付早々役義指免候而可然旨御用番十大夫殿へ右願書指出相伺置ク

一伏見町小坂屋善兵衛義借屋原亭運悻順平義病氣ニ而去ル寅十二月借牢願ニて入牢為致候処追々快當時平生ニ罷成候ニ付出入願書指出伺之上聞届達ス 廿九日出牢

一藏合孫左衛門義御領分河辺村土居辰五郎弟多三郎当卯二拾才此度

役介ニ引受申度町内人別人願書指出郡代引合ニ而伺可申哉与申談候処伺ニ及候間敷旨申聞候ニ付先達而立石広助娘久山勘八養女ニ（三月廿六日の見聞きに誤記なれど）貫候節相伺之義有之趣申談候処其節之義間違ニて聞届

宣ニて可然旨申聞候ニ付今度は及相伺候而引合之上聞届四月三日同役加判源五兵衛江申達ス

三月廿七日 曇

一新魚町三巴初五郎義博奕吟味より組合預ケ申付有之候処今晚相見不申候ニ付近辺相尋候得共居不申出奔仕候哉ニ被存候旨大年寄へ届出候間仍而稠敷尋申付候段届出候尤右之段佐藤八郎左衛門も通用有之尋之義申付候様申来

一今昼左之もの共呼出候而左之通申付候段八郎左衛門より通用有之

入牢 新魚町備中屋 勘七悻 兵吉

手鎖組合預ケ候処 鍛冶町鍛冶 太兵衛

手鎖指免組合預ケ

一左之もの博奕吟味方ニて吟味筋有之候而可召捕候処他行致候而組合共江博奕吟味方より尋申付有之候処当人共行方相知不申候段申出候間稠敷尋申付呉候様八郎左衛門より申来其段急ニ尋出候様大年寄江申付ル

河原町中野屋 利七

東新町江戸庄事 鍛冶屋 宇兵衛

一斎藤孫右衛門悻久米治郎義用事有之候ニ付勝山表江十日計之逗留

ニて罷越度旨申出候ニ付承置ク 四月十日帰届

一 目明頭初五郎義近來病身ニ付役免願指出候ニ付風聞も不宣候ニ付指免候ニ可然旨昨日御用番中江相伺置候処何之通役免申付候様御申越ニ候得共今晚出奔之趣届出候ニ付役免之義不申渡候右之段十大夫殿へも申達ス

三月廿八日 晴

一 御用日ニ付登城

一 左之もの博奕致候ニ不届ニ付左之通敲取計候様御用番十大夫殿御申渡大目付類助侍座

下高倉村東分

是吉

同和七伴

菊治

同惣兵衛下人

乙助

同利兵衛下人

島治

五十敲掃村

同利右衛門下人

清治

右者 来月二日取計候旨御用番并大目付へ相届置ク

一 表組上田治兵衛相願候ニ入牢致居候狂女ふん此節快御座候ニ付出牢之義相願候ニ御聞届相済候尤古市準人今も懸合有之候間出牢取計候様大目付類助分達有之

一 目明頭初五郎義博奕吟味方ニ去ル廿五日之夕組合預ケ申付有之候処廿六日ニ役免願書指出既ニ廿七日役免聞届候様御用番分申来

候ニ付可申達候処廿七日晚逃去候ニ役免之義不申渡候段御用番江

申遣候処今日組合預中右願書指出候義如何成もの哉之旨御用所ニも御さた有之如何心得罷在候哉与 大目付申聴ニ付兼願書は指出有之候処右体組合預ケニも相成候事故別ニ取急願書指出候義ニて候得共いヶ様当人慎ニ願書指出候段役筋ニて指おさへ候筋ニも可有之候処不心付候間差扣ニても相伺可申申談候処何出ニは及不申候以来ハ博奕吟味方ニて組合預ケ等申付候義御用番并大目付江相届候様可取計旨類助申聴候

一 美濃職人町沢田屋善藏義所持之家屋敷去ル寅ノ九月相願山形屋与治兵衛取次ニて質物書入銀札式貫目借受候処此度元利相済請返候旨届書を以届出承置ク

一 林田町升屋甚兵衛義当卯五十式才妻四十七才伴長十郎式拾七才同平吉拾五才右家内四人とも林田林千種屋藤兵衛借屋江引越申度町内人別差除候様願書指出承届

一 当年出羽守様当所玉置源五兵衛御止宿ニ付右御本陣御座敷向大破候処御取膳候義申立置候処今日大目付類助被申聴候者当年之処は御初入之義ニも候間格別見苦敷所御目障り場所ハ少々御取膳も被下候得共以来は右難渋候段雲州様江相歎表御手当も無之候ハ、当所右家之分向方様役人見分も有之候ニ御本陣替へ之義向方様江申込候間可然候旨兼ニ指心得随分相歎候ニも可然由今日被申聞其段源五兵衛江申達置候事

三月廿九日 晴

一 伏見町小坂屋善兵衛借屋原運亭悱順平出牢為致候ニ付立合和四郎

罷出出牢取計家主組合等^江引渡候段届出其段御所^江相届候

三月晦日 雨

一 例月之通三ヶ所番賃限相渡ス

一 伏見町備前屋武之助家守吉田屋半兵衛義借屋居申候ゆらと申者当

卯式拾九才此度備前岡山紙屋町いわしや吉藏方当三月より来辰之

三月迄奉公ニ罷越申度願書指出承届候 辰四月二日猶又同家ニ来

已三月迄奉公致度旨願書差出承届候

一 元魚町二文字屋清治郎組合平三郎義組合清治郎商用ニ而去ル二月

出立四十日之逗留京都烏丸六角下ル二文字屋九兵衛方へ罷越居申

候処未用事相濟不申候ニ付今九日計逗留追願指出承届候

一 上紺屋町渡辺元端義倅三隅去ル子五月相願其後又候追願当卯四月

迄医術為修行京都清水正輔方へ指遣候処此度無滞罷帰候趣届書を

届出承置ク

一 堺町稲実屋義七郎義役介半藏相勝不申候ニ付為保養去ル寅九月心

願当三月迄江戸五島近江守殿内佐藤与右衛門方へ差遣候処今迄ケ

年保養為仕度来辰三月迄逗留願書指出承届

一 安岡町和田屋弁助義娘つね当卯廿一才此度御領分林田村甚兵衛妻

ニ指遣申度町内人別指除候様願書指出承届候

御家老 安藤丹後殿

御年寄 大橋十大夫殿

大目付 上原彦藏

大年寄 蔵合孫左衛門

諸吟味 宮田喜左衛門

四月朔日 雨

一 吹屋町古川屋佐市義備前和氣郡矢田村与平次倅徳助義当卯三十八

才此度役介ニ引受相応之渡世為仕度当所住宅之義願出尤向方且那

寺并村役人より別紙差越候旨願書指出伺之上聞届申達ス 五月四

日住宅証文出ス

一 材木町川島屋彦左衛門義大久保安芸守殿領分当国之内久米北条郡

通谷村医師國島順節後家当卯六拾九才右親類ニ付此度役介ニ引受

申度当所住宅之義願出尤向方且那寺并村役人よりも別紙差越候旨

願書指出伺之上

一 明二日郷中之もの敲取計候間手配致置候様小頭^江申付候

一 徳守宮神主方^ニ而大坂後藤一山軍書并手島学講釈昨夜限^ニ而日数

相濟候旨堺町願主小坂屋平兵衛届出右相濟候段御所^江相届 同

十日帰届

一 博奕吟味方佐藤八郎左衛門より左之もの博奕差口之もの^ニ候間手

当申付候様申聞候ニ付早々組合預ケ申付置候様大年寄^江達候処左

之趣之由届出候

去月廿二日他行願候^而未帰り不申候由

西今町高砂屋 金兵衛

(二三)日已前在方へ
商用ニ出未帰り不申由

福渡町伊賀屋
借屋住左太郎

右之通ニ付急ニ尋出し候様申付置候段大年寄相届候ニ付其段八郎
左衛門へも及通用置ク

四月二日 晴

一今朝牢屋敷ニ而左之もの共敲取計

博奕毎度致参会

下高倉村東分

是吉

不届ニ付百敲之上

同村利七伴

菊治

帰村

同村宗兵衛下人

乙助

同村利兵衛下人

島治

博奕参会不届ニ付

同村利右衛門下人

徳治

五十敲之上帰村

右立合出役左之面々

御徒目付山本弥七 下目付彦人 小頭利右衛門

部屋目付藤四郎 出番勇藏

一右取計相済候段御所江相届候

一下高倉村社男丹治義揚屋入候処出牢申付候間立合之義郡代分申聞

今朝之出番出役勇藏取計候旨相届

一山本恒助義要用ニ付京都麩屋町近江屋七三郎方へ往来日数廿五日

計之逗留ニ而罷越申度願書指出伺之上聞届達ス 同廿五日帰届

一西今町ニ而野浪屋新四郎所持之屋敷地東西六間半南北九間半右新

四郎義先達ニ而町追放ニ而右組合共今此度相統之上代銀札六拾匁ニ

相極町内藤野屋彦助江売渡申度願書指出承届ル 五月七日家売券

状出ス

一鍛冶町鍛冶六太郎義妹しも当卯式拾三才右者寛政二戌年御領分西
北条郡田邑村河原平助方へ養女ニ指遣置候処今般離縁仕立帰申候
ニ付町内人別差加へ候様願書指出承届候

一三町目佐和屋孫四郎義娘備前津高郡金川村江田吉治郎妻りわ昨晚
罷越候ニ付三十日計逗留為仕度旨願書指出承届ル 同廿六日帰届

四月三日 晴

一御用日ニ付登城

一於御用所御用番御年寄十大夫殿左之通御申渡大目付彦藏侍座

度々博奕致参会

上田邑村北
弁藏

不届ニ付五十敲帰村

一右之段郡代申談候ニ而来ル五日取計候段御用番并大目付江相届候

一七間廊下ニ而論語講釈大村成夫相勤候ニ而御用所初出席

一先達ニ而上田兵藏借牢狂女ふん賄料段々滞居申候処去寅ノ三月今当

卯三日晦日迄之賄料銀札八拾四匁六分伊藤主水分相廻候ニ付小頭

江相渡ス

一福渡町阿賀屋助五郎家守忠助義借屋もの徳兵衛義去子四月相願撰
州大坂老松町升屋平兵衛方江奉公稼江罷越候処当春ニ至候ニ而帰

り不申平兵衛方へ尋ニ遣し候処去月当所江帰候様申候ニ而向方罷出

候旨申越候ニ付心懸り所相尋候得共今以行方相知不申候旨届書指

出候ニ付例之通百日尋申付候

一中之町秋田屋宗兵衛義所持之自国受酒株去二月相願元魚町亀屋弥

七江貸置申候処限月ニは無之候得共双方勝手ニ付差戻旨断書指出

承置ク

一西新町久米屋清助義中ノ町秋田屋惣兵衛所持之自国請酒株去寅三月相願借受商売候処限月来候得共猶亦当卯四月ノ来辰ノ三月迄借受商売仕度旨願書指出候ニ付承届

一福渡町阿賀屋助五郎家守忠助義借屋者甚吉母とく当卯七拾九才此度脇坂中務大輔殿御預所久米南条郡川口村与平次方へ引越し申候ニ付当所支配相離町内人別指除候様願書指出伺之上聞届

一右同町同人家守万五郎義借屋ニ居申候嘉兵衛娘きみ当卯六才此度脇坂中務大輔殿御預所当国之内久米北条郡南方中村千之助方へ養女ニ遣度候ニ付当所支配相離町内人別指除候様願書指出伺之上聞届

一船頭町川口屋清八義布施孫三郎殿支配所当国之内吉野郡粟井中村甚八娘なみ当卯式拾九才此度妻ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人江も別紙指越候旨願書指出伺之上聞届 同十日住宅証文出ス

一二階町三保屋重右衛門家守関屋伝治義雲州秋鹿郡大垣村五右衛門伴治助当卯四十五才六年前以前戊二月住宅相願借屋ニ居申候吉本や友治役介ニ引受罷在候処此度右治助父五右衛門方へ差戻申度候ニ付当所支配相離れ町内人別指除候様願書指出伺之上聞届

一牢舎豊治病氣ニ而先月ノ吉武修格療治之処追々快氣ニ付休業為仕候旨修格申出候旨大年寄ノ相届尤牢番ノ届出候

一明日郷中之もの敲取計候間右之手当致置候様小頭江申付置ク
一博奕吟味方ノ三巴初五郎義組合預ケ申付有之候処去ル廿六日之夕

取逃候ニ付嚴敷尋申付置候処方々相尋候得共行方相知不申候段届出候ニ付取逃候始末組合共大年寄ニ而為相糺候処其夕当番孫三郎七三郎ニて有之小弁ニ罷出候由ニて逃去候旨組合一同口書差出ス追而答之義可相伺候事

四月五日 快晴

一今朝左之もの敲取計立合出役左之面々

度々博奕致参会不届 上田邑村北
ニ付五十敲之上帰村 弁蔵

御徒目付山本弥七 下目付彦人 小頭利右衛門

部屋目付藤四郎 出番源蔵

一右取計相済候段出役より届出候ニ付則其段御用番并大目付江相届候

一元魚町かめ屋弥兵衛義当卯四拾壹才此度撰州大坂大川町綿屋義兵衛方江当卯年今来ル巳年迄三ヶ年之間奉公稼仕度旨願書指出承届候 同七月二日病氣ニ付帰届ケ

一河原町福田屋勘兵衛義備前赤坂郡小倉村長十郎与申もの当卯四十三才右長十郎日雇稼ニ罷越居候処相願内縁之ものニ付去ル二日罷越候ニ付早々医師北山修伯江療治相頼候而向方同人弟定右衛門早速参介抱仕候内夜前四ツ時頃相果候ニ付右定右衛門相頼候ニ付旦那寺福泉寺江取葬仕度旨願書并北山修伯容体書弟定右衛門葬之義相頼後年申分無之一札取之右書類差出候ニ付願之通承届候而も可然哉之旨御用番十大夫殿江相伺候処無程宜取計候様御申達ニ付願之通承届候段大年寄江申付候

但し右他郡之もの当所^ニ而相果候得ハ死骸見分等差出在所
江為懸合之義^ニ心得とも死人親類等居合せ候^ニ付^而者見分

指出^ニも及不申先方懸合^ニも不及右親類一札為差出候上^者
願之通承届候^而可然先例も有之^ニ付其段委敷御用番中^{江茂}

申遣候処御存寄も無之宜取計候様^ニと御達有之

一 右願之通承届候様何相济候^ニ付其段大御目付^江相届書類不残相廻
ス寺社取次^江も何相济候間福泉寺より申出候ハ、宜敷取計有之候
様申遣置ク

一 泰安寺成道寺紛失物有之届出候間例之通触流取計候様大目付彦藏
より申来町触差出ス左之品々

一 真鍮鶴龜蠟燭立 壺ツ

一 同牡丹形花立 壺ツ

一 唐金香炉 壺ツ

右泰安寺之分

一 鑰石茶湯器 壺対

右成道寺之分

右之品々質屋頭道具屋頭心当り無之候段同廿日届出候

四月六日 快晴

一 今九半時揃^ニ而牢屋敷^江罷越左之もの共及吟味出役之面々左之通

孫兵衛勘当之悴

岩治

牢舎

岡山広瀬町三津屋

元治郎悴当时無宿

喜三郎

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉七
出番和右衛門勇藏

一 舟頭町瓜生原屋弥吉借屋住孤独藤助両三日不快之処病氣指重り候
旨大年寄より相届候

一 河原町福田屋勘兵衛方^ニ而致病死備前小倉村長十郎昨夜四過頃福
泉寺^江相葬候段届出候旨大年寄より相届候

一 御蔵米五拾八匁 町米五拾四匁

一 舟頭町孤独藤助義致病死候段届出候^ニ付例之通大保頭見改として
差遣候処近辺組合共病中致深切候趣^ニ有之候段大年寄より相届候

^ニ付病死之段承届取捨勝手次第可申付旨大年寄^江申達ス追^而夫々
江相届候事

四月七日 快晴

一 御普請役大越用助同検見習渡部伊平次川々御普請所再見分御用^ニ

付国々相越候御証文并先触之写指出今日通行之旨申出候得共泊付
写無之候^ニ付泊付指出候様申付候然ル処右泊付帳も有之候得共不
写取候併昨夜足之山村泊^ニて今日当所通行瓜生原^江被越候由申出

候^ニ付先例之通保頭先扨同心組兩人見^江隠れ警後指出可申候間夫
々取計候様大年寄^江申達ス

一 今日嘉七勇藏昼廻り^ニ付右通行出役尤道筋は皿村高尾村分罷越候

^ニ付川向広瀬橋^江相懸り候趣^ニ付今町^ニ立宿申付候由大年寄分届
出候

一 右御普請役通行取扱之義先例之通取計置候^而其段御用番中^江申上
候処無程御承知之旨返書来大目付^江も右先触差出ス

一 九半時過右御普請役無滯通行相濟候段出番兩人より相届尤道筋は
広瀬橋今蘭田町本町通り東新町百間藪肩横丁古手^江通行有之候旨
届出ル

一 左之もの共先日以來博奕吟味方^ニて吟味筋有之候由^ニ付殿敷尋申
付置候処右組合共より何も行衛相知不申候段届書を以届出候^ニ付
其段佐藤八郎左衛門^江も及通用

東新町鍛冶屋
宇兵衛

河原町中野屋
利七

西今町高砂屋
金四郎

福渡町阿賀屋
借屋住左太郎

一 東新町錢屋定七義町内玉屋伊左衛門所持之自国受酒株去ル寅四月
相願借受商売候処限月来候^ニ付尚亦当四月より去ル午三月迄丸三
ヶ年之間借受買売仕^(ママ)度旨連印願書指出承届候^{勝手ニ付取又断書出ス}
一 桶屋町大坂屋京右衛門義先達^而借屋居申候歌屋いと同人倅安之丞
右二人請人戸川町中屋庄兵衛同福渡町木暮屋藤吉兩人^江引渡人別
は矢張桶屋町人別^ニ候処右いと義三年越^ニも相成候得共外借屋借
受不申候^ニ付毎々請人^江相尋候処近年不計罷出一向帰り不申出奔
相届具候様受人親類申之候^ニ付相届候旨届出候^ニ付例之通百日尋
申付ル

四月八日 朝雨夕風

一 御用日^ニ付登城

一 三巴初五郎義組合預ケ中出奔致候^ニ付右組合相糺口書指出候^ニ付
左之通咎之義相伺候処伺之通被仰付

追込七日

初五郎組合
当番 孫太郎
新吉

追込三日

同 龜吉
なり
重吉
同町 年寄三人

急度叱

一 左之もの共博奕吟味方^ニ而吟味筋有之候処他行致候^ニ付尋申付置
候処行方不相候旨猶亦届出候^ニ付左之通相伺候処伺之通被仰付

百日尋申付方一
右日数之内不尋出
候ハ、過料五百文
ツ、差出させ候事

東新町鍛冶屋
宇兵衛
河原町中野屋
利七
西今町高砂屋
金四郎
福渡町阿賀屋
借屋住左太郎

一 目明頭兼^而式人扶持切^ニ而^茂勝手向甚難決之趣内々相聞既^ニ太兵
衛なども役義難決之趣^ニて役願も指出候由^ニ候得共少々手当指遣
不申候^而者 役願指留かたく候^ニ付色々相考候^而役手之もの^江も申
談候処老夜泊旅人頭錢三錢為取候得^者年分之処^ニてハ余程益^ニも
相成候由且亦旅籠屋共^茂近來風義悪敷風来もの連日指置候様之義
有之旁締り^ニも宜候間。今日御用所^ニて及御さた候処考通^ニて可

然旨御用番中御申聞ニ付追々取調右之通可申付候事

一西今町井口屋六右衛門菱屋治兵衛兩人立願ニ付伊勢參詣仕度尤日
数三十日計逗留ニて罷帰申度旨連印願書指出大年寄承届候旨当人
願書指出ス 五月九日帰届

一戸川町作人源治義所持之家屋敷表口三間裏行拾間御役六歩右之家
屋敷京町砂屋宇兵衛取次ニて質物ニ書入来ル七月切八歩之利足ニ
相極銀札百匁借受申度願書指出承届候 同九日本証文出ス文化七庚午
二月十一日

請返し届
書出ス

一牢舎友藏義牢内ニて大声等致候ニ付牢番分相慎候様申付候処法外
之義申之相用ひ不申段届出候ニ付番和四郎平左衛門指向候而不
届之段申渡足かせ申付置ク

四月九日 昼後曇

一今四ツ時大年寄孫左衛門宅江左之もの共呼出昨日伺相済候通追込
叱等申渡

追込

三巴初五郎組合

孫三郎

新吉

亀吉

なり

重吉

右町 年寄共

急度叱

右立合指出

小頭利右衛門 部屋日付嘉七

一右申渡取計候段御用番并大目付江相届候

一惣社村善七俵六治牢舎預ケ申付候間立合指出候様郡代より申来出
番和右衛門罷出入牢取計候段届出候

四月十日 曇

一堺町年寄三津屋平右衛門義今朝病死仕候段届出候段大年寄相届

一大年寄玉置源五兵衛義実家弟堺町三津屋平右衛門義致病死候ニ付
定式之通忌半掛十日引込候段届出候ニ付御用番中并大御目付へ相
届候

届候

一桶屋町山城屋六兵衛義松尾藤吉長屋者伊右衛門娘くま義当卯三拾

四才此度養女ニ引受申度町内人別指加へ候様願書指出候ニ付藤吉

江引合候処相違無之旨ニ付聞届達ス

一元魚町久里屋喜兵衛義妹たか当卯廿四才此度郡代下代木村伝平妻

ニ差遣申度ニ付町内人別指除候様願書指出十郎左衛門へ引合候処

向方へも願出候旨ニ付聞届達ス

一斎藤孫右衛門義備中松山安延業助俸留三郎用事有之昨夜罷越候処

親類ニ付廿日計逗留為仕度願書指出承届 同十九日帰届

一東新町備前屋善太郎義御領分東北条郡綾部村源兵衛娘しも当卯式

拾四才此度妻ニ引請申度町内人別人願書指出承届候

一東新町鍛冶屋宇兵衛河原町中野屋利七西今町高砂屋金四郎福渡町

左太郎何も家主組合共へ百日尋申付若不尋出銘々過料申付候旨申

渡し候処右四人之家主組合共請一札今日大年寄より指出ス

四月十一日 雨

一勝南郡為本村法性院^与 中山伏真賀温泉より帰懸ケ相煩歩行不相叶
院庄村へ送り來候ニ付村繼承届候旨郡代十郎左衛門分通用有之候

ニ付大年寄^江申達候処大年寄より新田村分安岡町へ送り來候段届
出候間別紙夫々を以相伺候旨申出候ニ付承届候段申達ス

一古市華人組上田治兵衛相願候^而 借牢為致置候狂女ふん義今日出牢
為致度候間立合指呉候様準人より申來候ニ付立合藤四郎罷出候^而
出牢取計治兵衛并右ふん夫岩助^江引渡候段届出候ニ付其段御用番
中并大目付へも相届候

四月十二日 快晴

一新魚町三巴初五郎組合左之もの共昨日迄追込三日ニ相成候ニ付今
朝指免候旨申達置候処申渡取計候段届出

龜吉

なり

重吉

右追込指免候段御用番并大目付^江相届

一牢舎新魚町備中屋甚七倅兵吉呼出致吟味候処立合指出候様佐藤八

郎左衛門分申來出番平左衛門罷出出牢取計相届候宇左衛門入牢之

節罷出

一東新町佐伯屋与惣兵衛義弟茂三郎当卯廿六才兼々不所存ものニて

親類組合辺々異見相加へ候得共相用不申其上去ル七日家出致候ニ

付心懸り之処相尋候得共居所相知不申右体不行跡ものニ付於何方

欠落之義仕出候義も難計候ニ付義絶勘当仕度旨親類左之もの共連

印願書指出伺之上聞届 同十八日本証文出ス

從弟

(二階町阿賀屋
多三郎
材木町三家屋
高右衛門)

一新魚町備中屋甚七倅兵吉義吟味詰口書取之佐藤八郎左衛門分相廻
ス

一鍛冶町鍛冶太兵衛義先頃以來組合預ケ申付有之候処全く人意^{ハズ}之処
相違無之候ニ付今日組合預ケ指免候段右同人より申來候大年寄よ
りも右之段相届ル

一伏見町古川屋徳治郎去ル二月廿日より夫役五十日申付置候処今昼
迄ニて右日数相済候段御作事奉行分通用有之大年寄分も相届候ニ
付明日登城之上御所及御届候事

一安岡町綿屋与三兵衛義三町目福永屋林右衛門所持之自国請酒株去
寅四月相願卯三月迄借請商売之処限月ニ付猶又当卯四月分辰三月
迄借請商売仕度旨連印願書指出承届

一上紺屋町神目屋幸吉義中ノ町秋田屋宗兵衛所持之自国請酒株当卯
四月分來ル申ノ四月迄五ヶ年之間借受商売仕度旨連印願書指出承
届候 文化六^己 九月双方得心^ニ 而 秋田屋取戻し候断書出ス

四月十三日 快晴

一御用日ニ付登城

一左之もの左之通今日御裁許伺書御用番中へ指出置ク

他領^江罷出候^而 博奕

致參会不届ニ付五十

敲之上帰町

新魚町備中屋

甚七倅
兵吉

一 鍛冶町鍛冶太兵衛義組合預ケ吟味方ニテ指免之義伏見町古川屋徳治郎夫役五十日昨日迄ニテ相濟候段御所^江相届ル

一 於御用所御用番十大夫殿左之通御申渡大目付出席

別段伺之通

新魚町備中屋
甚七悴兵吉

一 右敲来ル十六日取計可申旨御用所并大目付^江相届

一 牢舎友藏義牢番^江対し過言致候ニ付足かせ申付置候処甚不調法恐入候ニ付何卒御免相願呉候様左牢之ものを以相歎候ニ付今昼廻り源藏宇左衛門指向候^而以来^与碇相慎候様申渡足かせ指免させ候処取計候段兩人今届出

一 組林平義先日以来不快ニ付仲間ニテ助合罷通候処弥相勝不申候^而兼々出勤難相成候^而助相達呉候様小頭より申出候ニ付今日大目付へ右之段申遣置ク

四月十四日 昼後雨

一 使組真北丈作助ニ罷出候旨当人案内罷出

一 安岡町明石屋左七義渡世勝手ニ^而今般脇坂中務大輔殿御預所当国之内久米南条郡大戸村栄助方へ引越申度当所支配相離れ町内人別指除候様願書指出候ニ付伺之上聞届申達ス

一 左之もの共^江左之通申付

近來風来もの数日指置候
族も有之趣相聞不埒之事ニテ
已来目明改共へ夕ニ相改候間
兼々相觸置候定法可然事尤
御用宿
旅籠屋
一 夜泊之旅人忝人分頭錢三錢ツ、宿より受取候様目明頭^江申付候無相違可差出候

目明頭

別段之通りニ付名々相改
不埒之義も有之候ハ、早々可申出候
尤旅人忝人分頭錢三文宿分受取候様申付候

四月十五日 曇雨少し夕晴

一 今日他行致候ニ付類役十郎左衛門相願置候処無別条無之

一 例年之通一宮市町^江田植祭当日たり共下々迄不参候様大目付廻状到来ニ付組中触書指出町方へも先例之文段ニテ触書指出ス

一 京町久世屋利兵衛義今日限ニテ夫役五十日相濟候段御作事奉行分通用有之候ニ付其段御用所并大目付へ相届候

四月十六日 快晴

一 去ル十三日御裁許御座候左之もの敲今日取計相濟

他領^江罷出候^而博奕参会
致候^而不届ニ付五十敲之上
新魚町備中屋甚七悴
兵吉
歸町

右出役左之面々

御徒目付山本弥七 下目付忝人 小頭利右衛門

部屋目付藤四郎 出番平左衛門宇左衛門

一 右取計相濟候段届出候ニ付御用番中并大目付^江相届ル

一 新魚町初五郎組之内左之兩人追込昨日迄日数七日相濟候ニ付今朝指免候段大年寄^江申達置候所申渡相濟候段届出候

初五郎組合之内
孫三郎
新吉

一 右追込指免候段御所^江相届候

一 惣社村六治出牢申付候間立合指出候様郡代十郎左衛門より出番宇左衛門罷出候処出牢立合之旨届出候

一 御道中無御滞去ル五日御着府被遊新御殿御移住も被為濟候^ニ付来^カ

一 御道中無御滞去ル五日御着府被遊新御殿御移住も被為濟候^ニ付来^カル十八日御徒格以上并部屋住迄四ツ時登城仕候様御奏者廻状到来

一 付先例之通帳付廻勤有之候様大年寄^江申達ス組中^江御触書全文之趣小頭^江申達ス

四月十七日 快晴夜雨

一 京町俵屋伊兵衛儀商壳筋^ニ付備後福山大黒町いなり屋宇兵衛方迄

四十五日計逗留^ニ而罷越申度願書指出大年寄承届候旨当人願書指出ス 五月十八日帰届

一 京町昼屋伊兵衛義脇坂中務大輔殿御領所当国之内久米北条郡宮尾

村福本屋兵助甥佐兵衛当卯拾八才此度借屋^ニ居申候いら養子^ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人より別紙差越候旨願書指出候^ニ付伺之上聞届達 同廿三日住宅証文出ス

一 玉置卯左衛門義近來病身^ニ相成候^ニ付大坂堂島瀬屋源兵衛方へ罷越療治仕度往来日数五十日計^ニて罷帰申度願書指出伺之上聞届

六月十日今
五月十日追願

一 伏見町備前屋勘之助義先達^而博奕吟味方吟味有之候処其以前他

行仕居候^ニ付組合共へ尋申付置候然ル処行方相知不申候段届書指出候^ニ付先例之通百日尋申付右日数之内不尋出候^ニおゐては過料五百文ツ、指出させ候^而可然旨明日御用所^江相伺同十八日伺済同日申達ス

一 新魚町金井屋助一郎義大坂島之内南紺屋町讚岐屋清八^与申もの先

年召抱居申候雇持之もの^ニ御座候処当所用事有之同人娘召連罷越候^ニ付五十日計逗留為仕度旨願書差出承届候

一 元魚町肥後屋吉太郎義借屋もの多田屋喜兵衛役介多兵衛当卯四拾六才此度御領分西々条郡二ノ宮村政吉方へ引越させ申度町内人別除願書指出承届候

一 一宮市町中錢目付助元魚町毎年指出来候得共当年よりは相止メ候旨銀札場奉行本郷所左衛門今通用有之

四月十八日 曇

四月十八日 曇

一 恐悦申上有之四ツ時惣登城并御用日^ニ而^{出仕}

一 今日左之もの共左之通申付度窺書指出尤勘定奉行^江も引合之処存寄無之旨郡平より申聴候

御藏元見習親

病氣故障之節名代

可相勤候事

吟味方定助尤

高砂屋藤助相勤候通

御藏元熊野屋

文五郎悻鶴吉

舟方吟味役樫野

茂市郎悻助右衛門

一 右之段即日伺相済来ル廿日可申達候事

一 梅之間^ニおゐて御奏者番以下一同御着府并御挨拶被為濟候恐悦御小性頭^江謁申上蕙心院様^江も右席同様申上候

一 御用所^江三奉行一同罷出候^而江戸表恐悦申上候大目付役所へも恐悦之義及挨拶

一 桧之間^江罷出右同様恐悦之旨申上候

一西新町川島屋重兵衛義御領分東南条郡林田村久助娘よね当卯二十才此度悴熊治郎妻ニ引受申度町内人別人願書指出承届

一中ノ町広戸屋勘助義借屋もの佐太郎悴宇七義当卯二十才御既中間相勤候処病身ニ而相願去寅九月暇取候ニ付町内人別人願書差出引合之上聞届達ス

一元魚町亀屋定治義脇坂中務大輔殿御預り所久米南条郡福渡村茂三郎悴儀兵衛当卯四才此度借屋住登茂屋利兵衛養子ニ引請申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人ノ別紙指越候旨願書指出伺之上聞届達ス 同廿四日住宅証文出

一播州今市綿屋嘉市郎与申もの壹人例年之通呉服売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度新職人町松野屋重右衛門宿切手指出ス 十二月廿九日帰届

一大坂心齋橋塩町南へ入播磨屋清八并手代久兵衛ノ式人例年之通瀬戸物そろはん仕替きせる売古金売ニ参り候ニ付宿仕度候旨右同人宿切手指出ス 十二月廿九日帰届

一京都錦小路烏丸西へ入所近江屋勘吉并手代嘉助ノ式人例年之通呉服物売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度旨右同人宿切手差出ス 辰四月二日帰届

一深信院様今朝御仏詣ニ付御先弘和四郎又作罷出無滞相済候段相届一新魚町野田屋孫三郎義郷宿之節大笹村肝煎又右衛門 銀札壹貫弍百匁借置候処相滞去ル子ノ年願出候 而下濟ニ付願下ケ致シ以後年賦ニ取払候筈之処又々差滞候ニ付尚亦願書「致候処右願書郡代も入内見大年寄場」大庄屋 懸合可然旨申談候処其通可然旨

申来候仍 而右之段大年寄 申達ス

一宮市町例年之通出役計候様大目付彦藏より申達候ニ付来廿二日田植祭ニ付出役為致候段相届

四月十九日 快晴

一宮市町ニ播州高宝喜十郎座万歳芝居拾壹人連參懸り候ニ付神主ノセ話相頼候ニ付彼ノ地 罷越引受セ話仕逗留中いか様之義出来候共埒明可申旨元魚町北原屋治助願書指出承届 同廿日請負一札差出ス

一右同断大坂島之内九人連輕業芝居參懸り候ニ付前段之通り被相頼候ニ付引受セ話仕度舟頭町倉敷屋願書指出承届 同廿日受負一札差出ス

一右同断所万歳芝居拾人連參懸り候ニ付同断ニ相頼候ニ付彼地 罷越引受セ話仕度旨ニ階町茶屋幸十郎願書差出承届候 同廿日請負一札出ス

一元魚町福永屋豊五郎義祖父源吾并父宇三郎去ル子五月去寅歳迄三ヶ年之間撰州大坂天満堀川山本貫太方へ身上稼ニ罷越候然ル処猶亦当年より来ル已歳迄今三ヶ年之処再願改呉様申越候ニ付願書指出承届

辰十月十七日源吾 掃り届出ス。字三郎午正月十三日掃り届出ス

一戸河町笠屋伝治義土井大炊頭殿御領分当国之内久米南条郡赤田西村弥三郎娘ゆき当卯廿四才同人娘いよ五才同人悴亀吉式才右三人借屋ニ居申候岩治役介ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人ノ別紙指越候旨願書指出伺之上聞届達ス 五月三日住宅証文出ス

一 上紺屋町「屋栄蔵義土井大炊頭殿御領分当国内久米南条郡

弓削村丈吉役介しな当卯三拾七才娘しけ拾七才倅岩吉拾才哉弟金蔵四才右四人此度借屋もの神田屋清吉役介引受申度住宅之義願書尤向方且那寺并村役人より別紙指越候旨願書指出伺之上聞届申達ス 同廿七日住宅証文出ス

四月廿日 快晴

一 玉置源五兵衛忌明出勤之旨罷出相届候

一 齋藤孫右衛門義無抛用事有之候 勝山縁類四五日逗留にて罷越申度口上願大年寄より申出承置ク 同廿五日帰届

一 橋本町後藤屋佐一義用事付大坂心齋橋筋梶木町玉子屋九郎兵衛方へ往来五十日計之逗留にて罷越申度願書指出承届 六月十三日追願五十日組合

一 安岡町横野屋長四郎義妹つた同人倅清順同大吉右三人去ル寅十月二日不計罷出方々相尋候得共行方相知不申段同十二月相届候処百日尋申付置候然ル処今以行衛相知不申候段百日余も相成候間町内人別指除候様願書指出候付伺之上聞届達ス

一 摂州東成郡天王寺村安兵衛申もの四国罷出大仙領赤松村にて病氣付院庄へ送り来候仍「村継承届候段郡代々通用有之町方取計之義大年寄申達置候処町分無滞植月村送り届候段届出候

一去十八日伺之通被仰出候左之もの共大年寄宅申渡取計相済候段届出候

御蔵元見父文五郎

御蔵元熊野屋

病氣故障之節名代

可相勤候

舟方吟味役定助

申付候入念可相勤候

一 右申渡取計相済候段御用番并大目付へ相届候

一 左之もの入牢申付候間立合指出候様佐藤八郎左衛門申来出番藤四郎罷出候入牢取計候段届出ル

一 伏見町備前屋勘之介義組合共百日尋申付右日数之内不尋出候ハ、過料可申付旨申付候処今日請書一札組合連印にて指出ス

四月廿一日 快晴

一 今日致他行候付類役十郎左衛門留守中之義相頼置候所別条無之

一 明廿二日今一宮田植祭付小頭并出番兩人出役之義届出候

一 大坂淀屋橋筋梶木町河内屋甚七手代弥兵衛申もの老例年之通唐弓弦卸売昨日参り候付逗留為仕度中ノ町甲屋幸助宿切手差出 八月廿二日帰届

一 備前岡山上之町黒金屋嘉兵衛申もの老例年之通紙類荒物類紺屋形金通し張替商売昨日参り候付逗留為仕度右同人宿切手出ス 八月廿二日帰

一 播州網干唐細屋佐七郎申もの老例年之通手代弥八申もの老例年之通小間物反物売昨日参り候付逗留為仕度旨林田町福吉屋安右衛門宿切手差出ス 八月十五日帰届

一 大坂立売堀式丁目播磨屋惣吉申もの老例年之通手代喜蔵申もの老

文五郎倅 鶴吉

舟方吟味役 熊野屋 茂市郎倅 助右衛門

人例年之通小間物売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度旨右同人宿切手差出ス 八月廿六日帰届

一播州綱干天満屋儀兵衛与申者忝人同手代茂兵衛与申もの例年之通反物卸売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度旨右同人宿切手差出ス 八月十五日帰届

四月廿二日 快晴

一今日一宮田植祭ニ付出役小頭利右衛門出番和四郎源藏罷出候旨相届候

一当年目明助^{ニ者}及不申候段小頭より申出目明頭日「致目明介隔日ニ付罷出候旨目明共介届出候旨小頭申出候

一二階町三保屋重右衛門家守伝治義脇坂中務大輔殿御預り所当国之内久米南条郡川口村吉十郎娘りの当卯四拾才此度借屋ニ居申候円治妻ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人より別紙書付指越候旨願書指出伺之上聞届達ス 五月三日住宅証文出ス

一坪井町かと屋喜八義勝間田町豊野屋万助持来之古道具屋株此度譲り受商売仕度尤坪井町一文字屋万助請人ニて定法相守可申旨株札名面書替之義連印願書指出承届ル

一宮出役無別条夜五時過引取相届候尤当日近年之賑ひ之由申出候

四月廿三日 快晴

一御用日ニ付登城

一痢病薬致出来候間久原甫雲介受取候^而例年之通惣町^江可相渡旨大目付彦藏介申達有之

一牢舍山西文蔵義呼出吟味^{ニ而}立合指出候様八郎左衛門より申来源

蔵罷出入取計

一中ノ町ふな屋藤吉後家義悻与吉当卯三拾三才是迄中間奉公相勤候処病身ニて暇取候ニ付引受申度町内人別人願書指出候ニ付中間頭引合候上聞届

一左之もの共入牢申付候間立合之もの指出候様八郎左衛門介申来出番和四郎罷出入取計候段相届候

下高倉村東分

万吉

同村宗太悻

元治

同村

弥吉

同村

誓右衛門

同村磯右衛門下人

松兵衛

メ五人

一今昼指出候文蔵義牢屋^江指戻候ニ付同人立合取計候段是亦相届候

一宮出役和右衛門平左衛門罷出候処別条無之引取候段届出候

一御作事^江株札しうけニ指遣候処即刻出来ニて御作事奉行返書有之

一宮出役嘉七勇藏罷出候処無別条夜六半時頃罷帰相届

四月廿五日 雨

一御蔵米五拾七匁 町米五拾三匁

一宮出役藤四郎宇左衛門罷出候処今日雨天ニて見セ物等無之無滞引取候段届出

一御城山草刈今日介相始候段三軒屋番より届出候

四月廿六日 快晴

一 一宮出役和四郎又作罷出候^而今日は町方之者多分罷出候^而賑々敷候処別条無之候^而引取候段相届候

一 大守様益御機嫌能御座候成去ル十一日御參勤之御礼無御滞被仰上候仍^而為御歎明後廿八日御徒格以上并御目見相濟候部屋住迄四ツ時登城仕候様御奏者廻状到来例之通組^中廻文之趣小頭^江申達町方張付廻勤申達ス

一 川口藤十郎義今日忌明致出勤候旨当人届出候旨当番より申出候

四月廿七日 快晴

一 京町作人かね義悻玄孝当卯三拾八才去ル拾五年以前丑九月相願大久保安芸守殿御領分当国之内久米北条郡油木下村医師道益聿^ニ差遣し候処此度離縁仕罷歸り候^ニ付町内人別差加^江候様尤向方村役人よりも別紙指越候旨願書指出伺之上聞届

一 東新町船本屋太助義因州智頭郡佐治谷高山村新七^与申もの荒李壳^ニ四拾五ヶ年以前迄參り候処其後得參り不申仍^而同人親類備前西大寺五明屋弥治郎^与申もの髪付元結并七鳥卸壳^ニ新七代り出入為仕度旨願書指出承届候

一 右同人義大坂玉造上木綿町松坂屋忠右衛門^与申もの唐弓弦卸壳^ニ拾四ヶ年以前^与參り候処尚亦先年之通出入仕度旨相頼越候^ニ付今般先年之通出入為仕度願書指出承届

一 西今町福市屋忠治義先達^而大坂心齋橋玉子屋九郎兵衛分訴訟^ニ付坪井町船^一屋伊兵衛二丁目唐津屋万助相頼当月迄日延願置候処先方懸合候得共以今訳立不申候^ニ付当九月切再日延猶予願指出承置ク

四月廿八日 朝曇昼晴

一 為恐悦惣登城并御用日^ニ付四時前出仕

一 梅之間^ニおゐて御奏者番以下一統御參勤御礼無御滞被仰上候恐悦御小性頭^江調中上ル蕙心院様^江茂同様調申上候

一 御用所并檢之間^江類役一同罷出候^而江戸表恐悦申述大目付役所^江同様自分及挨拶

一 大雄寺義来ル五月朔日之夜より夜念仏為修行町中相廻候旨尤来ル巳ノ年迄願出御聞濟之旨寺社取次分通用有之其段当番之ものと并大年寄^江も及沙汰置ク

一 蔵合孫左衛門義役介多三郎先達^而引受罷在候処親類二階町阿賀屋当寺相統人無之候^ニ付右多三郎阿賀屋相統^ニ差遣し申度旨斷書指出候^ニ付承届候

一 元魚町藤屋治兵衛義式丁目^江通り筋南側^ニ而所持之家屋敷表口五間裏行四間御役三步六厘七毛役右之家屋敷此度代銀札五百匁^ニ相極二文字屋清二郎^江壳渡申度願書指出承届候 同廿九日壳券指出ス

一 一宮出役嘉七平左衛門罷出候処無別条引取候段五ツ時頃届出候
一 御城山草苅今日限^ニ而相濟候段三軒番分相届候
四月廿九日 晴夕立少し

一 例月之通三ヶ所番賃銀相渡ス
一 一宮出役藤四郎勇藏罷出候所別条無之引取候段届出候

御家老 山田主膳殿

御年寄 大橋十大夫殿

大目付 渡部相馬

中甸ハ孫右衛門

大年寄

玉置源五兵衛

諸吟味

宮田喜左衛門

五月壬寅朔日 快晴

一 当月源五兵衛月番相勤候旨当人相届候

一 中之町玉置卯左衛門家守疊屋万助義借屋物作人又八当卯三十三才
同人妻いく三十一才娘いま十才右三人此度林田上ノ町權治妻兼子ニ
引請候而町内人別指除候様願書指出承届候

一 中ノ町日上屋儀助義当卯六十式才同人妻そめ五十式才同孫弥市拾
四才右三人此度御領分勝南郡日上村梅之丞方江引越申度町内人別
指除候様願書指出承届候

一 左之もの共博突吟味方ニ而召捕候而手鎖懸ケ右主人江預ケ申付候
段八郎左衛門ハ相届候

芸州もの、由

安岡町鍛冶喜八
手習 岩吉

無帳もの、由

同町 鍛冶文右衛門
手習 勘次

但し文右衛門手問名面八郎左衛門よりハ官治郎より相届

大年寄ハ罷出候者勘次与申出候

一 右之段御用番十大夫殿大目付相馬江相届置

一 一ノ宮出役小頭利右衛門并出番字左衛門又作罷出候処無別条引取
候段届出

五月二日 朝雨昼後曇

一 佐藤八郎左衛門罷越候而一昨夜召捕候鍛冶手習兩人召取候節之申
口左之通引合之ものも有之候ニ付其主人共江尋申付置候所何も罷
帰不申候段相届候旨届出

中谷村之もの、由

安岡町鍛冶長右衛門弟子
平五郎

備中水田村之もの、由

伊之助

芸州もの、由

日雇手習
太郎吉

右同国

同町五兵衛雇手習
久藏

岩吉勘次申口下役共承糺候処左之通

当四月中旬頃日不相覚私共兩人平五郎伊之助外ニ他所もの壱人

メ五人新田村御蔭切レ戸外墓所ニて参会仕廿日頃笠松火葬場道

三枚橋ニ而右五人之外太郎吉久藏メ七人参会仕同廿六日夕又候

墓場ニ而右七人参会仕今廿九日唯今より何れも追々罷越参会之

積ニて役合罷在候旨申口候段下役より相届候由

一二丁目小倉屋清兵衛義三浦志摩守殿御領分当国之内真鳥郡鹿田村
治兵衛弟金五郎当卯式拾四才今般役介引受申度旨住宅之義願出尤
向方且那并村役人ハ別紙指越候旨願書指出伺之上聞届達 同九日

住宅証文出ス

一 河原町相生屋方吉義脇坂中務大輔殿御預り所当国之内久米北条郡錦織村又左衛門弟豊吉当卯三十式才同人妻てふ廿六才同娘いの二才右三人此度引受相応之渡世為仕度住宅之義願出尤向方村役人より別紙指越候旨願書指出伺之上聞届達ス 同九日住宅証文出

一 式町目尾高屋善兵衛義■公料池田仙九郎殿御支配所撰州菟原郡篠原村佐左衛門娘かね当卯廿一歳此度弟善七妻ニ引受申度住宅之義願出尤かね義向方ニ而 懐胎仕当月七ヶ月振ニ相成居候由勿論向方且那寺并村役人より別紙指越候旨願書指出伺之上聞届申達ス 同

四日住宅証文出
一 一宮出役和四郎源藏罷出候 而 別条無之候段引取相届候
一 痢病兼久原甫雲左之通包数受取候処左之通不足ニ候得共大年寄相渡候員数不足無之候 而 左之通相渡候

一 痢病薬 八千貼
内三百式拾貼不足
全請取辻七千六百八拾服

一 右之分大年寄 江 相渡ス
内式百三拾服他所 江 残置ク

一 惣町 江 渡し辻全く左之数相渡候段五月七日届出

一 七千六百七拾八服

五月三日 曇

一 御用日ニ付登城

一 七間廊下ニおゐて論語講釈大村成夫相勤例之通御用所始出席

一 博奕吟味方ニ而 召捕候鍛冶手間兩人何も他所ものニ付吟味方下役場ニ而 追払以來立帰徘徊不致旨一札取之候 而 可然哉又は吟味詰之上夫々 江 国許 江 懸合候義も為指義ニも無之大造ニ御座候旨両様相伺候処吟味方下役場ニて追払可然旨御用番十大夫殿御申ニ付其段八郎左衛門 江 申達候処晚刻取計候段届出ル

一 例年之通明日一宮市場ニ付定例文段ニて町触差出□□□□非人共達之義も大年寄 江 相達ス

一 痢病薬引足不申候ニ付今百四拾服相廻呉候様大年寄今当番宛手紙指越則右数廻ス

一 一宮出役和右衛門平左衛門罷出候処夜九ツ時分罷帰今日輕業小屋木戸ニて木戸番左之もの及打擲候由ニ付彼是濟兼候処左之もの取

一 喫候 而 内済目明場ニ而 取計相濟候右ニ付引取及達則候旨相届
当人打擲ニ逢候もの
香々美上村 勘次
真経村 助太郎

此もの扉へ這入候 而
兎角出入ニ取結候由

同村 吉右衛門
目明頭 吉兵衛
和田村 弥吉

五月四日 昼後雨

一 一宮市町今日限ニ而 小頭利右衛門出番嘉七勇藏罷出候処先例之通見せ物引払之一札寺社下代持参御徒目付立宿ニおゐて何 茂 披見引払見届無別条引取候段何も届出候ニ付市中警固指出候処今日限ニ

て無別条引取候段大目付相馬_江相届

但し御用所_江者 先例無相届義_ニ而 大目付計_江相届候

五月五日 天氣

一端午_ニ付五半時惣登城

一 梅之間_ニおゐて御奏者番以下一同先規之通端午之御祝義御小性頭

_江 謁申上候蕙心院様 _江 茂 同様御祝義申上ル

一 御用所_江 罷出三奉行一同今日御祝義申述大目付役所_江も及挨拶

一 四半時頃御用所御退出_ニ付同刻引取退出かけ内山下辺廻勤

一 今朝組中不残罷出候_ニ付仕前当日之祝義一同逢候_而申演候

但し例之通煮柴壺鉢鯨鉢指出候_而神酒差遣之

一 一ノ宮市上り芝居もの共早々引払せ并近在_ニ而も芝居興行致候共

元方等致候義ハ有之間敷候得共猶心得違無之様可申付候旨大年寄

_江 申達候処_マ欲進元并目明頭_江申付置候段大年寄より相届

五月六日 晴

一 左之もの江戸御普請御用_ニ付出府申付候段御作事奉行文左衛門より通用有之

石工共

（船頭町うつの屋与吉
茅町かと屋 宇兵衛

一 一ノ宮銀札場今日引取候段札元山本恒助罷出相届

一 類役十郎左衛門今昼後致他出旨留守中請持呉候様申来承知之旨及

返答

一 一宮神主両人市町中警固指出候為挨拶罷越申置候段当番申出候

五月七日 快晴

一 京町河内屋孫平義家屋敷表口式間裏行十七間但御役三步役右之家

屋敷同町阿波屋由九郎取次_ニ而 銀札百五拾匁借受申度尤来ル巳ノ

四月切壺ヶ月壺歩半ツ、之利足加へ無滞返_マ返済可致旨願書指出承

届候 九日質入証文出ス

一 材木町伊予屋政吉義弟元吉当卯三才今度御領分西々条郡院庄村百

性儀右衛門養子_ニ差遣申度町内人別指除候様願書指出候_ニ付承届

候

一 宿屋共一夜泊之旅人去月十四日今相改候処同廿九日迄左之通之旨

目明頭太兵衛今書付を以相届候

一 旅人泊千四百三拾三人

此頭錢四貫式百九拾九文

一 靱負殿被盜物之義_ニ付同様張紙有之候右張紙之趣手懸り_ニも可相

成義も可有之候間披見改候様大目付相馬今申来則文言写取本書直

_ニ指戻ス

五月八日 曇夜雨

一 御用日_ニ付登城

一 近々出羽守様御初入当所御止宿被成候_ニ付大目付相馬より左之通

申達ス

当役出役

（先例之通林田町横町_江
罷出候_而御本陣御着之上
御機嫌伺_ニ罷出夜中御関札内へ

出張御立之願妙法寺前_江罷出候事

（問屋場_江先例之通り

相話候_而可然事

下役大脇彦左衛門

同心組出役

先例之通り

一 先年ハ出羽守様御通行之度毎御道見分当役罷出候義ニ候得共近年相止居申候然ル処今度は後初入ニも候間罷出可然候哉此段御用番十大夫殿^江相伺候処下見分申付候ハ、当役見分ニも及申間敷旨御差図有之

一 例年之通り両大橋^ニ而障申間敷其外先例文段^ニ而町触差出ス

五月九日 雨

一 深信院様明後十一日五半時泰安寺^江御参詣被成候十二日御参詣は御延引ニ相成候段古谷嘉左衛門より通用有之候ニ付其段大年寄^江申達御先払之義当番^江も申達置

一 左之もの共今日限^ニ而夫役相済候「」作事奉行の通用有之

夫役七十日 伏見町田邑屋治助

同 五十日 同町因幡屋 茂平

一 左之大工共御普請御用^ニ而出座仕居候処病氣ニ付昨夜罷帰候段町棟梁より相届

京町大工 和吉

三町目大工 治助

五月十日 霜雨

一 去ル七日勝山御囲粉為御改久世御代官彼地^江不意ニ被入込候^而御改有之候由然ル処勝山^ニ而者誠ニ不意之事其上御囲粉も不足致候^ニ而殊之外混雑見苦敷義ニ候由右御改相済候^而直ニ備中新見^江御越候由仍^而ハ当所^江も必定不図ニ御入込も可有之旨追々町方之もの共申出候^ニ付早速御用番中并大目付^江も及噂何角取調も有之

候様申述且御止宿等之用意も内調致候様大年寄^江申付候尤大年寄場より勝山表取合候様申付ル

一 生野御代官布施孫三郎殿明十一日彼地御出「」当所^江御越御囲粉御改候由河面村正六の委細郡代所^江申出尤旅宿も二軒之方宜様同人申出候ニ付為心得相知候旨十郎左衛門より申来候ニ付其段大年寄^江申達委細取調候様申付置ク

但し久世御代官御越候様子ニ候得共右之通生野より御越候得

^者久世御代官は備中様^与被存候ニ付其段も御両所^江及さた

一 去ル寛政九巳年御勘定組頭勝与八郎殿当所^江御越ニ付石代御改有之候当所へ拘り御用向^ニ而御入込候義御用之趣は替り候得共右例^ニ而も可然存候ニ付与八郎殿御越之節之振合を以諸事取調可申旨

大年寄^江も申達

五月十一日 霖雨

御蔵米五拾八匁 町米四拾四匁

一 生野御代官布施孫三郎殿御囲粉御改として近々当所御越候由^ニ付御取扱左之通御用番中^江相伺置ク

一 道筋不及掃除不見苦様可申付候

一 保頭先払 問屋人足

一 同心組兩人先払但し大文字羽織着用

一 御宿 玉置源五兵衛

一 二ヶ所^ニ相成候得^者壹ヶ所ハ福永屋藤助

一 同心組御旅宿様^江御逗留中昼夜出張

一 大年寄老人町年寄老人毎日伺^ニ罷出候

一 町医兩人在宿申付候

一 出火之節除場本源寺大法寺

一 当役繼上下ニ而ニ自分伺ニ罷出候事

右者去ル寛政九年御勘定組頭勝与八郎殿石代為御改当所江御越候節先ツ右之通之御取扱ニも御座候間右之通ニ而ニ可然哉此段奉伺候以上

五月十一日 町奉行

一 藏合孫左衛門義松平伊織殿御知行所播州佐用菊池正因娘綱当卯三拾才同人娘伝四才右式人此度役介ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人よりも別紙指越候旨願書指伺之上聞届

一 戸川町次田屋善右衛門義仙石越前守殿御領分当国勝南郡岡村軍太役介治作当卯廿七才此度引受候而相応之渡世為仕度住宅之義願出尤向方村役人よりも別紙差越候旨願書指出伺之上聞届達ス 二月十四日住宅証文出

一 今朝五ツ時前院庄川満水ニて留晩方明キ

一 二階町増原屋民之助義所持之家屋敷表口式間半裏行拾七間御役半役右之家屋敷戸河町吉田屋甚右衛門取次ニ而ニ質物ニ書入銀札百四拾匁借受利足壹ヶ月壹歩半ニて来ル八月元利指戻候旨願書指出候ニ付承届候 同廿七日質入証文出ス

一 新職人町松野屋十右衛門義江州神崎郡新堂村長兵衛与申もの四年以前迄きせる小間物卸売ニ參候処其後病身ニ相成得參り不申依之同人親類備中松山成羽屋是助与申もの貸本商売仕候ニ付右長兵衛代りニ御当所へ出入為致度慥成ものニ付宿仕度旨願書指出承届候

一 玉置源兵衛宅出羽守様御止宿ニ相成候ニ付御座之間向御目障りニ

相成候場所当御作事より取膳被仰付候而此節人方出来之処未相残り候場所御雪隠屋根膳疊膳障子張替等未出来無之候処今度御代官布施孫三郎殿御止宿申付候ニ付急ニ出来有之候様申出候ニ付其段大目付へ相達候処承知ニて早々可申付由相馬申聞候

一 源五兵衛義御代官御宿ニ而ニ月番難相勤仍而不快中なから孫右衛門相勤候旨相届候

五月十二日 霖雨

一 生野御代官御越之節御取扱之義相伺置候処大体伺之通被仰付候処右之内

一 不及掃除不見苦候様可申付候処

掃除為致候様御附札

一 当役繼上下着用ニ而ニ壹度自分伺ニ罷出可申候処

麻上下着用ニて毎日自分伺ニ罷出候様御附札

一 近々出羽守様御止宿ニ付左之品々拜借仕度旨御本陣玉置源五兵衛

今書付指出大目付江差出置ク

一 白木御三宝 壹

一 御見越 但し布共 壹

一 御刀掛 參

一 ことく 大小五ツ

一 燭台 十五

一 水荷 式荷

一 腕家具 但し平共 三十人前

一縁取 五十枚
一手燭 五ツ

右之通拜借被仰付被下置候様奉願候

ノ

一馬盥 五ツ

一飼桶 十

右同断

五月 玉置源五兵衛

一生野御代官布施孫三郎殿昨十一日生野出立^ニ而^ニ就御用当所^江被相

越候旨手代三人名前^ニ而^ニ左之通先触至来^ニ付右写御用番中并大目

付郡代^江も及通達

一人足拾三人

内

四人駕籠忝丁 忝人具足 忝人両懸

四人長持忝棹 忝人竹馬 忝人合羽籠

一人足八人

内

六人山駕籠三丁 忝人両懸忝荷

一本馬忝疋 一輕尻忝疋

十一日明ヶ六時生野陣屋出立

十一日泊須賀村 十二日泊粟井中村

十三日泊山形村 栖村 津山町

布施孫三郎手代 同手付

北尾金弁藏 中沢良助 笠根藤兵衛

一左之もの共呼出吟味有之立合之もの指出候様佐藤八郎左衛門より

申来出牢出役勇藏入牢立合平左衛門罷出候

山西村 文藏

下高倉村東分 万吉

同村 元治

同村 弥吉

同村 誓右衛門

同村 松之丞

一生野御代官御困初為改当所^江御越^ニ付先例取調候^而道筋不及掃除

不見苦様^ニ可申付旨相伺候処道筋掃除申付候^而可然旨御用番中御

申達^ニ付左之通町触差出

一御道筋入念掃除可致候事

一御旅宿前通行不苦候得共不愼無之様

一右御逗留中別^而火の用心可致候事

五月十三日 快晴

一御用日^ニ付登城

一御代官布施孫三郎殿御逗留中左之通御賄御宿より仕立候^而可指出

尤無急度本陣詰より手代共^江鹿抹之御賄取計候様^ニと御役人中被

仰達候事必無御遠慮候様^ニと前以及噂候様大目付令達有之

孫三郎殿

朝夕三度共 忝汁五菜

但し入念候^而

手代刀指之分

右同断

巻汁香物共

五菜

下部之分不残

右同断

巻汁三菜

但し右御逗留中巻度御吸物御酒肴巻式種以下のもの江も相応ニ
吸物酒差出候事

一出役之面々立宿左之通之由大年寄江書付指出候ニ付夫々江及通用

当役立宿

斎藤孫右衛門

御使者立宿両度共

元魚町豊屋
喜兵衛

勘定奉行金井長平立宿

二階町山手屋
理兵衛

大目付太田舍人立宿

三町目川口
藤左衛門

勘定所付井口恵左衛門立宿

二階町伊勢屋
正左衛門

同心組御先弘立宿

東新町なみ屋
忠兵衛

一 布施孫三郎殿着発共途中江 出役可仕旨御用番中十大夫殿御申渡ニ
付猶亦立宿之義申達左之通申付候段届出候

林田町山本屋
友三郎

京町二文字屋
喜左衛門

一 当組助真北又作罷出居候処不快引込ニ付加藤和作罷出候旨当人相

届候

一 町方宗門改案文巻袋先例之通宗旨奉行種村登門より相渡受取置ク

一 京橋御門両方御堀端草為取候様大目付江御沙汰有之候ニ付御作事

江立合之義申達シ大年寄江町々申付候様申達ス

一 生野御代官今夕山形村泊之処昨日迄大雨定日川支も可有之ニ付山

形村迄聞合之遠見指遣候様申付置候処遠見之もの夜ニ入罷帰候旨

申出候は昨夜粟井中村江山形より聞合候江途申付置候江中矢田井川支候而川

隔様子相尋候処粟井中村江無滞御着ニ候処当川支ニ付川之様子

及見ニ参候由申之候段山形伴治方へ書面ニて申越候仍而者中村御

滞留ニて迎も今夕当村江ハ御越有之間敷併其後水も干落候得者案

外ニ山形江速ク御着も難計何分明日御着之義は御手当ニ置候而可

然哉之旨山形伴治申聞候ニ付罷帰候段大年寄より届出候

一 昨朝勘定奉行江飛脚指立生野手代途中江出状指遣候処右飛脚唯今

罷歸り明日五名川差支候由ニ而明日山形村止宿ニ相成候由宿之も

のより承罷歸且返書中ニも川支有之而当着之義は追触ニ而承知可致

文段有之候ニ付明日当着ニテは有之間敷出役之義明朝は見合可申

旨郡代より為知有之候ニ付当役ニ而も先ツ出役見合追触ニ而取計

可申旨及返書置ク

一 生野御代官布施孫三郎殿御困初為改近々御越於詰米御蔵見分有之

候間相濟迄稽古場出席致間敷旨大目付廻状到一

五月十四日 晴

一 今朝生野御代官追触到来文段先触之通追而書左之通

追 当月十一日生野陣屋出立被相越候旨先触同九日差出候
処昨十二日大雨 道中筋川支有之今十三日小ノ谷村止宿明

十四日同所出立被相越候 付追触差出候由

小ノ谷村より 十四日泊新野山形村 植村 津山町迄

右之通追触到着 付御用番中 写指出シ弥明日当所止宿 相成候

付今日出役延引仕候旨申遣大目付并郡代 追触到着 明
日 当着之旨及通用

一 下紺屋町長江朝庵義用事有之候 播州赤穂加里屋三丁目紙屋市左
衛門方来ル十五日出立往来百三十日計逗留 罷帰申度願書指出
承届 六月三日病氣 帰届

一 元魚町福永屋栄三郎家守山田屋和助義備前和氣郡三ツ石村市右衛
門孫石松当卯拾四才此度借屋 居申候南屋孫三郎養子 引受申度
住宅之義願出尤向方且那寺并村役人より別紙指越候旨願書指出候
付伺之上聞届申達ス 八月十五日住宅証文出ス

一 元魚町豊島屋伝治義土岐山城守殿御領分当国内英田郡福本村儀
八娘幾代当卯拾才 罷成候此度借屋 居申候儀屋忠助後家養女
引受申度住宅之義願出尤向方且那寺并村役人より別紙指越シ候旨
願書指出伺之上聞届達ス 六月二日住宅証文出ス

一 生野御代官今夕御止宿為聞合山形村迄遠見之もの指遣候処七半時
過罷帰候 御代官八半時山形村 御着被成明十五日五時山形村御
出立之由同村庄屋伴治承之罷帰候旨大年寄届出候 付御用番中
及御了た郡代 為相知候事

但し右遠見之もの申出候 山形村亭主伴治申聽 津山より御

使者ハ有之候哉御代官様御尋候由 付承候旨相尋候 付遠見之

もの相答候 其儀ハ一向存不申相答候御使者宿用意致罷在候

由向方庄屋同役同志相嘶候 何方 御使者有之候事故定

御使者可有之 用意致置候段承之右之段も申出候 付届出候仍

者定 御評義も有之之義 候得共十大夫殿御宅右之趣及御

沙汰候処右之趣も御評義等有之御使者ハ無之御評義 相成候由

御申 付申出候事故左様 奉存候得其一応申上候旨申上候

一 久世御銀荷今夕当所止宿 相成元魚町原屋喜兵衛宿仕候 付先例
之通同町年寄忝人見舞 罷出隣町元魚町二丁目戸河町新職人町夜
廻り申付候段届出候 付承置右之段御用番中 申上候

但し明朝之出立六半時出立之旨 付挑灯等之用意 不及郡代
も通用不致候事

一 出羽守様御関札今日到着 付御本陣玉置源五兵衛御請取候段届出
候尤当月朔日江戸表御発 伏見 三日大坂 三日御逗留被成来

廿三日当所御止宿之旨御日取之由申出 付其段御用番中 及御届
一本島林平義不快引込 付助使組より受取置候処拘人 取計候段大
目付へ相届候

一 明日御代官当着 付左之通出役仕候旨小頭より相届候

御先扨和四郎 林平夜九ツ時迄

出張相勤九ツ時分明日出番相勤候由

供番藤四郎 宇左衛門

一 正五ツ時供揃之旨割場御廐等 申達ス

一 近々出羽守様御通行 付院庄川 御舟被指出候仍 先例之通御藏

元壹人舟年寄壹人下裁許壹人罷出候取計候旨御舟奉行種村登門より通用有之候ニ付其段大年寄孫左衛門へ手紙を以申達ス

五月十五日 快晴

一 御代官布施孫三郎殿今日御当着ニ付御途中へ出役被仰付候 而五ツ時過林田町山本屋直助方立宿ニ付罷越相扣

供立左之通

口之者 若堂 鎗持割場

自分馬 草り取手人 合羽籠割場

口之者 若堂 挟箱持割場

一 御代官孫三郎殿九時御当着被成大番所御割札場脇江出役仕居申候 処橋下り口ニ而御下乗被成候 而付相進候ニ付相応及挨拶候処御丁寧之御挨拶有之御通り相済候 而京町二文字屋嘉左衛門宅立宿ニ而直ニ罷越相扣自分伺ニ罷出候義本陣詰を以申込置ク

但し出役之義は都代より向方庄屋迄為移置候様申談候得共不

意ニ相成 而は向方之手都合も不宜哉ニ付林田町年寄へ申付名

札為指出右場所江出役之趣を通し候様申付置ク

一二文字屋嘉左衛門宅立宿ニ而扣居候処八ツ時分本陣詰罷越唯今向方御都合宜候間案内可致旨ニ付供揃申付御本陣江罷出候処御取次服部左司馬申もの罷出逢対ニ付自分伺之旨申述先刻も乍途中御目通り致候ニ付序ニ被申上候様申演候処何分可申聞候間相扣候様左司馬申聞候ニ而扣居候処無程扣居候所江直ニ孫三郎殿御出陣被成相応及挨拶候処先ツ暫ク嘶候様ニて御申ニ付彼は通用之事共相嘶候 而御座被成候処御逢被下忝候旨及挨拶候処甚心安キ御

逢対ニて御丁寧之御仕向ニも忝候由以来は御心易可致由御申ニ而御入被成尚亦左司馬へ相応及挨拶申演退出

一 大年寄孫左衛門孫右衛門兩人共不快ニ而御本陣へ伺ニ罷出候義難相成由兼 申出候得共押 而も罷出候様申付置候処孫左衛門義御本陣江は押 而御伺ニ罷出候段相届候

一 御代官御旅宿江伺相済退出懸十大夫殿江御届ニ罷越今日之様子御

御本陣之振合等内分申出候義も有之候ニ付御逢対申候 而一応及御

沙汰大目付相馬江馬脚之者使ニ而口上ニて相届候

一 今夕九ツ時分出張源藏和右衛門出勤之旨相届候

一本陣詰罷出明日御代官六半時より御蔵江御越ニ而六ツ時頃より罷

出候 而可然旨申出候ニ付正六時供揃申付置ク

一 明十六日御囲米為改六半時孫三郎殿内山下御蔵江被罷出候間同心

組半時早ニ差出候様大目付相馬今申来

五月十六日 快晴

一 今六ツ時過出宅齋藤孫右衛門宅立宿ニ付罷越候 而本陣詰を以為相

伺候処無程手都合宜旨申出候ニ付御旅宿罷出候処取次服部左司馬

罷出候ニ付左之通申演候

孫三郎様弥以堅勝御座被成候哉昨夜以来之御様体相伺候旨尚

亦御用事も御座候ハ、可被仰聞旨申述候尤御席之節申上候申

達候処何分可申聽候間暫扣候様ニと申事故相扣候処無程居間

御達被下候様申聽候ニ付相達候処

一 孫三郎殿居間ニ白衣説劍ニ付此体ニて罷達失礼之旨御挨拶有之候

ニ付説劍致候 而一通り及御挨拶暫ク四方山の嘶等仕候 而今日帰所

御出前御繁用ニ御座候処御逢被下忝之旨申述退席之節彼是御丁寧
之御挨拶等有之取次道迎等例年之通り

一退出懸ケ御用番十大夫殿江罷越右伺ニ罷出候段相届ケ大目付江者
馬脇之ものを以口上ニ而相届候

一明日初改五ツ時より取計有之候間為心得相知せ候旨大目付相馬江
申来候

一明朝伺ニ罷出刻限今朝之通り申付候

一今夕九ツ時夕嘉七平左衛門出張出役仕候旨相届候

一御代官孫三郎殿御困米為御改五ツ時御出有之同心組御先江京橋橋
詰迄御先江相勤且ツ御帰七ツ時分尚亦御先江等例之通

五月十七日 快晴

一今朝も都而昨朝之通立宿江罷越居候之処本陣詰唯今御代官御膳時

分ニ候得共御出被成候哉相濟候上案内可致哉之旨伺出候ニ付御様
体伺候而引取候事故向方都合兩人宜候ハ、可罷出申達候而直ニ罷

出取次服部左司馬江昨朝之通り相伺御支度時分ニも候間御席ニ被
申上候様申述候処何分可申聴旨ニて相扣居候処無程罷出唯今食事

致懸候ニ付御待せ候も久敷宜御挨拶申候様ニて孫三郎申聴候段相
演候ニ付猶宜被申上候様ニと申退出

一伺ニ罷出候義御両所江御届振昨朝之通り

一出羽守様当月朔日江戸御発駕ニ付継人馬先触到来之由ニ而写指出
大意左之通り

一継馬三拾三疋 一継人足貳百人

西宮より久世迄

一継馬廿五疋 一継人足百六拾人

附札明石津山者継馬三拾三疋手合之事追而書

至時人馬共少々、余分之義も可有之候間其節之手合も申来
候

四月廿六日 雲州人馬方

伊藤権内

渡部次太郎

摂州西宮者より

平井幸三郎

伯州溝口者迄

片山其右衛門

宿々問屋中

遠藤辰右衛門

一御代官孫三郎殿昨今御改無滞相濟候由右ニ付明十八日当所御出立
六半時御立触有之候旨本陣江被仰出候由大年寄より届出候尤本陣
詰大村屋源右衛門罷出候ニ付相尋候義も可有之哉与源右衛門指出
候ニ付直々相尋候

一山形村庄屋伴治付添来居候処明日昼休ニ相成候ニ付今朝引取候由
右伴治代り道筋付添之もの壱人指出呉候様申立候ニ付右之段如何
可仕候哉弥指出之義ニも候ハ、野田屋佐右衛門指出可申旨伺出候
ニ付在中案内之ためニは不相成候得共付添一卜通り之義ニも候ハ
、指出候而可然右等之所与得懸合候上ニて指出候様源右衛門江直
ニ申付置ク

一明日御代官御出立之趣御立刻限并都而御着之節之通り取計当役も
先例之場所江為御見立出役仕候旨御用番十大夫殿江相届大目付江
も御出立之義申遣ス

一 今夕出張出役勇藏平左衛門罷出候旨相届候

一 御普請御用^ニ而舟頭町石工うつ屋与吉義出府申付有之候処老年之上病身^ニ付出府難仕願出候^ニ付同人悴茂七^江右代り申付候段御作事奉行^ノ通用有之

五月十八日 快晴

一 生野御代官布施孫三郎殿六半時供揃^ニ而御出立之旨本陣詰^ノ届出候^ニ付正六時供揃^ニ而六ツ時過出宅伏見町立宿田村屋宇左衛門方へ罷越相扣候処五ツ時前御出立之様子^ニ付帰所^江罷出候^而も可然旨本陣詰^ノ申出候^ニ付大番所脇^譯相待居候処暫ク有之候^而本陣詰罷越今少御間も御座候御様子之由申答^ニ付伏見町年寄才覚^ニて中村益庵方へ立寄候様申出候^ニ付年寄居候処無程御立之注進有之候^而帰所へ罷出扣居

一 御代官四時前大番所前御通行被成候^ニ付例之通扣居候処暫ク先^ニ而御下乗之御様子^ニ付御下乗近く相進み平^ニ被為召候様致挨拶之候得共御下乗之上御丁寧御挨拶有之相応従是も及御挨拶候御免候様^ニ御申御乗被成候^ニ付猶扣居候元^ノ役中沢良助罷越初^而逢候旨^五及挨拶候処今度逗留中御賄被下御酒等頂戴拜領物仕重々難有候旨御礼之義宜申上候様^ニと申演候手附関根藤兵衛手代北尾算藏同様罷越挨拶等御礼之申述右同様

一 右御見立相濟候^而退出懸ケ御用番十大夫殿大目付相馬相届振例之通

一 御代官御先弘勇藏林平罷出町分無滞御通行相濟候段相届候

一 深信院様例月之仏參被成御先弘嘉七平左衛門罷出無滞相濟候段届

出候

一 御用日^ニ付登城

一 御代官手代共^ノ旅籠代可相払由本陣詰^江申候処兼^而及御噲置候通御賄^ニ可仕候様御役人より申付も有之候間御払^ニ不及万一被至置候^而兼^而申付^与意迷惑仕候旨申演候処近頃御丁寧之旨申之本陣へ孫三郎殿より金式百疋被下之候由本陣詰より届出候^ニ付右之段登城之上御両所へ及御さた置ク

一 御用所^ニも御代官逗留中六ヶ敷候哉^与御尋^ニ候御宿之処^ニては聊も申分無之本陣詰格別出精致候旨及御さた置ク

一 材木町河内屋武兵衛義板倉右近殿領分備中加陽郡庭世^中田村尾上屋定吉当卯式十才然ル処借屋^ニ居申候今村屋久右衛門内縁之もの^ニて当地用事有之夜前罷越候^ニ付来ル七月迄八十日計逗留為仕度旨願書指出承届

一 新魚町三沢屋与八義大坂北浜大川町錢屋七郎右衛門^与申もの小間物商売^ニて先年当地^江出入仕久々参り不申仍右年数相尋候処二十五年以前迄出入仕其後病身^ニて得参り不申依之同人親類備中浅口郡黒崎村新屋仙之助^与申もの荒物商売并魚商内仕^尤魚荷物之義は不残問屋^江指出し卸売^ニ仕右七郎右衛門代り御当所出入為仕度旨同人願越候

京都三条通河原町西へ入藤屋弥兵衛^与申者呉服商売^ニ先年当地^江出入仕候処久々参り不申候^ニ付承合候処二十八年以前^与出入仕候処病身^ニ相成得参り不申依之同人親類大坂唐物町信濃屋孫兵衛^与申もの小間物商売仕候右弥兵衛代出入仕らせ度同人願越候

大坂博労町堺筋和泉屋治兵衛^与申もの扇子商売^ニ当地^江出入候処

久々参り不申^ニ付承合候処三十二年以前迄出入仕候処其後病身^ニ

相成候^而得参り不申依之同人親類伯州倉吉新町年屋利兵衛^与申もの

木綿菜種荒物商売仕候右治兵衛代り出入為仕度同人願越候

右三人共慥成もの^ニ候間宿仕度願書指出承届

一備中松山成羽屋是助并手代金藏右兩人貸本商内^ニ初^而参り候^ニ付

宿仕候旨新職人町松野屋十右衛門宿切手指出ス 十二月十一日帰

届

一上紺屋町かめの屋次右衛門義所持之家屋敷表口三間裏行拾七間御

役本役右家屋敷此度代銀札式百六拾匁^ニ相極借屋^ニ居申候野波屋

八十右衛門へ売渡申度旨願書指出承届候 同廿九日売券状出ス

一出羽守様近々当町御止宿^ニ付御旅宿ハ不及申御関札内御家中下々

迄往来致間敷旨大目付廻状到来^ニ付組中^江触達ス

一右御止宿^ニ付町触先例之文段色々ケ条有之并下宿并間屋日雇頭^江

別段呼出定法申渡候様兩通大年寄^江相渡ス

一大年寄月番今日より孫右衛門相勤候旨届出

一明十九日五時より道見分取計度申出候^ニ付其通り取計候様申付候

尤小頭部屋目付出役之義申付候

五月十九日 快晴

一今日左之もの共出羽守様御通行^ニ付道見分として罷出候処格別破

損無之少々之義町々年寄共申付置候段何も罷出相届候

大年寄 玉置源五兵衛
諸吟味 美濃出屋清右衛門

小頭 堀内利右衛門

一大目付渡部相馬今左之兩人御用之義候間明廿日四ツ時十德着用大

橋十大夫殿宅^江同道仕候様申来

高島生齋

野上玄養

右兩人^江御用之義候間十德着用五半時我等宅へ罷越候様奉書差出

右之段大年寄^江も申達ス

一右奉書為請兩人共罷出候

一元魚町紙屋助右衛門義大坂森田庄兵衛弟子藤葉清右衛門^与申もの

壺人当所用事有之候^而昨日参り候^ニ付三十日計逗留為致度旨願書

指出承届候 六月三日帰届

一酒改三人之もの酒造人拾六人より御運上取立左之通運上奉行^江

相納候段書付を以相届

一酒造米高五千六百三拾石

内訳

三百石橋本屋 四百五拾石三ツ橋屋

三百五拾石市場屋 三百石三河屋

三百石佐和屋 五百五拾石福永屋

三百六拾石島屋 四百五拾石太布屋

四百五拾石吉田屋 四百三拾石山木屋

四百五拾石榮屋 五百八拾石上宝屋

四百五拾石和泉屋 百五拾石川口屋
三拾石高松屋 三拾石玉屋

ノ五千六百三十拾石 酒改

運上銀五拾枚 三人

此銀札式貫百五拾目今日納

一本陣詰不足も有之唯今之内見習も為致置度候ニ付三家屋佐之右衛門大坂屋京右衛門江申付度大年寄分伺出候ニ付勝手次第申付候様達置候処今日兩人共申渡候段届出候

一吹屋釜屋市郎右衛門義用水溜鑄物仕指上度由先達而相願候処願之通被仰付数 指出候様被仰付申達被置候処此節不残出来御作事方へ相納候旨届出承置ク

五月廿日 晴曇雨

一高畠生齋野上玄養五ツ半時役所江罷出候ニ付兩人共一同座敷江呼出候而今日御用之義有之御用番十大夫殿江同道可致候旨申渡十大夫殿宅江罷越兩人共召連罷出候旨取次を以申入候処拙者ハ座敷へ通り茶恐入義一杯出候兩人は別間江通り居候由

一大目付渡部相馬罷越今日之被仰渡候振合申聽候ニ付兩人江進退之振合御請書之義申含置

一十大夫殿江座敷江被出候而相応挨拶有之畢而大目付分兩人のもの沓人ツ、指出候様ニ差図有之生齋致同道候処十大夫殿左之趣御申渡

格式大役人格ニ被召出御擬作五人扶持被下之尤勘定奉行支配ニ被仰付候由

右被仰渡相濟候而役筋江向御受申候ニ付役筋取合不存寄詰構被仰付難有候旨及御請候処目出度由御挨拶畢而大目付より御書付被相

渡自身頂戴之退座

一玄養同道并被仰渡都而生齋通り右被仰渡之内猶以産業出精可致旨被仰渡有之

一右相濟候而十大夫殿江被入候而大目付江も及挨拶退出ス

一出羽守様近々当所御止宿ニ付先例を以取計格別記之通相伺候処何之通被仰出候ニ付右別記大目付江相廻ス

一此方様分出役之面々立宿夫々町々江申付候段大年寄分書付指出候ニ付大目付江書付指出出役之面々江被相達候様申遣ス

一坪井町くわから屋吉右衛門義所持之家屋敷表口六間半裏行拾間但

シ御役沓軒式歩役右家屋敷之内東之方ニ表口三間裏行拾間御役五歩五厘相添代銀札七百目ニ相極同町沼屋清藏へ売渡申度願書指出承届候 同廿一日売券状出

一藏合孫左衛門義兼而人別人願相濟候播州佐用菊地正因娘同孫兩人共昨夜引取候段月番より届出承置ク

五月廿一日 雨天

一院庄川満水ニ付舟渡相留候段郡代より申来大年寄江申達ス

一出羽守様御止宿御当日并御立候日両日共同心組加人兩人罷出候様取計候旨小頭より申出候ニ付大目付相馬江申遣置ク

一備前西大寺五明屋弥治郎与申もの髪付元結并七島卸売ニ初参り候尤右著先月廿七日承届候もの此度初而罷越候由逗留為仕度東新

町船本屋兵助宿切手指出 八月十六日帰

一大坂玉造上木綿町松坂屋忠右衛門与申もの唐弓弦卸売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度旨右同人宿切手指出ス 八月六日帰届

一院庄川水干落候ニ付舟渡相始候旨郡代ノ通用有之大年寄江申達ス
一出羽守様御宿割中村軍兵衛申もの今晚当着ニ而御同勢名面書壹
帳相渡夫々宿割取計相濟尤道中是迄故障無之様子ニ付当所弥廿三
日御止宿大方相違も有之間敷旨同人申立候由本陣詰申出候ニ付
大年寄ノ届出承置ク

五月廿二日 昼後晴

一出羽守様御宿割昨晩到着ニ付道中指支無之候ニ付弥廿三日御止宿
ニも可相成旨申之候旨届出候ニ付其後御用番中江申遣并大目付郡
代江茂右之段及通用

一組之もの共役割左之通之旨小頭より書付ニて相届候

御先払 利右衛門 藤四郎 宇左衛門

人馬方 和四郎 嘉七

供方 源藏 和右衛門 使組加人和田右衛門

当番夕番 使組加人平左衛門

夜廻り 勇藏 林平

廿四日

御先払 利右衛門 和四郎 林平

人馬方 藤四郎 勇藏

当番夕番 平左衛門 嘉七

夜廻り 源藏 和右衛門

供之方 前日之通

一明廿三日正八ツ時出宅之旨割場江御貸人之義御厩江御貸馬之義申
遣ス

一小性町鳥屋与市義所持之家屋敷表口四間半裏行式拾間三尺五寸御
役式歩五厘右之家屋敷代銀札三百五拾匁ニ相極町内作人徳馬江亮
渡申度其外何之故障も無之候旨願書指出承届候 同廿八日売券状
差出ス

一新職人町松野屋十右衛門義京都愛宕山福寿院内本詮坊申もの壹
人当所事事有之罷越候ニ付三十日計逗留為仕度願書指出承届候

一御藏元院庄川江出役仕兼田川之処も俄ニ出役も難計候ニ付右之段
心得居候様申達置候処熊野屋文五郎妻致死去候ニ付同人并悴鶴藏
忌中引込候由然ル処右出役指支ニも可相成候間忌指免呉候様御舟
奉行下役奥村文右衛門申聴候ニ付今日父子兩人共忌指免之義大
年寄へ申達ス

五月廿三日 雨

一出羽守様昨夜御泊三ヶ月駅江遠見之もの指遣候処今四ツ時前罷婦
昨廿二日出羽守様三ヶ月へ七ツ半時過御着被成今晚七ツ時之御立
触承之罷婦候旨申出候ニ付右之段御用番中へも及御さた大目付郡
代江も及通用

一今日明日両日組加人鈴木和田右衛門末沢織治罷出候

一今正八ツ時供揃申付八ツ時前相揃出宅

口付 利右衛門 用使 鎗持割場

自分騎馬 和田右衛門 草り取手人 合羽籠割場

口付 源藏 挟箱持割場

林田町立宿 山本三右衛門

一 右立宿ニ相扣居候処夜五時頃御通行有之候而先例之場所林田町北横町江罷出相扣居候処名前相尋候由ニて足輕体之もの罷越候ニ付名札相渡候処無程御駕籠所ニ而御駕籠脇分左之通披露有之

松越後守様町御奉行
江口勘大夫殿

右駕籠所相濟候而尚亦御駕籠脇体之もの罷越出役大義之旨致挨拶御会釈御座候得共御途中故御本陣江御送り可申旨挨拶有之

一 右御通行相濟候而京町立宿ニ文字屋嘉左衛門方へ罷越相扣居候処無程本陣詰罷越唯今伺ニ罷出候而可然旨案内有之候ニ付早々供揃申付候而御本陣江罷出左之通

御取次

由良平左衛門

出羽守様御道中昼

名札役名
相渡ス 江口勘大夫

御機嫌能御旅行被遊

恐悦奉存候今日ハ当所御止宿被遊候ニ付御用等御座候ハ、可被仰付候旨

但し御関札中相詰罷在候段及挨拶

一 右之段申演候処口上之趣可申上候間暫く扣居候様申聽候ニ付相扣罷在候処無程御取次罷出御口上之趣申上候処段々御丁寧之御義ニ答之何之御用も御座候ハ、可被仰遣候間夜中相詰候義必御無用被成候様ニと被仰出候旨御取次分演説有之且御目録被下候義取調候而彼は延引御侍せ候右御会釈之義ハ途中ニ而御達も申候由ニ付別段御達不申旨申聞候ニ付難有候旨申述引取候処例之通式台迄相送り互ニ及会釈相濟夫分猶亦立戻り候而今日拝領もの御札申述引取

諸事相濟

一 夜中出張宿三丁目川口藤左衛門宅江罷越出羽守様無御滞御本陣江御到着被遊候段御用番十大夫殿大目付相馬江相届候

一 今夜中不絶大雨ニ候得共院庄川満水之様子も不相聞候而安心仕居候得共夜中一向度止も無之ニ付明朝之処難計哉与心配仕居候事

一 明朝六ツ時之御立触有之

一 御使者宿江御取次小島定人相詰罷在候所向方様分御使者之様子も無之候ニ付段々問合有之候然ル処江戸表ニ而御使者御取替有之候事故当所ニ而は御使者無之候ニ付御取次小島定人御使者宿斎藤孫右衛門方引取候旨孫右衛門より相届承置ク

一 御側使者鈴木与四左衛門相勤御進物等も有之候由御本陣分申出承置ク

五月廿四日 昼後雨止

一 出羽守様六時御立触等も有之御同勢追々出立之様子ニて御供方も相揃様子ニ付自分義支度致供も相揃置候処郡代十郎左衛門分昨夜中之大雨ニ而今晚ニ至追々出水ニ付唯今之様子ニ而者出羽守様御越立不相成候間今一左右有之候迄御出立御見合御座候様取計可申旨申来大目付相馬分も右同様申来候ニ付本陣玉置源五兵衛呼寄今一便御座候迄御立御見合御座候様御役人可申達旨申付候処早々右之段御役人迄申込候処左も御座候得者暫御見合可被成候得共昼後迄ニも御越立相成候ハ、警申惣御同勢ハ相残候共御立可被成候間川之様子何れ共相知次第早々相知呉候様御役人分申聽候旨源五兵衛申出承置ク

一 出羽守様右之通御見合ニ相成候ニ付尚亦伺御機嫌御本陣江可罷出候旨御本陣江申込候処唯今罷出可然旨本陣詰分案内有之ニ付御本陣江罷出候処御取次左之仁罷出候ニ付左之通申述ル尤御取次は御側役之由同人申聴候

御取次御側役

望月円治

出羽守様今朝之御様体

町奉行

江口勘大夫

奉伺候者 昼御機嫌能御座被成候旨

円治分申聞候

畢而

昨日より之大雨相続候ニ付院庄川満水ニ付御見合候趣。申上○右川より注進申出候ニ付其段無油斷取計

候得共右帰所江者 川方御役人共罷出候義ニ付。御越立相成候

ハ、早々注進申出候義ニ候間暫御見合御座候様御取計可有之

旨申演候処段々入御念候御事ニ思召候然ル処出羽守様ことの

外御急キ被成候ニ付今昼後迄ニも御越立相成候得者 御出立被

成候答ニ付警惣御同勢越立は不相成候共御側向御駕脇程ニて

も御越相成候ハ、早々御出立被成候間何卒御懸り之御役人江

も右之段相達し呉候様円治より申聞候ニ付右之段夫々御役人

も申達し候旨及返答引取候

一 出羽守様今朝御立御見合ニ付為伺御機嫌御本陣江罷出候処御役人

分右之段御指急之趣共大目付江申遣何卒水主相増候共御越立ニ相

成候様御取計可有之旨且亦殊ニ寄候ハ、院庄御茶屋迄御入込被成

候御沙汰も相聞候ニ付御茶屋御手当も可有御座候間内々得送候旨

大目付并郡代江も申遣置ク

一 院庄川追々出水ニ而 弥川留ニ而 今日之御越立不相成候旨院庄川分

注進有之候間右之段御本陣江申達し候様大目付分申来郡代分も川

留之趣申来候ニ付玉置源五兵衛呼寄候而 右之段御役人申達候様申

付候

但し院庄御茶屋迄御入込候義大目付并郡代江も及通用候処右

院庄御茶屋之義当年ハ御休ニも不相成候ニ而一向御手当も無

之警御茶屋之処は可也ニ相濟候共下宿之義手当無之甚指支之

義尚亦向方様ニも御不自由勝ニ付何分川明キ迄当所御借留御

座候様御役人江懸合可申旨大目付分申来候ニ付御本陣江も可

罷出候得共右之段一応御本陣を以申上置ク

一 御本陣玉置源五兵衛罷越候而 院庄川満水ニ而 川留ニ付御滞留申上

候処左候ハ、今日ハ当所御逗留可被成候得共追々川之様子も相知

候ハ、可申知廻明朝は川明キ之有無ニ不拘御出立被成候御積之旨

御役人申聞候段源五兵衛分申出候

一 院庄川満水ニ付今日当所御滞留被成候段御用番十大夫殿江申遣大

目付江も右之段及通用明朝は川明キ之有無ニ不拘御出立被成候御

役人共より申聴候間猶以川方之義宜御達可然取計御座候様ニと相

馬江申遣ス

一 大目付相馬分夜中致面談度候間宅へ罷越候様申来即刻罷越候所相

馬申聴候者 物出羽守様御指急之御様子追々致承知且亦御徒目付分

も右之段申出候今昼後之様子ニ而は明朝之処定而御越立も可相成

候得共弥川明キ之上御立も御座候様致度川明有無ニ不拘御出立も

被成候^而 万々一院庄御茶屋等へ被為入候様ニ相成候^而者 御手当も無之下宿等勿論之義ニ付向方様^ニも御不自由之義ニ付明キ川之上御出立御座候様御役人^江懸合候様致度旨申聴候ニ付何分御役人^江も懸合可申候得共明朝は是非御出立之御手合之由今昼後雨止候様子^ニ而ハ川端御入込御座候共御指支も有之間敷候得共何分右之段申談可申旨申述候^而猶亦立宿^江罷帰候処最早及深更候ニ付明朝迄之様子^ニて可申上^与先ツ懸合不申相扣候処追々川端よりも注進有之晚七ツ時分迄は出水之様子^ニ候処其後は少々ツ、引水ニ相成候段注進申越候ニ付御本陣源五兵衛呼寄候^而引水之様子^ニ相成候段併此節之義何時出水も難計候間^与得川明キ注進之上御立も御座候様仕度院庄御茶屋とても御不手当之義^ニも候間此段^与得御懸合申候様御役人とも申聴候^ニ付罷出候^而御懸合も可申候得共先ツ右之段御演説申候旨御本陣を以申述候処段々入御念候事何分川端之様子相知次第早々為相知呉候様申され候段源五兵衛申出承置ク

五月廿五日 快晴

一 出羽守様昨夜御立触も無之候処今朝六ツ時御立之様御供方も追々相揃候様子^ニ付自分義も仕度相調相扣候処御舟奉行下役奥村文右衛門より飛札差越院庄川も追々引水^ニ相成今朝五ツ時前後^ニは御越立も可相成旨申越郡代并大目付よりも同様之趣追々申越候処最早出羽守様御立之御様子^ニ付未^与睨川明キ注進は無之候得共今朝

は御越立も可相成趣注進有之候得共^与睨川明キ注進之上御立も御座候得^者猶御都合宜候ニ付右之段御本陣^江可申上候罷出かけ候処最早御立之由^ニ付無扨右之段不申演新職人町通り西今町横町^江罷出相扣居候処無程御先供より御駕籠所^ニ相成候^ニ付下座仕罷在候処出役之趣申上候様子^ニて御簾上ケられ候^ニ付平伏仕

但し御急之節名披露候^ニ付今日ハ名披露無之哉^ニ被存候

一 右御通行相済候^而尚亦立宿川口藤左衛門方へ罷帰候^而罷在候所町分無御滞御通行相済候段安岡町より注進有之候^ニ付立宿引取直^ニ御用番十大夫殿宅^江罷越申置候^而可然候得共出羽守様御着以後御滞留之次第共及御噂罷帰ル尚亦大目付^江も御使相届候義^ニ候得共今朝之様子及直談罷帰候

「^{疾みんであつた哉}」朝御本陣^江罷出未川明キ^ニも無之候^ニ付今暫ク御見合被遊候^而も可然哉万^一院庄迄御入込被遊候^而も川明キ不申も節ハ御茶屋とても御手当も無之勿論下宿等甚不手当之義^ニ付右之段一応及御懸合候様御役人共申聞候旨^ニ而懸合可申御玄関前迄罷出候処最早御立之様子^ニ付御見送り之場所へ罷出御見立仕候^而御駕脇^{（と）}の方へ及逢対右之趣申述併御立は相済候事故院庄御茶屋御手当無之段及演説候事

一 左之者共江戸表御普請^ニ付出府仕度尤来廿六日出立御普請相済候迄逗留仕度旨銘々願書指出承届

東新町飯綱屋 石右衛門忰 佐吉
同町 作人 儀兵衛

下紺屋町

与市

メ三人

一 小性町茂渡庄右衛門家守若野屋甚吉義借屋ニ居申候作人伝五郎兼
而 心願有之四国遍路仕度来ル廿七日出立仕往來百日計之逗留ニて
相帰申度願書指出承届候

一 出羽守様御通行ニ付人馬左之員数指出候旨問屋幾太郎分書付取之
出役藤四郎勇藏より指出ス

一 馬三十五疋

一 人足三百三十八人

メ

五月廿六日 快晴

一 牢舎元治義病氣之趣ニ付服薬之義願出大年寄江申付候処順番中村
益庵へ申付診察候処難捨置候ニ付今日夕為致服薬候段届出承置ク
一 御藏米五拾六匁五分 町米五拾式匁五分

五月廿七日 昼後雨

一 安岡町菊屋忠七義脇坂中務大輔殿御預所当国之内久米南条郡南畑
村小兵衛伴伝藏当卯四拾才此度借屋ニ居申候畑屋治兵衛養子ニ仕
度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人より手紙指越候旨願書指出
伺之上聞届達ス 六月八日住宅証文出ス

一 元魚町黒坂屋太兵衛義久世御代官所山田常右衛門殿御支配所当国
之内大庭郡鍋屋村茂十郎伴平三郎当卯十二才此度養子ニ引受申度
住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人より別紙指越候旨願書指出伺
之上聞届達ス 六月二日住宅証文出ス

〔東新町〕

一 東新町江戸庄事鍛冶屋宇兵衛義先達而博奕吟味方より指口之もの

ニ付組合共江預ケ之義申付候処其以前分他行仕候而帰不尋申付候
得共何方相知不申候段届出候ニ付及御沙汰候而百日尋申付若右日
数之内不尋「」おゐては組合共過料可申付旨相達受書も指出候処
今昼上之町ニ而博奕吟味方下役出合候而召捕組合共江急度預ケ申
付置候旨相届候旨佐藤八郎左衛門分届出候ニ付博奕筋之義勝手

次第呼出吟味可有之逃去之始末組合尋中立帰候段は早々寄候而役
所ニ而可及吟味候旨及返答置ク

一 戸川町平野屋幸右衛門義弟茂三郎三ヶ年以前文化丑十月相願土岐
山城守殿御領分当国之内英田郡川崎村伝治方へ養子ニ差遣置候処
此度離縁仕罷歸り候ニ付町内人別指加候様願書指出伺之上聞届達
ス

一 新職人町作人市助家守平藏義脇坂中務大輔殿御預所当国之内勝南
郡倉見村新助娘しけ当卯式拾八才ニ罷成候此度弟長吉妻ニ引受申
度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人共今も別紙指越候旨願書指
出伺之上聞届達 六月廿八日住宅証文出ス

一 美濃職人町沢田屋善藏義所持之家屋敷表口拾間裏行六間但御役宅
軒役并右敷地之内土藏式ヶ所此度同町財布屋庄「」取次ニ而賃
物ニ書入銀札式貫目借受壹ヶ月壹歩三朱之利足ニ而借用仕度願書
指出承届候 同廿九日質入証文出〔文化六巳〕月〔受戻し候〕

一 安岡町久山鶴藏義先達而親勘八より相願二宮村立石広助娘かよ妻
引受妻「」候処家風ニ入不申候ニ付此度離縁仕右広助方へ差戻
申度仍之町内人別指除候様願書指出承届候

一 下紺屋町不動院義例年之通来ル六月七日夕十四日迄祇園会ニ付御
戸開除疫祈禱修行仕度旨断書指出尤寺社役所江も相断候旨ニ付寺
社取次引合候上聞届達ス

一 晴姫若様病氣之処御養生不被為叶去ル十二日酉下刻被遊御逝去候
右ニ付御機嫌伺ニ茂不及併普請鳴物御構無之此段向々江可被達候
事

右之趣従公儀被仰出候御手前ニ而ハ今日より来ル廿九日迄三日之
内鳴物停止被仰出候尤普請ハ不苦候旨大目付廻状到来ニ付組中江
相達町触差出ス

文化元年
雲州様御通行之節 御仕向

五月廿八日 雨昼後晴

一 御用日ニ付登城

一 出羽守様御会釈有之候面々左之通本陣江被相送候由夫々江相届
候旨書付指出御用所へ及御さた大目付江指出ス

一 金貳百疋

江口勘大夫

一同

古市隼人

一同

三浦十郎左衛門

一 銀三画

土居彦左衛門

一 金百疋ツ、

山本弥七郎

吉村弥平次

金田十左衛門

一 銀貳両ツ、

問屋詰同心四人

一 鳥目三百文 小頭御先払

一同 貳百文ツ、 御先払四人江

一 白銀三枚 御本陣 玉置源五兵衛

一同 壹枚御昼

一同 三枚

一 御用所ニおゐて御用番御年寄左之通御申渡大目付出席

下高倉村東分 弥吉

同村平助倅 万吉

同村惣太倅 元治

同村惣市倅 繁右衛門

同村西分庄屋儀右衛門下人 松兵衛

同 西分多吉下人山西村 久藏

右之もの共所々ニ而博突立合致不届ニ付五十敲之上帰村被仰付候
此段可被取計由

一 右敲之義郡代申談候 而来月二日取計候旨御用番并大目付江申達ス

一 来月三日昌丸様御前髪被為執候恐悦申上有之候間四ツ時登城仕候
様大目付相馬分申来

一 嚴恭院様御三回御法事来月御取越候 而御赦之義本院分歎内意申出
有之候 而例之通付紙取計相濟候ハ、郡代江相廻候様大目付分達有
之歎出書付受取

一 中ノ町玉置卯左衛門家守万助義借屋ニ居申候木和屋弁作後家当卯
七拾才孫かめ十三才右式人林田上ノ町太郎引請候ニ付町内人別

除差除候様願書指出承届

有之

一 鍛冶町鍛冶伝兵衛義悻小三郎当卯廿一才此度御領分太田村百性作

材木町惣兵衛

同町 清治

兵衛方へ養子ニ指遣申度町内人別除願書指出承届候

同町 重右衛門

同町 熊藏

一生野御代官布施孫三郎殿御困米為御改御出御逗留中御賄勤諸人用

同町 岩吉

中ノ町平左衛門

共上より御指出被下候^而可然旨遊行巡見使等之節「不残上より

同町 利吉

西新町武兵衛

御賄被下候ニ付今般も右之通^而可然哉候旨大目付相馬^江申談候

伏見町周藏

京町 広右衛門

処上より可被下候間書付指出候様被申聽候ニ付今日本陣詰櫛野屋

同町 龜吉

福渡町茂右衛門

茂市大村屋源右衛門呼寄候^而下役彦左衛門^分為仕懸合置候事

細工町六右衛門

同町鶴太郎

五月廿九日 雨

同町 岩吉

安岡町伝藏

一來月御法事之節御赦内意申出左之面々付紙取計郡代^江相廻ス

同町 幾右衛門

茅町 七郎兵衛

未間も無之徘徊難免

船頭町広瀬屋
長治郎

同町 利兵衛

安岡町新兵衛

右同断帰住難免

安岡町村屋
藤助

宮脇町伝吉

同町 七左衛門

いつも付紙之通徘徊難免

美濃職人町豊後屋
宇助

細工町太吉

美濃職人町福藏

一 当春御初駕之頃御箱訴之由博奕之義郡代兩名^ニて訴状為心得披見

吹屋町宇四郎

小性町幸吉

仕候様昨日大目付より相渡披見相濟郡代^江相廻ス

京町 利八

同町 鶴藏

一二階町山手屋家守藤吉義借屋^ニ居申候美濃屋利兵衛妹かめ^与申女

材木町八郎右衛門

同町彦左衛門

当卯十九才此度御領分太田村百性勘右衛門悻龜之助妻^ニ差遣度町

林田町善吉

京町 茂吉

内人別除願書指出承届候

河原町石右衛門

中ノ町岩治

五月晦日 雨天

伏見町喜治郎

細工町治兵衛

一 例月之通三ヶ所番賃銀相渡ス

堺町 半兵衛

橋本町藤十郎

一 左之町大工共江戸御普請御用^ニ付出府申付候段御作事奉行^分通用

四拾人

一生野御代官布施孫三郎殿御困米為御改御越御逗留中諸人用本陣詰

今取調書付指出大目付相馬^江 相廻都^而 不時御代官御出之諸入用^者
上より相渡候義ニ付其段申遣置ク諸入用辻左之通

九百七拾匁九分六厘

一 生野御代官并出羽守様御逗留中両役共左之もの出精御本陣詰相勤

候ニ付左之員數御褒美被下置候様仕度旨大目付相馬^江 書付指出置

ク

銀札三拾匁

櫛野屋
茂市郎

右同

大村屋
源右衛門

銀札拾匁

浜野屋
源吾郎

御家老 安藤丹後殿

御年寄 大橋十大夫殿

大目付 黒田頼母

大年寄

斎藤孫右衛門

十一日今源五兵衛

諸吟味

宮田喜左衛門

六月^壬 申 朔旦 雨

一 東新町鳥屋伊助義脇坂中務大輔殿御預り所当国之内英田郡倉敷村

菊屋元治郎弟勝三郎当卯十八才此度養子ニ引請申度住宅之儀願出

尤向方旦那寺并村役人今別紙指越候旨願書指出伺之上聞届達 同

六日住宅証文出ス

一 下紺屋町鳥屋利兵衛義役介久六当卯四十六才罷成候処当正月廿八

日不計罷出同二月上旬出奔之「」相届候^而 百日尋申付置候処所々

相尋以今行衛相知不申最早百日余ニも相成候ニ付町内人別指除候

様願書指出伺之上聞届申達ス

一 左之もの共御普請御用ニ付出府申付候段御作事奉行今通用有之

左官

戸川町

宇兵衛

桶屋町

幸之助

新職人町 甚吉

瓦屋根葺

上紺屋町

善兵衛

一 石松院義兼住居二階町不動堂ニて灯明之施主有之例年之通来月七

日今四十四日迄除疫祈禱護摩修行仕度尤寺社役所へも相願候旨願

書指出引合之上聞届申達ス

一 元魚町村本屋万吉義松平遠江守殿御知行所播州赤穂郡西山村幸四

郎悴八百歳当卯廿八才此度借屋ニ居申候作人幸右衛門役介ニ引受

申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人今別紙指越候旨願書指出

伺之上聞届申達ス 同五日住宅証文差出ス

一 下紺屋町作人太郎兵衛義山田常右衛門殿御支配所当国之内大庭郡

野川村字八娘ゆき当卯廿二才同孫六治当卯四才右兩人此度家内^江

引受申度住宅之義願書尤向方旦那寺并村役人今別紙書付指越候旨

願書指出何之上聞届申達 同六日住宅証文出ス

一 明二日在方之もの敲取計候間右手合之義并出役等之義小頭_江申付

置ク

一 雲州御女中昨夜勝間田泊_ニて当所迄罷越候処院庄川留り候様子_ニ

付当所止宿_ニ相成先例順番宿_江申付候義_ニ候得共指懸り候事故間

屋_分押_而相断京屋利兵衛方_ニ宿為致候旨届出候段大年寄_分相届候

一本陣詰之もの并問屋幾太郎_分左之諸人用辻帳面_ニて指出披見相済

候ハ、指戻候事

御発駕之節

一百三拾式匁

全入用

生野御代官御逗留中并御立之節

一五拾九匁九分

（増人足并貸人問屋_分保頭代
遠見之もの入用）

出羽守様御滞留_ニ而 困人足増人足

一 壹貫七百三拾七匁分九厘 諸入用辻

御代官御逗留中本陣入用惣割之分

損料私

一百九拾九匁九分壹厘

（日雇廿四人 入用
大工并浜野屋）

出羽守様御逗留中本陣入用高此分本陣_江被下銀七枚_ニて払之

分

一 式百三拾四匁七分七厘

一 今八ツ時前院庄川満水川留之趣申来大年寄へ申遣ス

六月二日 雨

一 今朝左之もの共敲取計

下高倉村東分

弥吉

同村平助倅

万吉

同村惣太倅

元治

不届_ニ而 博奕致参会

繁右衛門

同村惣市倅

松兵衛

同村西分庄屋

文藏

浅右衛門下人

同村西分多吉

右出役之面々左之通

御徒目付山本弥七郎 下目付老入

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎 出番宇左衛門

一 右取計相済候段御用番十大夫_江相届并大目付_江届遣ス

一 院庄川水落舟渡相始候段申来大年寄_江申遣ス

一 元魚町灰屋佐右衛門義宿願_ニ付撰州能勢妙見_江参詣仕度往来十八

日計逗留_ニて罷帰り申度願書指出承届候 同十八日帰届

一 西今町今田屋伊助義御領分西々条郡二ノ宮長治郎弟豊治郎当卯三

拾壹才此度役介_ニ引請申度町内人別人願書指出承届候

一 京町高道載義娘いを当卯十九才此度村山良哲方養遣候_ニ付町内人

別指除候様願書指出良哲引合之上聞届申達ス

一 上紺屋町中津屋五郎右衛門義御領分西々条郡二宮村安兵衛母孫な

つ当卯式拾壹才此度借屋_ニ居申候かんきやことこの養女_ニ引受申度

町人別_ニ指加へ候様願書指出承届

一西新町木屋与治右衛門義御領分西々条郡二宮村治助娘のふ当卯式
十才此度借家ニ居申候宇兵衛妻ニ引受候旨町内人別人之願書指出
承届候

一西新町備前屋市右衛門義林田村九八与申もの江質物之網貸置候処
右九八罷越右之網九八方取ニ遣し呉候様相頼候ニ付下男文蔵取ニ
遣候処九八留守ニて実母并子共居候ニ付網返し候様文蔵分申立候
処実母有所申候ニ付受取帰居候処右九八父熊治郎途中迄追懸出
九八留守ニて相渡不申候旨網取返し候ニ付無摺文蔵義は其俣罷帰
右之趣申聞候ニ付又候申遣候ハ何之取返し不申候ハ、銀札ニ而も
相済呉候様申遣候由折節熊治郎并九八伯父音吉九八弟六蔵右三人
ニて打擲仕候由逃帰候而其俣打臥食事も一向給不申右三人も追々
罷越文蔵不埒ニ付打擲致候旨申立罷帰申候文蔵容体及見候処面分
ニ疵等も有之早速請人之もの呼寄介抱為致文蔵宿許脇坂殿御預り
所勝南郡勝間田村弥八方へ飛脚差遣し右弥八并親類之者老人罷越
候ニ付様子為相尋候得共ことの外気分悪敷由ニて一向返答得不仕
候得共理不尽ニ致打擲候旨申立候仍而相手方吟味願并医療之義も
指図之上可申付旨願書指出候ニ付郡代十郎左衛門江相廻相手方手
当等有之義ニ候哉且疵所見分指出可申哉候旨問合候処早速手当も
申付疵所見分ニも指出可申申来候ニ付部屋目付藤四郎江申付今夕
出役見分取計候様申付候

六月三日 快晴

一御用日并恐悦申上有之候ニ付麻上下着用四ツ時登城
一今朝郡代より西新町備前屋下人文蔵義他支配之ものニも候間先ツ

見分之義見合候而内济方取急候様致度尤他支配之ものは此方ニ
而下見分仕候義も当役所ニ而者有之候得共郡代方ニ而者直ニ他役
人立合見分取計候由致来候趣ニ而右之趣申越候ニ付先ツ今度は右
見分延引致候而内济不及熟談候得者龍野役所へ懸合候様申談置ク
一博奕一件御箱訴候由先日大目付相馬より被為見候ニ付披見致置義
与指心得罷在候所今日存寄書面ニて指出候様被申聴候ニ而則存寄
無之當時博奕吟味方有之候事故平心吟味寛急も有之間敷候間別段
取計無之旨書付候而差出ス

一例之通梅之間ニおゐて御奏者番以下一統昌丸様御前髪被為執候恐
悦御小性頭江候謁申上候蕙心院様江も同様恐悦申上候

一御用所江も右恐悦揃罷出候節申上大目付役所へも右恐悦之義及挨拶

一左之通大目付廻状到来ニ付組共江触書小頭江達町触差出

一昌丸様御実名

トキトシ
時敏様与奉称候右御同名ニさへ無之壱字ツ、之名乗上下ニ
相用候義は御構無之候

一来月十三日

嚴恭院様三回御忌被為当候ニ付来ル十二日今十三日迄於泰
安寺御取越御法事被仰付候

一二宮村兵八被盜物左之通例之通触流指出候様大目付分違有之候旨
郡代より相廻即町触差出 同十六日無之段届出候

一女着単物 壱ツ

代拾匁位但し染地あいひろふとくしおくひろ小もん

一同木綿帯 壹ツ

代三匁五分地黒

一男着単物 壹ツ

代四匁位但し地淺黄水色立しま

一同はたき 三ツ

代壹ツニ付三匁位宛但し染地水色

一白米三升位

メ五品数七ツ

一明四日明後五日溝見分取計候旨兼 而 大年寄伺出候ニ付承届置候処
小頭分も両日出役仕候旨相届候

一西新町年寄三人より町内備前屋平右衛門下人文藏打擲一件東新町
種屋伊助太田村仙藏取暖候 而 一件内濟仕候仍 而 文藏義は勝間田親
元 江 指戻申度以来申分無之旨相方取替証文等有之及深更願書指出
候ニ付願之通承届候旨大年寄 申達ス

一右一件ニ付部屋目付藤四郎出役為致置候処及深更罷帰一件内濟致
候旨届出候右ニ付郡代 江 茂 右願之通承届候旨及通用

一西新町備前屋市右衛門義林田村九八方へ網貸置候 而 下人文藏取ニ
遣候処九八父熊治郎同伯父音吉同弟六藏三人ニ 而 理不尽ニ及打擲
底所等有之打臥候ニ付相手方吟味之義願出両役申談候 而 見分之も
のも指出置候処種屋伊助太田村仙藏取暖致内濟文藏父勝間田村弥
八も懸合熟談仕以後申分無之候ニ付先日指出置候吟味願下ケ呉候
様尤文藏義は親元 江 指戻申度願書指出願之通承届先書指出戻ス

一北郷門大夫添屋敷ニ有之候傘壹本並壹ツ役所受取候様大目付分達

有之候処門大夫分相廻受取置ケ

六月四日 昼後晴

一西新町備前屋下人打擲一件及内濟候段御用番 江 右願書指出大目付
江 及通用

一林田村音吉六藏手鎖指免内濟候趣承届候旨郡代より通用有之

六月五日 林雨

一吹屋町北村屋源右衛門義借屋ニ居申候金鳥屋重藏妻きの当卯貳拾
五才右 七ヶ年已前西才新魚町分相願引受罷仕候処此度離縁仕上
岐山城守殿御領分当国内英田郡親元瀬戸村久右衛門方へ差返申
度左候ハ、当所支配相離町内人別指除候様願書指出伺之上聞届申
達ス

一安岡町鶴屋茂兵衛義二階町山本屋周右衛門所持之自国受酒株去ル
寅五月相願当卯五月迄借受商売候処限月来候ニ付猶又当卯六月分
来辰五月迄借受商売仕度候旨連印願書指出承届

一新魚町魚屋治郎兵衛家守家根屋三治義宿願有之西国順拜仕度往来
五十日計之逗留ニて罷帰申度願書指出承届候 七月廿七日帰届

一筑前門賀郡柏原浦小平次手代長八 申者例年之通茶碗類売ニ 昨日
参り候ニ付宿仕度京町小文字屋太兵衛宿切手指出ス 八月九日帰
届

一昨今両日溝見分出役之処為指破損所無之少々ツ、之義 夫々町年
寄 江 申付候旨左之面々届出候

小頭利右衛門 部屋目付嘉七

大年寄源五兵衛 諸吟味 清右衛門

一 来十三日嚴恭院様御法事之節大年寄札元例之通拜礼被仰付候旨大

目付頼母江被申達候処今日大年寄拜礼江罷出候旨届出承置札元共

同様拜礼罷出度口上江て願出候江付承届

六月六日 林雨江

一 別条無之

六月七日 雨

一 三丁目備前屋嘉兵衛義借屋江居申候玉屋幸兵衛五日之夕五ツ時江

五半時頃迄之内表口懸金をはつし盗人入込左之品々盗取れ候段届

書を以届出候

一 壹升五合入羽釜

壹ツ 代三匁位

一 七寸かゝみ

壹ツ 同三匁五分位

一 白雲才男足袋江

一足 同式匁位

一 唐ちくさ風呂敷

壹ツ 同壹匁五分位

一 重箱

壹ツ 同五分位

一 髪ゆひ道具

品々 同五分位

一 ほうちよう

一 同式分位

一 壹升枡

一 同三分位

右者触流相願江も無之届書通り之事故市郷目明江申達置候而可

可然旨御用番中江申上置

一 新菜種出来江而大坂表油下直江相成候江付是迄壹升壳三匁五分之

処今日江代銀札三匁式分江壳賣仕度旨届書指出候江承届候

一 西新町江見屋伝助義縁類因州智頭郡智頭村権兵衛与申もの当地用

事有之昨日罷越候江付来ル八月迄逗留為仕度旨願書指出承届候

九月日延願来辰六月迄

一 高石垣番所屋根大破之趣申出候江付大年寄江見分之義申達置ク

一 牢屋下番人病氣引込候江付其段相届割場より助出候旨牢番団助

罷出相届候

六月八日 曇昼後雨

一 御用日江付登城

一 来ル十三日御法事江付御機嫌伺有之候旨大目付頼母江達有之類役

及通用

一 舟頭町御制札場破損之義見分有之候様大目付江申達置ク

一 来ル十三日御法事江付座頭江御布施被下候義願出候江付先例

之通被下置候様御用番中江相伺候処被下置候旨被仰出候江付大目

付江御勝手江達有之候様申達置ク

一 左之もの借牢相願候処願之通御聞濟有之候間近々牢屋敷江指向候

間宜取計候様郡代より通用有之

山北村与之平姉

一 町大工四拾人先頃御作事方江而出府申付置候処追々難渋申立有之

拾九人歎書指出候由左候而者江戶御普請も御指支江相成候間右之

内江も格別無抛指支江も無之ものは相札候而出府為致候様役筋江

而取計候様御用番中御申聞江付大年寄江得申達町役より為札申

出候様申付候

一 院庄川満水江而今晚川留之義申来昼後川明候旨江而兩度共大年寄

江達ス

一 江戸御普譜江付左之もの共当月十日出立江て右御普譜出来之上罷

帰申度旨尤本証文持参仕候旨願書指出承届

東新町作人文吉

同町もミヤ利八俣
万之助

十一月十三日梅福

同町作人庄七

同町作人佐平

西新町京屋利助

林田町橋本屋文治郎

舟頭町中塩屋茂吉

西新町田野屋久米吉弟忠治

一伏見町小坂屋善兵衛義才吉当卯廿六才此度大坂西横堀石屋橋東

詰今木木屋長右衛門方^江当六月分来ル申ノ五月迄丸五ヶ年之間奉

公稼ニ差遣申度尤寺証文持参仕候旨願書指出承届候 文化六巳年

八月勝手ニ付罷帰ル

一舟頭町舟元屋佐助義悻庄吉四ヶ年以前子十一月相願大坂長堀宇和

島橋南詰多田屋吉兵衛方へ奉公稼ニ指遣候処先月廿六日病死仕向

方ニて夫々取葬仕候旨申越候ニ付届書を以届出承置ク

一元魚町山崎屋佐助義二町目伏見屋茂七仕来り候式歩中買株此度茂

七勝手ニ付相止候ニ付右跡^江入申度尤受人茅町板本屋七郎兵衛ニ

相法定法相守り入念相勤可申旨連印願書指出承届

一橋本町黒茶屋伊之助家守平吉義借屋ニ居申候初屋弥吉当卯六拾才

此度脇坂中務大輔殿御預り所当国内勝南郡西吉田村忠助方^江引

越申度依^而当所支配相離町内人別指除候様願書指出伺之上聞届申

達ス

一高石垣番所屋根痛候旨申出候ニ付其段大年寄^江申達置候処今日諸

吟味見習清右衛門遂見分候由之処大痛ニて腫ニハ難相成葺替ニ取

計候旨届出承置ク

一晩刻当国院庄川川留之旨申来申達ス

一牢屋破損所造作被仰付候様牢番より左之通書付小頭分指出ス

一併覆家根

所々損シ

一大門戸

痛壺ヶ所

一吟味場

庇痛式ヶ所

一路治戸

痛式ヶ所

一女牢

じてう場櫃痛

一はしり

四ヶ所

一畳三畳

番所

一縁表三枚

引替

一壁損シ

所々

六月九日 朝大雨四ツ時晴

一左之もの夫役五十日昨日迄^ニ而相済候段御作事奉公文左衛門より

申来御両所^江相届

去月二月廿日今夫役

材木町元屋
五郎吉

五十日

一下役大脇彦左衛門妻今朝出産男子出生候旨山脇平八罷越相届候

一右産穢引込ニ付書役助之義大目付頼母^江申遣候処承知之旨申来候

一書役助使組中谷孫右衛門今日分罷出候旨当人案内として罷出候

一山北村与之助姉借牢願済ニ付唯今分入牢為致旨立合指出候様郡代

分申来則平左衛門罷出入牢立合候旨届出候

一右之段取計候旨御両所^江相届候

一 上紺屋町屋根屋善兵衛義町内又兵衛佐助善助権四郎右四人召連来
ル十五日江戸御普譜御用ニ付立仕右御普譜御用相濟次第罷帰申
度旨連印願書指出承届候 同十一日廿八日権四郎帰届
一 左之もの共江戸御普譜御用ニ付来ル十日出立仕御普譜相濟罷帰申
度旨願書承届候

坪井町川口屋直吉

船頭町瓜生原屋仙左衛門
後家借屋住

長吉

同町友屋市右衛門家守

備中屋甚五郎

新魚町魚屋熊吉

福渡町浜崎屋理兵衛

同町作人

茂七

一 京町今出屋半兵衛義借屋ニ居申候因幡屋庄藏方へ因州用ケ瀬八幡
屋弥七娘さよ与申もの内縁有之此度日雇稼ニ罷越候ニ付来ル辰ノ
年迄同人方ニ逗留為仕度願書指出承届候

一 本多左門殿小者部屋江 昨八日昼八ツ時過左之品々紛失物有之候旨
届有之尤昨昼小者暫時之内留守ニて被盜取候由右ニ付目明共江致
吟味候様可申付由大目付頼母分申来

一 拾 壹ツ

(表木綿くり梅すりはかし
無紋裏古島)

一 単物壹ツ

木綿浅黄地紺与白与の立島(古島)

一 備中妹尾表屋甚四郎弟勘吉武兵衛与申者例年之通畳表并合葉卸売

ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度中ノ町甲屋幸助宿切手指出ス 同九
日帰届

一 播州有馬辻堂茂兵衛与申もの例年之通墨筆并白粉卸売ニ昨日参り
候ニ付逗留為仕度右同人宿切手指出ス 同九日帰届

六月十日 快晴

一 左之もの江戸御普譜御用ニ付来ル十五日出立仕候而御用相濟次第
罷帰申度願書指出承届

細工町灘屋

武兵衛

同町塩田屋和助伴

伝五郎

一 河原町作人平藏義備前邑久郡東幸崎村石右衛門当卯六拾六才同人
悴甚之助拾四才右兩人此度役分ニ引受相応之渡世為仕度住宅之義
願出尤向方旦那寺并村役人別紙指越候旨願書指出候ニ付向之上聞
届申達 ス同廿四日住宅証文出ス

一 町大工四拾人出府之義御作事方申付有之候処内拾九人同所江歎書
指出無抛趣ニて出府難仕旨ニ御普譜之御指支ニも相成候間弥無
抛義ニ候哉役場ニ相糺何卒右之内ニて押而も出府致候様取計旨
十大夫殿御申聞ニ付相糺候様大年寄江申付置候処不残相糺候処何
も無余義趣ニ銘々一札差出町役よりも添書も指出候右之内左之
もの五人押而出府可仕旨申出候ニ付其段書付を以十大夫殿江及御
沙汰

福渡町

茂右衛門

細工町

六右衛門

何江出府可仕候得共銘々難
洪之申立有之由ニ候

其段は御作事方へ相款候様大年寄にて申付置候ハ尤押而出府可仕旨も同所へ

申出候様申付置候由

美濃職人町 吉兵衛
京町 鶴藏
伏見町 喜治郎

一 札元山本三右衛門義同役玉置宇左衛門病氣ニ而当四月相願同廿一日出立ニて大坂堂島瀬屋源兵衛方江療治ニ罷越候処今以相勝不申候ニ付今五十日追願致呉候様申越候ニ付逗留日延之願書指出限日ニ候ニ付十大夫殿御宅江持参指出候処承届候様御指図ニ付聞届達
八月三日今十五日之日延願

六月十一日 快晴

一 京町俵屋伊兵衛義商売用ニ付姫路京口壱町目戸間見屋平兵衛方江十二日出立往来三十日計之逗留ニて罷越申度旨願書大年寄聞届候段当人願書指出ス 同廿七日帰届

一 祇園会ニ付元魚町北口関貫之処江今夕より揚挑灯指出申度届出候ニ付右之段大年寄今届出承置ク

一 深信院様明十二日泰安寺江御参詣可被成候処御法事ニ付明日延引明後十三日八時御供揃ニ而同寺江御参詣被成候旨古谷嘉左衛門申来大年寄江達小頭江も御先弘之義申達置ク

六月十二日 雨

一 伏見町赤穂屋忠蔵義江戸御屋敷御普請御用ニ付来ル十五日出立仕御用相済次第罷帰申度願書指出承届候

一 新魚町山手屋治兵衛義雲州島根郡福浦百性甚右衛門悴甚助当卯四拾五才此度役介ニ引受申度住宅之義願出尤向方且那寺并村役人今

も別紙書附差越候旨願書指出伺之上聞届達ス 七月廿四日住宅証文出

一 西新町袖之都今配当場城美代義相懸り先達願書指出候処其後城美代義内藤檢校へ罷越候而元魚町二文字屋清治郎参り合取扱候而此度内済熟談以來申分無之候ニ付先達而指出候願書差戻候様願書双方今指出候ニ付願之通承届先書指戻尤右訴答之趣御用番中江も及御沙汰置候ニ付兩人共願下ケ願書御用所江指出ス
一 巖基院様三回御忌ニ付御布施銀札五百匁自他之座頭娶共江割渡候旨配当場城美代今受書指出及御さた

六月十三日 雨

一 御機嫌伺ニ付麻上下着用御用日ニ付四ツ時登城
一 巖基院様御三回忌御法事ニ付今朝辻堅源蔵和右衛門罷出無御滞相濟候段届出候

一 梅之間ニおゐて御法事ニ付御機嫌伺御奏者番以下一同御小性頭江謁申上候蕙心院様江同様謁申上候

一 先日御困米為御改生野御代官御越候節諸入用書并本陣詰三人江御褒美被下候義書付を以相伺置候処不殘伺之通被下置候旨大目付相馬申達尤御本陣詰被下之義申立三步式之員数被下之候旨被申達候左之通

銀札式拾匁
榎野屋茂市郎
大村屋源右衛門

一 細工町木屋伊兵衛義讚州高松御城下田町靴屋孫十郎悴仲治与申も
同 七匁 浜野屋源五郎

の大工職仕候ものニ付此度引請大工職為仕度依之当卯六月より来
ル巳十月迄三ヶ年之間逗留為仕度旨願書指出承届候

一御作事奉行吉田文左衛門今般細工町大工伊兵衛義江戸御普請御

用ニ付_ニ出府之義申付度候処同人弟子召連罷越申度旨申出候右_者他

所ものニて候得共内弟子之義_ニ候得_者伊兵衛召連罷出候_而も指構

之義は有之間敷哉右之段御用所_江も相伺候由之処役筋_江申談候様

ニと御申之由_ニ付問合候旨昨夜同人より申聞候処未伊兵衛分弟子

逗留之義役所_江者不願出候_ニ付何れ共返答及かたく旨申述置候処

今日伊兵衛より讚州高松仲治_与申もの三ヶ年之間逗留願指出承届

候_ニ付伊兵衛召連出府之義何も指構無之被存候間其御役所_ニて出

府御申付有之候_而可然旨尤伊兵衛手前_江請人取置候_而如何様之義

有之候共引受御役介_ニ懸ケ申間敷候旨一応被相糺候_而被仰付可然

旨御作事奉行_江申遣ス

一橋本町後藤屋佐市組合共今佐市義去ル四月廿一日立_ニて大坂表_江

罷越候処未用事相済不申候_ニ付今五十日追願日延願具候様申越候

由_ニ而追願書指出承届八月三日又十五日之日延願

一深信院様八時泰安寺_江御仏參被成御先私和四郎林平罷出無滞相

済候段罷出相届候

一左官左之兩人江戸御普請御用_ニ付出府申付候義御作事方_ニて取計

之処無扱指支有之_ニ付出府難仕旨歎書指出候由依之指支之義弥実

意候哉町役より相糺候様御用番申聞_ニ付其段大年寄_江申付候

戸川町 甚吉

桶屋町 幸之助

一右之もの共今般町役_ニて相糺候処何も無余義趣_ニて出府難仕候段
見請候旨町役共今書付指出候_ニ付十大夫殿_江指出置_ク

一巖恭院様御年回御法事_ニ付大年寄札元共拜礼被仰付何_成拜礼罷出

候段届出尤左之面々不參之旨相届

当病 蔵合孫左衛門

右同 山本恒助

他行 玉置宇左衛門

六月十四日 曇

一戸川町吉田屋宇兵衛義今般江戸御屋敷御普請_ニ而御作事方_ニ而出

府申付候_ニ付明十五日出立御用相済次第罷帰り候旨願書指出承届

候

一右同町土佐屋十藏家守宇八義借屋_ニ居申候清助此度前段之通出府

仕候旨同様願書差出承届候

一妙法寺明日ハ宵祭_ニ付今夕西今町上之関貫之所_江揚あんと差出申

度同町年寄届出候旨大年寄分相届候

一徳守宮納涼初日_ニ付為警固として嘉七平左衛門罷出候処無別条引

取候段届出候

六月十五日 晴_{曇後}
大雨

一播州網干余陸屋惣七_与申もの老人手代重兵衛_与申もの老人例年之

通八百屋物卸売_ニ昨日参り候_ニ付逗留為仕度中ノ町津田屋伝治宿

切手指出ス 九月廿九日帰届

一西新町中村屋源六義縁類播州姫路惠美須町松本屋久左衛門_与申も

の罷越候_而用事有之_ニ付来ル八月迄逗留為仕旨願書指出承届候

一 今般左之木工共出立仕候旨町棟梁より届出候旨書付を以大年寄届出候

西新町武兵衛

中之町利吉

中之町岩治

林田町藤十郎

材木町清次

伏見町周藏

同町岩吉

同町喜次郎

京町茂吉

京町龜吉

同町利八

同町鶴吉

同町午吉

同町広右衛門

小性町幸吉

細工町岩吉

同町伊兵衛

同人方弟子仲治

宮脇町七左衛門

福渡町茂右衛門

元魚町吉兵衛

安岡町幾右衛門

茅町七郎兵衛

美濃職人町福藏

メ廿四人

一 生蠟拾貳箇御用ニ付川下致度両番所手形裏印取計候様安岡庵治持参ニ則裏書取計調印之上相済ス

一 院庄川滯水候而舟渡相留候旨郡代分申来大年寄申達ス

六月十六日 快晴

一 暑中伺御機嫌ニ而四ツ時前登城

一 梅之間ニおゐて御奏者番以下三奉行迄暑中伺御機嫌御小性頭江謁

一 申上候蕙心院様江茂同様謁申上候

一 近来烏沢山ニ相成候ニ付打取之義御獵方へ被仰付候御家中屋敷江

も入込候義可有之候間心得罷在候様無急度演説致候様大目付と申聽候段十郎左衛門今通用有之

一 博奕吟味方ニ而去ル十日捕手之もの勝間田辺并初五郎逗留之趣監察為致候由ニ付倉敷村江指向候而段々遂吟味候処初五郎妹智文藏

与申もの湯郷之もの倉敷ニ而山田屋何某借屋借受候而初五郎指置

候趣慶保初五郎義は徳川日以御何方へと罷出居申候ニ付懸合候処同人義ハ初五郎逗留之義は一

向存不申旨申立候由然ル処初五郎妻義同所ニ罷在候旨右代治郎

よりも博奕吟味方江申越候旨佐藤八郎左衛門より申聞候ニ付初五

郎妻義早々組合共江連帰候様尤罷帰候上早々届出可申大年寄江申

付置ク

一 東新町鍛冶屋宇兵衛義先頃博奕吟味方ニ而召取候処其後不快ニ而

今以吟味不致候仍而町役をも与得相糺候処容体書指出候由ニ付八

郎左衛門今指出仍而右不快ニ付吟味延引之旨御用所江及御さた置

ク

六月十七日 曇後白雨霞

一 小性町広島屋清七義大久保安芸守殿御領分当国之内久米南条郡中

北上村庄藏伴三五郎当卯十三才此度養子ニ引請申度住宅之義願出

尤向方且那寺并村役人よりも別紙差越候旨願書指出伺之上聞届達ス

一 元魚町山口屋源次義伴金助当卯廿「五ヶ年以前亥三月相頼往来

中間達「罷出候処此度暇取候ニ付町内人別ニ差加へ候様願書指

出中間頭引合之上聞届達ス

一 京町作人かね義伴玄孝此度御領分東南条郡東一ノ宮村観音寺江来

辰正月迄出職為仕度願書指出承届候

一新職人町松野屋重右衛門差左之通願書指出ス

一大坂小久太郎町堺筋松屋甚兵衛与申もの小間物卸売ニ五ヶ年以前迄罷越候処不勝手ニ付得参り不申依之播州中筋万屋嘉兵衛与申もの此度呉服売并菓種類おろし売小間物卸売仕候ニ付

右代りニ出入為仕度

一大坂常盤町式丁目鍵屋善兵衛与申もの紺屋形売ニ五ヶ年已前

まで参り候処病身ニ相成得参り不申仍而因州鳥取しかの海道

殿村屋市三郎与申もの荒芋布并木綿紙類商売仕候右代りニ当

所出入為仕度

右願之通承届候

一新魚町三沢屋与八義越中富山板屋理兵衛役介宗四郎文治郎庄藏与

申もの三人例年之通当十二月迄召抱置売菓為仕度旨願書指出承届

一福渡町大工屋多助組合共々御領分西々条郡ニ宮村六藏当卯五拾

八才然ル所此度「レ之内大工屋多助去々丑十月病死仕候故右六藏

義は太助縁類之ものニ而引受右諸相統為仕度依之町内人別指加へ

候様連印願書指出承届候

一愛染寺観音参詣往来警ニ付宮脇町関貫開置立番付置候旨例年之通

之由届出候段大年寄より申出候ニ付御所へ及御届

一徳守宮納涼ニ付及警衛和四郎源藏出役之処別条無之引取候段相届

候

一江戸屋源治与申もの悴小登与申もの当時無宿ニ候処近來所々致排

徊候ニ付和四郎宇左衛門目明金吾召連候而魚町辺ニ見合候ニ付召

捕候而目明宅ニて聊相糺候得共何も手懸り之事も無之候得共与得

遂吟味候ため柳の土手江遣預置候旨兩人より届出候右小登母義是

又無宿ニて所々壹両文ツ、泊候由今夕ハ吉村弥平次長屋ニ居候由

是又兼々手くせ不宜候由ニ付同人をも同様召取候而非人小屋へ遣

置候旨宇左衛門より届出候

六月十八日 昼後曇雷「レ」

一御用日ニ付登城

一深信院様例月之通御仏参被成御先弘藤四郎和四郎罷出無滞相濟候

段届出候

一七間廊下ニおゐて例月之講釈大村成夫相勤例之通出席

一安藤夢庵殿死去候由ニ付丹後殿不参主膳殿ニも忌懸り之処早速忌

御免被成候由今日出仕有之十大夫殿不快ニて不参御用向は主膳殿

江今日之処可申上候由尤手紙（御紙訂正）にて相届候義は十大夫殿江相届候様

大目付レ注進有之

一御囲米改御代官御逗留中諸人用証文式通表銀札九百七拾匁三分三

厘今日証文勘定奉行江指出置候処御金藏レ請取候由ニて辰右衛門

より相廻受取直ニ大年寄江相渡ス

但し六分三厘寄せ意有之候由ニて小帳面一回相直候様相返候

ニ付是又大年寄へ相渡本陣詰江直し候様相達候様申達置ク

一本陣詰左之もの共江毎度本陣詰出精相勤候ニ付御褒美被下候義申

立置候処左之通員数被下之候旨先日大目付「レ」達有之今日大年寄

宅ニて左之通申「レ」

〔本陣詰度々格別出精

〕榎野屋

相勤候ニ付銀式拾匁

ツ、被下之

右同断ニ付銀札拾匁

被下之

茂市郎

大村屋

源右衛門

浜野屋

源五郎

但し源五郎江御本渡より被下候者漸七匁相濟候処七匁之員

数は余り軽少ニて難申渡候ニ付大年寄場之ものを以拾匁ニ

いたし指遣ス

右之段申渡候旨大年寄分相届候

一目明共今日非人小屋ニ預置候小登并同人母相糺候処小登義は指而

盜相働候事も無之哉ニ候得共右母義は所々ニて相盜も致候哉之趣

申立候由目明共分小頭迄相届候旨小頭申出候

一例年之通來ル廿五日廿六日於町会所宗門印形取之候旨大年寄分相

届候

但し頭錢当年茂 壹人五錢相懸り候旨届出承置ク

六月十九日 小雨

一出羽守様并御代官御逗留中御本陣并問屋入用惣町割ニ相成候分兼

而帳面指出候ニ付今日町割ニ取計候様大年寄江帳面相渡ス

一 壹貫七百三拾七匁壹分九厘

出羽守様 問屋

一 式百三拾四匁七分七厘

同 御本陣

一 五拾九匁九分

御代官 問屋

一 百九拾九匁九分壹厘

同 本陣

一 百三拾式匁

大守様御發駕之節 問屋入用

一新魚町初五郎妻倉敷村江罷越居候而初五郎与同居致居候段博奕吟

味方より通用も有之候ニ付妻早々連帰候様申付置候所昨日連帰候

段届出候ニ付大年寄場へ呼出為相糺候処口書取指指候仍而心得ニ

も可相成候間一応披見候様八郎左衛門江相廻候処披見相濟差戻ス

一 左之もの久世手代堀川定兵衛和田一九郎平塚左右助添翰を以訴帳

差出尤宿者竹本屋宇兵衛同人願書大年寄江指出添翰ハ願人直ニ役

所江差出ス

久世御代官所当分御預り所

作州西々々条郡富東谷村百性「」

養家相統妨出人

訴訟人 孫左衛門

相手方 伊丹屋利左衛門厄介

さき

一 右懸り合西今町直屋孫兵衛御中間嘉平太武川屋久右衛門妹尾屋庄

兵衛灰屋佐右衛門母御組中山市左衛門

六月廿日 晴

一 下紺屋町長江朝庵義用事有之候ニ付播州かりや三丁目紙屋市左衛

門方江罷越百三拾日計之逗留ニて罷帰申度願書指出承届候 十月

廿八日帰届

一 左之もの共盜筋疑敷有之候旨追々申出候ニ付去ル十七日夕召取候

而非人小屋江預置候而目明共下吟味致候得共為指義も無之候得共

兩人共今日呼出左之面々出会遂吟味

くめ義細川佐内方

不幸之節銀札五匁
并破れ袖無し羽折一

元下紺屋町住江戸屋源治郎妻く
め当時無宿并同人悴源次同様無

とうききッ盗取候由
源治義は盜筋無之

宿

立役之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番平左衛門 宇左衛門

一 右兩人之もの吟味中 牢番預ケ申付候其段御両所 相届候

一 富村百性孫左衛門より久世添翰を以元魚町伊丹屋さき 江相懸り出

訴一件可遂吟味候得共兼 内濟之談候も有之候 付内濟も相成

候得共可然存候 付大年寄孫左衛門兼 一件差込之事も候間呼

寄候 内濟之方取計可然申付候処同人も同意にて左候ハ、噯人左

之もの 内々申付一己之存寄にて噯度旨訴訟人 為相移可申旨申

談置ク

噯人 内々申付候

新魚町檜野屋茂市郎
元魚町伊勢屋亦助

六月廿一日 雨

一 左之もの左之通取計候間立合指出候様佐藤八郎左衛門分申来和四

郎立合罷出候 取計候段届出

揚屋入

円宗寺村上分社男
伊予

一 宮村西山方庄助

中村 治右衛門

入牢

円宗寺村上分常治

真壁村 安治

一 右揚屋入 牢屋下番忝人加人之義申立呉候様牢番より申出候

付其段大目付頼母 申遣ス

一 富村百性孫左衛門分宿連印 伊丹屋さきへ相懸り訴訟一件伊勢
屋又助檜野屋茂一郎下濟取扱度深切 申聞候間任其意度仍 訴状
名面之者共呼出候義右扱中來ル廿五日迄日延猶予致候様書付指出
承置ク

六月廿二日 快晴

一 御蔵米 五拾七匁五分

一 町米 五拾三匁五分

一 先達 久世表 呼出有之候京町大村屋源右衛門并目明宗兵衛口書

印形取極有之候 付來廿六日町役差添指出候様其節忝人立合可申

旨手代堀川定兵衛和田一九郎平塚左右助分申来則御用番 返書下

案共指出候処宜取計候様御返書來候尤右呼出之もの共并下役立合

出役之義可申達旨是亦相伺候処宜取計候様御申達 付夫々申達ス

一 富村孫左衛門出訴一件并猶予願共今日一応御披見有之候様尤各相

分り次第相伺可申旨御用番中 申上候処御披見相濟候由 宜取

計候様御申越

一 新魚町河本屋房吉義祖父大坂島之内鱒谷大和屋平助 申もの用事

御座候 昨日罷越候処少々相勝不申候 付三十日計逗留為仕度願

書指出承届候

一 戸川町作人字八義借屋 居申候作人伊八当三月当国之内久米南条

郡神目村親類字之助方 久々相勝不申逗留願指出承届候処以今

足痛相勝不申候 付此上八十日計逗留願指出承届候

一 京町綿屋源七義土屋但馬守殿御領分当国之内勝北郡福井村庄兵衛

役介元治当卯四拾六才同人妻きよ四拾才同人悻吉治十八才同六
治八才同勘治四才右家内五人此度役介ニ引受相応之渡世為仕度住
宅之義願出尤向方村役人分別紙指越候旨願書指出伺之上聞届申達

同廿四日住宅証文出ス

一戸河町豊屋直五郎家守伝三郎義借屋ニ居申候中野屋左助後家じう
妹とめ義兼々不所存ものにて去ル享和二戊年五月元魚町作人与吉
借屋ニ居申候節義絶勘当相願候而右とめ其後流浪仕當時真島郡落
合村辺ニ居申候而只今ニ而者心底取直し已前不埒之義共先懺悔何
卒勘当差免し呉候ハ、罷帰候而渡世仕姉を養育仕度旨所縁之もの
を以相歎越候故追々相糺候処弥心底取直候趣相聞不便ニ付呼戻シ
養育為仕度歎書指出候ニ付伺之上聞届

一福渡町阿賀屋助五郎家守治助義借屋ニ居申候重屋みな当卯七拾式
才同人妹きわ六拾八才右きわ義は中年頃より盲目ニ相成姉みな義
手仕事仕候而当日送り候処同人義も近来もの外老衰仕手仕事も不
仕必至難渋仕候ニ付家主組合折々心付遣し候得共行届不申親類等
も無之渴命ニ及候体ニ而甚不便至極ニ而指当り候難渋御救被下候
様組合共一同歎書指出候ニ付御評義迄之処指当り難渋申渡相聞候
ニ付大年寄場之もの少々ニても差遣置候様申付候処銀札拾五匁指
遣候旨届出候

一伴部部長屋もの此間二三日以前元江戸屋源治申もの妻にて有
之候久米申女罷越風呂敷包菘ツ預置罷帰候由右風呂敷包中ニは
古きひろう成衣類三ツ計有之候旨右女召捕候様ニも承候旨にて届
出有之候ニ付右包取散不申候様大目付分達も有之候由右ハ昨晩相

届候源吉母共ニ而は無之哉吟味之手懸リニも相成候ハ、其段申出
候様頼母今昨夜申越候ニ付召捕候源吉母ニ相違も無之伴長屋江預
置候由申口有之候得共未口書取極不申右取極次第委細御届可申
旨及返書置ク

一組改之義は迄勝手次第ニ申付置候処其後段々出来綿減少ニ而猶亦
当年「先年之通綿改相初尤改料懸りものは尙本尙之処三分ツ
、減少致候而改相初申度御用番江伺書指出候処存寄之通取計候
様十大夫殿分申来候

六月廿三日 曇

一御用日ニ付登城

一久世呼出之もの来ル廿六日指出候義右立合不役彦左衛門申達候

一段大目付勘定奉行へ及通届

一右ニ付下役彦左衛門御貸人左之通書付出ス

一若堂代り 忝人

一槍持 忝人

一草り取 忝人

一同廿五日分書役助忝人同心組助忝人罷出候様御達有之候様大目付
江書付差出置ク

一町方孤独之もの病氣之節見分指出候義去ル亥年被仰出候御省略御
年限中指出候ニ不及候旨被仰出候ニ付御年限明ケよりは指出之義
ニ候処不調ニ而見分之「不差出候ニ付右不調ニ付被仰出候義を
等閑ニ致相過候段恐人郡代十郎左衛門を以指扣相伺候処即刻不及
其儀以来入念候様被仰出候段大目付頼母より被申聽候」十郎左

衛門分通達有之

一 材木町大工十右衛門并同人俸熊吉明廿四日江戸表^江出立仕候旨町棟梁分届出候旨大年寄より相届ル

六月廿四日 晴昼後夕立

一 牢舎左之もの共呼出口書印形取之

元戸川町岩見屋孫兵衛
勘当之悴^{無宿} 岩治

山北村 亀七

無宿 喜三郎

元下紺屋町住当時 無宿 源吉

同 同人母 無宿 くめ

右立合之面々左之通

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番勇藏和右衛門 目明頭老人同平老人

一 明日より書役助真北又作同心組助日笠伝吉罷出候旨当人案内として罷出候

六月廿五日 昼白雨朝夕晴

一 明日久世表^江呼出左之もの共差添「^江立合出役左之面々指遣候^ニ付添状先例文段^ニて書役代^ニ為相認出役彦左衛門へ相渡ス

被盜物質入一件^ニ付

呼出

京町大村屋 源右衛門
差添田町年寄 吉田屋 喜八郎

右盗入聞出取扱
候^ニ付

中ノ町目明 宗兵衛

差添年寄無之

同心組差添

江原平左衛門

立合出役 大脇彦左衛門

一 元魚町伊丹屋さき^江相懸り添翰を以富村百性孫左衛門より出訴一件櫻野屋茂市郎伊勢屋又助下濟取扱度由^ニて今日迄吟味猶予孫左衛門分願出候処下濟不及塾談候間早々吟味致具候様猶亦願書指出承置ク

六月廿六日 雨

一 久世呼出之もの共右立合大脇彦左衛門殿今朝出立仕候旨安田庵治罷越相届ケ候^ニ付其段御両所^江相届候

一 富村孫左衛門出訴一件及破談候旨届書指出候^ニ付兼^而内濟之義申上置候義故右届書今日御用番^江指出右破談之上八早々相手方呼出可遂吟味旨御両所^江及御沙汰

一 左之牢舎呼出申度候旨立合之もの指出候様佐藤八郎左衛門分申来源藏罷出立合出取計候段届出候

一宮村西山方 庄助
中村 治右衛門
円宗寺村上分 常治
同村社男 伊予
真加部村 安治

五人

一勝部村蓮池之蓮葉例年之通入札申付度御代官より申出候間触違呉候様郡代十郎左衛門より申来触書差出ス

一明廿七日九半時左之もの共差出候様指紙大年寄^江差遣ス

富東谷村百性
孫左衛門

右宿竹本屋

宇兵衛

宿差添罷出候様申達ス

伊丹屋 さき

武川屋 久右衛門

妹尾屋 庄兵衛

并同人妻
灰屋^付右衛門

病氣^付右衛門

代人佐右衛門

直屋 孫兵衛

六月廿七日 快晴

一小性町紅屋幸吉義大久保安芸守殿御領分当国之内久米北条郡宮部村常八兄恵吉当卯五拾式才然ル処役介ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人各別紙指越候旨願書指出伺之上聞届達 七月五日住宅証文出ス

一吹屋町柳瀬元柳親類安岡町横野屋長四郎義吹屋町玄柳所持之家屋敷表口四間裏行九間御役式歩五厘右玄柳死後妻子共引取申候処玄柳存命之内藤屋久米四郎方ニ借銀御座候ニ付右家屋敷代銀札式

百七拾目ニ相極右久米四郎^江売渡申度願書指出承届候 七月朔日 売券出

一堺町西川屋善助義所持之家屋敷表口四間七分五厘裏行拾壹間右之内三間ニ三間之裏座敷壹ヶ所御役壹軒式分五厘右之家屋敷此度町内丸屋勘次取次ニて質物ニ書入銀札四百匁当卯年分来ル未ノ年まで五ヶ年切借用仕度旨願書指出候ニ付承届候 同廿八日本証文出ス 辰十月元利払切届ル

一中ノ町甲屋幸助義姉いわ当卯四拾五才此度島崎榮碩役介ニ差遣シ度町内人別指除候様願書指出承届候

一今日九半時呼出之もの共一応遂吟味候^而左之通申付候

訴訟人 富東谷村百性 孫左衛門

訴状不害之義共承礼候^而

相手方可遂吟味申達引取せ置後則

呼出相手方一応承礼候何れ利左衛門罷届候上外之者は

吟味決定も難致急ニ利左衛門連届候様組合共へ申付候間可指戻何れ急ニ筋立候義共不被存且又支配違も有之候事故寛々逗留可致申付為引取

相手方

一応訴状読聞候上ニて相糺

伊丹屋 さき

禁忌申付置ク

訴状読聞之上

武川屋 久右衛門

一応遂吟味何も

妹尾屋 左兵衛

并 同人妻

他参留申付置ク

六月廿八日 快晴

御用日ニ付登城

一 牢舎左之もの共左之通御裁許之義何書御用番中江 指出置ク

御領分立去り

元下紺屋町住 当時無宿源吉

御領分追払

右同断同人母 くめ

一 富村孫左衛門出訴一件懸り合之内組中山市左衛門中間嘉平太名前

有之ニ付夫々頭ニて相糺返答書指出候様御達有之候様御用番江 右

訴状写指出置ク

一 福渡町阿賀屋助五郎家守治助借屋住重屋みな妹きわ老衰ニて必至

難渋之旨指当り相難渋御救之義家主組合共今歎書指出去廿三日御

用所江 指出置候処米式俵被下置候旨被仰出今日大目付江 歎書指出

右之段御勝手江 御達御座候様申述置ク大年寄右之段相届証文指出

候様申付候

一 播州網干塩屋伊兵衛与 申もの忝人手代五右衛門忝人例年之通塩物

荒物卸売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度中ノ町津田屋伝助宿切手差

出ス 八月晦日帰届

一 播州網干余陸屋利兵衛与 申もの忝人手代源六忝人例年之通荒物并

塩物卸売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度旨右同人宿切手指出ス 九

月廿九日帰届

灰屋佐右衛門母不快ニ付 代人佐右衛門

直屋 孫兵衛

一 伊丹屋利左衛門義組合之もの共唯今召連罷帰り候段届出候旨尤同

人妻義は又々是より迎ニ罷越候様組合共申出候旨大年寄より相届

一 鉄山方江見定右衛門分下役彦左衛門江 相頼久世辺迄鉄山師召捕候

もの有之候間目明忝人非人忝人貸呉候様申聴候由ニ 指遣し候処

今日罷帰候旨当番仕届候旨申出候

六月廿九日 快晴

一 三ヶ所番賃銀例月之通相渡ス

一 牢舎山北村亀七并盗人喜三郎口書印形取極候ニ付郡代江 相廻亀七

口書披見有之候様申遣ス喜三郎義古林田村三角屋江 引合有之候ニ

付両通口書相廻置ク

一 今夕徳守宮名越祓ニ付例年之通左之町々揚挑灯仕候旨届出候段大

年寄分申出候

坪井町 宮脇町 二丁目三丁目之間

一 徳守宮警固出役藤四郎宇左衛門罷出候処無別条引取候段相届候

一 久世役所呼出之左之もの口書印形相濟候ニ 唯今罷帰候段届出候ニ

付御両所江 相届候

京町大村屋源右衛門

右差添年寄

吉田屋喜八郎

中ノ町倉敷屋

宗兵衛

同心組差添

江原平左衛門

右立合出役

大脇彦左衛門

右口書写并出役中小日記差出候ニ付則御用番中江差出置ク

一去ル二月廿日今夫役申付置候左之もの共今日迄ニて右日数相済候旨御作事方并大年寄分相届候

夫役九十日

桶屋町池淵屋

民藏

同七十日

京町原田屋

嘉四郎

同五十日

伏見町大坂屋

万吉

右之段御両所江相届候

一富村孫左衛門より伊丹屋江相懸り出訴出入一件懸り合之内中間嘉

平太義先達而暇申付其後極人殿家来ニ相成罷在候処是亦先日暇ニ

相成当時町方ニ住居之趣ニ候間相札候様十大夫殿分申来大年寄へ

申付相札候処同人妻子二階町人別ニ付嘉平太帳外ニて同居仕居候

段届出候ニ付其段十大夫殿江中遣以来役筋ニ而引受吟味仕候旨申

上置ク

御家老 山田主膳殿

御年寄 大橋十大夫殿

大目付 上原彦藏

大年寄 斎藤孫右衛門

諸吟味 宮田喜左衛門

七月壬午朔 快晴

一病尤有之候間急ニ為取呉候様村山良哲より申来非人式組指出候様

大年寄江申付候処無程非人罷出候而鍛冶町ニ而取候段大年寄場江

相届候旨届出

但し御家中屋敷江も入込候義も有之候哉与出番江申達候処林平

罷出候得共其内町方ニ而取候由承り候而届出候

一明二日八ツ時伊丹屋利左衛門夫婦并二階町帳外嘉平太町役組合差

添指出候様大年寄江差紙遣ス

一例年之通宗門改ニ付証文案詞宗旨奉行三人より則付廻状到来村山

平学分相廻ス

七月二日 昼後白雨

一福渡町阿賀屋助五郎家守岩助義借屋ニ居申候已助当三月出奔仕候

而其段相届候処百日尋申付方々相尋候得共一向行衛相知不申最早

百日余ニも相成候ニ付町内人別指除候様願書指出伺之上聞届達ス

一西新町大黒屋藤藏義脇坂中務大輔殿御預り所当国内勝南郡城田

村柳七悴庄吉当卯廿一才同人妻りよ廿才以上式人此度役介ニ引請

申度住宅之義願出尤向方且那寺并村役人より別紙指越候旨願書指

出伺之上

一今八ツ時左之もの共呼出候而遂吟味左之通申付候

夫婦共手鎖懸ケ

元魚町伊丹屋 利左衛門

組合預ケ申付

并同人妻

二階町帳外
嘉平太

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番林平宇左衛門 大年寄孫右衛門

諸吟味見習清右衛門

右夫婦共手鎖懸ケ組合預ケ申付候段御両所_江相届候

一油方三人并年行司より左之通書付指出

覚

一菜種 九拾貳石

右_著町方油屋共手作手紋当卯年作高_ニ御座候以上

年号月日

油方名面

覚

一菜種七拾六石六斗五升

内

拾五石四斗 散集種

右_著撰州兵庫菜種問屋_江種為登申候以上

年号月

油方名前

喜左衛門宛

拾八大黒 拾竹田 拾浜 拾四永久 拾ミの出 拾七斎藤

拾丸龜 六田村 拾貳升 八本高松 拾五山内 貳拾七岩

拾四佐伯 拾五鍋 拾六高松

百九拾九 壹割貳拾 油方三人

七月三日 昼後少夕立

一御用日_ニ付登城

一七間廊下御講釈御用多_ニ付御延引_ニ相成

一左之もの共伺之通左之通被仰出

御領分立去り

元下紺屋町住
当時無宿 源吉

御領分追扱

右同断
同人母 くめ

一本行寺来ル十月入仏供養_ニ付両大橋_江建札仕度由聞届相濟候段寺

社取次野条金平より通用有之大年寄_江申達ス

一山北村龜七口書并盗人喜三郎口書林田村三角屋引合_ニ付郡代_江相

廻置候処三角屋口書取之両通口書指戻ス

一富村孫左衛門出訴出入一件懸り合之内中山市左衛門名面有之候_ニ

付右訴状写指出市左衛門糺有之候様申立置候処右市左衛門ハ御家

老丹後殿組_ニ而牧市郎左衛門_ニて則口書指出候旨大目付_ハ被相渡

候

一西新町高松屋龜之助義父太助義兼々祖母心底_ニ不相叶四ヶ年以前

義絶勘当相願候_而右太助義京都_ニ罷在都合相尋候処御欠物拝借相

滯上納為手段此地_江罷越候処中々撚等無之先非を悔罷在候旨申越

候_ニ付親類指遣相糺候処相違も無之帰国仕度相歎一昨年死去之祖

母も呼戻可申候様申付置候間此度親類組合相談之上を以太助帰住

之義歎書親類并組合共連印_ニて願書指出伺之上聞届申達ス

七月四日 快晴

一細川唯内先達^而左之品々致紛失候旨届出候段大目付^今左書付相廻候

一郡内島半てん 壱ツ

一黒木綿袖無し羽織 壱ツ

一青色肩拔 壱ツ

一銀札五匁 壱本

一六拾間古傘 壱本

一細工なた 壱ツ

メ

一伴蔀より先頃長屋もの源吉母^今預り候風呂敷包之内左之品々役筋

引渡「大目付中より達有之候由^而今日書付を以相廻受取置

ク

一古絹はんでん

一とき分け古裏

一ふとんときわけ

一島古一重もの

一古き袖なし羽織

一古ゆもく

メ

一二階町名木屋弁助後家義娘ふん年来病身^ニて経行不順^ニ候処当月

至^ニり腹体重く相見候村山良哲^江見貫候処懐妊^ニ相違無之殊^ニ六

月^ニも相成候様申之左候得^者先達^而相届筈候処^与相分り不申届

延引不調法之旨届書を以届出承置ク仍^而出産以後先例之通叱り申

渡候様申達置ク

一明朝牢屋取計有之候間例刻小頭并部屋目付^出番兩人罷出候様小頭

江申達ス

一境町^ニ而今夕百万遍仕候旨申出候由大年寄より相届夜廻り仕申付

ル

一伊丹屋利左衛門手鎖打替願出昼廻り嘉七源藏指向候^而打替取計

七月五日 快晴

一今六半時牢屋敷^ニおゐて左之通取計

御領分立去り以後 元下紺屋町住

住居徘徊指構 当時無宿源吉

御領分追払 右同断 同人母くめ

一くめ義皿村御境目^江相払庄屋見届一札取之出番兩人より指出

右出役左之通

小頭利右衛門 部屋目付和四郎

出番勇藏 源藏 目明兩人

一右取計相済候旨御用番并大目付^江相届候

一細川唯内^江左之品々送り書を以引渡候処三人取指越

一黒木綿袖無し羽織

一古絹はんでん

一古傘

メ三品

七月六日 昼後大夕立

一 細工町大工六右衛門御作事方^ニ 出府申付有之候処右出府御作事^ニ
^ニ 指免候上左之通取計可申旨大目付彦藏^ニ 兼^ニ 達有之候処今日御作事^ニ
^ニ 出府指免之義申渡候段吉田文左衛門より通用有之候^ニ
^ニ 小頭利右衛門部屋目付藤四郎指向候^ニ 大年寄孫右衛門宅^ニ 左之通申渡

細工町大工 六右衛門

江戸御屋敷御普請御用^ニ 付其方并悴共御作事方^ニ 出府申付有之候処妻病氣^ニ 付父子共出府断申出候其方義は請込之場所不外義^ニ 候故致勤弁罷出候様夫々より種々申聞候得共不相願書指出候^ニ 付尚亦相糺候得^者 可罷出段は申出候得共御時節柄をも不相弁随意成申立等いたし不埒之事^ニ 候依之追込申付但し追込日数七日

一 右之段申渡候旨夫々届出候^ニ 付御両所^江 相届候
一 当年ハ朔割左之通例年より員数多^ニ 付老貫匁借入^ニ して取計候旨諸算用帳面指出一応披見之上直^ニ 大年寄へ指戻ス
八朔割

四貫百貳拾三匁四分六厘
内

老貫目 借り入
残^ニ 三貫百貳拾三匁四分六厘
又諸色入用払立有之
都合三貫九百七拾貳匁貳分三厘
内

五百八拾八匁八分五厘 三歩銀^ニ 利引之
残^ニ 三貫三百八拾三匁三分八厘
此分貳拾六貫貳百五十文^ニ 割
老貫文^ニ 付百貳拾八匁八分九厘
七月七日 昼後白雨

一 七夕^ニ 付五半時登城
一 梅之間^ニ おゐて御奏者番以下一同七夕之御祝義御小性頭^江 謁申上畢^ニ 蕙心院様^江 も同様御祝義謁申上候
一 御用所^江 三奉行一同罷出候^ニ 七夕之御祝義申述大目付役所へも及挨拶
一 登城前小頭初相組不残罷出当日之嘉詞申述仕後例之通神酒差出ス
七月八日 快晴

一 左之もの共御裁許之義左之通伺書指出ス
百敲之上 山北村
御領分追払 龜七
五十敲之上 盗人
右同断 弁三郎

弁三郎連日留置候^ニ 付
追込三日旅籠代拾匁 東新町延屋
取掃指遣ス 石之助
右之外引合之もの有之候得共被盜物指戻し遣候分其外指構無之もの共

五十敲之上
御領分追払

元戸川町岩見屋
孫兵衛勤当之俸
岩治

勘当俸数日逗留為致
候ニ付追込七日

右同断ニ付追込三日

戸川町岩見屋
孫兵衛

右同断ニ付急度叱

右同人組合共
右町年寄

一御用所ニおゐて十大夫殿左之通御申渡し大目付出席

博奕度々致参会
不届ニ付百敲之上勘定所へ
指遣候

円宗寺村
常治

中村

治左衛門

博奕致参会不届
ニ付五十敲之上帰村

一宮村西山方
庄助

真加部村

安治

一右之段被仰出候ニ付郡代申談之上明九日取計候段御両所江及御届

一明日敲取計之義牢屋手合致置例之通出役有之候様小頭江申付候

一船頭町舟元屋佐助義備前赤坂郡周匝村八郎右衛門俸千代治当卯三

拾才此度役介ニ引受申度住宅之義願出尤向方且那寺并村役人々も

別紙書付指越候旨願書指出シ伺之上聞届申達ス 同廿一日住宅証

文出

一舟頭町今津屋孫十郎後家義土井大炊頭殿御領分久米南条郡上弓削
村勘助俸新助当卯式十六才此度借屋ニ居申候作人彦右衛門役介ニ

引受申度住宅之義願出尤向方村役人よりも別紙指越候旨願書指出
伺之上聞届申達ス 同廿一日住宅証文出

一惣馬持共廿五人より例年之通飼立為手当老人ニ付人足忝俵ツ、押
借仕返納之義は来八月分十二月迄扶持大豆ニて引取可申願書指出
伺之上聞届申達ス

一富村孫左衛門義村方諸用指支候ニ付一先ツ帰村益後罷出度旨願書
指出候ニ付則久世江返書下案共御用番中江相伺置候処猶亦今少
逗留仕度願書下ケ候様大年寄場江申出候由ニ付大年寄今申出候ニ
付右之段十大夫殿江申遣候処右願書御下ケ被成候ニ付則大年寄江
指戻ス

七月九日 快晴

一昨日被仰出候在中之もの敲左之通今朝取計相済候而 出役之面々届
出

百敲勤農所

円宗寺村常治

中村治左衛門

五十敲帰村

一宮西山方庄助

真賀部村安治

御徒目付金田十左衛門下目付老入

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎 出番勇藏

一右之段御両所江相届候

一社男伊予義出牢申付候間立合指出候様十郎左衛門今申来今朝出役

分立合出牢取計

一例年之通町会所ニ而 来ル十八日分廿三日迄市郷寺院宗門帳印形取

候旨寺院付大年寄三人より伺書指出候ニ付先例之通寺院^江御達有之候様寺社取次野条金平^江相廻候処承知之旨返書来

一磯野昌方^江先達^而昼盜賊入込袴巻勿盜取候由之処右袴^ニ而も候哉

目明罷出罷出差出候ニ付昌^江和四郎分問合候処必定無相違仕昌申

聞候ニ付右袴出所相糺候処吉川龜之丞長屋住龜治郎^与申もの分元

魚町油師直治^与申もの^江相頼質入ニ致有之候由ニ付直ニ吉川長屋

目明召連和四郎罷越相懸合候処直ニ可相渡由ニて召捕連越候ニ

付大目付^江龜之丞^{○長屋もの}引渡有之候趣被相達候様申遣候処承知之旨申

来右之段御用番中^江も指懸り候事故直ニ大目付へ右之段申遣候旨

及御沙汰

元備前和氣
清水屋宇三郎
粹

右請人

吉川龜之丞

長屋住

龜治郎

上受

福渡町福渡屋

治助借屋

石右衛門

下受

下紺屋町作人

新助

一右龜治郎入牢申付和四郎和右衛門并目明兩人召連罷越尤請人も兩
人共罷出候ニ付賄之義申付候

一西新町金田屋治右衛門義商売筋ニて大坂^江罷越申度玉子屋一件之
義も筋立申度往来三十日計之逗留ニて罷越申度願書指出大年寄聞
届候旨当人願書指出 八月八日妻より日延願指出候得共不承届快次第
早々罷帰候様可申遣旨申付候

七月十日 快晴

一昨夜引渡有之候吉川龜之丞長屋もの龜治郎吟味中入牢申付候段御
両所へ相届

一御堀掃除料例年之通大年寄取立左之通相納

一銀札貳百八拾九匁分四厘

右^者御作事奉行吉田文左衛門へ相廻ス

一牢舎左之もの今八ツ時呼出逐吟味

所々盜相働候旨 吉川龜之丞長屋住
龜治郎事 佐吉

及白状

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番和右衛門平左衛門 目明兩人請人兩人

一新魚町金井屋助市郎義美濃職人町団屋治兵衛持来候古道具屋株当

卯七月分来ル申六月迄五年之間借受商売仕度同町山手屋理兵衛請

人ニて定法相守候旨連印願書指出承届候<sup>文化八未二月
取戻し「一」書出ス</sup>

一安岡町明石屋きの義所持之家屋敷表口四間裏行六間御役式歩五厘

右家屋敷此度福渡町松田屋岩右衛門へ質物ニ書入当卯七月分来尺

六月迄壹ヶ月壹歩半之利足ニて銀札貳百目借受申度願書指出承届

同廿日本証文指出ス

<sup>文化七庚午六月十四日元利返済
請戻し届出差出ス</sup>

七月十一日 快晴
一二階町三保屋十右衛門家守伝治義先達^而借屋ニ居申候南屋早助当
卯七十才同俣久米吉三拾四才同人妻はつ同廿八才同人娘京拾貳才
右四人去ル戊ノ六月相願撰州大坂上本町四丁目備前屋与右衛門方

へ引越居申候処向方^ニ而 出生之倅久米三郎当卯式才都合五人今般
勝手^ニ付帰住仕度住宅之義願出尤代々真言宗西寺町愛染寺旦那^ニ
而 候処大坂生玉地藏院旦那^ニ相成居申候処又候向方放手形罷帰
候愛染寺旦那^ニ相成可申願書願指出伺之上

一舟頭町高瀬屋幸助義御城代組川島弥右衛門渡屋敷^ニ居申候作人武
兵衛当卯五十五才同人妻しけ三十七才娘たけ十二才右三人此度役
介^ニ引受申度町内人別人願書指出候^ニ付御城代引合之上聽届申達
ス御城代組小頭分当小頭手紙^ニて申来

一深信院様明日之御仏參御延引^ニ成明後十三日五半時御供揃^ニ而 泰
安寺妙法寺^江御參詣被成候旨古谷嘉左衛門分通用有之夫々^江申達
ス

一御堀掃除料銀札式百八拾九匁四分四厘御作奉行^江相廻候処受取書
来ル

一本多左門殿より先達^而小者部屋紛失物去月九日通用有之目明共^江
吟味申付置候品之内拾壹ツ有之候旨届有之且又磯野間より紛失物
左之通届有之候間宜取計候様大目付彦藏分申来候

一古袴 壹具

右^著去ル四月十六日頃盜賊入込候^而被盜取候

七月十二日 昼後夕立

一富東谷村孫左衛門義元魚町伊丹屋さき^江相懸り養家相統妨出入出
訴一件今般新魚町榎野屋茂市郎元魚町伊勢屋又助同町髪屋助右衛
門取暖候^而下濟熟談仕候^ニ付先達^而指出置候指下ケ候様以来聊申
分無之旨願下ケ内濟願指出候^ニ付右之願承届相手方懸り合之もの

共一同手当指免候^而可然旨御用番中^江相伺置候処無程何之通宜取
計候様御申達^ニ付左之通取計

但し久世役所^江之返書下案を以相伺候処是亦同様答無之旨申来
候

一富村孫左衛門義宿竹本屋宇兵衛召連罷出候様可申達旨大年寄^江差
紙遣ス無程召連罷出候^ニ付左之通申渡ス

伊丹屋さき懸り

富東谷村

出訴一件下濟熟談致

孫左衛門

以来申分聊無之候間

右宿竹本屋

先達^而之願書指戻し

宇兵衛

候様内濟濟口一札指出

願之通承届勝手次第第婦村致候様申達願書指戻并久世役所^江之返書も相渡ス

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番嘉七和右衛門

一大年寄孫左衛門宅^ニおゐて左之もの共手鎖禁足他參留等内濟^ニ付
指免ス

指免ス

手鎖組合預ケ

伊丹屋利左衛門
夫婦共

指免

右立合左之もの共指向候

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎 出番嘉七

一大年寄計^ニて申渡ス左之もの共

禁足

伊丹屋さき

武川屋久左衛門

他參留

妹尾屋庄兵衛夫婦

直屋孫兵衛

灰屋佐右衛門母

二階町帳外嘉平太

一 右之もの共内済之義願之通承届候ニ付夫々指免候旨御所^江及御届

一 牧市左衛門義右出訴懸り合之ものニ付先達^而訴状面答書指出候由^ニ而大目付夕役筋^江相渡有之候処右下済相整候ニ付右口上書大目付^江指戻ス

一 去ル九日夕□□□非人番文太郎宅^ニ而博奕参会之様子ニ付博奕吟味方^ニ而召取候由之処宿文太郎は逃去参会之もの左之通り召取候由之処何^茂他所ものニ付博奕方^ニては直ニ追払之義^ニ候得共若哉盜賊など^ニては有之間敷何れ非人頭^江預置候由ニ付何分役筋^ニても目明共指遣候^而盜賊吟味遂させ指障りも無之候ハ、直^ニ追払被可申佐藤八郎左衛門へ申談置ク

播州龍野出生

清治

同 明石出生

権八

備中松山出生

徳兵衛

同 かそうか

平七

一 目明頭^江申付候処非人小屋^ニ而吟味遂させ候処何れも盜賊携之もの^ニは無之旨申出候併権八徳兵衛は穢多^ニて候由平七義は当所久々住居^ニて林田土手盜賊番も致候もの候由^ニ而彼れは指残余三人は一札取之候^而追払候様申付候右之段八郎左衛門へも及通用平七

義は当所久々住居之者^ニ而博奕吟味有之候^而可然旨申達置ク

一 盆前^ニ付三ヶ所番賃銀相渡ス

一 □□□非人番逃去候^ニ付非人頭^江尋申付候様大年寄^江申付置ク

七月十三日 快晴

一 深信院様五ツ半時泰安寺妙法寺御参詣被成候^而御先払嘉七源藏罷出無滞相済候段届出候

一 下紺屋町紙屋五百吉義借屋物釜屋孫三郎義此度売用^ニ付大坂島之内紙屋伊兵衛方へ往来三十日計之逗留^ニて罷越申度旨願書指出大年寄承届候段当人願書指出ス 八月二日帰届

一 細工町大工六右衛門追込昨日迄七日^ニ相成候^ニ付今朝大年寄宅^ニ而追込指免候段申渡候旨相届候^ニ付御所へ及御届一京町御門^江重高之風呂敷包持之出懸り候者有之^ニ付番人相糺候処申立不相分候^ニ付捕置候旨伊藤主水より届有之候間早々召取遂吟味候様大目付彦藏より申来候仍^而出番藤四郎平左衛門指向候^而召取連帰候^而左之名面之もの

備中阿賀郡早瀬村

初之助^伴

長十郎

御郭内^江這入候段相糺候処右早瀬村昨日出立尤内輪不和合^ニて奉公稼之望^ニ付当所へ罷越林田鍛冶方^ニ奉公仕候宮治^与申もの馴染^ニ而彼連^連忝^忝ひ罷越候^而今昼頃宮治^ニ逢候処当時奉公之事も無之内輪之事^ニて罷出候^而者不宜候間先ツ此度は罷帰候様申之候^ニ付帰可申存候^而大キナル御門之内へ這入候処外往来之人是^江参り候^而者不宜候間早々出候様被申候^ニ付出かけ候処御門^ニて見咎られ候

由^ニ迷惑之旨申候全く不心得^ニて這入候義^与被存盜賊等疑ひ之もの^ニは無之候得共右宮治致穿鑿候^而連越候様目明^江申付候処右宮治義は東新町鍛冶権兵衛下人^ニて召連来候^ニ付右長十郎始末相尋候処両人申口符合致候^而全く不調法もの故右之次第^ニ而^不慥成もの^ニは無之由宮治義申出候^ニ直^ニ指返遣候^而可然旨御用番^江相伺候処無程宜取計候様申越^ニ而^目明共^江引渡今夕之処難義無之候様宮治^江可申達旨申付指返ス

一 右之段御用番中^江相伺候^而取計候段大目付^江相届候

一 桶屋町桶屋市之丞義立願有之和州大峯^江参詣仕度往来十五日計之逗留^ニて罷帰申度願書指出承届候

一 今夕及深更廻り之非人共罷出福渡町廻り懸ヶ候処罷出福渡町廻り

懸ヶ候処ことの外騒々敷候^ニ付盜賊^ニ而^候哉^与駈付伺候盜賊

^ニては無之乱心もの^ニても候哉拔身を持往来いたし大小も帯候由

^ニて及見候義^ニハ無御座候得共若哉御家中様^ニても御座候^而者^鹿

忽之義も難仕候間及注進候旨当番迄申出候^ニ付他所^ニ留置出番^江

申付召連罷出候様可致旨当番^江申付候^而出番^江申達候処追々相組

共過半罷出候^ニ付夫々手分ヶ申付指遣候処其内何方^江と立退候由

^ニて無別条趣^ニ付組之者共引取候段何も届出候

七月十四日 晚夕立

一 今七半時供揃申付例年之通廻町供立左之通

高張^{老人牢屋下番} 口付 和四郎 鎗割場

自分騎馬 草り取手人 合羽籠割場

高張 口付 勇藏 挟箱割場

老人割場
廻町順左之通

細工町下紺屋町上紺屋町鍛冶町美濃職人町元魚町二町目三町目坪井町宮脇町西今町茅町安岡町宮脇町^江帰り徳守宮前今福渡町戸川町^又元魚町新職人町桶屋町吹屋町舟頭町河原町小性町新魚町境町京町伏見町材木町橋本町林田町勝間田町中ノ町西新町東新町土手通場境町迄帰り二階町

一 七半時過出宅安岡町^ニ而^俄ニ夕立^ニ而^同町岡崎屋伊兵衛方へ鳥渡立寄候^而暫休足之内雨止候^ニ付直^ニ罷出夜五時過廻町不残相濟御用番十大夫殿^江罷越候^而直及御届大目付彦藏^江以丈相届候

七月十五日 白雨昼後晴

一 今夕聖靈送り^ニ付夜廻り嘉七林平罷出候処無別条引取候旨両人より届出

一 鍛冶町鍛冶市右衛門義当卯四拾七才独身^ニ而^病身^ニ相成親類も無之候^ニ付此度布施孫三郎殿御支配所当国之内東北条郡戸賀村親類要蔵方へ引越申度当所支配相離れ町内人別差除候様願書指出候^ニ付伺之上聞届申達ス

一 寺証文并自分証文^(マ)ス調印之上宗旨奉行種村登門^江指出

(マ)

七月十六日 晴

一 □□□非人番文太郎方^ニ而^博奕^参会^之もの□□□□非人番平七義博奕吟味方^ニ而^召取^非人^頭預^ケ有^之候^処来^{十八}日^五半^時佐藤八郎左衛門方へ頭并目付等指添指出候様大年寄^江申達置ク

（狭み込まれてい）

一 材木町三家屋佐之右衛門母致病死仕候ニ付忌懸り之もの左之通

叔母ニ付忌廿日之処

玉置卯左衛門

此節他行致居候ニ付他行先^江

申遣候^而残ル日数引込候旨其節相届候答

姉ニ付忌廿日引込候旨

美濃出屋

届出候 清右衛門

一 佐之右衛門義年寄老人役ニ付忌中引込中隣町年寄^江請持之義申遣候旨大年寄届出候

一 玉置源五兵衛^月来廿六日土居御泊^ニて雲州広瀬様廿三日御通行同

夕久世御泊之旨御本陣廻状送り来候由尤当所御休泊^ニハ無之候^ニ

付右廻状之内名前ハ無之御先触未到来不致候得共右之通之段申出

候^ニ付内調取計郡代^江も及噂

但し八月六日江戸御発駕被成候^ニて来月御通行之事

七月十七日 快晴

一 細工町^ニ而今夕百万遍執行仕度旨申出候旨大年寄より届出夜廻り

申達ス

一 新魚町河本屋房吉義父初五郎先達^而博奕吟味方^分預ケ中出奔^ニ而

行衛相知不申恐入候処母幼少之もの召連候^而当日暮之方相立不申

候^ニ付当人ハ実父母元屋佐助方へ罷帰母義は先達^而初五郎^分離縁

之義申聞罷在候処折節大坂表^分祖父平助罷越不快^ニ付相願逗留仕

候処大坂表へ召連帰申度申之候依^而母老人当所支配相離町内人別

差除候様願書指出伺之処聴届不相濟

一 茅町藤助義去ル十四日藺田町衣いと売候処誰人欺一刀^ニて高直^ニ

売候旨被否候故此節外衣いと売も同様売候義^ニ候へ^者直段貪着被

致間敷返答仕其場立退を迫候て売居申候処^江右之仁帯刀^ニて罷越

其方何方之もの^ニ候哉と相尋候^ニ而名所申聞候処早速町内年寄所

^江被參候^而花いた商内指留^{差置}置候旨被相届候^而被帰候^ニ付如何

様之御方哉^与承合候処御持組小林定四郎^ニ而御座候由右懸合之節

は一刀^ニて候故御家人とも不存言^ニ随ひ相当之請答仕候処其後帯

刀^ニて御越候^ニ而御越候^ニ付初テ御家人^与見受其後無礼ケ間敷義

は決^而不仕右体商内指留候^而甚難渋^ニ付右故障無之候様申付呉候

様願書指出伊藤主水^江引合候処向方^ニ而も届出有之候間何れ明日

登城之上可申談申来候

一夜中及深更大年寄罷出細工町備前屋市右衛門方^江伝蔵^与申もの罷

越候^而娘を及打擲致狼籍候段届出候^ニ付出番之外

七月十八日 晴

一 深信院様例月之通御仏參被成候^而御先弘嘉七源藏罷出可申候処致

延引御間^ニ合兼候^ニ付当番^分宇左衛門急^ニ指出老人は急^ニ病氣^ニ

て御間^ニ合兼候段申述候^而御出懸ケ老人^ニて御先弘相勤御帰候節

ハ兩人罷出候由仍^而右之段御表^江も御届可申哉^与古谷嘉左衛門へ

問合候処御表^江沙汰^ニは及不申随分御間^ニ合候段申来候^ニ付其俣

^ニ致置

但し嘉七源藏兩人右之通御間^ニ合不申恐入候^ニ付指扣伺出候

得共不及其義以来入念候様申付候

藤四郎嘉七指出候^而為相糺候処旧年以来備前屋方^ニ入込居候^而当

時帳外元表組福田伝蔵^与申もの之由右無宿もの^ニて何方へも為引

取候所も無之先ツ手鎖懸ケ市右衛門組合共^江預ケ置候段兩人より
届出候

但し右一件及吟味候得^者年寄勤組合共迄不念^ニ而^ニ定^ニ而^ニ下^ニ済可^レ
仕趣^ニ而^ニ右一件御両所^江及御沙汰置ク

一御用日ニ付登城

一〇〇〇〇〇〇〇〇〇非人番平七義博奕吟味方^ニて入牢申付候間立合指
出候様申来出番勇藏罷出入牢取計候段相届候

一^中ノ町菊屋兵藏義借屋居申候作人嘉助当卯三拾才同人妻さよ
二十五才此度林田上之町孫三郎借屋^江引越申度町内人別指除候様
願書指届候

一安岡町島屋伝藏義娘とみ新田村持宝院妻^ニ差遣し置候処此度離縁
仕差返し候^ニ付町内人別入願書指届候

一元魚町福津屋政吉義娘ちよ当卯八才此度御領分東南条郡東一宮村
文吉養女^ニ差遣し申度町内人別除願書指届候

一石原柳齋義去月朔日頃黒八丈男帯老紛失候由届出候旨右届書大目
付分相廻候

七月十九日 昼後白雨

一伊藤主水罷越候^而組原定四郎茅町藤助懸り合之義大目付彦藏分役
筋へ申談候^而役場切^ニて相济候様熟談可仕候様申聞候間対談仕度
由^{申聞候ニ付}。当役^江彦藏分右之通申聞為礼候御存寄も談^而無^ニ之候ハ、其

御組之所は商売筋指留之義は不軽事^ニて忝己之存寄^ニ而^ニ取計之義
不相成甚不心得之旨以来差心得候様御達も被成候ハ、茅町藤助^江
^者定四郎心得違^ニて右商内指留候事故勝手次第商内可致候併右一

件之節帯刀ハ不致候共過言等有之候由先方御家人之外たり共雜言
候間敷致候義甚不埒^ニ付以来急度相慎候様可申付右之趣^ニて御承
知も被成候ハ、早々取計可申旨及熟談候処何も存寄無之右之通可
申付旨主水申聽候^ニ付右之通及熟談

一茅町藤助^江申渡候義大年寄呼出申付尤其節年寄義も不取計^ニて定
四郎指こたへ候節承知不致候処其分^ニ致置候^ニ而^ニ是又以来入念候
様可申付旨申達候処何も呼出し申渡候段届出候

但し右一件当役場切^ニて取計相济主水義も役場切取計候旨熟談
仕候^而一件落着仕候旨大目付彦藏申遣ス

一〇〇〇〇〇〇〇〇〇非人番文太郎博奕宿之処逃去候^ニ付大年寄分非人頭^江稠敷
尋申付候処方々相尋候得共行方相知不申候段届出候仍^而佐藤八郎
左衛門^江茂及通用猶亦百日尋申付候様大年寄^江申付候

一西今町高砂屋金四郎義博奕指候之もの^ニて博奕吟味方^ニ而^ニ召捕可
申候処其節逃去組合共^江百日尋申付置候処今日罷帰候段届出候^ニ

^ニ付組合預ケ申付置候処今日罷帰候段届出候^ニ付組合預ケ申付置
候旨大年寄分相届博奕吟味方へも及通用置ク

一茅町松太郎義立願有之和州大峯^江往來廿日計逗留^ニて参詣仕度願
書指出大年寄承届候旨当人願書指出ス 八月十六日帰届

△利助庄八久米藏ノ四人

七月廿日 昼後夕立

一細工町備前屋市右衛門義娘みよ兼^而懸合有之候伝藏近来不和^ニ相
成出入不仕候処去ル十七日之夜酒狂之体^ニ而^ニ罷越理不尽之勤致候
^ニ付組合一同寄合珍言致候得共一同承引不仕候故不得止事相届候

処早速手鎖申付恐入候然ル処同町大工藤助猶亦^与得理談申聞候処
得心重々恐入候旨此以後ハ急度相慎立入は勿論毛頭龐末致間敷申
候^ニ付内濟仕遣度伝藏各之義指免候様願下願書指出候^ニ付早々承
届^而伝藏手鎖組合預ケ指免候^而可然哉之旨相伺候処何之思召も無
之宜取計候様御達^ニ付願之通承届候段大年寄^江申達夜廻り嘉七源
藏町年寄宅^江指向伝藏手鎖組合預ケ指免ス

一桶屋町大坂屋京右衛門義借屋^ニ居申候歌屋いと同人忤安之丞右式
人当三月不計罷出候^而一向行衛相知不申四月上旬出奔相届候^而百
日尋申付候^ニ付一同心当り之所相尋候得共行方相知不申百日余^ニ
も相成候^ニ付町内人別差除候様願書指出伺之上

一東新町鍛冶屋宇兵衛義今以一向足立不申候得共呼出有之候得^者駕
籠^ニ罷出組合介抱致候義指免候ハ、罷出候義相成候旨届出候段
大年寄より相届候^ニ付其段佐藤八郎左衛門^江及通用

七月廿一日 昼後白雨

一東新町鍛冶屋宇兵衛西今町高砂屋金四郎明廿二日五半時指出呉候
様佐藤八郎左衛門より申来大年寄^江申達置ク

七月廿二日 曇風折々雨

一左之もの共入牢申付候間立合指出候様八郎左衛門分申来出番平左
衛門罷出取計

西今町高砂屋

金四郎

〇〇〇〇〇〇

織多
左治郎

一東新町鍛冶屋宇兵衛義吟味中手鎖懸ケ組合預ケ申付候段八郎左衛

門分通用有之高砂屋今四郎鍛冶屋宇兵衛義御所^江相届候

一鍛冶町鍛冶喜平次義借屋^ニ居申候鍛冶市右衛門当卯四拾七才然ル
所独身者^ニて近来病身^ニ相成当所親類無之渡世送り兼候^ニ付布施
孫三郎殿御支配所当国之内東北条郡戸賀村親類要蔵方へ引越申度
当所支配相離れ町内人別指除候様願書指出伺之上

一福渡町阿か屋助五郎家守右助義借屋もの徳兵衛去ル子年相願大坂
老松町升屋平兵衛引受候^而三ヶ年之間奉公稼^ニ罷越当春向方罷帰
候様申候^而罷出候旨申越候^ニ付方々相尋候得共相知不申其段四月
三日相届百日尋申付夫分種々相尋候得とも今以行衛相知不申最早
百日余^ニも相成候間町内人別指除候様願書指出伺之上聞届申達

一深信院様明後廿四日五半時妙法寺^江御参詣被成御道筋例之通之旨
古谷嘉左衛門より通用有之小頭并大年寄^江達置ク

一因州鳥取元魚町壱丁目久右衛門同せん去月分四国順拜^ニ罷出候処
右せん讚州阿野郡国分^{〔船橋市〕}寺村^{〔船橋市〕}にて相願歩行不相叶同所分兩人順々村
繼^ニて送來候旨大年寄分届出候^ニ付郡代承合候処村繼聞届候段申
来候^ニ付送り遣し候様申付候処無程林田村へ送候段届出

七月廿三日 快晴

一御用日^ニ付登城

一孤独之もの共病氣之節為見分組之者指出可申候処以来は去ル御年
限中之通下方計之見分^ニ而組之もの指出候^ニは不及候旨大目付彦
藏分達有之候旨類役十郎左衛門より通用有之大年寄并小頭^江も申
達ス

一清水長兵衛家族拝領屋敷^ニ罷在候処去ル四月中旬頃左之品致紛失

候旨届出候段指心得罷在候様大目付彦藏より右届書被相渡

一横すかあいひろうと裕 壹ッ

但し紋所上り藤裏花色きぬ

一水色しほり縮緬腰帶 壹筋

一今昼後分錢相場左之通

一錢通用百六文

一札元山本三右衛門娘今般致死去候処七歳未滿ニ付忌服は無之候得共今日分三日引込候段届出候ニ付御所江及御届

一元魚町ニて今夕百万遍仕度旨申出候段届出承置夜廻り申達ス

一上原彦藏長屋もの五月二日左之品紛失致候段届有之候間心得置候

様大目付相馬分申来

一浅黄木綿肌着 壹ッ

一新魚町河本屋房吉義母親等大坂平助方江指戻申度尤初五郎分も兼

而離縁仕候旨申置候ニ付人別除願指出候ニ付承届候而可然哉与御

用所江相伺候処初五郎義出奔候始末何れとも片付不申候内右人別

除願等指出候義御用所之御趣意致齟齬候段御察度有之候旨大目付

彦藏より申聞候ニ付即答役筋存念一応申述候上何れ御趣意ニ致相

違候段恐入候ニ付差扣可相伺申述置類役十郎左衛門へ指扣相伺候

処無程不及其儀以来入念候様被仰出候旨大目付分被申達候旨三浦

より通達有之

一御藏米五拾九匁 町米五拾五匁

一橋本町山形屋喜八義去ル九日偽札取扱候旨ニ而札元相札候口上書

大目付分被相渡猶相札候様被相達候ニ付右之段大年寄江申付置ク

七月廿四日 快晴

一深信院様五半時御供揃ニ而妙法寺へ御参詣被成御先弘和四郎勇藏罷出候処

一橋本町山形屋喜八他所札取扱候ニ付大年寄宅江呼出相札候而口書

取指出入各之義追而取調相伺候事

一出羽守様御通行之節問屋場ニ而用意之人馬之員数承度旨大目付彦

藏申聞候ニ而其段申付置候処問屋場分右書付指出候ニ而彦藏江相

廻ス

一明廿五日九半時分牢屋吟味致候間右手合取計置候様申付置ク

一戸川町井口屋庄藏義福渡町ニ而所持之家屋敷表口四間裏行拾七間

但御役老軒役右之家屋敷此度代銀札百目ニ取極町内大工屋六藏江

壳渡申度願書指出承届 八月四日壳券状差出ス

一細工町灰屋喜平次義当国之内脇坂中務大輔殿御預所英田郡勝間田

村三右衛門役介定七并同人妻いと縁類之者ニ付当所事有之罷越

ニ付当年中逗留為仕度願書指出承届

一下紺屋町大工久次母所持之家屋敷表口式間半裏行拾間御役三步

三厘石家屋敷去ル子八月ニ鍛冶町かち五郎右衛門取次ニ而銀札式

百五拾匁之質物ニ書入置候処此度元利返済受戻候旨届出承置ク

一下紺屋町大工屋久治母所持之家屋敷表口式間半裏行拾間御役三步

三厘石之家屋敷此度代銀札百匁ニ相極町内作人佐太郎へ壳渡申度

願書指出承届候 同廿九日壳券状出ス

七月廿五日 快晴

一玉置源五兵衛方へ雲州道中方役人罷越候而御隠居不味様来ル九月

廿五日江戸表御発駕被成同廿三日当所御止宿之御日積之由江戸表

今申来候仍^而は御宿之義御受相成候哉若亦当家指支も有之候ハ、

脇本陣^二而も御請有之候様^{致度}方^一何方も御受相成不申候ハ、右

之段江戸表^二而御役人より御役人衆^江御懸合も有之候^而当所御止

宿之外無之旨申聞候^二付兼^而難^上置候位之義^二而^如早速御請難

仕何分暫ク御見合被下候様申置候^而右之段何出候^二付相答候哉之

旨申出候^二付江戸表^二而御役人より御頼有之候^而御宿仕候程之義

^二候ハ、今度御請仕置候方可然哉に被存候^二付御用番十大夫殿^江

罷越及御さた候処御同意候旨御申聞^二而^又候大目付彦藏^江も罷越

右之趣共^二而御請為致候旨申談候処是又存寄も無之候^二付右之段

源五兵衛^江御請可致候様申付尤御受之口上振左之通^二而も可然旨

及指置候処左之通取計候旨申出候

来ル十月御止宿^二付御宿之義被仰付候処兼^而難^二洪^二付御本陣之

義御断も申上置候程之義^二て御受も難仕候仍^而脇本陣^与申^二は

無之候得共茂渡庄右衛門福永屋藤助兩人は先ツ当所にて之座敷

持^二付承合候処兩人方私宅よりも甚手狭^二て御宿相成候様之座

敷向^二も無御座候^二付是^江御案内申上候義難仕手狭御指構も

無御座候ハ、兩人所ハ如何様^二も可相成候哉何分御指支之義^二

も候^二付先ツ此度ハ私方^二て御受も申上候得共時節柄風破も御

座候^而ハ十月迄之処難計万々一指支候節ハ右手狭之場所^二ても

御勤弁御座候得^者先ツ当所御止宿之義は御請可仕申述候処左様

^二有之候^而者甚安堵致候由近々宿割廻状到来候ハ、御受印形致

候様申置候^而出立致候

一 牢舎山北村亀七御裁許之義伺置候処御堀土手通り之義甚不怪義^二

付伺出之百敲^二ては相済間敷哉と御家老中御申聞候間猶亦考致候

^而書付指出可申旨十大夫殿御申聞候^而いか様盜賊筋の^二ミても百

敲相当^二候得^者剽^二ても可然哉何分^与得再考仕候^而可申上旨申上

置尤郡代^江可及相談候事

一 今九ツ半時分牢屋敷^江罷出左之もの遂吟味候得共不相糺候^而及責

問

吉川亀之丞長屋住

龜治郎事 佐吉

立合之面々左之通

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付和四郎

出番嘉七林平 目頭太兵衛平金吾 穢多頭兩人出候

七月廿六日 昼後大雨

一二宮村宇八吟味中牢番預ケ申付候間立合指出候様郡代今申来勇藏

罷出候^而取計田邑村万助へ下代より相尋候義も有之候由之旨申来

是亦出番^江申達置ク

一 桶屋町之内吹屋町新魚町^江堺之場所水指無之候由先達^而以来申立

候^二付彼是下方^二而取計候得共筋立不申仍^而今日右他所為見分左

之もの共罷出^与得遂見分委細申出候

見分出役左之面々

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

大年寄源五兵衛 同見習久米治

諸吟味見習清右衛門

七月廿七日 快晴

一 佐藤八郎左衛門宅^江 明廿八日左之もの共呼出度候間申達呉候様申来大年寄^江 申達ス

東新町鍛冶屋宇兵衛

町役組合差添

西今町高砂屋金四郎

組合并町役共

□□□ 非人頭老人

□□□ 同目付 老人

右之もの明日五ツ時差出候様申付候

一 桶屋町桶屋はや義所持之家屋敷表口式間半裏行拾壹間但御役半役

右家屋敷此度代銀札三百匁ニ相極町内桶屋伊助^江 売渡申度願書指

出承届候 八月七日売券状出ス

一 戸川町年寄平野屋幸右衛門義四ヶ年以前役義申付候処近来病身ニ

相成候^而 役義難相勤候ニ付役免願差出大年寄^今も無抛趣ニ付指免

候^而 可然旨申出候ニ付願之通承届

一 右平野屋幸右衛門跡役持家も有之候ニ付二町目福永屋藤助^四 俸^三 郎^江 申付候^而 可然旨伺出候ニ付其通取計候様申付候

一新魚町灘屋治右衛門義土井大炊頭殿御領分当国久米南条郡皿村佐

助娘ちへ当卯十九才此度妻ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺

并村役人^今別紙書付差越候旨願書指^上 伺之上聞届申達ス 八月廿

八日住宅証文出ス

一 左之通届出御所へ及御沙汰

去ル十六日三家屋佐之右衛門母

病死右^者 宇左衛門叔母ニ付忌

廿日相懸り候処他行中ニ付他行先^江

「遣候^而 忌請候段届出候尤此節不快ニ付帰宅不相成候

御用日ニ付登城

一 左之もの共今日左之通申渡取計候段届出

願ニよつて年寄役

指免 戸川町年寄 平野屋幸右衛門

戸川町年寄役

申付候 右跡疫 福永屋栄三郎

操屋頭指免

伏見町 田邑屋善左衛門

一 西新町髪結七之助事太兵衛夜前博奕吟味方^ニ 而召捕手錠懸ケ組合

預ケ申付候段佐藤八郎左衛門并大年寄^今相届候

一 左之もの共吟味中入牢申付候旨立合指^上 伺候様八郎左衛門^今申来

牢舎 西今町高砂屋 金四郎

□□□ 非人番 平七

□□□ 穢多 左次郎

一 御赦御免之もの有之候^ニ 而親類京町阿波屋亀吉明廿九日四ツ時町

役召連郡代所^江 差出候様十郎左衛門^今申来大年寄^江 申達置ク

一 左之もの共吟味中入牢申付候旨立合指^上 伺候様八郎左衛門^今申来

東新町鍛冶屋 宇兵衛

西新町和氣屋 太兵衛

右呼出牢舎もの共入牢もの立合且又今日牢内取繕有之牢舎人入替等之義牢番申出候ニ付番和四郎和右衛門罷出候而立合未ニ取計候段届出候

一右両人入牢之義御両所江及御届

一大目付廻状左之通申来何れも廻状は不差出候得共小頭江右之趣御家中御触達有之候旨及演達

八月廿九日 昼後烈風雨

おゐて鉄砲打候義御停止候者勿論之義ニ候間猶心得違有之間敷候

一綿改之義尚亦以前之通可申付旨先達而伺相濟候ニ付惣操屋共問屋并両中買其外綿改ニ相拘り候もの共明廿九日五時役所江差出為立合大年寄諸吟味不残罷出候様差紙ニ而申達ス

七月廿九日 昼後烈風雨

一左之もの左之通掃役申付候役所ニ而大年寄申渡ス

操屋頭掃役 米屋長兵衛

綿改役掃役 並屋忠兵衛

一操屋頭左之もの三人惣操屋共六拾式人召連罷出候而左之通書付を以申渡ス

操屋頭

木綿屋 喜兵衛

米屋 長兵衛

並屋 忠兵衛

今般尚亦以前之通綿改申付是迄は自分稼之分も
老本ニ付老口錢差出させ候処
以来は口錢差出で不及改入用
老本ニ付差出可申事其外申渡文段別記ニ有之故ニ略

問屋六人

大村屋 源右衛門
能勢屋 源助
大坂屋 浜吉

並屋 忠兵衛

高瀬屋 勘右衛門

豊屋 喜兵衛

綿改役四人

大村屋 源右衛門

並屋 忠兵衛

米屋 長兵衛

三倉屋 平兵衛

右同断委細別記ニ有之

平兵衛義は不快ニ付今日

不罷出候ニ付追而改役申付候事

右同断別記ニ有之

両中買共不残

一左之もの共博奕吟味方ニ而手鎖懸ケ組合預ケ申付候旨八郎左衛門

今届出候ニ付此段御用番并大御目付及御届

中之町西屋 治右衛門

西新町大坂屋 宇兵衛

同町 丸屋 乙右衛門

東新町広戸屋 久助

一左之もの博奕吟味方ニて可召捕候処不居合候ニ付組合共江尋申付置候旨是又同人より相届候

中島屋袖都借屋住

西新町西崎屋

治兵衛

右之もの共西新町和氣屋太兵衛指口之もの、よし吟味方今申来候
一越中富山船橋町松井屋源兵衛手代文三郎加助清兵衛以上三人例年
之通反魂丹売ニ昨日參候ニ付逗留為仕度元魚町延屋三治宿切手指
出ス 十二月廿日帰届

一奈良今井岡島忠兵衛悴庄右衛門 申もの老入例年之通墨筆売ニ昨
日參り候ニ付宿仕度右同人宿切手指出ス 九月廿二日帰届

一御藏米六拾匁 町米五拾六匁
一院庄川兼田川満水ニ付舟渡相留候段郡代所より通用有之大年寄江
申達ス
但し以後は両川共舟頭共分直ニ問屋場へ及通用候様相極候間留
川并明川共以来郡代より通用無之候ニ付其段大年寄へ達問屋場
より留明共申出候様可申付旨申達ス

御家老 丹後殿
御年寄 十大夫殿
大目付 相馬

大年寄 源五兵衛
諸吟味 喜左衛門

八月朔日 昼後風雨

一八朔ニ付五半時御徒格以上并部屋住迄惣登城

一梅之間ニおゐて御奏者番以下例之通一流御小性頭江 謁御祝儀上席
今申上候蕙心院様江 同様謁申上候

一院庄川兼田川共川明舟渡相始候段大年寄より相届候処尚亦夜中院
庄川留候段届出ル

一牢番共今牢屋所々破損繕之義左之通書付差出
一揚屋敷南之方塀覆家根 一矢切竹所々

一庇痛番所 一敷板 沓ヶ所
一女牢前穢多番所 一百姓牢前右同断塀覆門共

一惣牢後塀覆
別紙居宅之分

一居宅家根沓ヶ所 一壁損し
一戸并敷居右同所 一床右同断

一今朝出仕前小頭初組中罷出候 而 当日之嘉儀申述出仕後例之通神酒
差出

一左之もの博奕吟味方ニ 而 差口之ものニ候処他行仕候哉宿ニ居不申
候間尋申付呉候様佐藤八郎左衛門今申来候ニ付組合共江 尋出可申
旨大年寄へ申達置ク

八月二日 晴

一西新町中島屋袖都借屋もの西崎屋治兵衛組合共御尋申付置候処昨
夜罷帰り候段届出候ニ付組合預ケ申付候段大年寄今相届
一右同人治兵衛義昨夜博奕吟味方ニ 而 手鎖懸ケ組合預ケ申付候段八
郎左衛門今届出候ニ付其段御両所へ及御届

一西今町公文屋清左衛門義売用ニ付撰州大坂大川町玉子屋九郎兵衛方へ往来三十日計之逗留ニ罷越申度願書指出大年寄承届候旨当人願書指出 同廿八日帰届

一札元山本三右衛門義同役玉置卯左衛門病身ニ付当四月相願大坂堂島瀬屋源兵衛方へ往来五十日計之逗留ニ罷越候処其後又々五十日日延願之処今以相勝不申何卒当月中旬迄又候十五日之日延願指出呉候様申越候由ニ願書指出伺之上聞届申達ス 同十八日帰届
一二丁目福永屋藤助義松平上総介殿御領分備前津高郡金川村喜三治娘つし当卯拾七才此度悴榮三郎妻ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人分別紙指越候旨願書指出伺之上聞届申達 同七日住宅証文指出ス

一町方宗門帳差出調印之上宗旨奉行江相廻又宗旨人別左之通

天台宗

① 一九百九拾八人 内男 五百三拾七人 内女 四百六拾七人

② 一千式人 内男 五百三拾七人 内女 四百七拾七人

真言宗

③ 一式千式百拾式人 内男 千三百七拾三人 内女 千三百九拾七人

④ 一式千式百五拾式人 内男 千五百九拾九人 内女 千五百九拾九人

禅宗

一 四百三拾六人 内男 二百三拾九人 内女 百九拾七人

浄土宗

一 六百七拾七人 内前男女 三百五拾五人 内後男女 三百五拾五人

浄土真宗

⑤ 一四百三拾六人 内男 二百三拾九人 内女 百九拾七人

⑥ 一四百拾八「」

日蓮宗

⑦ 一式千四拾七人 内男 千六百九拾九人 内女 九百七拾七人

⑧ 物人数合六千八百四人 内男 三千五百七拾七人 内女 三千二百六拾七人

⑨ 一式千四拾七人 内男 千六百九拾九人 内女 九百七拾七人

⑩ 物人数六千八百三拾式人

内 三千六百拾八人

三千式百拾四人

一兼田川院庄川両川共夜分川明キ之旨大年寄より届出候

八月三日 快晴

一御用日ニ付登城

一七間廊下ニおゐて例月講釈大村成夫相勤例之通出席

一於御用所御年寄御用番左之通御申渡大目付出席

所々ニ盗相働其上

御要害之場所通行致候始末

不届至極ニ別之上御領分追払

所々ニ盗相働不届ニ付

五十敲之上御領分追払

父孫兵衛勤当之ものニ候処

内々ニ孫兵衛方ニ致逗留

罷在兼々身行不宜候ニ付

召捕遂吟味候処詮義之度毎

偽之義申立余人江も難義を懸ケ候段

不届ニ付五十敲之上御領分追払

山北村 龜七

盗人 喜三郎

無宿 岩治

右之もの共引合之もの各之義伺之通取計候様御用番中十大夫殿御申渡

一右御裁許之義来六日取計候段御用番并大目付郡代江も及通達
一博奕吟味方ニ而左之もの共入牢申付候間立合指出候様八郎左衛門
今申来出番和右衛門罷出

中之町西屋 治右衛門

西新町中島屋

袖之部借屋西崎屋 治兵衛

同町丸屋嘉七倅 乙右衛門

同町大坂屋利助倅 宇兵衛

東新町広戸屋 久助事

利兵衛

メ五人

右五人もの共町方之ものニ付御用番并大目付江相届候

林田村平八倅 初之助

□□□穢多 万治事 甚太

備前津高郡金川村 張屋当時無宿

兩人無宿ニ付牢賄

右同断

庄兵衛 五郎吉

メ四人在分之ものニ付郡代今届取計候由

一左之兩人今般博奕参会一件内济取扱銀札等取立いたし候由博奕参会之もの共吟味方ニ而吟味之節申之指口之ものニ付手当申付候様八郎左衛門今申来夜廻り和右衛門宇左衛門指向候而手鎖組合預ケ申付置ケ

中ノ町小原屋 三之助

同町中島屋 与兵衛

右之段御両所江及御届

一今夜泊之旅人夕々目明頭相改候而壹ケ月ツ、書揚候筈之処書揚及遅滞候ニ付初月より書出し候様申付置候所左之通書付指出ス
四月十四日夕今相勤晦日迄

一千四百三拾三人 此頭錢四貫貳百九拾九文

五月中

一貳千六百拾五人 此頭錢七貫八百四拾五文

六月中

一千八百貳拾九人 同五貫四百八拾七文

七月中

一千三百五人 同三貫九百拾五文

惣メ七千八百八拾貳人 錢メ貳拾壹貫五百四拾文

一橋本町後藤屋佐市組合共義佐市先達而相願大坂表へ罷越候処用事不相濟今十五日計日延願書指出承届候 同十八日帰届
一新魚町魚屋善治家守家根屋三治義為稼来ル四日出立仕勝山金田市郎右衛門方へ往来五十日計逗留ニ而罷越申度願書指出承届候

八月四日

一明日牢舎平七呼出吟味致候間非人頭并目明のもの五ツ時罷出候様
申付呉候様佐藤八郎左衛門より申来大年寄^江申達置ク

一左之もの共博突指口之ものにて候処逃去組合共^江百日之間^ニ万一
不尋出^ニおては過料可申付旨申付請一札も差出有之候処最早百日
余^ニも相成候得共今以行方相知不申候段銘々組合共^江御届書指出
ス

伏見備前屋勘之助組合共

福渡町佐太郎家主組合共

一茅町^ニ而^ニ今夕百万遍仕候旨申出候段大年寄^江届出夜廻り^江申付置
ク

八月五日 雨

一牢舎左之もの共博突吟味方呼出候^ニ付立合指出候様申来出番嘉七
罷出取計

牢舎

非人平七

穢多左治郎

甚太

一明六日牢屋取計之義手配致置候様小頭^江申付候

一明日大年寄宅^ニ而^ニ呼出申渡之もの共差紙指遣ス

一左之もの共入牢申付候間立合指出候様八郎左衛門^江申来立合林平
罷出候

林田村平助

同村 市兵衛

一今朝呼出候牢舎三人牢屋指戻右立合取計候段林平届出候

一□□□□非人番平七口書取扱佐藤八郎左衛門^江相廻ス

一閑院宮様御内竹原左内水野軍記^与申ものより当御用人宛之書状指
越候旨飛脚使之者大年寄迄相届候旨源五兵衛持参指出候^ニ付大目
付月番渡部相馬^江相届候

但し飛脚之もの宿申呉候様大年寄へ申聞候^ニ付紙屋助右衛門へ
宿申付候段相届右^ニ付賄之義並方飛脚之もの^江少々心付入念
候様申付候尤右之段大目付^江も噂有之候事

一大目付相馬^江夜^ニ入閑院宮様衆^江別紙之通書状差越候^ニ付相伺候
処呼登せ候もの早々上京之義申付候様被仰出候旨申来候
左之もの共他領もの兩人

覚

別紙写

一当御殿

作州津山境町

御銀拝借人

稲野屋

一同

右同所断断

稲野屋

清兵衛

右同所断証判人

釘屋

宗十郎

兩人他領もの^ニて
当方^ニて申付無之

真島郡垂水村口入
なへ屋
吉兵衛
右同郡同村口入
三好屋
善兵衛

右之者共相尋度義有之候間上京之義御下知御願申達候尤飛脚使之者到着より十二三日程之内致上京候様被仰付被下度候事

七月十三日

但し本書^ニは飛脚到着之日^ノ十日程之内上京候様^ニと有之候事

一右三人之もの共上京之義大年寄^江申付候処何も呼出申渡候段届出候尤来十四五日迄之内京着候様申付候

但し右三人之内釘屋宗十郎義久々病氣^ニて上京難相成旨申出候段届出候

一釘屋宗十郎義上京難仕候由申出候^ニ付代人^ニも指出可申哉之旨申出候^ニ付大目付^江も申談候処先ツ今度^ニもは代人^ニも不及向方之指候様^ニ而早々代人指立候積^ニも可然旨^ニ而其段大年寄^江申付置ク

八月六日 雨天

一牢屋^ニおゐて左之もの共今朝左之通り取計相濟

山北村

鼻削之上
御領分追払

亀七

但し在人別之もの^ニ申渡并追払之義は郡代所取計申渡書は当役所^ノ相廻置ク

五十敲之上

盗人

御領分追払

喜三郎

五十敲之上
御領分追払

戸川町岩見屋孫兵衛
勘当之忤無宿
岩治

右立合出役左之面々

御徒目付山本藤四郎 下目付彦人

小頭利右衛門 部屋目付嘉七 出番源藏平左衛門

一左之もの共皿御境目^江追払庄屋見届一札有之候段出番兩人^ノ相届候

一大年寄源五兵衛宅^ニおゐて左之もの共左之通申渡

盗人喜三郎連日指置候^而

不埒^ニ付弁三郎相払候

東新町延屋

右之助

旅籠代取帰損失追込日数三日

勘当之忤岩治義

内々久々指置候^而不埒^ニ付

戸川町岩見屋
孫兵衛

追込但し日数七日

右同断心付可有之候処

無其義不埒^ニ而追込

但し日数三日

同人組合 善藏

金十郎 多七

源次 善右衛門

太助

右同断^ニ付

同町年寄

急度叱

喜藏

右同断在役中不束

同町平野屋

^ニ付急度叱

幸右衛門

一右取計相濟候段御用番十大夫殿并大目付相馬^江相届候

一今昼後左之もの共呼出遂吟味

中之町北原屋 三之助

同町 中島屋 与兵衛

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉七

出番昼廻り林平宇左衛門

大年寄源五兵衛 諸吟味清右衛門

一 右兩人共手鎖ものニ付組之者指向候 而 召連罷出九年寄組合共差添

二 階町小島屋惣兵衛義山田常右衛門殿支配所当国之内西々条郡養

野村長八当卯四十才同人妻りよ三十三才娘そよ十六才同よね九才

粹政吉四才娘はつ当才メ六人引受相応之渡世為仕度住宅之義願書

尤向方且那寺并村役人ノ別紙書付指越候旨願書指出候ニ付伺之上

聞届申達ス 九月七日住宅証文出ス

一 河原町作人左吉義備前和氣郡大中山村元右衛門粹卯助当卯三十才

才同人妻この三十才右式人役介ニ引受申度住宅之義願出尤向方且

那寺并村役人より別紙書付指越候旨願書指出伺之上聞届達ス

一 西今町直屋孫兵衛義御代官山田常右衛門殿御支配所当国之内西々

条郡富東谷村孫左衛門弟利左衛門去ル九ヶ年已前未四月相願亡父

永春役介ニ引受元魚町武田七郎兵衛養子ニ差遣置候処此度双方得

心之上離縁仕右孫左衛門方へ差戻し申度当所支配相離れ町内人別

差除候様願書指出候ニ付伺之上聞届申達ス

一 藏合孫左衛門義松平伊織殿御知行所播州佐用菊池正因娘つな并綱

娘伝右兩人当五月相願役介ニ引受罷在候処今般勝手ニ付右正因方

へ指戻申度仍 而 当所支配相離レ町内人別差除候様願書指出候ニ付

伺之上聞届申達ス

八月七日 晴

一 橋本町山形屋喜八追込昨日迄七日ニ相成候ニ付今朝追込指免候様

大年寄^江申付候処其段申渡候旨相届候ニ付御両所及御届

但し林田町年寄兼帯申付置候処右ニ付兼帯指免候段申渡候旨是

又届出候

一 京都閑院宮様衆^江之返簡宜取計候様大目付相馬ノ相廻大年寄^江相

達ス

一 小性町目明助宗藏義昨日遂吟味候中ノ町中島屋与兵衛指口之もの

ニ 而 博奕参会之ものノ取集候銀札三拾匁宗藏^江指遣候由ニ 而 先ツ

昨日組合預ケ之義申付候処他行仕候旨今朝罷帰候ニ付組合預ケ申

付候段大年寄ノ届出候

一 左之もの共小原屋三之助中島与兵衛指口之ものニ付番藤四郎勇

藏指向候 而 手鎖懸ケ組合預ケ申付御両所^江相届

小性町目明助 宗藏

中之町わら屋 文治

一 町方宗門帳宗旨奉行付紙取計候間取調申付候様申来候ニ付則大年

寄へ申付候

八月八日 朝小雨晴

一 御用日ニ付登城

一 左之もの今日左之通御裁許之義郡代^江申談候 而 伺書差出置ケ

□□□非人番文太郎

□□□非人番 平七

方其所々ニて博奕致

参会不届ニ付五十歳之上

帰住可申付候処非人之義ニ付非人頭^江引渡

右相当之答申付候様申付候 而 可然哉

一下紺屋町中横丁東側^{〔板字助義〕}所持之家屋敷表口式間裏行拾壹間御役式

歩式厘八毛右家屋敷代銀札式百匁ニ相極町内龜屋五郎兵衛へ壳渡

申度願書指出承届 同十二日壳券状指出ス

一新職人町高住屋八十吉義所持之古道屋株去ル丑壬閏八月林田町次

屋勘十郎へ貸置候処相方勝手ニ付取戻候旨双方連印断書指出承置

一新魚町大工屋太助義備前邑久郡東幸崎村治三郎悻大工清助当卯廿

五才右由緒之ものニ付来ル十月迄逗留仕大工職相稼せ申度願書指

出承届候

一戸川町住田屋伝治義宮脇町生駒屋治右衛門往来之式步中買株此度

治右衛門相止候ニ付右之跡式步中買此度尤請人之義は永野屋太助

取立定法相守り候旨願書連印ニて指出承届候

一河原町高島屋鶴治義小島定人長屋住吉五郎^{〔与〕}申もの当卯三拾式才

同人妻すゑ三十三才右^{〔与〕}兩役介引受申度町内人別人願書指出兼^{〔而〕}定

人よりも通用有之備中庭瀬出生之由ニ付願之通承届候

一桶屋町池測屋美弥治義道具屋兵五^{〔江〕}持来候古道具屋株当卯八月分

来ル申ノ七月迄五ケ年之間借請商売仕度尤新魚町大和屋清兵衛請

人ニ相立候定法相守り候旨連印願書指出承届候

一河原町中村屋利七家主組合共々借屋中野屋利七義出奔先達^{〔而〕}相届

百日尋申付万一右日数之内不尋出候ハ過料五百文ツ、申付候旨受

書も指出有之候処最早百日余ニ相成候得共行衛相知不申今五十日

猶予致候ハ、心懸り之処相尋申度願書指出承届

一左之もの共昨日追込三日ニ相成候ニ付今朝追込指免

八月九日 晴

東新町延屋 石之助

戸川町岩見屋孫兵衛 組合共

右指免候段御両所^{〔江〕}相届候

一京都閑流宮様分御呼登せ之もの之内釘屋惣十郎義老年之上今月分

病氣ニて今般上京出立難仕猶予願書并容態書指出候ニ付右願書役

筋奥書印形取計京都御留守居平野兵四郎^{〔江〕}相廻候^{〔而〕}可然旨右添状

状下案共御用番^{〔江〕}相伺置

一佐藤八郎左衛門方左之牢舎共呼出吟味致候間立合指出候様并左之

町役組合共も五ツ時相揃候様申付呉候様申来大年寄へ申付置

東新町鍛冶屋 宇兵衛

西今町高砂屋 兵助

無宿

庄兵衛

五郎吉

右立合出番林平罷出候^{〔而〕}出牢取計候段届出候尚亦昼後入牢立合取

計

一御蔵米六拾壹匁五分 町米五拾七匁五分

一今九ツ時より左之もの呼出及吟味

中之町小原屋 三之助

同町 わらや 文治

同町 中島屋

与兵衛

牢舎 西屋

治右衛門

同 西崎屋

治兵衛

小性町目明助

宗藏

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉七

出番 (和四郎) 勇藏

(宇左衛門) 林平

大年寄源五兵衛 諸吟味喜左衛門

一境町稲野屋徳左衛門義今般京都御呼寄せ候処先月今痢病相煩候

而 出立難仕快気迄日延猶予願書指出候ニ付釘屋惣十郎取計候而可

然旨御用番江相伺候処無程兩人共病氣ニ付日延猶予願之通承届置

其段京都御留守居書中ニ可申遣旨大坂番所御呼出之通ニも及申間

敷候旨十大夫殿申来候

一同町稲野屋清兵衛義は来ル十一日出立之旨届出候ニ付其段及御届

八月十日 雨

一今昼後左之もの共呼出遂吟味

(兩人共今日他参

西新町丸屋

嘉七

留申付候

河原町荒神屋

万吉

右立合左之面々

下役彦右衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉七

出番源藏和右衛門 大年寄源五兵衛

諸吟味喜左衛門

一東新町鍛冶屋宇兵衛西今町高砂屋金四郎口書取極博奕吟味方相

廻右宇兵衛義は去ル廿六日之夕罷帰候而組頭宗十郎江相届置翌廿

七日上ノ町ニ被召捕候由口書面々有之候ニ付右組合相札候而口

書指出候様大年寄江申付候

一牢舎無宿庄兵衛五郎吉町方ニ奉公又八日雇等ニ逗留致候もの

共左之通何相札候而口書指出候様申付

美濃職人町沢田屋 善兵衛

元魚町原屋

喜兵衛

二町目安原屋

左平

下紺屋町

万性院

一京都平野兵四郎江之御用状相認候而稲野屋徳左衛門取ニ罷出候ニ

付則相渡ス

八月十一日 曇小雨

一橋本町山形屋喜八義用事ニ付大坂大川町和泉屋六郎兵衛方へ罷越

廿五日計之逗留ニ罷帰申度留守中林田町年寄江相願置候旨願書

指出承届候 九月三日帰届

八月十二日 晴天

一源信院様例月之通御仏参被成御先弘源藏平左衛門罷出無滞相濟候
段届出候

一 今昼後より左之もの共呼出遂吟味

小性町目明介

宗藏

中之町小原屋

三之助

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番和四郎勇藏

一 安岡町戸島屋七兵衛義心願有之候ニ付晴天五日花角力興行仕度旨
尤場所日限等之義ハ追_而可申出旨願書指出候ニ付伺之上聞届申通
ス

一 伏見町古金屋駒四郎義役介茂吉去ル七月三日出奔仕候ニ付心懸之
所ニ組合一同相尋候得共以今行衛相知不申候段届出候ニ付例之通
百日尋申付置ク

一 左之もの入牢申付候間立合指出候様郡代十郎左衛門今申来

無宿盗人
庄八

一 左之もの共入牢申付候間立合指出候様吟味方八郎左衛門今申来候

暮田村宇助俅 山三郎

古城西村 岩吉

同村 源藏

井口村 佐七

一 右立合出番宇左衛門罷出入牢取計候段届出候

八月十三日 雨

一 御用日ニ付登城

一 戸川町岩見屋孫兵衛追込昨日迄七日ニ相成候ニ付今朝追込指免候
様申付置候処申渡取計候段届出ニ付御用所并大御目付_江相届候
一 於御用所左之通御申渡大目付立合

先年博奕参会之上

逃去此度罷帰候ニ付相糺

不届ニ付五十敲之上帰村

二宮村
宇八

一 □□□□非人番平吉義博奕致参会候ニ付五十敲帰住可申付候処非
人之義ニ付非人頭_江引渡相当之咎取計候様可申付旨相伺置候処伺
之通被仰出候

一 右敲之義郡代申談候_而来ル廿六日取計候段御所_江及御届
一 博奕吟味方引合之町方左之もの共口書取之大年寄今指出候ニ付八
郎左衛門へ相廻置ク

沢田屋善兵衛 原屋喜兵衛 安原屋左平

万性院事利生院

一 油屋連印之もの共為登種良損多候ニ付向寄他領ニて下直成種買調
兵庫表へ指登申度旨願書指出候御届ニも相成候義不弁ニて右様
願指出候ニ付大年寄場_江不残呼出追_而理解申聞候_而可然旨右願書
并油方三人之返答書取揃伺書指出置ク

一 丸亀屋勘治義為登種之義ニ付甚不埒申出候ニ付大年寄共ニて再三
利解申聞候得共納得不仕候ニ付口書取極指出候仍_而者惣油屋共見
合ニも相成候ニ付油稼一切指留追込五日申付候_而可然哉之旨伺書
指出置ク

一 佐渡守様近々御通行之趣ニ付町方取計書付を以相伺置ク

一 町方宗門帳宗旨奉行付紙之通再改仕候旨大年寄分指出候ニ付今日

宗旨奉行江相廻ス

一 今夕安岡町ニ而百万辺修行仕候旨申出候ニ付夜廻り之もの江申達

置ク

一元魚町伊丹屋利左衛門人別除之願西今町直屋孫兵衛分願書指出候処

先達而無願他領江罷越居候咎無之候而者如何之もの候由御用所ニ

て御申聞ニ付右出入都而致内濟候ニ付咎等ニも及申聞敷利左衛門

義は及内濟候節実家江引取候ニ付当人咎申付候義も不相成 咎ニ

も及申聞敷申演候処何分大目付へ申談候様ニと之義ニ而大目付江

申談候処是又同意ニ候得共組合程は叱等有之候而も可然旨ニ付其

段御用所江申上候処尚亦大目付分組合のミ咎候義も如何。付右伊

丹屋さき義今般之趣ニは利左衛門母ニも候間さき咎有之可然旨。

申談候ニ付さき追込組合町役叱置候旨相伺置ク

八月十四日 雨

① 郡代下代木村伝平役介平三郎義吟味中牢番預ケ申付候間立合指出

候様十郎左衛門より申来出番字左衛門罷出入牢取計候段届出来ル

十六日牢屋取計之義郡代所ニも故障有之候間延引致度旨十郎左衛

門より申来候ニ付承知候旨返書指遣ス尤右延引之義は郡代より御

両所へ相届候旨ニ付役筋よりは別段不相届候事

十四日

一 御藏米六拾壹匁五分

一 町米五拾七匁五分

一 御払米三百俵 落札備中屋三之丞

代正銀六拾壹匁五分七厘 町米准之

一 町方宗門帳之内巻冊宗旨奉行分相廻り元魚町鉢屋直藏不埒之義有

之付紙ニて委細認有之候間相糺候様申来早速大年寄へ糺之義申付

置ク

八月十五日 雨晚刻分晴

一 左之もの入牢申付候間立合指出候様博奕吟味方分手願相廻候

古城東村甚七俵

幸吉

一 牢舎無宿五郎吉庄兵衛呼出吟味致候候間立合指出候様博奕吟味方分

申来候ニ付右同様立合平左衛門罷出候而取計候段相届

一元魚町伊丹屋さき并同人組合同町年寄咎之義伺之通宜取計可申且

又西今町直屋孫兵衛分相願候伊丹屋利左衛門人別除之願承届候様

十大夫殿分申来候ニ付及返書候

一 今朝差出置候牢舎五郎吉庄兵衛指戻候間立合之義申来源藏罷出元

之通入置候段届出候

一 院庄川兼田川満水ニて留り候段大年寄分届出候

一 播州網干平松屋宗九郎并手代伊助ノ二人例年之通小間物晒蠟売ニ

昨日参候ニ付逗留為仕度旨林田町福吉屋安右衛門宿切手差出ス

十月七日帰届

一 播州網干丸屋六三郎并手代六郎兵衛ノ二人例年之通荒物并塩物売

ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度旨林田町福吉屋安右衛門宿切手差出

ス 辰正月七日帰届

一越中富山向河原町松井屋佐兵衛与申もの忝人例年之通反魂丹売ニ
昨日參候ニ付逗留為仕度旨右同町同人宿切手差出ス 辰正月七日
婦届

一左之もの共大年寄役場江呼出候而左之通申渡追込之ものハ小頭利
右衛門部屋目付藤四郎立合指出ス

元魚町伊丹屋
さき

右者去年悴利左衛門夫婦共致家出候処早々不届出候ニ付追込申
付日数三日

右同人組合共
右同断ニ付急度叱

右同断年寄共
右同断候而叱置尔来入念候様
右之段申渡取計候段御所江相届候

一明十六日牢屋取計郡代所故障有之候ニ付指延呉候様十郎左衛門ハ
申来尤向方ニ付右延引之義は及御届候間役筋ハ御届ニは不及候段
申来

八月十六日 晴

一牢舎五郎吉引合之沢田屋善兵衛并利性院申口引合不申候段今一応
相糺候様博奕吟味方ハ申来其段大年寄江申付置候処相糺候処五郎
吉申立通相違無之付紙為致候段口書差出候ニ付則八郎左衛門ハ口
書共相廻ス

一院庄川兼田川干落川明候段昼前大年寄ハ相届

一菜種左之通兵庫表江積登度候間御番所相通候様裏判之義油方よ
り願書則調印相渡ス

一菜種式百貳拾四俵

一同 八俵

他領真加部村今西屋
平九郎分

一同 三俵

他領坪井村紙屋
勝之助分

式百三拾五俵

一牢舎平三郎呼出吟味ニ付立合指出候様郡代より申来出番藤四郎罷
出候而猶又晚刻入牢之節も同人罷出立合取計候段相届候

八月十七日 晴夜雨

一例年之通一宮牛馬寄市町ニ付例之通文段ニ付町触差出

一福渡町家根屋利兵衛義北側而所持之家屋敷表口二間裏行拾七間

但御役半役右之家屋敷此度代銀札百匁ニ相極町内河内屋多助江売

渡申度旨連印願書指出承届候 同廿二日売券状差出ス

一上紺屋町八百屋平左衛門方南側東横丁ニて所持之家屋敷表口貳間

裏行五間但御役老步式厘右之家屋敷代銀札式百匁ニ相極同町鉄屋

与吉江売渡申度願書指出承届候 同廿二日売券状出

一林田町福地屋嘉七義借屋物なむや忠兵衛当卯四拾七才然ル処去ル

四日之夕不計罷出行方相知不申候ニ付所々相尋候得共一向行衛相

知不申候旨届出候ニ付例之通百日尋申付候

一京町塗師屋熊吉義借屋ニ居申候山手屋左右衛門義去ル六月廿七日

頃与風罷出一向帰不申候ニ付受人共々心当り之処相尋見候得共以

今行方相知不申候段届書を以届出候ニ付百日尋申付候

一 東新町鍛冶屋宇兵衛義当五月廿六日之夕場之節組頭播磨屋惣十郎

江 相届候由候ハ、申立ニ付惣十郎相糺候処是亦申口同様引合候ニ

惣十郎届出等不行届之段口書差出ス追ニ御裁許相伺候事

八月十八日 晴

一 御用日ニ付登城

一 堺町丸亀屋勘次義為登種之義ニ付不埒之申立致候仍ニ大年寄場ニ

ても再応理解申聞候得共納得不致候ニ付油稼一切差留追込五日可

申付哉之旨伺書を以伺置候処今日伺之通取計候様被仰出候ニ付今

日取計候様仍ニ被申達候

一元魚町伊丹屋さき追込昨日迄三日ニ相成候ニ付今日追込指免候旨

申達置候処申渡取計候段大年寄届出候ニ付御所江 相届

一 牢舎左之もの呼出候間立合指出候様佐藤八郎左衛門今申来

古城西村岩治 同村源藏 同東村甚七悻幸吉

暮田村宇助悻山三郎 井口村佐七

備前金川無宿五郎吉庄兵衛

一 雲州御隠居様当所御止宿ニ相成候ニ御宿より御賄仕候様ニと申事

故御膳腕新ニ被仰付度旨御本陣より申出則申付置候処積書指出候

ニ付大目付 差出置ク

一 左之通町触指出候様大目付今申来則町触差出郡代江及通用右届書

相廻ス

一 真鍮飯仏器 壹ツ

但高サ四寸計於之三輪屋藤吉与有之

一同花瓶 壹対

但高サ五寸計

一 にくろめ花瓶 壹ツ

但し高サ六寸計

右者 当月十三日七ツ前後愛染寺被盜物

一 にくろめ花瓶

但し高サ壹尺計

一 真鍮鶴亀らうそく立 壹ツ

但し高サ壹尺計

一 小打鳴

右者 当月十三日昼後光嚴寺被盜物

一 左之被盜物目明 申付吟味為致候様郡代江 達有之候旨通用有之品

書目明 相渡ス

一 鋸大小三組 一 鉄槌壹本 一 釘拔壹丁

一 曲尺 壹本 一 手斧壹丁 一 やすり式本

一 式歩鑿壹本 一 鋤 三疋 一 錐 壹本

一 小刀 壹本 一 拾五也

右者 妙法寺方ニ付去月十九日暮過大工元治被盜物

一 古堅烏給 壹ツ

右者 妙法寺地中一乘院番人去月廿三日被盜物

一 鑿 壹丁

右者 十三日七ツ時過妙勝寺被盜物

一 今朝呼出し牢舎共猶亦指戻候間立合指出候様八郎左衛門今申来出
番勇藏林平老入宛出候

一 安岡町三倉屋平兵衛先日綿改申付候節呼出候処不快^ニ而^レ罷出候
処此節全快之旨届出候由^ニ付今日大年寄宅^ニ而^レ小頭部屋目付立合
左之通申付候

操綿改役申付候入念

三倉屋

可相勤候事

平兵衛

一 今朝何之通被仰出候堺町丸亀屋勘次義大年寄宅^ニ而^レ小頭部屋目付
立合油稼一切差留追込申付候

但し油諸道具封印申付候^ニ付油方之もの罷出候^而小頭部屋目付

立合封印見届候段罷帰届出

右取計相濟候段御所^江及御届

一 安岡町治兵衛^与申もの兼々手くせ不宜風聞之もの^ニ而^レ近来寺院紛
失物等必定彼仕業^ニも候哉^与目明共も監察致候様之旨兼^而申出候
^ニて今日夜廻り源藏林平差添目明兩人差遣諸道具闕所見改申付候
処左之品々有之候^而甚疑敷候旨届出候

一 花瓶 二ツ 一らうそく立 壹ツ

一 鰐口 壹

其外大工道具品々

一 立^(マ)島男着袷 壹ツ

右之品々別箱^ニ入候^而年寄^江願置候由其外諸道具封印付置候段相
届候

一 右治兵衛并伴伝藏手鎖懸ケ組合預申付置ク

一 丸亀屋勘次油稼指留候^ニ付為登種老入分減候哉^ニも被存大年寄^江
相尋候処先ツ書付指出候通登種員数相違無之旨申出候^ニ付其段郡
代^江申遣ス

八月十九日 昼後雨

一 佐渡守様御宿割今日当所通行^ニ而^レ左之通間屋場^江申置候段申出候
^ニ付「」書付を以御所^江相届置ク

船越平左衛門

廿二日土居御泊 廿三日久世御泊

人足七拾八人 本馬拾疋 軽尻三疋

右之通御先触表之由尤御先触は未到着不仕候由^ニ候得共右之趣心
得置候様達置候旨問屋より届出候

一 牢舎忠郎次病氣^ニ付服薬之義願出大年寄^江申付候処原亭運^江申付

診察為致候処難捨置^ニ付療治申付候段届出候

一 佐渡守様近々御通行^ニ付取計候義并万一御泊^ニ相成候節取計振等
両度^ニ伺置候処何は答無之宜取計可申旨御用番十大夫殿今申来

八月廿日

一 左之もの共博奕吟味方^ニ而^レ口書取指出候^ニ付播磨屋宗十郎引合之
もの^ニて是又大年寄場^ニて為相糺口書指出候^ニ付左之通御裁許之
義十大夫殿御宅^江罷越相伺

博奕参会之上

東新町鍛冶屋

逃去候^而百蔵

宇兵衛

帰町但し今度参会^ニ別^ニ付

宇兵衛逃去候^ニ付尋申付

同町播磨屋

宗十郎

置候処帰候段宗十郎届出

候処彼是届延引ニ相成候ニ付急度叱

博奕参会之上

西今町高砂屋
金四郎

逃去候今度帰候由五十敲帰町

一 佐渡守様御先触到着八月六日江戸表御出立ニ而左之通人馬并御泊

付写出御所^江及御届

本馬拾疋軽尻三疋人足七拾八人

五日程ヶ谷泊 七日小田原泊

廿二日土居泊 廿三日久世泊

卯七月廿八日

岡村源左衛門 永井五左衛門

河島郷右衛門 中川太郎左衛門

一 左之もの共昼後呼出遂吟味

是迄手鎖組合預候処 中ノ町小原屋 三之助

入牢申付候

盜賊筋疑敷ものニ付 安岡町畑屋 治兵衛

入牢

右同断ニ付手鎖懸ヶ 同人悴 伝助

組合預ヶ

右立合面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番并昼廻り共嘉七源藏平左衛門林平

大年寄源五兵衛 諸吟味喜左衛門

右之通取計候段大目付^江相届御用番中^{江茂}申上候

一 材木町三家屋佐之右衛門義妙法寺ニて大工道具被盜物買取候段目明共申出候ニ付大年寄場ニ而為相札候処去ル七月廿三日他所もの分買取候品拾三品右之内七品売払候段口書取指出

一 安岡町橋留屋喜与松義家屋敷五年以前町内糊屋伊兵衛取次ニて質物ニ書入銀札六百四拾匁借受候処此度元利返弁請返シ候段届書を以届出置ヶ

一 斎藤孫右衛門義親播州三ヶ月島津友三郎伯父藤左衛門与申もの用事有之今朝罷越候ニ付五六日計逗留為仕度同役加判願書指出承届候

一 佐渡守様近々当所御通行ニ付左之通取計候義伺置候通伺之通宜取計候様十大夫殿申来

届候

一 御通筋入念掃除申付盛砂為致候事

一 町触先例之通指出可申候事

一 町々保頭御先払可申付候事

一 御先払左之通可申付

同心組小頭 忝人

同 平組 兩人

候事

一 御本陣玉置源五兵衛万一御小休ニも可相成候間右心得可申付

候事

一 御使番宿斎藤孫右衛門^江可申付候事

一 御通行ニ而 出役之面々立宿可申付

一 当役林田町横町先例之場所へ出役可仕候事

右之通伺濟候旨尤時節柄俄^ニ御泊候程^茂難計候間御泊取計も取調候^而前以伺置候様被仰出右伺書追加別記^ニ相伺候^而是又伺相濟右兩様共大目付へ及通達候事

八月廿一日 雨

一 佐渡守様御通行ニ付出役之面々立宿左之通^ニ申付置候段書付指出大目付^江及通用

役所 立宿

林田町山本屋

友三郎

下宿 橋本屋

和助

御取次

下宿 二文字屋

清次郎

御徒目付

東新町米屋^(マ)

平蔵

下目付

組之もの

同 松本屋

新六

物頭組

御先私

安岡町古川屋

多兵衛

一 佐渡守様御通行ニ付御道見分左之面々出役

大年寄

齋藤孫右衛門

美濃出屋清右衛門

小頭兼

三船藤四郎

右見分之処為指破損場も無之少々候之義即座^ニ年寄共取臈申付置候段届出候

一 院庄川兼田川満水^ニ而舟渡相留候旨届出

八月廿二日 快晴

一 院庄兼田川共水干落候^ニ付川明候旨届出候

一 郡代より左之通及御届候間致調印候様申来則調印之上相廻ス
七拾七ヶ村菜種作り高
一百五拾三石式斗五升

内

九拾弍石

油屋共手作手絞

残^而六拾壹石式斗五升

外^ニ散種拾五石四斗

合七拾六石六斗五升

右^者兵庫問屋^江種登申候

右之通^ニ御座候以上

卯八月

江口勘大夫

三浦十郎左衛門

一 去ル十三日御裁許被仰出候敵来廿五日取計度旨郡代より申来候其段御両所へ相届

一 上紺屋町中津屋丈助義雲州松江堅町玉造屋多四郎悴嘉兵衛当卯廿九才同人妻もと廿六才同人妹ミち廿四才此度借屋^ニ居申候松江屋勝左衛門役介^ニ引受申度住宅之義願書尤向方旦那寺并町役人分別紙差越候旨願書差出伺之上聞届申達ス 同廿六日住宅証文出ス
一 舟頭町今津屋孫十郎後家義脇坂中務大輔殿御預り所当国之内久米南条郡福渡村千五郎弟庄吉当卯三拾式才此度借屋^ニ居申候福本屋新右衛門役介^ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人分別

紙指越候旨願書指出伺之上聞届申達ス 同廿五日住宅証文出

一 材木町徳屋多四郎義寺田又兵衛殿御預り所当国之内勝北郡安井村
百性平右衛門倅仙藏当卯三拾九才同人妻さい三拾七才同人倅新吉
五才已上三人此度借家ニ居申候豊屋為右衛門役介ニ引受申度住宅
之義願書尤向方旦那寺并村役人より別紙指越候旨願書指出候ニ付
伺之上聞届申達ス 八月廿八日住宅証文出

一 明廿三日佐渡守様御通行ニ付出役刻限五時供揃之旨申付置ク御先
払組之者も同刻罷出候様申付候

八月廿三日 快晴

一 佐渡守様昨廿二日之夕土居御泊之御日積ニ付先例之通同駅江遠見
之もの指出置候処右之ものより問屋共江書状差越贅崎川御指支ニ
付廿二日夕土居御泊候処三ヶ月御泊ニ相成候尤其後御泊候処は相
知不申候段申越候段書状指出候ニ付御用番并大目付へ其段申遣ス
一 今朝五ツ時出役可致候積之処右御様子ニ付四ツ時頃出役之積ニ申
付候

一 土居駅大庄屋夕土居辰五郎江以書状今夕当土居駅御止宿ニ相成候
旨為相知候段右之段通用有之

一 今日御通行延引ニも相成方一御泊ニも相成候処難計之者段々不足
ニ付大目付江加人兩人相廻候様被取計候様申遣候処左之もの共加
人ニ罷出候旨当人案内有之

一 佐渡守様追先触到来贅崎川指支ニ廿二日三ヶ月御泊ニ相成候ニ
付其後別紙通日送ニ相成候間其段相心得候様ニ申来
但し右別紙御先触中ニ無之候ニ付勝間田駅扶持相糺候処右別紙

之義一向存不申旨申立候ニ付本書計写指出併今夕ハ土居駅御止
宿ニ相成旨向方様御家来今承之相違無之旨大年寄今申出候ニ付
登城之上右之段御両所へ及御さた
一 右ニ付今日之出役延引申付明廿四日出役ニ付今朝之通五ツ時供揃
申付候組之もの役割左之通

小頭

御先触払

人馬方

供方

堀内利右衛門

遠藤和四郎

石名源藏

萩野嘉七

神田和右衛門

江原平左衛門

中村勇藏

三船藤四郎

廿三日泊益岡茂助

廿四日朝番春木藤八 夕番林平

泊番和四郎 夜廻り藤四郎勇藏

一 御用所ニおいて御用番御年寄左之通御申渡大目付出席

当春以来度々博奕

致参会一昨年も宿等

致候義も有之今般逃去候始末

重々不届ニ付百敵之上帰町

当春以来度々博奕

東新町鍛冶屋

宇兵衛

致參会候上逃去候始末

西今町高砂屋
金四郎

不届ニ付五十敲之上帰町

一左之もの伺之通左之通被仰出

組合宇兵衛義尋中

罷帰候段届出候処彼是届

東新町播磨屋
惣十郎

延引ニ相成候段取計不行届

不束ニ付急度叱已来入念候様

一牢舎清右衛門義左之通切手昨廿二日落し候段小頭分届出候ニ付書

付を以大御目付江相届置

米切手式斗九升

八月廿二日 牢番宛

右之段届出候ニ付御蔵奉行へも及尊置候様小頭江申付中買共江

落し切手之義申達置候様大年寄江申付候

一土居駅江指遣置候遠見之もの夜五半時頃罷帰頃罷帰佐渡守様土居

駅九ツ時御着被成明晩八ツ時御立被成候旨承之罷帰候段直ニ遠見

もの罷出申候旨当番より申出候ニ付右之段御両所江も及さた郡代

江茂 為心得申遣役筋供揃刻限も六半時供揃候旨申付候

八月廿四日 曇

一今六半時供揃ニ而 供立左之通林田町立宿山本屋直助方江罷越相扣

口付 藤四郎用丈

鎗割場

自分騎馬平左衛門

草り取

合羽籠割場

口付 勇藏

挟箱割場

一是迄縮緬手綱相用來候処以来ハ一統晒布手綱ニ相成候段小島唯七

より手紙ニて申来

一佐渡守様九ツ時過御通行被成候ニ而 先例林田町北側横町江出役相扣

居候御供頭罷越候ニ而 出役之趣相尋候ニ付則手札指出則御駕籠所

ニ而 名披露有之候後御用人ニ而も候哉文野又治郎与申聴致下乗候

ニ而 挨拶有之候ニ付相応及挨拶且又自分御機嫌を茂相伺候ニ而 相分候

遠見之もの三人兼ニ而 申付問屋分指出

河辺江御懸り 兼回渡御上り 玉琳ニて御小休有之候ハ、御

駕籠上りニて

但し今日は玉琳御懸りニて申出候ニ付余程御間々有之候得共町

内より指遣置候遠見之者御駕籠上り見請候ニ而 致案内候ニ付都合

「」

一御通行相済候ニ而 猶亦立宿ニ相扣居候処町分無滞御通行相済候段安

岡町より注進有之候ニ付引取退出懸ケ御用番十大夫殿江罷越出役

仕候処町分無滞御通行相済候ニ而 引取候段相届大目付相馬江は

馬脇より口上ニて右之段相届

一成覚寺ニ而 去ル十二三日之頃左之品紛失致候間目明共江吟味申付

候様大目付より申来則目明江申付置ク

鑰石花立 壹ツ

一明廿五日牢屋敲取計有之候間右之手合致置例之通出役之義申達ス

一佐渡守様御通行ニ付出役之面々無御滞御通行相済候段届出且間屋

結之もの今今日之人馬左之通指出候段書付を以相届

一馬拾三疋

一人足百四拾式人

八月廿五日 雨

東新町播磨屋
惣十郎

一 去十三日同廿三日御裁許被仰出候敲取計今日牢屋敷_ニ而取計相濟候_ニ付御兩所へ及御届

先年博奕致参会
其上逃去候始末不届

二ノ宮村
字八

博奕致参会不届_ニ付
五十敲之上婦村

非人番
平七

博奕致参会不届_ニ付
五十敲之上婦住可申付候処
非人之義_ニ付非人頭_江引
渡相当之答可申付旨申渡

右_者 非人頭并日付之もの牢屋敷指出候様前以大年寄_江申付候_而牢屋_ニて引渡

機多佐治郎
甚太

他領_江罷出度々博奕

東新町鍛冶屋
宇兵衛

致参会其上逃去候始末
罷帰候_而届出候ハ、相慎可罷在
候処無之義先年宿之義_ニ有之重々不届_ニ付
百敲之上婦町

西今町高砂屋
金四郎

当春以来他領_江罷出
毎度博奕致参会其上
逃去候始末不届_ニ付五十敲之上婦町

右_者 町役并組合今朝六半時牢屋敷_江罷出候様可申付旨前以大年寄申付候

右出役之面々左之通

御徒目付吉村弥平次 下目付志人

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎 出番_{勇藏}和右衛門

右_者 組合鍛冶屋宇兵衛尋中罷帰候_而届出候由之処町役御届彼是手間取延引_ニ相成候段取計不行届不束_ニ付急度叱已来入念候様大年寄役場_江呼出申渡

一 右等取計相濟候段夫々今届出候_ニ付御兩所_江相届候
一 左之もの共博奕吟味方_ニて入牢申付候処今日出牢申付候由郡代より出牢手形相廻候

一 牢舎平三郎義呼出吟味_ニ付立合指出候様郡代より申来勇藏出役_ニて出入取計候段届出候

一 加茂小中原村_ニ当時罷在候宮崎屋茂吉_与申もの当所之もの、由弥人別_ニも候哉承度由佐藤八郎左衛門今申聞候_ニ而 其段相糺候様大年寄_江申付置候処今日左之通申出候_ニ付早々罷帰候様可申付旨申達又

鍛冶町伊賀屋忠藏借屋住
宮崎屋茂吉

夫婦共鍛冶町人別者_ニ
相違無之去ル寛政
十一未十一月同所大坂屋三十郎
方へ亥年迄五ヶ年之間
奉公稼願候_而罷越其後願繼無之打過候得共鍛冶町人別_ニ有之候旨届出候_ニ付其段八郎左衛門へ及通達

八月廿六日 昼後大雨

一 町方宗門帳再付紙ニて相糺候様先日宗旨奉行より申來候而相糺候様申付置候処指出候ニ付今日宗旨改役所へ手紙添指出候処返書來当年は不念之義多有之候間以來は与耽入念候様可申付旨申來候ニ付大年寄江申付置ク

一 播州網干唐網屋佐七郎与申者忝人同手代弥八郎与申者忝人例年之通小間物反物売ニ昨日参候ニ付逗留為仕度林田町福吉屋安右衛門宿切手指出ス 十月七日帰届

一 同網干天満屋儀兵衛与申者并手代茂兵衛ノ忝人例年之通反物卸売ニ昨日参候ニ付逗留為仕度右同人宿切手指出 十月七日帰届

一 同網干余陸屋武兵衛并手代養右衛門右二人例年之通八百屋物鑿節売ニ昨日参候間逗留為仕度右同人宿切手指出ス 辰正月七日帰届

一 夜中兼田川院庄川舟渡留候段届出候

一 惣油屋共先頃登せ種他所向寄宜所ニて買登申度左候得共間損も減し候ニ付何卒右之通取計度旨願書指出候而甚不埒之願書ニ付登せ種御届ニも相成候義共何も不弁へ之義ニ付何も大年寄源五兵衛江呼出与理解為致右願書指戻候様申付候処油屋共何も納得仕恐入候段一同申出候段届出候

八月廿七日 雨天昼後晴天

一 今四時院庄川明之旨届有之

一 今日御素読御聞有之候処御用日ニ無之候ニ付仕仕不及

一 御城山草刈今日より相始候段三軒屋番而相届承置

一 二階町年寄理兵衛勘平分町内北関貫統横手之壁覆凡式間計昨日之

大雨ニ御堀江倒候由尤土手は損し見不申右ニ付関貫ノ方無之取贖

迄当分竹垣仕置度猶又右壁覆引上ケ度御堀江人足為這入申度願書指出候ニ付当分竹垣仕置度旨承届早々取計候様申付御堀江人這入候義は大目付江申達御作事相達有之候様申達置ク

一 材木町組頭共分町内南側敷土手酉年分度々盜賊入込一統迷惑仕候

ニ付右之場所角引曲四間小坪を懸ケ度尤下地石垣少々痛居候取繕申度願書指出候ニ付大目付へ達置候処九月廿三日聞届達有之町間敷余御評義之候処ニ付後見上町引交ニ相成

一 昼後兼田川舟渡相始候段届出候

一 兩川共又々留り候段届出候

一 鍛冶場土橋破損ニ付通行不相成候ニ付舟渡し相始候段今津屋分届出候仍而御兩所江相届

但し右場所之義は当役所以前分支配場所「」右等之義は御兩所へ相届候先例之趣相見江候ニ付及御届

八月廿八日 快晴

一 御用日ニ付登城

一 兩川共川明キ候段届出候

一 二階町島屋藤吉義播州加古川分ねちわく細工手伝九郎兵衛長治与申もの二人例年之通呼越昨日参り候ニ付当十二月下旬迄指置申度願書指出承届 十二月十七日帰届

一 備前岡山小畑町鼠屋甚八手代文十郎左兵衛与申もの忝人例年之通元結卸売ニ昨日参り候ニ付逗留仕度旨新職人町松野屋十右衛門宿

切手指出ス 十二月廿九日帰届

一 因州鳥取鹿の海道藤村屋市三郎并手代喜兵衛弥助与申ものノ三人

荒芋布并木綿紙類商売仕候^而当六月十七日相願此度初^而罷越候^ニ
付逗留為仕度右同人宿切手指出ス 十一月廿五日帰届

八月廿九日 快晴

一左之もの小盗相働候由^ニ付目明召捕^{□□□}非人共^江預ケ置候処今
日呼出遂吟味候処数口小盗相働候申口^ニ付入牢申付但し年十四才
之小野郎^ニて近來専ら田町辺物もらい徘徊いたし候もの

関貫之金具或ハ

鼠釘等所々金具

斯取候出其外^ニても

店屋御家中屋敷^ニて

小盗等数口有之

芸州出生当時野伏

乞食穢多

長吉

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番勇藏平左衛門 目明兩人

一左之もの入牢申付候段御用番中并大目付^江相届候

八月晦日 晴

一例月之通三ヶ所番賃銀相渡ス

一御藏米六拾式匁五分 町米五拾八匁五分

一備中都郡早島金田屋伝藏并手代栄八伊兵衛^与申ものメ三人例年之

通雲斎紋付足袋卸売^ニ昨日参候^ニ付逗留為仕度新職人町松野屋十

右衛門宿切手指出ス

御家老 山田主膳殿

御年寄 大橋十大夫殿

大目付 黒田頼母

大年寄

斎藤孫右衛門

諸吟味

宮田喜左衛門

九月^寅朔旦 快晴

一御城山草刈今日限^ニ而仕舞候段三軒屋番清八罷出相届候

一当月有番孫右衛門相働候旨相届候

一明二日五ツ時より牢屋吟味取計候間右之手合致置候様小頭^江申付

候

九月二日 快晴

一今五ツ時より牢屋敷^江罷越候^而左之者共遂吟味尤郡代下代伝平役

介平三郎義ハ今日郡代より引渡候^而当役^江受取遂吟味尤先日右之

段両役分御両所へ及御届置

小原屋三之助

木村伝平役介

平三郎

中ノ町わら屋

文治

手鎖懸ケ組合預候処
吟味之上入牢申付

組合預ケ^ニて呼出ス

小性町目明 宗藏

牢舎之もの

野伏穢多 長吉

右同

安岡町畑屋 治兵衛

娘義 今日組合預ケ申付

右同人娘并孫

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付和四郎

出番嘉七字左衛門昼廻り夕林平左衛門

目明頭太兵衛 同平 老入

穢多頭 兩人

一京町高道裁義父栄仲去ル三月出立ニて当八月迄逗留願江戸佐野惣右衛門方へ罷越候処未用事相済不申来ル辰ノ正月迄日延願指出承届候

一安岡町坪屋与八郎所持之酒造株去ル享和元酉年十月分来ル未ノ九月迄拾ヶ年之間東新町橋本屋茂右衛門方へ貸渡候処双方勝手ニ付此度取戻申度断書指出承届候

一船頭町今津屋孫十郎後家守小性町百足屋才吉義孫娘りせ義伏見町紙屋茂七伴岩吉へ当五月遣し置候処日々打擲致候ニ付七月下旬帰居候然ル処去晦日之夜二階町庚申堂江娘かね召連候ニ而參詣場懸ケ二階町関貫きわニ右岩吉倒ふせ致りせ髪を切候ニ付娘かね引除候

一処右之刀物ニて右ノ手三寸計其外二ヶ所疵負ヒ候ニ而氣分悪敷食一

一「給不申候段吟味願指出候ニ付番嘉七字左衛門指向候ニ而手鎖懸ケ組合預ケ申付置尤才吉娘底所療治も申付置ク

一牢舎忠郎治義病氣ニ付原亭運療治致罷在候処追々快方ニ候得共未

一 耽与不仕候ニ付二廻り相済候得共猶又亭運江療治為致候段届出承置ク

九月三日 快晴

一 御用日ニ付登城

一 左之もの共今日左之通御裁許伺書指出ス

出所不健成もの下人同様召仕

美濃職人町沢田屋

其上博奕携候ニ付追込五日

善兵衛

右同断日雇ニ数日為致逗留

二丁目安原屋

其上右同断ニ付追込三日

太兵衛

商売筋なから不健成者

元魚町原屋

無願数日逗留為致其上

喜兵衛

博奕携候ニ付追込三日

下紺屋町 利性院

口書指出候得とも

不束無之相構無之

妙法寺ニ而大工被盜取候

材木町三家屋 佐之右衛門

品々買取候ニ付右之品々取上ケ

一 郡代十郎左衛門他行ニ付昼後請持呉候様申来候

一 大目付廻伏左之通申来例之通組中并町触差出

一 一惠高院様来ル十一月十三回御忌被為当日三日御知らせ

一 一愍生院様来ル十一月十三回御忌御知らせ

一 但し座頭共御布施被下等先例無之

一 一昨朔日夜四ツ時前ニ而も候哉牢屋南ノ塀覆東之方佐久間殿下屋敷塀之処矢切折候様番致候由番子共分牢番江相届候ニ付早速下番

召連候^而 右之場所遂見分候^而 矢切之竹沓本并屋根押竹折居候^而 成
程人^ニ ても越かけ候^而 跡あらし候様^ニ 相見^江 候段昨朝牢屋出役之
時相届候^ニ 付出役面々召連候^而 遂見分候^而 牢番申出候通相違も無
之候得共場所柄盜賊之仕業共不被存牢舎之ものへ内達致候様之義
も難計候得共是以当時格別之大罪之もの無之何共あやしき義且佐
久間殿屋敷堀^ニ も候間今日登城之上御用番中并大目付^江 も及噂置
ク

一 例年之通当月祭礼夫々出役先例之通取計候様大目付頼母申聞

九月四日 昼後晴

一 吉川長屋住佐吉口書相調候^ニ 付町方引合之者多有之候^ニ 付右口書
大年寄^江 相渡何も相糺候様申付候尤在分鉄鉋町紺屋八子百性家等
^ニ 而も聊之品盜取候段申口^ニ 付一応相糺候様郡代^江 申遣置ク

一 今昼後材木畑^江 草持^ニ 罷越候^ニ 付郡代并下役^江 茂及案内置ク

九月五日 快晴

一 西今町柳屋茂吉義備中国上房郡松山本町森屋忠七悴藤兵衛義三ヶ
年以前丑年九月西寺町大雄寺^江 罷越同寺長屋^ニ 罷在其節向方放手
形持参仕居候^而 藤兵衛当卯三拾五才同人妻まさ三拾才悴勝次式才
此度役介^ニ 引受申度町内人別人願指出候^ニ 付寺社取次引合候^而 聞
届達ス

一 博奕吟味方^ニ 左之牢舎之ものとも呼出吟味有之

中ノ町西屋治右衛門 西新町西崎屋治兵衛
同町丸屋乙右衛門 同町 大坂屋宇兵衛
同 和氣屋太兵衛 東新町広戸屋利兵衛

一 右町役組合五ツ時佐藤八郎左衛門宅^江 罷出候様大年寄^江 申付置ク

林田村平八悴与之助 同村平助 同村市兵衛

一 今朝牢浚申付藤四郎和右衛門罷出候^而 別条無之候段相届候

但し町在牢舎八郎左衛門方呼出^ニ 付立合候^而 出牢為致置候段
も相届候

一 中ノ町大工田邑屋岩治義江戸表^江 罷越居候^而 脚氣相煩昨晚罷帰候
段大年寄今相届候

一 佐藤八郎左衛門^ニ 而呼出吟味相済候間立合指出候様申来出番和四
郎罷出候^而 今朝出牢之九人夫々左之通入置候段届出候

一 吉川亀之丞長屋佐吉引合之町方之者共大年寄場^江 呼出口書印形取
之今日指出ス
但し八通

九月六日 雨天

一 左之もの共内済取暖候^ニ 付左之通酒代指遣度兼^而 伺出候^ニ 付承届
置候^而 今日申渡取計候段届出候

銀札式拾匁ツ、

右^者 東谷村孫左衛門伊丹屋

さき出入一件内済取暖

銀札五匁ツ、

右^者 西新町田邑屋久米吉

□□織多打擲一件内済

取暖候^ニ 付

櫻野屋

茂市郎

伊勢屋

円助

播磨屋

宗十郎

小文字屋

太兵衛

一 御狼方^ニ 而為御取候^而 荏御配^ニ 取計候様被仰出候由^ニ 而小勘者小島

唯七ノ廿羽相廻候旨手紙を以申越及返書

九月七日 昼後晴

一 林田上ノ町御作事預リ屋敷ニ指置候権八ハ申もの去ル五日夕五時過頃左之品々被盜取候旨届出候間市郷触流取計候様大目付頼母ハ申来則町触差出ス 同十四日無之段届出候

一 御納戸茶わた入ツ 一同わた入 ツ

但し裏水色紋丸之内鷹羽違 但裏水色紋二重輪影桔梗

一 しゆかた袷羽折ツ

但し裏水色

九月八日 晴

一 御用日ニ付登城可仕候処少々不快ニ付当病不參之義郡代三浦子ハ相頼且御用所江も申上候義無之候間被申上候様申遣承知候旨返答有之

一 相模国三浦郡久里浜村百性八五郎義所々參詣当国真島郡三坂村ニて病氣ニ付同所ハ送り出院庄村へ送り来候ニ付札之上村継送り承届候段郡代より通用有之其段大年寄へ達置候処無程安岡町へ送り来候ニ付林田村江無滞送り届候段届出候由相届候

一 川口藤左衛門父如元義病氣養生不相叶今日死去之旨依之左之通忌懸り引込候段届出候

忌五十日 川口藤左衛門

祖父ニ付三十日 同 藤十郎

右藤左衛門忌中引込候段御両所へ相届尤悖藤十郎義は見習ニ付御届不及候事

一 鍛冶場土橋取繕致出来候ニ付從今日通行相始候段大年寄ハ相届候ニ付其段御両所江相届候

一 大隅宮祭礼今夕宵祭ニ付林田六町先例之通揚挑灯差出候旨届出承置ク

一 杉山松茸御配ニ被仰付候間相廻候旨小勘者より相廻ス尤何方へも御礼ニも及不申旨ニ頭役申談候事

一 御用所ニ而御用番御年寄左之通被仰渡大目付出席勘大夫不參ニ付十郎左衛門為名代罷出候

日雇之もの等差置

度々博奕宿致不届

ニ付百敲之上帰村

博奕参会いたし

不届ニ付五十敲之上

帰村

右同断不届ニ付

五十敲之上御領分

追払

右之段可取計旨被仰出候旨郡代十郎左衛門ハ通用有之日限之義は追而申談候旨申来

一 無宿五郎吉庄兵衛引合之もの左之通御裁許相伺置候処何之通被仰

古城西村 岩吉

同村 源蔵

同東村甚七ハ 幸吉

暮田村宇助ハ 宇三郎

井口村 佐七

無宿 五郎吉

同 庄兵衛

出候段十郎左衛門より通用有之

追込五日

美濃職人町沢田屋

追込三日

二町目安原屋

右同断

元魚町原屋

差構無之

下紺屋町

利性院

一 伏見町能勢屋勇次借屋者和氣屋万吉義当卯四十六才同人妻つる三拾七才同娘ひさ十五才同倅茂吉八才三男榮吉三才右家内五人此度勝手ニ付大久保安芸守殿御領分当国之内久米北条郡下打穴下村鉄五郎方江引越同居仕度当所支配相離町内人別指除候様願書指出候ニ付伺之上聞届申達ス

一 大坂御番所江菜種御届候義同所御留守居長沢清左衛門分御届相济候段大目付分通用有之候旨十郎左衛門分通用有之

九月九日 快晴

一 重陽ニ付五時過登城

一 組中不残出仕前罷出候ニ付当賀申述候ニ而 出仕後例之通神酒差遣

一 今日大隅宮祭礼ニ付左之面々定割分立宿ニ相詰御幸之節警古相勤候

藤四郎 和四郎 勇藏平左衛門

一 於梅之間例之通御奏者番以下一同重陽之御祝義御小性頭彦藏江謁申上候惠心院様江茂同様御祝義申上候

一 御用所江三奉行一統罷出当賀申述退出懸ケ大目付江も及挨拶

一 小性町百足屋才吉分伏見町紙屋茂七倅岩吉江相懸り吟味願先日指出候ニ付右岩吉江手鎖申付置候処今度内济致熟談以来申分無之候間岩吉手鎖差免先願書下ケ呉候様百足屋才吉より願書指出候ニ付願之通承届先願書指戻ス

但し右一件は早々内济も仕候様兼而大年寄分申出候ニ付見分等も不差出御届も不仕見合居候処彼是今日迄延引ニ相成候得共右之都合故御届も不及相济

一 大隅宮祭礼無滞相济候段出役四人より夜六半時過罷出今日は何方へも御届ニ不及

一 伏見町紙屋岩吉一件内济致候ニ付夜廻り右衛門宇左衛門指向候而手鎖指免ス

九月十日 晴風

一 深信院様明後十二日御仏参御延引被成明十一日惠高院様御年回ニ付五半時御供揃ニ而 泰安寺へ御参詣被成候旨古嘉左衛門分申来候ニ付其段大年寄江申達ス御先払之義当番へ申達ス

一 左之もの共左之通申付度旨兼而伺出候ニ付承置候処今日申達候段届出候

新魚町年寄指免

堺町和泉屋

居町堺町年寄申付

庸藏

居町年寄役申付候

新魚町加登屋

居町年寄役申付候

源左衛門

二階町阿賀屋 太三郎

一 牢舎中ノ町わらや文治義博奕吟味方ニて吟味筋有之候間今九半時
ハ呼出申度候間右之刻町役組合指出候様牢屋立合茂申付呉候様申
来候ニ付其段大年寄江申付牢屋立合宇左衛門罷出候而出入立合仕
候段届出候

一 茅町麩屋元治義立願有之四国遍路仕度当月十五日出立ニて往来
六十日斗逗留ニ而罷帰申度願書指出承届候

一 船頭町今津屋孫十郎後家義借屋ニ居申候佐五郎三ヶ年已前丑正月
御手廻ニ罷出候処今般首尾能暇取候ニ付町内人別ニ指加へ候様願
書指出候ニ付中間頭引合之上聞届申達ス

九月十一日 快晴

一 深信院様五半時泰安寺江御仏參被成御先弘和四郎宇左衛門罷出候
処無滞相済候段届出候

一 京町俵屋伊兵衛儀売買筋ニ付因州鳥取川端三丁目宇戸屋喜左衛門
方へ罷越申度往来四十日斗之逗留ニて罷帰申度願書指出月番大年
寄聞届候旨当人願書指出ス 十月十一日帰届

一 西今町今市屋勇助義昨九日之夜七時頃ニも候哉盗人入込左之品々
被盜取候段届書指出ス 同十三日触流指出ス 同廿日無之段届出

一 藍ひ し立島裏空色男布子 壹ツ

代拾五匁位

一 藍地形鳥千種裏道ふく 壹ツ

代拾貳匁位

一 紺白小弁慶鳥男着洗濯単物 壹ツ

代九匁位

一 水色四身帷子紋丸之内ニもつかう壹ツ

代拾匁位

一 さらし小豆はたき 壹ツ

代四匁位

一 あさき格子鳥四ツ身単物 壹ツ

代六匁位

一 障子格子浅黄しま一ツ身単物 壹ツ

代三匁位

一 につきもめん 壹反

代七匁位

一 半紙 壹束

壹匁六分位

一 銀札三拾四五匁 小札相添居候

一 錢四百文計

×拾壹品

一 右同夕左之もの共方へ盗人入込候得共何も被盜取候物無之段届出

候段大年寄分口上ニて相届候

少々壁切候由ニ 西今町小島屋 孫市

候得共這込不申

裏之窯はつし 同町 角屋 庄吉

懸ケ候得共這込不申

裏迄入込候様子 同町 日笠屋 庄七

一 牢舎左之もの共呼出申度候間明十二日五つ時町役組合宅^江罷出并
牢屋立合取計候様佐藤八郎左衛門今申来夫々申達置

中ノ町西屋 治右衛門

同町わら屋 文治

西新町和氣屋太兵衛

同町 大坂屋宇兵衛

同町 丸屋 乙右衛門

東新町広戸屋利兵衛

林田村 平助

同村 平兵衛

同村 与之助

一 西今町岩見屋善四郎義当国内大久保安芸守殿御領分久米北条郡桑
上村喜作当卯三拾七才女房ふさ式拾五才此度役介^ニ引請申度住宅
之義願出尤向方旦那寺并村役人より別紙指越候旨願書指出伺之上
聞届申達ス 十月九日住宅証文出ス

一 鍛冶町伊賀屋忠藏義所持之家屋敷表口四間裏行四間半御役式歩三
厘役候処北之方^ニ而 表口式間裏行四間半御役式歩厘五毛相添銀
札式百匁^ニ相極町内小鉄屋善吉^江矢渡申度願書指出承届 同十二
日売券出

一 堺町稲野屋徳左衛門同清兵衛義拝借銀差滞候由^ニ而 閑院宮様へ呼
登せ^ニ相成去月十一日出立^ニ而 京着之上御留守居平野兵四郎^江御
用状相届候^而御留守居分右宮方へ通用も有之候処折節当国内垂
水村金田延右衛門在京^ニ付段々懸合候処下濟仕御聽候罷出不申相

濟候^ニ付罷歸候旨届出候尤御留守居今も返書持参右之趣共申来候
^ニ付右返書并届書共御両所へ指出ス

九月十二日 快晴

一 牢舎九人佐藤八郎左衛門方へ呼出候^ニ付右立合平左衛門罷出出牢
取計候旨相届候

一 今九半時左之もの共呼出遂吟味

小性町藤屋

幸三郎

代高瀬屋

安岡町畑屋治兵衛

娘しけ

右立合出役之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番源藏平左衛門 大年寄孫右衛門

諸吟味清右衛門

一 上紺屋町野波屋弥三右衛門義雲州神門郡稲岡村文藏当卯四拾三才
同妻ちよ四拾壹才同伴菊三郎拾五才同妹つた八才同すへ式才此度
役介^ニ引受相応之渡世為仕度住宅之義願書尤向方旦那寺并村役人
分別紙指越候旨願書指出伺之上聞届申達ス 同廿三日住宅証文出
ス

一 西新町金田屋とく義夫治右衛門去ル七月十日出立三十日逗留願^ニ
て大坂表^江罷越し候処其後治右衛門不快之由^ニ而 日延逗留願指出

候得共聞届不申候ニ付親類并組合江以飛脚早々罷帰候様申遣候処
其節定宿ニ居不申手筋方ニ相尋候得共居所一向相知不申候ニ付右
候段届書を以届出候右治右衛門義は林田博奕参会之差候有之もの
ニ付右博奕裁許之節百日尋申付候事

一 林田村五三郎博奕吟味方ニ入牢申付候由ニ入牢手形相廻候尤
今朝呼出之者九人牢屋指戻候由立合指出候様佐藤八郎左衛門よ
り申来源蔵罷出入牢取計候段届出ル

一 左之もの吟味方ニ入牢申付候ニ付立合源蔵罷出取計候段相届候

山西村 嘉蔵
川辺村 忠蔵

一新屋敷荒神宵祭ニ付安岡町中之横町并関貫前例年之通挑灯差出申
度旨届出候段大年寄より相届承置ク

一 三船藤四郎実父死去ニ付従今日引込候段小頭相届尤引込中助老人
罷出候様申出候ニ付大目付頼母江申遣ス但し藤四郎実父新魚町平田屋幸
助ニて名面難申遣ニ付藤四郎不快ニ付助出候様申遣ス

九月十三日 快晴

一 御用日ニ付登城

一 芥子之間ニ大般若御執行有之候得共当役何之指構無之

一 妙法寺ニ大工元治被盜取候大工道具目印有之候分妙法寺より書
付指出候右印ニ引合相違も無之候ハ、指戻遣候も可然候間引合
可申旨右書付大目付被相渡候

一 西今町今市屋勇助方へ去ル九日之夕盜賊入込候ニ付其夕夜廻り為
相尋候処左之もの共へ申出候ニ付呼出相糺口書指出候様申付置ク

九日夜廻り

福美屋吉兵衛
西屋 平七

右兩人孫右衛門宅江呼出相糺候処七ツ時過迄相廻候而夫より相休
候旨申候ニ付口書取指指出ス

一 使組柳田平助申もの助ニ罷出候旨四人より案内罷出候
一 目明助金吾義左之通申付候間明日呼出申渡候様小頭利右衛門へ申
渡書相渡ス

目明本役申付老人半扶持 目明助
差遣之 金吾

一新魚町大和屋徳兵衛娘とく義家業出情致候段近辺組合之ものと及見
候由年寄共より行状之趣口上書ニて指出候ニ付役所限ニて賞詞之
義申付候而可然ニ付左之通近々可申渡申渡書相認

其方義家業致出情候趣 新魚町徳兵衛娘
相聞奇特之事ニて此度及賞詞候 とく

一 綿問屋今老人左之もの江申付候も可然旨蔵合孫左衛門申出候
ニ付是又近々可申付旨申渡書相認

其方義くり綿問屋申付候 和泉屋
入念可相勤候 清助

九月十四日 快晴

一 鍛冶町宗道宮明十五日之夕宵祭ニ付鍛冶町通り筋并美濃職人町境
ニ例年之通高挑灯差出申度申出候旨大年寄届出候ニ付承置ク

一 目明助金吾義小頭宅ニ目明平役申付申渡候段届出候
一 河原町ニ例年之通今十四日鎮寺小桜明神宵祭ニ付揚挑灯巻ケ所

并来ル十七日夕徳守宮宵祭ニ付同東西式ケ所廿四日夕八出天神宮
宵祭ニ付同壹ケ所揚挑灯差出度旨申出候ニ付大年寄今相届承置ク
一東新町橋本屋甚右衛門義此度造酒仕度尤式百石計造り申度旨願書
指出候ニ付此節勝手次第酒造仕候様被仰出も差候ニ付承届候而可
然旨御用番十大夫殿江紙面を以相伺候他行候由ニ直ニ主膳殿
へ手紙持参候処差置候様ニて申御事ニて指置罷届十五日十大夫殿
今役寄無之承届候様申来承届

九月十五日 晴

一 大年寄宅ニ而今朝左之もの共左之通申渡取計候段届出候

繰綿問屋

船頭町和泉屋
清助

家業出精賞詞

新魚町大和屋
徳兵衛娘とく

九月十六日 雨

一 今六半時牢屋敷ニおゐて左之通取計

百敲之上帰村

古城村西分 岩吉

同村 源蔵

同村東分 幸吉

暮田村 山三郎

井口村 佐七

五十敲之上御領分

無宿 五郎吉

追払

同 庄兵衛

右無宿申渡書は郡代より相廻其余は都而当役所取計

右立合出役左之面々

御徒目付吉村弥平次 下目付彦人

小頭利右衛門 部屋目付和四郎 出番源蔵字左衛門

一 大年寄孫右衛門宅ニおゐて左之もの左之通申付小頭利右衛門部屋

目付和四郎立合

追込申付五日

美濃職人町沢田屋善兵衛

追込日数三日

二町目安原屋

太兵衛

元魚町原屋

喜兵衛

右取計相済候段御用番十大夫殿大目付頼母江相届候

一 兼田川并院庄川船渡相留候段問屋より届出候

二町目安原屋太兵衛

元魚町原屋喜兵衛

一 左之もの呼出吟味有之候間立合指出候様八郎左衛門より申来

牢舎

山西村 嘉蔵

河部村 忠蔵

一 明十七日徳守宮宵祭ニ付左之町々九時迄大扉開置立番付置候旨例

年之通申出候旨届出候ニ付御用番并大目付江相届

元魚町 二階町 宮脇町 戸川町

上紺屋町 鍛冶町 細工町 材木町

一 右同断ニ付町々揚挑灯例年之通指出度申出候旨大年寄届出候ニ

付承届

一 左之もの昼後呼出口書印形取之

安岡町畑屋 治兵衛

牢舎

大坂屋浜吉借屋

(家守岡屋忠七借屋)

手鎖組合預ケ之者

同人養子 伝助

組合預ケ之者

(右同人妻しけ 同人悻 庄之助)

右町役組合一同奥書印形取之

大年寄諸吟味立合

牢舎

吉川亀之丞長屋住

亀治郎事

奥書印形

右受人下紺屋町新助

福渡町 石右衛門

牢舎

野伏穢多

長吉

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付和四郎

出番昼廻り夕源藏林平宇左衛門

一左之もの呼出吟味ニおよぶ

中ノ町中島屋

与兵衛

右立合右同断

一昨日以来之大雨ニ而 御堀之水さらへ材木町「」難義仕候段届出候

ニ付御堀之水門之賛明候様御作事奉行へ申遣ス尤指兼候事故兼

御作事へ直ニ懸合追 而 大目付へ相達候様相成居候ニ付右之通取計

候上ニて大目付頼母 江 右之趣申遣ス

一福渡町昼屋甚助義伊藤主水長屋もの喜兵衛当卯三拾七才同妻かよ

三十五才右之者此度引受相応之渡世為仕度町内人別人願書指出主
水家来分も町役 江 送り書も有之候ニ付不及引合聞届申遣ス

一下紺屋町利生院義頭冷難義ニ付惣髪ニ仕度神社役所へも願書指出
候旨願書指出寺社取次引合之上聞届廿三日ニ達ス

九月十七日 風雨

一今朝妙法寺地下顕明院ニ而 仏具盗取候由ニ而 非人目明等坪井町ニ

而 召捕候盗人目明宅ニ捕置候段金吾罷出相届候ニ付直ニ 出番勇藏
指向候 而 牢番預ケ申付尤今日御日柄ニ付明日及御届候事

生国備前岡山七軒町

当時無宿盗人 三郎兵衛

城代中小性相勤罷在候△弟

宮崎佐平△四ヶ年以前浪人ニて当時備中松山ニて加納藤右衛門七

話ニ罷成妻子も有之候由

一安岡町戸島屋長兵衛義先達 而 願濟之花角晴天五日徳守宮境内ニ而

興行仕来ル廿二日夕相始申度尤両大橋建札并興行中町々太鼓打之

義指免候様願書指出伺之上聞届達ス

一二階町年寄三人分町内北側御堀之土手四間計之処大損ニ相成候ニ

付取繕之義願出尤此節塀覆れ候ニ付一緒ニ御取繕被下候様仕度

旨願書指出大目付へ指出ス

一徳守宮宵祭ニ付例年之通左之面々為警古出出役

小頭利右衛門麻上下着用 出番平左衛門平助

昼廻り嘉七源藏

一上紺屋町年寄中津屋伊右衛門義今朝病死仕候段大年寄分相届承置

ク

九月十八日 晴

一 御用日ニ付登城

一 吹屋町吹屋八左衛門義木下肥後守様御領分備中賀陽郡東阿曾村百
性五作清松与申もの午鉢やら鉢売ニ為右代巻貫四百拾偽取押
領ニ付段々懸合候得共筋立九分不申可致様無之候仍而足守役所江出訴

仕度添翰之義願出候ニ付伺之上聞届申達ス
但し足守役所江之出訴願書并右地内指引書共指出且近来肥後守

様御兩馱ニ付右出訴願書ニ相認候者此方様ニも永様相認御双方
御同様ニ相認候而可然旨申上候処御同意ニ付右之通ニ申付ル

一 去ル九日之夕西今町今市屋勇助方へ盗賊入込候ニ付為相糺候処表
入込入込表歸り候趣ニ申出候仍而夜廻り之もの為相糺候為口書指出

候処七つ時過分相休候ニ付其間ニも入込候由申口ニ而甚不埒之趣
近来諸方夜廻りも等閑ニ相成候様ニも相聞候ニ付諸方締りのため

追込三日申付候而も可然哉之旨口書指添伺書指出候処伺之通答も
無之宜取計候様被仰出候

追込三日
西今町福見屋吉兵衛
同町 西屋 平七

一 酒改三人之もの共分先日酒直段上ケ願書指出候処文段中ニ御蔵米
六拾四五匁ニ相成候ニ付諸田酒壺升壺匁四分ニ相当候得共此節世

利売之時節ニ候間壺升壺匁三分ニ売申度願出指出候然ル処近来は
直段下直ニ致商売候ニ付勝手次第致買完候様申付候而直段替等届

不出候得共今般は格別直段上ケ候事故及御沙汰候然ル処格段直段

上ケ候而者 人氣ニも相拘り候事ニて今般之直段如何之旨御察度有

之候ニ付先例与得相調候処御蔵米六拾壺匁より七拾匁迄之処諸田
壺升壺匁三分之定法ニ付壺匁四分売ニ相当候与申文段定直段不弁

之事ニ付今一心相糺可申出旨申付置候処先願書甚不調法之旨尤今
般は諸田酒壺升壺匁三分売ニ可仕旨猶又願書指出候ニ付相伺候処

願之通承届候様御申達ニ付願之通承届
一 右願書不束之趣相認候ニ付酒改三人共左之通申渡可申哉之旨相伺

候処伺之通被仰出候ニ付直段上ケ願之通承届候上左之通申渡ス
今般酒直段上ケ之義ニ付
願書指出候処直段定法も
不弁之義申出不束之義ニ付
急度叱置以來入念候様申付
尤是迄勝手次第下直ニ致商売
候様申付置候処以來先前之通定法直段
相用其上ニても可成丈ケ直段引下ケ可致
商売候尤以來直段替候節申出可受差因

酒改福永屋
坪屋 藤十郎
福永屋 林右衛門

一 酒改共酒直段上ケ之願出候処文段不束も有之候処不調ニ願書指
出恐入候ニ而類役十郎左衛門を以指扣相伺候処不及伺出候旨御達

有之候旨十郎左衛門分通達有之
一 德守宮祭礼警古出役左之面々
小頭利右衛門麻上下 出番和四郎勇藏

昼廻り平右衛門平助袴計大文字羽折着用

一 大田寺大師前ニ有之候煮黒目之蠟燭立壺本但高サ式尺位昨日紛失
仕候段届書差出候ニ付可及吟味旨大目付分達有之

一 妙法寺地中顯妙院^江 盜賊入込候^而 仏前^ニ 有之候真鍮鶴龜之らうそ
く立盜取候^ニ 付家来^ニ 申付坪井町^ニ 召捕^{□□□□} 非人共^江 相渡
候段届出候旨大目付^ハ 届書被相渡

但し昨日目明^ハ 召捕候段届出候盜賊^ニ 付盜取之品々所持致居候
仍^而 兩寺被盜物別段目明^江 茂 不申達候事

一 深信院様例月之通今朝御仏參被成御先弘和右衛門宇左衛門罷出無
滯相濟候段相届候

九月十九日 晴

一 左之もの共追込昨日迄三日^ニ 相成候^ニ 付今朝追込指免候旨申達候

処申渡取計候段大年寄^ハ 届出候^ニ 付御用番大目付^ハ 相届候

一 院庄川水干落舟渡相始候段大年寄^ハ 相届候

一 左之もの共大年寄宅^ニ おゐて左之通申渡小頭利右衛門部屋目付和

四郎

去ル九日之夜町内夜

西今町福見屋

吉兵衛

廻り当番候処七ツ時過^ハ

相休候段兼々嚴敷申付

同町 西屋

平七

置候義相背不埒^ニ 付追込

申付候但し日数三日

一 吹屋町吹屋八郎^ハ 左衛門代人勝左衛門を以足守役所^江 出訴^ニ 付添簡

相認大年寄^江 相渡ス尤^{明廿日} 出立候旨届出候

一 当組藤四郎義忌引込候処今日^ハ 出勤^ニ 付使組加人差戻候段大目付

江 相届候

一 西今町追込申付候兩人之義御兩所^ハ 相届候

一 兼田川^江 舟渡相始候段大年寄^ハ 届出

一 油方山手屋理兵衛年行司高松屋平左衛門より此節大坂表油高直^ニ
相成候^ニ 付忝升三匁式分之処三匁五分^ニ 売買仕度届書差出承届候

一 河原町米屋いく義備前和氣郡和氣村六助当卯六拾三才同人娘せん

三拾五才同人孫辰五郎三才此度役介^ニ 引請相応之渡世為仕度住宅

之義願出尤向方且那寺并村役人^ハ 別紙指遣候旨願書指出伺之上聞

届達ス

一 泰安寺本尊前^ニ 有之候真鍮茶湯壺^ツ 去ル十七日紛失之旨罷出候間

目明^江 申付候^而 吟味為致候様大目付^ハ 申来候処先日召捕候盗人三

郎兵衛所持之内^ニ 右品有之候^ニ 付目明^江 茂 不申達追^而 吟味之上大

目付^江 可申達候事

一 御城下巷里四方山北構追込^ニ 相成候^ニ 而 当時徘徊被指免候大田村

五右衛門^与 申もの今日佐藤八郎左衛門^ハ 召捕候処林田町豊国屋大

助借屋^ニ 罷在候由則牢番預ケ^ニ 申付候旨尤賄之義親類^江 可申付候

得共明朝之間^ニ 合候処難計候^ニ 付夫迄之処宣取計置候様郡代より

申来候^ニ 付其段牢番^江 申付置ク

一 佐藤八郎左衛門罷越候^而 右之段申述牢屋立合唯七^ハ 指出候様^ニ 而

申事^ニ 付出番和右衛門罷出候^而 入牢取計候段罷出候

九月廿日 快晴

一 吹屋町吹屋八左衛門義足守役所^ハ 出訴^ニ 付添簡願書并右之書類共

不殘大目付頼母^ハ 相廻ス 廿一日^ニ 戻ル

一 吉川龜之丞長屋住佐吉引合林田土手山本屋横町東側^ニ 而 銀札白米

盜取同上ノ町浄円寺近辺^ニ 帷子壺^ツ 盜取申候^ニ 付右之もの共被

相札候様大目付^江 申遣且野伏穢多長吉妙法寺塀覆釘拔取候段申候
ニ付是亦同様被相札候様同人^江 申遣ス

九月廿一日

一美濃職人町沢田屋善兵衛義追込昨日まで五日ニ相成候ニ付今朝指
免候段申付候処申渡取計候段届出御所へ相届候

一下紺屋町年寄中ノ横町筋石橋破損之旨届書指出候ニ付往来警候^ニ
処ニも候間早々御取繕有之候様大目付頼母^江 届書相廻ス

一左之もの共勘進元より被相頼角力取宿仕度旨願書指出承届候

拾人 元魚町多組屋佐吉
後家

七人 新魚町肥後屋
定吉

拾壹人 堺町 表屋
甚六

拾貳人 元魚町大庭屋
善兵衛

六人 同町 紙屋
太兵衛

拾叁人 同町 さかや
友治

拾肆人 京町 瀧山屋
三郎兵衛

拾五人 新魚町三沢屋
与八

一牢舎左之もの呼出遂吟味

泰安寺光嚴寺福泉寺 無宿盜人
大円寺顕著明院本源寺 三郎兵衛

（ニ）而 仏具盜取候段及同状

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎
出番平左衛門宇左衛門 目明頭壹人平壹人

一安岡町橋留屋喜代松義所持之家屋敷表口五間裏行拾貳間御役五分
五厘之処右間敷之内表口式間裏行六間半御役貳歩五厘相添山田屋

新七^江 讓渡申度尤去ル天明三卯年九月右橋留屋養子ニ罷越候節実
家山田屋^江 相讓候旨養母申置候段親類組合も存候^而 罷在候ニ付今
度相讓申度連印願書指出候ニ付承届候

一安岡町戸島屋長兵衛義徳守宮地内角力明廿二日初日之処雲州海道

所々洪水ニて指支角力取入込不申候ニ付明日夕難相始候段断書を
以届出承置候^而 御所^江 及御届

九月廿二日 晴折々曇

一新御藏米六拾六匁 町米六拾貳匁

一奈良今井町墨屋伊兵衛手代岡島源助作兵衛兩人例年之通墨筆白粉
売ニ昨日參候ニ付逗留為仕度旨元魚町延屋三治宿切手指出ス 十
月十五日帰届

一舟頭町伊部屋勘兵衛義備前磐梨郡大方村丈助兄長兵衛当卯五十疋
才此度役介ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人より別
紙指越候旨願書指出伺之上聞届申達ス 同廿六日住宅証文出ス

一左之もの共追込昨日迄三日ニ相成候ニ付今朝指免候段申達候処申
渡取計候段大年寄中相届候ニ付御所^江 相届

西今町福見屋吉兵衛

一 牢舎左之もの共八郎左衛門宅^江呼出候^ニ付番勇藏後林平罷出候
而 出入取計候段相届候

同町 西屋 平七

山西村 嘉藏
河部村 忠藏
元太田村五右衛門

九月廿三日 快晴

一 御用日^ニ付登城

一 左之もの共左之通今日御裁許伺書指出す

所々^ニて盜相働候^ニ付

剽之上御領分追払

追込七日

吉川龜之丞長屋住

龜治郎事佐吉

舟頭町瓜生原屋弥吉

同人組合 定太郎

同三日

藤七

急度叱

同

同

弁銀并損失之上

追込三日

弁銀之上追込

三日

追込三日

弁銀并損失之上
追込七日

下紺屋町作人新助

并同人妻

追込三日

同人組合五百吉一乘院
幸助 市六 不動院
藤助 山吉 庄五郎

急度叱

追込三日

買物取上ケ損失

質物取揚損失

右^者 龜治郎引合者右之通伺置此外^ニも被盜人夫々申出有之候^ニ付

被盜候品取揚引渡可申候様相伺

所々^ニて盜相働候^ニ付

五十敲追払相当之處

十五才以下^ニ付御領分追払

買取候品取揚ケ

損失之上急度叱

指構無之

右之趣今日伺書御用番十大夫殿^江差出

一 大坂寺田又兵衛手代星野慎平橋本宗八飯沼才治郎今当年米相場書

例年之通相調相廻候様且当正月相廻候錢相場書不用之方尙通相戻

右^者 御留守居長沢清左衛門今此間三浦十郎左衛門宛^ニ付相廻同人

今相届候^ニ付今便右返書指遣又尤清左衛門^江添状指遣又

一 左之もの共左之通今日御裁許伺書指出す

衛門罷出取計候段届出候

入牢

神戸村 兵助

同村説教者仁十郎

一 亀治郎口書之内林田土手山本屋横町東角家名不存所ニテ銀札田米

等盗取候段申口ニ付大目付江相達吟味有之候様達置候処左之通書

付指出候由被相渡致披見候処申口大体引合候ニ付御用番十大夫殿

江も御沙汰尤右書付ハ不差出大目付へ指戻

去ル六月十五日頃七ツ半時分

目付組古河春助

罷帰候処錠ねし切有之

拝領屋敷住 文蔵

家内見改候処扶持米式斗余

銀札三拾匁余被盜取候右文蔵近來

当地江罷越不案内ニテ早々不届出候由

一 右同断浄円寺近辺家居与耽不相覚所ニ而帷子沓ツ盗取申口ニ付是

又大目付江達置候処中間部屋頭妻義郷中人別ものニ付先達而郡代

江届出有之候由右届書郡代より相廻候而右品茂引合候ニ付其段郡

代江相達候而亀治郎口書与一緒ニ指出

一 材木町三家屋左之右衛門義先頃妙法寺ニ罷在候大工元治道具被盜

候処石品買候ニ付右大工心覚之印等申出候ニ付為引合候処相違

も無之候ニ付右品々取揚被盜人江指戻し遣候而出所も不相糺盜物

買取不埒ニ付追込三日申付候而可然哉之旨伺置候処今日伺候通被

仰出尤右道具引渡候ハ、右大工元治今後証ニも相成候一札取置之

相渡可申旨被仰出候ニ付其段大目付江相達妙法寺江右之段御達有

之候様申談置ク

一 左之通被盜物届書指出候間指心得罷在候様大目付今被相渡

一 真鍮花ひん壺 光厳寺

右者 去ル十七日被盜取候由

一 花立瓶 壺 福泉寺

高五寸計

右者 去ル十七日被盜取候由

一 左之通大年寄孫右衛門宅ニ而申渡立合小頭利右衛部屋目付和四郎

出所も不相糺大工道具

材木町三家屋

盜物買取不埒ニ付右品

佐之右衛門

取揚損失之上追込申付候

但し日数三日

右取計之段御両所江相届候

一 材木町為惣代組頭共今町内南側藪土手西平今度々盗人入込候ニ付

石垣痛ニ相直し西より南江引廻候而小堀四間仕度旨願書去月廿七

日指出候ニ付大目付江相達右之場所町地所ニは無之候得共年久敷

町方持ニテ有之候併何れ共決定仕兼候場所之義ニ而宜御評義有之

度申達候処彼是御評義者有之御作事方ニテ見分も有之彼是御評義

之上町方持ニ相成候而右願之通聞届候様大目付頼母申達ス

一 安岡町戸島屋長兵衛今角力取相揃候ニ付明廿四日角力相始申度届

書指出候ニ付大年寄孫右衛門御城江持参即刻御両所江及御届承届

候段申達ス

一 昨夜及深更大年寄孫右衛門罷出戸川町関貫外南新座江出候ニ旅僧

行倒れ居候ニ而町内より相糺候処左之通寺請往來持参之者ニ而氣

力は健_ニ候得共何分歩行不相叶候由尤町内より食事等も為給置候
段届出候旨申出候_ニ付見分等も可差出筈_ニ候得共右之通往来も指
出病体為指趣_ニも不相聞候_ニ付見分不差出候_ニ而近町旅籠屋為引取
療養指加_江させ可然旨大年寄_江申達ス

去ル七月之日付_ニて
四国順拜_ニ罷出候參
懸之由万_一急_ニ
歩行も不相叶様子_ニ

但州出石仙石越前守殿
御領分養父郡養父市場
普賢寺弟子
休西

候ハ、与得聞糺国元_江送り返候_ニ
可然旨申達置候尤村継送り出候ハ、
右願書指出△村継送り一札町役分指出相送り例也
△同前_江

右宿は式町目安原屋甚六_江申付候_ニ而引取せ候由相届候_ニ付右之段
御両所_江及御さた置ク

一元魚町年寄三人之処近来不足致居候_ニ付伊勢屋亦助_江年寄申付候
而可然旨伺出候_ニ付宜取計候様申達置候処今日申渡取計之段届出
ル

九月廿四日 朝小雨昼前晴

一三町目西関貫柵倒れ候_ニ付急_ニ普請可申付大年寄より罷出ル
一牢舎無宿盗人庄八義呼出吟味候_ニ付立合指出候様郡代より申来出
牢嘉七入牢和右衛門罷出候_ニ而取計候段届出候
一博奕吟味方_ニ而吟味筋有之由_ニて左之者角力候場所_ニ而召捕手鎖
懸ケ組合預ケ申付候段佐藤八郎左衛門相届候大年寄も届出

勝間田町油屋才治

悴 左吉

右之段御用番并大目付中_江相届候

一徳守宮境内角力今日より相始出役林平宇左衛門罷出候処無別条引
取候段届出候

九月廿五日 晴

一生蠟十箇但し六拾斤入積下候間両御番所相通候様裏印之義山本与
平次安田広治分申来候_ニ付例之通裏印取計則与平次相渡ス

一今朝病犬所々致徘徊既_ニ私宅横町_ニても往来之人_江喰付候_ニ付早
々大年寄_江申付非人式組為差出番林平宇左衛門指添所々為改吟
味候得共一向行方相知不申今日相連不申段届出候

但し御敷之内_江も這入候哉_ニも申出候_ニ付敷之内_江為這入候義
大目付_江申遣立合_ニも被指出候哉之旨何れ共指図有之候様申達
候処差懸り候義御敷ことく徘徊致候義_ニも無之候ハ、組之
もの付置勝手次第為入込候_ニ而不苦旨大目付頼母分指図有之

一材木町三家屋佐之右衛門分差揚候品左之通今日寺社取次野条金平
送り書を以引渡ス

- 一鋸式杖 一手よき_(幣)壹拵 一釘貫壹丁 一鎌 式本
- 一鋸壹枚売払代 壹匁五分
- 一錠式枚売払代 壹匁五分
- 一錐壹本売払代 式分
- 一鉄槌壹本売払代 式分
- 一四歩鑿壹本売払代 五分
- 一錠壹枚売払代 壹匁式分
- 一拾三品銀札 一五匁壹分

右^者 当七月妙法寺^ニ 而他所大元治被盜取候品材木町三家屋佐之
[右]衛門買取候^ニ 付取揚御引渡候申口以上

一坪井草野六左衛門田中徳藏^ノ書状差越今般徳藏代り六左衛門相詰
候間為案内書状差越尤返書は明後日迄^ニ 認置候様紙屋助右衛門^ノ
差出又

一勝間田町油屋才治^ノ左吉義明廿六日五半時指出呉候様佐藤八郎左
衛門^ノ申来候^ニ 付町役組合指添差出候様大年寄^江 申達置ク

一角力出役嘉七源藏罷出候処無別条相濟候段届出候

九月廿六日 快晴

一中ノ町森岡屋力蔵義妻去ル寅十一月より経行無之^ニ 付当二月懐妊
之趣相届候処臨月^ニ 至候^而も催しも無之^仍 而産婆并野上玄養^江 診
察相頼候処病氣^ニ 相違無之申立達^而 届間違之段恐入候段届書指
出先例も有之候^ニ 付懐妊帳相除候迄^ニ 可然旨^ニ 付承届候
一左之もの共今五ツ時揃^ニ 而呼出口書印形不残取之

牢舎

右町役組合等奥書印形取之

牢舎

右^者 木村伝平立合奥書調印取計
手鎖組合預ケ 中ノ町中島屋与兵衛

同 小性町目明助宗藏
他参留 西新町丸屋嘉七

同 河原町荒神屋万吉

小性町藤屋幸之助
幼年^ニ 付代人
高瀬屋忠吉

右何も町役組合等奥書印形取之

右立合左之通

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付和四郎

出番嘉七源藏林平 目明頭壹人

大年寄孫右衛門 諸吟味清右衛門

一材木町三家屋佐之右衛門追込昨日三日^ニ 相成候^ニ 付今朝追込指免
候段大年寄へ申達候処申渡取計候段届出候^ニ 付御用番中并大目付
^江 相届候

一徳守宮境内角力出役藤四郎源藏罷出候処無滞相濟候段罷出候

一左之もの入牢申付候段博奕吟味方佐藤八郎左衛門より罷出且亦入

牢手形相廻ス

勝間田町油屋才治
悴 佐吉

右之段御両所^江 相届候

一十大夫殿^ノ御談有之義^ニ 付罷越候様申来候^ニ 付昼後罷出候処安岡
町畑屋治兵衛御裁許之義御談有之

九月廿七日 快晴

一元魚町田辺屋弥兵衛義御領分西北条郡惣社村伊三郎当卯式拾五才

同母きく六拾六才右^(六才)両内縁有之ニ付役介ニ引請渡世為致度町内人別入御願書指出承届候

一西新町江見屋伝助義縁類因州智頭郡智頭村権兵衛当所用事有之去ル六月相願八月迄逗留為致置候処未用事相濟不申候ニ付来辰二月迄逗留為仕度日延願指出承届候

一徳守宮境内角力ニ付出役和四郎勇藏罷出候処無別条引取候段届出候

九月廿八日 晴

一御用日ニ付^(付)付登城

一御藏米六拾九匁五分 町米六拾五匁五分

一牢舎之もの共左之通呼出度候間立合之者指出候様申来宇左衛門嘉七罷出候^(而)出入取計候段相届候

河部村	忠藏
山西村	嘉藏
元太田村	五右衛門
神戸村	兵助
同村	仁十郎

一福泉寺被盜物左之通届出候ニ付例之通目明^(江)申付置吟味致候様大目付頼母^(今)申来

一 鑰石香炉 壹ツ

高サ三寸計差渡三寸程三足蓋ニ獅子有之

右^(者)本尊前ニ有之何日被盜取候哉今朝心付候由

一徳守宮角力出役和右衛門宇左衛門罷出候処日数五日今日限ニて無

別条相濟候段届出候ニ付今日切ニて無別条相濟候段御用番十大夫殿并大目付頼母^(江)相届候

一御藏元姫路屋甚右衛門義姉安岡町大坂屋浜吉母今朝致病死候ニ付今日^(今)忌十日相懸り引込候段届出候段大年寄^(今)相届承置ク

九月廿九日 晴昼後

一西新町山伏養樂院義役介房当卯四拾才此度西々条郡新田村広原新屋敷勇庵妻ニ差遣申度并娘鶴拾四才同人忤園吉七才右之もの共勇庵役介ニ引請申度町内人別指除候様願書指出承届候

一二階町島本屋音治義孫かつ病身ニて月々経行不順ニ候処当月ニ至候^(而)服体重ク相見^(江)候ニ付北山周斎^(江)見せ候処懷妊ニ相違無之殘ニ六ヶ月ニも相成候様子申之先達^(而)不相届不調法之段届出候ニ付

先例之通出産後叱之義可相達旨申達願之通承置

一例月之通三ヶ所番賃銀相渡ス

一三浦十郎左衛門養家兄出十郎今朝致死去候ニ付忌十日引込候旨案内有之

一大目付頼母より申達候義有之候間罷越候様申来即刻罷越候処十郎左衛門忌中引込中郡代受持候様被仰出候段被申達

一^(今)

御家老 安藤丹後殿

御年寄 大橋十大夫殿

大目付 上原彦藏

大年寄
玉置源五兵衛

諸吟味
宮田喜左衛門

十月朔日 快晴

一 当月月番源五兵衛相勤候旨当人届出候

一 博奕吟味方^ニ而 左之もの共東他領^ニおゐて召捕候段尤手錠懸ケ組合預ケ申付置候旨佐藤八郎左衛門罷出相届大年寄^ニも同様相届候

河原村中野屋
利七

福渡町阿賀屋助五郎
借屋住 左太郎

新魚町兵庫屋
仙藏

右之段御用番中并大御目付^江 相届候

一 左之もの共博奕指口之もの^ニ付可召捕候処何^茂 逃去候間敵敷尋申付呉候様佐藤八郎左衛門^ニ申出候^江 付大年寄^江 申達組合尋申付答
早々申出候様申付候

橋本町後藤屋
仙藏

材木町万屋借屋住
異名稲荷山 源吉

一 三浦十郎左衛門着今朝御免被仰出候段同人^ニ案内有之

一 久世御代官所作州西々条郡塚谷村久兵衛^与 申もの四国遍路^ニ罷出

播州神西郡行重村^ニ而 歩行不相叶送り来候付^ニ付村継承届候段郡代より通用有之其段大年寄へ申達ス

十月二日 晴

一 昨夜達置候送りもの今晚六ツ時送り来新田村^江 送り達候旨届出候
一 御藏米七拾壹匁五分 町米六拾七匁五分

一 左之もの共今九ツ時指出呉候様八郎左衛門^ニ申来町役組合指添差出候様申付候

河原村中野屋
利七

福渡町阿賀屋助五郎
借屋住 左吉郎

新魚町兵庫屋
仙藏

右之もの共博奕吟味方^ニ而 吟味中入牢申付候間立合指出候様申来
罷出入牢取計候段届出

一 右之もの共入牢申付候段明日登城之上御両所^江 相届可申上候事
一 左之通大目付廻状并御奏者廻状両通到来候^ニ付組中并町触差出

江戸表^ニ飛脚到来大守様益御機嫌克被成御座先月六日御結納
御祝義被進之十一月六日就吉辰御婚禮可被成御整御双方様被
仰合御治定之御使者相济候段申来候

右^ニ付為御歛御徒格以上并御目見相济候部屋住^ニ至迄明三日

五半時登城之旨御奏者廻状到来

一 右^ニ付町方帳付廻勤之義先例之通申達ス

十月三日 朝少雨

一 惣出仕并御用日ニ付麻上下着用五半時登城

一 安岡町畑屋治兵衛義居町扱之義伺書指出置候処先日已来彼是組合居候而御裁許も無之候処今日大目付彦藏分再考下ケ札ニて指出候様申聞候ニ付再考咎牢舍十日家内一同右日数追込候段再考付紙ニて差出置ク

一 今日左之もの御裁許左之通伺書差出ス

咎牢舍五十日

同 三十日

百敲婦町之上禁足

三十日

五十敲婦町之上

禁足右同断

過料五百文

追込五日

追込三日

追込十日

同七日目明役取扱

同五日

同三日

五十敲婦町

百敲婦町

五十敲婦町

五十敲婦町

無指構

他行先分逃去ニ付組合へ百日尋右日数不尋出候ハ、過料五百文ツ、

江戸御普請日雇ニ罷出候ニ付罷婦候而遂吟味可申

東新町作人治平

東新町広戸屋利兵衛

河原町荒神屋万吉

西新町金田屋治右衛門

右之通相伺置尤為扱指出候銀札早々元々江指戻候様可申付候事

一 吉川亀之丞長屋者佐吉義御裁許鼻削ニて可然旨相伺候処死罪相当

ニも可有之候間再考致候様御用番分御申達且又右引合之内川口屋

奉公中ニノ宮村ニて木綿盜取候処致内濟候ニ付川口屋計叱之義伺

置候義不届出候段叱のみニても難差置候間ニノ宮村之者名面も相

札候様御申達ニ付右札之義申達置ク

一 梅之間江御奏者番以下三奉行一同罷出候而御結納被為濟候恐悦并

御婚姻日取御治定之恐悦御小性頭江謁申上候蕙心院様江茂 同様恐

悦申上候

一 御用所江三奉行一同罷出江戸表之恐悦申述候大目付江も自分及挨

拶檜ノ間江罷出同様恐悦申述候

一 札元川口藤左衛門忌明四日御免被成候間可申達御用番十大夫殿分

御達有之

一 橋本町後藤屋仙藏義博奕吟味方より指口之ものニ付尋申付置候処

昨夜罷婦候段届出候ニ付組合預ケ申付置候段大年寄分相届候ニ付

其段佐藤八郎左衛門江及通達

一 佐藤八郎左衛門分右同人手鎖懸ケ組合預ケニ申付候段相届候ニ付
其段御両所^江及御届

一 御払米三百俵直段正銀七拾三匁六分式厘落札木和屋源兵衛
一 御藏米七拾式匁五分 町米六拾八匁五分

十月四日 晴夜中小雨

一 川口藤左衛門義忌御免之義今朝奉書指向候ニ付御免申達候段御両
所^江相届候

一 川口屋庄助引合之二ノ宮村之もの名面相糺候処左之通名面口書ニ

下ケ紙いたし指出候ニ付郡代^江引合被相糺候様申達ス

(狹み込まれては候)

二ノ宮村分参候者^者和吉^与申もの^ニて木綿被盜候ものハ紺屋彦治
与申もの、由

一出雲大社中官西村神大夫^与申御師上下式人例年之通当地^江且那廻

ニ昨日参候ニ付宿仕度式丁目龍田屋茂兵衛宿切手指出ス 十二月

六日届届

一 船頭町米屋藤右衛門義当国内西北条郡越畑村分桶運川下シ世話

致呉候様右荷主又兵衛^与申もの分相頼候ニ付引請当川岸より船積

仕度仍^而外荷物之通川下シ通り切手指出度尤運上定有之候様運上

奉行^江願書指出候旨願書指出勘定奉行引合置ク十三日何相濟候

旨勘定奉行分通用有之候^而願之通承届候

但し桶箱壹丸ニ付運上三厘ツ、指出候様ニ通用有之

十月五日

一 安岡町大工嘉左衛門義江戸表御普請御用ニ付罷出居申候処病氣ニ

付去ル二日罷届候段町棟梁分届出候段大年寄分相届候

一 御藏米七拾式匁五分 町米六拾八匁五分
一 御払米三百俵 落札直原屋長菊

代正銀七拾式匁七分六厘 町米准之

一 在方被盜物届書両通相廻例之通町触取計候様大目付彦藏分申来

一 布蚊屋^(ツ)壹ツ 但五六もへき古かや

代拾式匁位

一 男着綿入古羽織 但裏表共ひんろうし無紋

代三匁位

一 木綿古はた着 但浅黄

代三匁位

一 男帯 但ひん付白地

代六匁位

一 はがま 但し式升五合焚

代四匁位

一 木綿 式尺五寸

代七分位

一 紙入 但浅黄こん糸こくら立島^(マ)

代壹匁位

一 銀札七分

一 つき麦 三升位 メ九品

右^者二ノ宮村彦治長屋ニ差置候独身者安治九月廿日之夕被盜も

の

一 男子供給 但表紺白浅黄小紋裏紅木綿

代五匁位

一同布子 但表紺淺黄紫豎(マ)高裏淺黄

代三匁位

一女子供袴 但表紺豎(マ)高裏黒与紅木綿つきく

代六匁位

一小風呂敷 但茶紺地形

代志匁 四品

右者九月廿一日昼太田村治兵衛被盜候もの

一牢舎庄八呼出吟味ニ付立合指出候様郡代より申来昼廻り分出牢取

計入牢之節出番源藏罷出取計候段相届候

一御代官大久保与治兵衛分町作御年貢取立候ニ付納方不埒之ものも

有之候ハ、吟味之上手錠申付候義も可有之候間承知致置候様申来候

十月六日 快晴

一今九ツ時左之もの共佐藤八郎左衛門町役組合指添指出候様申来同

刻牢屋立合之義も申付候

手錠組合預之者

橋本町後藤屋

仙蔵事和助

牢舎勝間田町

油屋佐吉

右牢屋立合平左衛門罷出差出置候段届出

一橋本町後藤屋和助義吟味中入牢申付候旨入牢手形八郎左衛門分相

廻候尤立合指出候様申来藤四郎罷出入牢取計候段相届候

一川口屋庄助引合之二宮村彦治和吉兩人共郡代所相札口書相廻候処

盗人亀治郎申口并川口屋申立等引合候ニ付亀治郎初一件之もの共

御裁許再考下紙を以伺書御用番十大夫殿江紙面を指出ス

一盗人庄八口書郡代より相廻左之もの質入替申口ニ付一応相糺候様

申来大年寄江達置

東新町玉屋

伊左衛門

一神戸村丹治口書郡代より相廻外払引合左之もの相糺候様申来大年

寄江申達置ク

安岡町大坂屋

浜吉

同町 取付屋

佐助

十月七日 晴夜少雨

一新職人町松野屋重右衛門義土井大炊頭殿御領分当国内久米南条

郡皿村義兵衛娘よし当卯拾四才此度養女ニ引受申度住宅之義願出

尤向方旦那寺并村役人より別紙差越候旨願書指出候ニ付伺之上聞

届申達ス 同廿一日住宅証文出ス

一桶屋町水内屋半八義備前赤坂郡土師方村伝兵衛倅佐八義当卯

四十九才此度役介ニ引受相応之渡世為仕度住宅之義願出尤向方旦那

寺并村役人分別紙差越候旨願書指出伺之上聞届達ス 同十日住

宅証文出ス

一元魚町さ、屋友治義但州生野布施孫三郎殿御代官所当国内勝南

郡河面村定右衛門当卯七十五才同人妻さと七十三才右兩人此度引

受相応之渡世為仕度住宅之義願書尤宗旨浄土宗西寺町成道寺旦那

ニ而 有之尤向方村役人分別紙指越候而願書指出伺之上聞届達ス

十一月三日住宅証文出

一御藏米七拾壹匁 町米六拾七匁

一御払米三百俵 落札大黒屋利兵衛

代正銀七拾壹匁三分九厘 町米准之

一二階町畳屋義助義栗田辰右衛門長屋者三治娘つう当卯廿一才此度借家ニ居申候源吉妻ニ引受申度町内人別人願書差出候ニ付辰右衛門引合之上聞届達ス

一新魚町三巴初五郎義此節倉敷村江罷帰居候ニ付其段為相知候由同所春名代治郎分檉野屋茂市郎江申越候ニ而即刻組合共倉敷村江指

向初五郎召捕罷帰候様申付候段茂市郎大年寄江相届候旨届出候

一佐藤八郎左衛門罷出倉敷村春名初治郎分代人^{○江為助江某處}を以。三巴初五郎義

捕置候間此段為相知候旨尤同人召連罷出候筈ニ候得共此節御用向

ニ取込居候間暫ク猶予致呉候ハ、召連罷出度申越候由如何取計候

哉之旨八郎左衛門分申談候ニ付先刻大年寄分届出候段申聞組合共

指向候間右町内之もの江引渡可然旨為助分申遣候ニ而宜候哉何れと

も可然取計候様申談置候処右之通代治郎江及返答候段申出候

一東新町玉屋伊左衛門安岡町大坂屋浜吉同町取付屋佐助引合ニ而相

糺口書指出郡代江相廻ス

十月八日 晴

一御用日ニ付登城

一安岡町畑屋治兵衛義伺置候再考之通左之通御裁許被仰出候

答牢舎十日

安岡町畑屋 治兵衛

一同追込日数十日

同人悻伝藏 并同人妻悻

一油方并年行司より油直段上ケ左之通届出承届候

一是迄油壺升売三匁五分之処今日より三匁七分ニ売買仕度旨

一雲州御隠居様去月廿五六日江戸発駕之処御不快ニ付御延引ニ相成追御日限被仰出候段御本陣廻状到来之旨源五兵衛分申出候ニ付其段御両所江及御沙汰置ケ

十月九日 晴

一今日五ツ時昨日御裁許被仰出候左之もの共呼出申渡取計

安岡町大坂屋浜吉 家守善屋右助借屋住 畑屋治兵衛

其方義身不相応之仏具 罽口等致所持候ニ付盜取候義ニ可有之ニ遂吟味候処先年娘 しか義寿光寺裏廻り敷沢ニて拾候旨 申立候得共右体拾候義ニ候得者其節早速可届出候処無其義を以隠置候段不埒至極之事ニ付依之右品々取揚關所各牢舎申付候但し日数十日

右同断

一同追込申付候

右同人悻伝藏 并妻 しけ 并悻 庄之助

但し日数十日

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉七

出番林平宇左衛門

大年寄源五兵衛 諸吟味清右衛門

一鍛冶町宮崎屋茂吉義先年小中原村江奉公稼願立罷越申候処右小中

原村ニテ借宅致候^而専ら博奕宿等致候由博奕吟味方佐藤八郎左衛門
門内々申聴候ニ付急ニ罷帰候様申付置候処昨夜罷帰候段届出候
ニ付組合預ケ申付置候段大年寄分相届八郎左衛門^江も及通用
一新魚町三巴初五郎義倉敷村ニ罷在候ニ付町役茂市郎并初五郎組合
共彼ノ地^江罷越候処折節初五郎義病氣^ニ而早々召連罷帰候義難致
由^ニ而暫見合候処少々快候ニ付召連罷帰候段及深更大年寄分届出
候

一御藏米七拾匁 町米六拾六匁

一御払米三百俵 落札大黒屋利兵衛

代正銀七拾匁八分九厘 町米准之

一中ノ町菊屋弥七郎義妻先達相願懷妊当月六ヶ月ニ相成候処御昼時
分分俄ニ相勝不申暮後死去ニ付吉武修格容体書共ニ指出シ承置ク

十月十日 晴

一三巴初五郎義昨夜及深更罷帰候ニ付今昼廻り嘉七林平指向候^而手
鎖懸ケ猶組合共^江預ケ申付置候様申付候処其段取計候段兩人分届
出候

一右之段御用番中并大目付^江も相届候博奕吟味方^江も及通達

一神戸村丹治外払引合ニ付安岡町取付屋弥七再糺申付置候処再糺候
趣下ケ紙を以申出大体引合候ニ付右口書類不残那代^江相廻ス

一当組遠藤和四郎義近來病身ニ相成候ニ付部屋目付助役難相勤役義
指免候様願書小頭分指出願之通承届候

一三巴初五郎義先達^而も組合預中逃去候ニ付猶今般も手拔無之様取
計可然旨尤存寄次第取計候様十大夫殿御心付之旨申来候^ニ付初五

郎病中^ニ而候得共牢番預ケ可申付^与出番林平宇左衛門指向候^而病
氣之様子も為相糺候処押^而町役宅^江も罷越位之様体^ニ而牢番預ケ
出番分申付入牢取計候段届候

十月十一日 晴

一御藏米七拾匁 町米六拾六匁

一御払米三百俵 落札甲屋幸助

代正銀七拾匁九分 町米准之

一明十二日五半時牢舎左之もの五人之町役并組合指出呉候様佐藤八
郎左衛門分申来大年寄^江申付

新魚町兵庫屋 仙藏

橋本町後藤屋 和助

勝間田町油屋 左吉

河原町中野屋 和七

福渡町阿賀屋 借屋住久屋 左太郎

五人

一明日九ツ時左之もの町役組合差添指出呉候様八郎左衛門分申来大
年寄^江申達置ク

鍛冶町宮崎屋 茂吉

一 当組遠藤和四郎義近來病身ニ罷成候ニ付奉公難相勤番代願書指出候ニ付先ツ受取置候段小頭江申達ス

十月十二日 快晴

一 深信院様例月之御仏參五ツ時御出被成候ニ付御先弘藤四郎勇藏罷出無滞相濟候段兩人届出候

一 牢舎人五人昨日申來候もの共呼出候間立合指出呉候様佐藤八郎左衛門分申來出番和右衛門罷出候ニ出牢取計置候旨届出候

一 鍛冶町宮崎屋茂吉義博奕吟味方ニて吟味中手鎖懸ケ組合預ケ申付候段届出候ニ付其段御用番中并大目付江相届候

一 左之もの神戸村舟治外払買取候ニ付左之通相認候ニ郡代江相廻ス

手鎖懸ケ追込

十日

追込三日

同町 大坂屋 浜吉

一 東新町玉屋伊左衛門義盜入庄八引合ニ而相糺候処携無之候ニ而差構無之段付紙ニて口書是又郡代江相廻ス

一 今朝差出置候牢舎五人差戻候間立合指出候様八郎左衛門分申來和右衛門罷出入牢取計候段届出候

一 博奕吟味方ニ而左之もの召捕逗留罷在候家主江預ケ申付候段八郎左衛門相届

先年居町払ニ相成候
以後入帳無之當時
無宿

元三町目若本屋 安兵衛

右 新魚町肥後屋宇吉方ニ暫逗留致罷在候尤宇吉義外江奉公仕候得共同人借名前ニて當時野元屋茂吉借家借受同人伯母指置候右伯母は安兵衛妻候由内々相聞候事

右之段御両所江相届候

一 同心組和四郎義番代願指出候処無余義趣ニ相聞候ニ付願之通承届候

十月十三日 雨

一 御用日ニ付登城

一 同心組遠藤和四郎義病身ニ付番代願指出承届候段大目付彦藏及樽右ニ付当分助壺人罷出候様被相達候様申述置ク

一 野村唯兵衛方へ去ル十日之夜盗人入込左之品々盗取候ニ付例之通触流取計候様大目付彦藏分紙面を以申來町触差出郡代江願書相廻ス

一 一女着木綿布子 壺

但無紋表浅黄小紋裏裾小紋上黒木綿

一 同古木綿布子 壺

但表ひんろうしつるかしわ裏浅黄つ

きく

一 同木綿くくり給 壺

但表よしつ茶紋つるかしわ裏とくさ

小紋

一 同木綿給 壺

但し表紺藤かへしし、ち染裏浅黄裾

ひんろうし

一 一女木綿帯 壺

但し白ねつみ染ニ松葉とさくらちら

し

一 三輪木綿風呂敷

但水色中ニ紋つるかしわ廻リニ唐草

候様申談置ケ

一男着木綿布子 一 但表あひけんほ紋丸之内ニけんかし

付
は裏あさき

一同木綿袷羽折 一 但紺と水色との抱形裏浅黄千草との

格島

一同木綿袷羽折 一 但表あひけんほもん丸之内ニけんか

しわ裏あさき

一女着木綿単物 一 但水色と紺との弁慶島(ママ)

一脇指 一 但無銘身長サ壹尺四五寸位鞘銀輪一

ツ鑄錫之丁子入木柄銀輪二ツ織り縁

赤かね煮黒め鍬切羽金焼付鍔赤かね

煮くろめ下緒花刃さなた織中ニ白布

有

拾壹品

十三日

一御蔵米七拾目五分 町米六拾六匁五分

一御払米三百俵 落札瓜生原屋惣兵衛

代正銀七拾匁八分五厘 町米准之

一使組柳田平助義同心組助ニ罷出候由当人罷出案内有之

一大神楽岡田忠大夫例年之通武蔵屋甚蔵方へ罷越候段届出候ニ付大

目付江相届候

十月十四日 晴

一外払一件左之もの共同之通相済候段郡代より申来来ル十六日取計

手鎖懸ケ逃込

十日

安岡町取付屋 佐助

追込三日

一明十五日九ツ時左之もの指出呉候様佐藤八郎左衛門分申来大年寄

申達置ケ

同町 大坂屋 浜吉

新魚町三巴初五郎 町役并組合共

右初五郎義同刻呼出候ニ付立合之義申来

同町野木屋庄吉江預置 元三町目住当無宿 若木屋安兵衛

右者 家主庄吉召連罷出候様是又同様申達置

一左之もの吟味中牢番預ケ申付候間立合指出候様郡代より申来

牢番預ケ 無宿盗人 秀吉

右立合源蔵罷出入牢取計候段届出候

一小性町桶屋甚蔵義御領分下高倉村安五郎妹さと当卯式拾九才此度

借屋ニ居申候若田屋弥助妻ニ引請申度町内人別人願書指出承届候

十月十五日 快晴

一同心組遠藤和四郎義病身ニ付番代願之通承届置候処今般太田舎人

家来堀内甚蔵申もの番代ニ指出旨願書指出候ニ付先ツ受取置ケ

但し右甚蔵義小頭利右衛門悴にていま若年ニ候得共仲間内ニ

て受込御用之間欠不申候様取計当分当番計相勤させ申度旨兼

内意申出且小頭悴にて由縁之ものニ候間承届候而可然哉ニ相

考候事

一 太田舍人^江 右之段問合候処指構無之候段返書来

一 牢舎忠藏義病氣^ニ 付服薬願出候旨牢番^ハ届出候^ニ 付其段大年寄^江

申付候処中村益庵^江 療治申付候処難捨置服薬為致候旨届出候

一 牢舎初五郎義博奕吟味方呼出候^ニ 付右立合平左衛門罷出取計候段

相届候

一 左之もの入牢申付候旨博奕吟味方^ハ届出候

入牢

元三町目住当時無宿
若木屋安兵衛

右入牢立合平左衛門罷出初五郎安兵衛入牢取計候段相届候

一 右兩人入牢申付候段御用番中并大目付相届候尤初五郎義^者是迄当

役所^ニ牢番預ケ申付候処博奕吟味方^ニて入牢申付候

十月十六日 快晴

一 神戸村丹治米外払一件引合之もの五ツ時呼出町役組合等差添罷出

左之通申渡ス

其方義当九月初旬より

安岡町取付屋
佐助

同町大坂屋浜吉方へ罷越

店方致せ話罷在候処神戸村丹治^ハ右浜吉方へ兼^而質物差入有之右入替之義受合遣
し其後丹治米六斗持参候処其節之直段等迄致指引質物請返し遣候段兼々外払御法
度之義存ながら買取候同様之取計定法相背候段不埒^ニ付手鎖懸ケ追込申付候日数

十日

但し右質物丹治^ハ差戻候ハ、請取置候米早々差返し可申候

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番和右衛門加入平助

其方義店方之義

余人^江相任置候共兼^而之

定法相守様精々可申付候処役義

をも相勤ながら等閑候段不埒^ニ付

追込申付候

但し日数三日

右申渡は大年寄場取計^ニ付申渡書大年寄^江相達小頭部屋目付等

立合候^而白洲^ニ而源五兵衛申渡諸吟味清右衛門立合

一 右取計候段御用番中并大目付^江相届候

一 鍛冶町宮崎屋茂親類并組合共^ハ去ル十二日博奕吟味方^ニ而手錠懸

ケ組合預ケ申付置候処右茂吉義病氣指重り候^ニ付快氣^ニ趣候迄手

鎖差免呉候様歎書指出博奕吟味方^江も同様願書指出候出^ニて八郎

左衛門持参病氣不快様体^ニも候間手鎖差免候^而遣度旨伺出候^ニ付

願書御用番十大夫殿^江差出快復迄手錠指免候^而可然哉候旨相伺候

処無程伺之通病氣快氣迄手鎖指免候様十大夫殿^ハ申来其段八郎左

衛門^江申達大年寄へも相達ス

一 牢舎左之もの呼出口書印形取極

立帰^リ盜賊^{元若藏事}
当時友藏

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藏四郎

出番和右衛門平助 目明頭壺人同平壺人

一 同心組遠藤和四郎義太田舍人家来堀内甚藏番代^ニ指出度旨願書指

出候ニ付太田舍人問合も相済候而今日聞届申達ス

十月十七日 晴風夜雨

一二階町山手屋家守高野屋石右衛門義御代官布施孫三郎殿御支配所
当国之内勝北郡久賀村幸吉兄庄八当卯四十八才此度役介ニ引受相
応之渡世為仕度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人分別紙書付差
越候旨願書指出伺之上聞届達ス 同廿五日住宅証文出

一西新町高松屋源吉義此度親類酒造相始申度左候得者当年今年々式
百石宛相稼申度旨願書指出伺之上

一材木町関貫海老鏡相損候ニも早々直し被仰付候様年寄佐之右衛門
分届出候ニも明日大目付江差出可申候事

一西新町大黒屋藤蔵義所持之家屋敷表口三間裏行拾七間右家屋敷之
内表口壹間半裏行拾七間智寿楽屋茂市江相讓申度連印願書指出承
届候 十一月十八日在宅証文出ス

一坪井町日野屋五郎義西新町玉屋栄蔵所持之自国受酒株当卯十月分
来丑ノ十月迄丸拾ケ年之間借受商売仕度株主連印願書指出承届候
文化六巳三月取戻し改書出ス

一久世手代堀川定兵衛和田一九郎平塚左右助より例年之通十月米相
場書奥印之上相廻呉候様書状指越紙屋助右衛門より指出

一二階町なき屋喜助後家娘出産ニ而月取間違叱申渡候段大年寄分相
届候

十月十八日 雨

一組遠藤和四郎番代堀内甚蔵申付候処今朝初而面謁ニ付先規之通扇
子箱三本入持参座敷ニおゐて謁其節小頭部屋目付侍座

一御用日ニ付登城

一左之もの御裁許之義口書相添伺書左之通差出

立帰り盜賊元岩蔵事
當時無宿 友蔵
卯廿三才

右者 先年格別之御慈悲を以助命被仰付候処猶亦立帰り忍入盜相働
候段重々不届至極ニ付兼田ニおゐて死罪被仰付候而可然哉

一於御用所御番御年寄十大夫殿左之通御申渡大目付出席
他領江罷出博奕致参会 神戸村 兵助

不届ニ付五十敲之上帰村 同村説教者仁十郎
一来ル廿三日取計候段郡代申談候而御両所江及御届

一西今町中野屋太郎兵衛桑山東庵義此度林田村親類甚兵衛方へ引越
申度申之候ニ付町内人別差除候様願書指出承届

十月十九日 風

一左之もの共五ツ時呼出牢舎追込等昨日迄日数相済候ニ付今朝指免
候段申渡ス

各牢舎日数十日 安岡町畑屋 治兵衛
直ニ申渡ス

追込日数十日 右同人倅 伝蔵
役所ニおゐて大年寄 并同人妻 しけ

申渡ス 并同人倅 庄之助

同追込日数迄三日 右同町大坂屋

(右同断)

浜吉

直申渡候立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉七

出番源藏平左衛門

一右之もの共牢舎追込指免候段御用番中并大目付^江相届候

一元太田村五右衛門引合之町方之もの共郡代^江五右衛門口書相廻候

^ニ付相糺候様大年寄^江申達ス

但し右五右衛門妻義は林田町加賀戸屋甚之助引受致候^而町人別

入罷在候由其外^ニも引合之もの橋本町佐伯屋長左衛門林田町豊

国屋大助等引合之もの也

一畑屋治兵衛諸道具先達^而封印付置候処今日出番指向候^而開封申付候

候

一遠藤甚藏義今日より見習^ニ罷出候

十月廿日 折々時雨

一坪井町川原屋喜兵衛義去ル十七日之夕左之品出口^ニ落し有之候^ニ

付拾置候処尋参り候もの無之候^ニ付相届候段届書指出ス

一木綿黒男着袷羽織 壹ツ

但紋龜甲^ニたきめうか

一牢舎安兵衛義病氣^ニ付原亭運^江診察申付候処難捨置様体^ニ付療治

申付候段大年寄^江相届候

一妙法寺^ニ罷在候京都鮪薬師通西^江入候所大工元治被盜取候大工道

具拾三品材木町三家屋佐之右衛門買取居申候^ニ付取揚候^而右大工

元治^江相渡候^ニ付寺社取次^江相渡候処受取書并右元治請取書両通

野条金平より相廻受取置ケ

一元太田村五右衛門引合之もの左之通大年寄^ニ相糺口書指出ス

林田町豊国屋大助并

借屋住りき

同町加賀戸屋六之助

橋本町佐伯屋長左衛門

ノ四通

一西川永岡唯左衛門大谷代藏書状差越例年之通十月米相場付相廻具

候様頼来例之通坪井町羽織屋九一右衛門^江書状差出ス

十月廿一日 風折々時雨

一左之もの共博突吟味方^ニ而召捕手錠懸ケ組合預ケ申付候段佐藤八

郎左衛門并大年寄^江相届候

船頭町新屋伊三郎

材木町万屋借屋住弥吉

新職人町瀬本屋借屋岩吉

右之段御両所^江相届候

一当組遠藤甚藏義昨日迄見習相済候^ニ付今日^江当夏出勤致候尤未若

年之もの^ニ付屋敷番計為相勤余出役^者仲間^ニて受持候旨届出承置

ク

十月廿二日 快晴

一京町小文字屋太兵衛義森河内守殿御領分播州佐用郡東新宿村伊八

娘すめ当卯三十才^ニ罷成候此度役介^ニ引受申度住宅之^江之義願出尤

向方旦那寺并村役人^江別紙差越候旨願書指出伺之上聞届達ス

十一月十九日住宅証文出ス

一安岡町糊屋伊兵衛義当月十一日沢田村多平次^与申もの御藏米納^ニ

参り候処途中手足を痛候^ニ付直^ニ罷帰度米式俵預り置候様相

頼相違無之候^ニ付何日迄^ニ罷越候哉之旨相尋候処一兩日之内罷越

候旨申之候得共一向罷越不申^ニ付一昨廿日尋遣候処多平次義致出

奔尋中之旨申越候^ニ付相届候旨届書指出候^ニ付郡代^江及通用願書

相廻ス

一西新町吉原屋治兵衛義林田上之町保助当卯四十三才同人妻よし四

拾六才悴庄吉十九才娘ま^江十四才悴忠吉八才右五人役介^ニ引受

申度町内人別人願書指出承届候

一明廿三日左之もの共町役組合差添指出候様佐藤八郎左衛門分申来

大年寄^江申付候

材木町万屋借屋住

源吉

新職人町瀬本屋借屋

岩吉

船頭町新屋

伊三郎

一明朝敲取計候間手合之義小頭^江申達置ク

一西川^江之返書相認坪井町羽織屋九一右衛門へ相渡ス

一御用日^ニ付登城

一今朝牢屋敷^ニおゐて左之通取計相済

五十敲掃村

右立合左之面々

御徒目付吉村弥平次 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番源藏 下目付壱人

一右取計相済候段御両所^江相届候

一坪井町川原屋喜兵衛拾ひ物届候義伺候^而先例之通両大番所関貫^江

張紙取計可申伺之通被仰付候^而大年寄^江申達ス

一御藏米七拾匁五分 町米六拾六匁五分

一御払米三百俵 落札大こく屋利兵衛

代正銀七拾五分九厘 町米准之

一牢舎人七人之任着代左之通証文指出例之通奥書印形取計

一銀札八拾七匁五分 仕着七ツ代

一去廿日手鎖懸ケ組合預ケ申付置候左之もの三人佐藤八郎左衛門宅

^江呼出候処入牢申付候^ニ付手形相廻立合指出候様申来候

船頭町新屋伊三郎

材木町万屋与惣兵衛

借屋住作人源吉

新職人町瀬本屋庄藏

借屋住松山屋岩吉事

和吉

一郷中左之兩人博奕吟味方^ニ而入牢申付候旨手形相廻候

同上村孫十郎悴

才右衛門

同村

源兵衛

同村説教者仁十郎

一御作事預り屋敷^ニ罷在候左之ものは亦入牢申付候由^ニ手形相廻

候

林田上之町御作事預り
屋敷家主惣吉借屋住
幸吉

一 右入牢立合出番源藏罷出取計候段相届

一 町方入牢三人之もの共御用番中并大目付_江相届候

一 河原町荷負売致候宇助_与申もの引合之義有之候間組合預ケ_ニ申付
置候様博奕吟味方より申来大年寄_江申付置ク

十月廿四日 晴

一 太神楽岡田忠大夫義今朝当所出立仕候旨宿武藏屋甚藏届出候段相
届候_ニ付大目付_江相届候

一 太田村五右衛門引合之もの共左之通相糺候_而口書印形者大年寄_ハ
指出候_ニ付右口書郡代_江相廻ス

林田町豊国屋代助
借屋住_りき

同町加賀戸屋 六之助

同町豊国屋 代助

橋本町佐伯屋 長左衛門

一 御藏米七拾匁五分 町米六拾六匁五分

一 御払米三百俵 落札田原屋稲藏

代正銀七拾匁三分八厘 町米准之

一 河原町宇助義昨日組合預ケ之義申付置候処折節他行致候_ニ付夜中迄_ニは罷帰可申由之処昨夜中_ニも帰り不申仍_而者出奔_ニても致候哉_ニも被存候段申出候旨大年寄_ハ届出候_ニ付其段八郎左衛門_江相

達ス

一 牢舎忠吉病氣_ニ付中村益庵療治致居候処今日_ハ休薬為致候段大年寄并牢番より「」相届候

十月廿五日 折々雨

一 牢舎左之もの共呼出候間右町役組合四時指出候様八郎左衛門_ハ申来大年寄_江申達ス

西新町丸屋 乙右衛門

同町和氣屋 太兵衛

同町大坂屋 宇兵衛

東新町広戸屋利兵衛

御作事預屋敷_ニ罷在候
幸吉

右牢舎立合嘉七勇藏罷出候_而出牢取計

一 先頃御裁許伺置候博奕ゆすり一件之内猶又今般博奕引合有之候_ニ
_而御咎口書下ケ札取計度旨八郎左衛門申聽候_ニ付御用番十大夫殿

_江御詰申候処下ケ札_ニ可然御申聞_ニ而右口書御下被成八郎左衛門_江相廻置ク

一 左之もの入牢付候間手形佐藤八郎左衛門_ハ相廻候

沢田村忠右衛門下人
宇吉

同村庄右衛門下人
忠吉

右入牢立合今朝呼出之牢舎之もの共尚亦入牢立合勇藏罷出取計候段届出候

一河原町宇助義今朝罷帰候ニ付組合預ケ申付置候段大年寄届出候ニ
付其段八郎左衛門^江及通達置ク

十月廿六日 晴

一安岡町取付屋佐吉義米不払一件ニ付手錠懸ケ追込申付置候処昨日
まで十日ニ相成候ニ付今朝追込指免候段大年寄へ申達置候処申渡
取計候段届出候尤大年寄宅ニ而申渡ス

右立合左之もの共

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎 出番林平

一元沢田村多四郎義立帰りものニ付牢番預ケ申付候間立合指出候様
郡代より申来出番林平罷出入牢立合候段届出候

一林田町常盤屋丈右衛門下人友蔵^与申者博奕吟味方ニ而吟味筋有之
手鎖懸ケ主人并受人^江預ケ置候段佐藤八郎左衛門并大年寄合届出
承置ク

一御蔵米六拾九匁五分 町米六拾五匁五分

一御払米 落札値段

正銀六拾九匁七分三厘 町米准之

一安岡町取付屋佐吉手鎖追込指免候段御用番并大目付^江相届候

一常盤屋丈右衛門下人友蔵義入牢申付候由ニて手形佐藤八郎左衛門
合相廻立合藤四郎罷出御所へ相届候

十月廿七日 晴

一牢舎左之もの八郎左衛門宅^江呼出吟味有之牢屋立合平左衛門罷出
出牢取計置候段相届候

和氣屋太兵衛

常盤屋下人
友蔵

御作事預り屋敷住
幸吉

一諸吟味宮田喜左衛門義先達^而問屋目付被仰付猶又寛政二戌十二月
被仰付追々詰講被仰付候処近来病身ニ罷成難相勤御役御免之願書
指出受取置ク

一二階町志那屋恵十郎義当二月相願晴天十五日花能興行願濟候処能
役者共故障有之当年得罷越不申候段申越候右ニ付何卒来春興行仕
度場所日限等は其節ニ至り相願候旨断書指出及御さた

一上紺屋町鉄屋与八義娘つる当卯三拾八才此度御領分東南条郡太田
村仙蔵妻ニ指遣申度町内人別除之願書指出承届候

一吹屋町釜屋市郎右衛門義綾部村多胡浦右衛門娘みね当卯廿壹才此
度甥藤治郎妻ニ引請申度町内人別入願書指出承届候

一新魚町紙屋元吉義借屋ニ居申候門脇見齋倅延之承義此度栗田辰右
衛門供為仕大坂表^江差遣申度願書指出承届候

一京町野田屋佐右衛門義倅清治郎右同断大坂表^江差遣し申度願書指
出承届 十二月廿六日帰届

一京町阿波屋亀吉義西寺町本行寺庫裏普請^{ニ而}備前赤坂郡平岡村大
工善兵衛弟子共都合拾人罷越候右之もの当暮まで逗留為仕度願書
指出承届候

一桶屋町桶屋はや義当卯式拾五才ニ罷成候此度同心組川端卯左衛門
役介ニ引越申度町内人別指除候様願書指出承届候

一御蔵米六拾九匁五分 町米六拾五匁五分

一 御払米三百俵 落札大黒屋利兵衛

直段正銀七拾匁九厘 町米准之

一 今朝呼出候牢舎三人之もの猶又指戻候間立合指出候様八郎左衛門
分申来字左衛門罷出入牢取計候段届出候

一 先頃御裁許伺置候西新町和氣屋太兵衛義林田蓮光寺ニおゐて博奕
参会候指口有之候ニ付太兵衛口書相廻置候処下ケ紙取計候ニ而八郎
左衛門持参ニ付請取置ケ

十月廿八日 晴

一 御用日ニ付登城

一 諸吟味宮田喜左衛門義病身ニ罷成候ニ付役義難相勤願書指出候ニ
付無余義趣ニ相聞候間御免被成候ニ而可然旨是迄勤切も有之候ニ付
左之通伺置

是迄之通苗字旅帯刀

諸吟味

御合印御免門松は先年

宮田喜左衛門

難役之節一代被指免候

喜左衛門役義御免之上は

同見習

本役被仰付大文字御免被成

美濃出屋
清右衛門

三人ふち被下之候様

但し是迄一代門松御免被成三人ふち被下候処尚亦今般役義被

仰付候ハ、右之通

一 孝行もの去ル寛政元年書出し有之分相除其後褒美等致候程之もの
并其節書出ニ洩候もの有之候ハ、以前之振合ニ相認差出し可申尤
来ル已年迄ニ相揃候様御公儀被仰出候旨右御触書大目付彦藏分相

渡郡代^{江茂} 及通達候様被申聴右御書付写取郡代^{江茂} 相廻ス

一 橋本町後藤屋佐市義所持之古道具屋株去ル享和三癸亥九月相願下
紺屋町原田屋茂吉へ貸置候処此度勝手ニ付取戻候旨相方連印願書
指出承置ケ

一 西新町寿楽屋茂市義縁類備前和氣郡奥塩田村宗兵衛同人娘みね兩
人当所用事有之当十月迄逗留之義相願置候処右みね義は用事相濟
昨日罷帰申候宗兵衛義は未用事相濟不申候ニ付来ル辰ノ十月迄猶
亦逗留為仕度願書指出承届候 辰十一月日延願書差遣ス巳三月迄
願承届候

十月廿九日 晴

一 三ヶ所番賃銀例月之通相廻ス
一 例年之通当月十五日以来之御払米代平均取調左之通大年寄分指出
例之通奥書印形之上夫々^{江茂} 相廻候事

一 上米六拾八匁分九厘壹毛八

一 中米六拾五匁分九厘壹毛八

一 下米六拾式匁分九厘壹毛八

但し御領所^{江茂} 相廻候役筋奥書印形之分六通私領方へ相廻候
分六通大豆直代書之分式通

一 明朝日徳守宮ニ而 振鬪興行有之候ニ付組指出呉候様寺社取次分申
来承知候旨及返書

一 岩佐孝順借屋住備中屋小八義久世御代官所山田常右衛門殿御支配
所大庭郡湯本村豊藏^与 申もの壹人備中屋小八方へ当月より来辰ノ
八月迄請人を取召抱候ニ而 木地物細工為仕度逗留願書指出承届候

辰十二月六日巳八月迄追願差出承届ル

御家老 山田主膳殿

御年寄 大橋十大夫殿

大目付 渡部相馬

大年寄

藏合孫左衛門

諸吟味

宮田喜左衛門

十一月^己朔日 晴風夜雪

一御吉事日ニ付五半時登城

一於梅之間御譜代御奏者番以下三奉行迄御吉事日御祝儀御小性頭^江

謁申上候蕙心院様^江 同様御祝義申上候

一御吉事日ニ付役所^江者 御祝被下置

但し御譜代之面々は宇治橋之間ニおゐて御祝被下置候事故当

役御譜代ニ候得^者 別段役所被下者無之

一十月十五日以来之御払米代平均相場付左之通相極候ニ付例年之通

諸方^江 指遣候段御用所^江 及御沙汰

一上米六拾八匁分九厘壹毛八

一中米六拾五匁分九厘壹毛八

一下米六拾式匁分九厘壹毛八

一勝山柳原九郎左衛門田中仁左衛門膝付助右衛門より例年之通平均相場付差越候様申来候ニ付則相認宿紙屋助右衛門^江相渡ス

一西川永岡唯左衛門大谷代藏例年之通平均相場書指遣候ニ付羽織屋九一右衛門^江相渡ス

但し例年前以頼越候ニ付今日は押懸指遣候得共当年前以懸合ニは不及恒例之義故年々相認可差遣旨申遣置ク

一今四ツ時左之もの共佐藤八郎左衛門宅^江呼出候ニ付町役組合家主等指出可申旨且牢屋立合も相達候様八郎左衛門分申来夫々^江申付候

船頭町新屋

伊三郎

元三町目若木屋

安兵衛

御作事預屋敷

幸吉

同上村孫十郎梓

才右衛門

同村

源兵衛

右牢屋立合宇左衛門勇藏罷出出入取計候段届出候

一德守宮社地ニおゐて田邑元津留喜振鬮興行有之候ニ而 昼廻り嘉七林

平致出役候処今日は近來之寄ニ而 石打候由ニ相聞候ニ付暮前分夜

廻り右衛門平左衛門指向候処夜四ツ時前頃何^茂 引取先ツ別条無

之然ル処石打之もの兩人有之何も召捕候得共寺社下代申談候^而 壹

人は致内済指返忝人は町宿預ケニ申付候段届出候ニ付其段寺社取次金平江申遣ス

段々改申出候ニ付
致内済指返候もの

西田辺村亀治俵
紋藏

町宿預ケ申付候

八子村

源兵衛

寺社下代申談取計

一御代官可児平左衛門分林田中ノ町御年貢不納人有之候而町作庄屋方分下代江右町年平岡屋忠右衛門呼ニ指遣候処不罷出度々紙面を以申遣候得共今七半時頃迄も不罷出候間早々罷出候様可申付旨申来候ニ付御年貢筋之義ニ付町作庄屋江町年寄罷出候義は前々分無之兼而右之通申付置候事故今般も早々罷出候様ニハ難申付組頭ニても御申付次第いヶ様共諸立合申候間宜取計有之候様申遣候処又候及深更今以何茂不罷出諸立不申候間組合ニても早々罷出候様申付呉候様申来候ニ付承知之旨及返答早々組頭指出可申付旨大年寄孫左衛門申達ス

十一月二日 晴

- 一 龍野長尾三郎兵衛平野七郎兵衛分例年之通御払米平均相場書取ニ指越則相認奥書之上宿紙屋助右衛門江相渡ス
- 一 坪井草野六左衛門分右同断相場書取ニ指越是亦右同人江相渡ス
- 一 西川永岡唯左衛門大谷代藏分先頃指遣候再答指越羽織屋九一右衛門分指出候ニ付則受取書相渡ス
- 一 生野御代官所手代中沢良助桑名善藏分平均相場付取ニ指越候ニ付則奥書調印之上紙屋助右衛門江相渡ス

一久世御代官所手代堀川定兵衛和田一九郎平塚左右助分右同断申来則返書右同人江相渡ス

一新魚町肥後屋定吉義三浦志摩守殿御領分勝山吉野屋藤右衛門娘もと当卯三拾七才此度妻ニ引受申度住宅之義願書尤向方且那寺并村役人別紙指越候旨願書指出伺之上聞届申達ス 同十日住宅証文出ス

一材木町柵木屋才吉家守瀬吉義紀州高野山宝蓮院義先前より当所且那場配札罷越宿仕宿切手指出来候然ル処去ル六ヶ年以前戌ノ才以來病身ニ付罷越不申候処昨日罷越候ニ付日数八十日計逗留為仕度尤此以後例年罷越可申旨申之候間以後前々之通宿切手指出逗留為仕度願書指出承届 十二月十五日帰届

一旅籠屋共一夜泊は格別連日差置候義ハ断書差出聞届候上差置可申無株之もの一夜泊ニ候共一切宿致間敷旨町触差出ス

十一月三日 快晴

- 一 御用日ニ付登城
- 一 牢舎左之もの共七人佐藤八郎左衛門宅江呼出遂吟味候ニ付四ツ時町役組合罷達候様申来大年寄江申付候

新魚町 三巴初五郎
同町 兵庫屋仙藏
新職人町 瀧本屋借屋住
松山屋和吉
河原町 中野屋利七
橋本町 後藤屋和助

勝間田町油屋佐吉
材木町 万屋借屋住
作人源吉

右立合牢屋出役朝夕出番嘉七勇藏罷出出入取計候段届出

一久美浜御代官所勝田近藏広石巻右衛門より例年之通米平均相場書取ニ差越候ニ付例之通奥書印形取計返書等紙屋助右衛門へ相渡ス
一弓削長尾八郎左衛門分右同様相場書取ニ指越候而右同人江相渡ス
一西川役所江相場書相廻候処請取候段返書来羽織屋九一右衛門分指出尤九市右衛門請取書相廻候様申付置ク

一御蔵米七拾匁 町米六拾六匁

一御払米三百俵 落札神田屋宇兵衛

直段正銀六拾九匁式分式厘 町米准之

一尾州和田郡島崎之内寺元村陰陽師高橋伊豆上下式人例年之通且那廻リニ昨日罷越候ニ付逗留為仕度旨新魚町三沢屋与八宿切手差出ス 十二月廿一日届届

一新魚町三沢屋与八義備中賀陽郡西阿曾村赤木万治郎上下式人今般御当地江用事有之昨日罷越候ニ付四五日逗留為仕度旨願書指出承届候 同五日届届

一練綿改米屋長兵衛義近来病身ニ罷成候ニ付持病差糺候節ハ悴源太郎右綿之義手馴罷達候ニ付為名代差出申度旨願書次第兼而源太郎義生質も宜趣ニ相聞ニ付承届候

一寿光寺門前ニ左之通之もの行倒候ニ付立合見分有之候処病死ニ相違無之候間例之通取捨候義取計候様大目付相馬分申来

一行倒之非人体之男古木綿島裕并身着を敷裸身ニ相成北西江上向ニ相成上ニ古島布子を置相果罷在候

一年頃六拾才計ニ相見江申候惣身疵所等無御座病死ニ相違無御座候

一所持之物古木綿袋 壺ツ

但し内ニ茶碗壺ツ 錢十五文程

一きせる 壺本

一古木綿單物 式ツ

一古木綿島帶 壺筋

ノ其外所持之品無御座候寿光寺

右之通見分一札大目付分相廻候

一右所持之内錢有之候ニ付取埋候義も不相成如何取計候哉大目付江申談候処取捨候非人江指遣候而可然旨被申聽候右取捨之義先例之通取計候様大年寄江申達置ク

但し所持之錢等は取捨候非人共江為取候而可然旨申達ス

一西新町寿楽屋茂市義脇坂中務大輔殿御預所当国之内勝南郡池ヶ原村治三右衛門娘せき当卯九才此度養女ニ引請申度住宅之義願出尤向方且那寺并村役人より別紙指越候旨願書指出伺之上聞届達ス 同十八日住宅証文出

一寿光寺門前行倒もの先例之通川向惣墓江取埋取計相濟候段大年寄分届出候ニ付其段大目付江相馬江相届候

一三巴初五郎義博奕吟味方ニ而入牢申付有之追々吟味候様子ニ候処今日御用番十大夫殿分初五郎吟味は先ツ致延引其俣牢舎ニ指置可

申旨御申ニ付其段八郎左衛門^江相達追^而及指図候迄吟味延引候様申達ス

十一月四日 風

一 宮里上組金右衛門去月廿一日昼押込騒之内ニ有之候左之品被盜取候ニ付町触例之通差出候様大目付分申来 同十五日無之段届出候

一 男着袷袴ツ (但表ひんろうし裏空色紋丸之内 ちやうし)

代式拾匁位

一 女着布子袴ツ (但表ちくさと淺黄之立烏うら 淺黄とちくさの古烏尤黒すそつき)

代拾五匁位

十一月五日 快晴

一 牢舎左之もの共佐藤八郎左衛門^江五ツ時呼出候間町役組合并受人家主等同刻指出呉候様申来大年寄^江申達ス且又牢屋立合之義も申来

牢舎之ものニ付町役組合指出ス

福渡町阿賀屋借屋住	左太郎
新職人町瀧本屋同	和吉
河原町中野屋	利七
材木町万屋借屋住	源吉
橋本町後藤屋	和助
勝間田町油屋	左吉
船頭町新屋	伊三郎

組合預ケニ付町役
組合差添
安兵衛家主新魚町
野木屋庄吉
友藏受人共
右之段大年寄^江申達ス
新魚町兵庫屋 仙藏
河原町作人 宇助

御作事預屋敷 幸吉
同上村孫十郎悴才右衛門
同村 源兵衛
元三町目若木屋安兵衛
林田町常盤屋下人
友藏

一 右牢屋立合字左衛門林平罷出出入取計候段届出候
一 雲州杵築多久十大夫^与申御師上下三人例年之通且那廻りニ昨日参り候ニ付逗留為仕度新職人町松野屋重右衛門宿切手指出ス 十二月十一日帰届ク
一 勢州朝熊岳明王院使僧休可坊快中坊宝藏坊儀中坊^与申僧上下八人例年之通且那廻りニ昨日参り候ニ付逗留為仕度旨新魚町三沢屋与八宿切手指出ス
一 目明頭太兵衛分旅人巷夜泊左之通書付指出
一 御十月
一 旅人泊千七百弍拾壹人
此頭錢五貫百六拾三文
一 古城村之もの播州北条^ニ而盜一件ニ付目明頭太兵衛義備中備前辺迄罷越候様申付呉候様郡代分申来其段小頭申達候処則申付候段届

一 勢州朝熊岳明王院使僧休可坊快中坊宝藏坊儀中坊^与申僧上下八人例年之通且那廻りニ昨日参り候ニ付逗留為仕度旨新魚町三沢屋与八宿切手指出ス

一 目明頭太兵衛分旅人巷夜泊左之通書付指出

一 御十月
一 旅人泊千七百弍拾壹人
此頭錢五貫百六拾三文
一 古城村之もの播州北条^ニ而盜一件ニ付目明頭太兵衛義備中備前辺迄罷越候様申付呉候様郡代分申来其段小頭申達候処則申付候段届

出候

一 大坂重田又兵衛殿手代屋野慎平榎本宗八飯沼才次郎今十月米相場付指越候様申来例年之通相場書奥書印形取計返書宿紙屋助右衛門へ相渡ス

一 御作事奉行吉田文左衛門の御作事預り屋敷ニ罷在候幸吉申もの博突致参会吟味方ニ而遂吟味口書相廻候処右幸吉妻義は元魚町浅田屋娘候由尤右屋敷借受候も右妻名前ニ而幸吉義無宿之由申候ニ付右妻之処宜取計候様ニと申来候仍而大年寄江申達右町人別ニ候哉如何之訳ニて右預り屋敷借受候哉相札候様申付置ク

十一月六日 快晴

一 福渡町阿賀屋助五郎借家住孤独市平義右病之趣届出候ニ付大保頭見届ニ差遣右家主組合心付候様申達候段大年寄の相届候一 博突吟味方ニて昨日呼出候もの共何者口書取極候段持参指出尤右之内左之もの共町方引合ニ付相札候様申付置ク

福渡町 左太郎

右者 出奔中折々罷帰候而諸道具取逃ケ甥預置候旨ニ而右同人

并左太郎組合

相札候様申付候

新魚町兵庫屋

仙蔵

右町人別ニ罷在ながら御家人屋敷借受候段如何之訳ニ候哉右組合等相札候様申付

一 福渡町孤独市平義今晚方致落命候段罷出候ニ付取置候義勝手次第

取計候様申付候尤右死去之段御用番中并大目付江相届候

十一月七日 雨

一 盗人秀吉義牢舍呼出候ニ付立合指出候様郡代より申来和右衛罷出立合候段届出候尚亦晩方牢舍江指戻候間立合之義申来林平罷出取計候段相届候

一 元太田村五右衛門御裁許伺書郡代より相廻存寄も無之哉候旨問合有之候而何之存念無之候段申遣仍而右五右衛門妻御裁許其外引合之もの御裁許之義明八日指出候様郡代申請置ク
一 牢舍若木屋安兵衛義病氣ニ付仮藥為致候処今日迄ニて式廻リニ相成快復ニ付休藥為致候旨牢番并大年寄の相届候

十一月八日 晴

一 御用日ニ付登城

一 左之もの先例之通御裁許取調候而相伺候様大目付相馬の口書被相渡

林田上ノ町御作事預屋敷

家主宗吉借屋住

無宿 幸吉

一 小性町道具屋権兵衛義新職人町高角屋八十吉持来候古道具屋株当卯十一月の来ル申ノ十月迄五ヶ年之間借受商売仕度紙屋庄五郎受人ニ相法定法相守可申連印願書指出承届候 文化九申三月取戻ス
一 下紺屋町作人岩吉義借屋もの新助去ル御家中長屋住亀吉受人ニ相立居申候処七月の亀吉入牢ニ付賄仕候然ル処今吉人受人福渡町石右衛門ニ候得共彼は新助の相頼候而請人ニ相立候事故賄持通ひ等難為致老人ニて今日迄賄持通居候得共病身ものニて甚困窮旁賄指

免候様歎書指出無承義趣ニ相聞候段大年寄申出候ニ付願書受取置
十日聞届十一日分牢賄

一米買宿屋株九軒之もの分近来無株之もの他所ものニ馴合商内仕商
売筋ニ指障難渋ニ付他所もの馴合不法之商内不仕候様牢一統申付
候様歎書指出候然ル処大年寄存寄も当時ニては米買客申ものも
至而少く右株は申なから外ニ商売も仕候ものニて申立通りニ相
成候而者町方指支ニも相成候間右願書は指戻候而他所分米買客罷
越候ハ、無株之ものは不及申宿屋たり共宿不仕米買宿屋九軒へ指
向候様歎書指出候而可糺旨申出候ニ付右願書指戻ス但し追而触書
差出候様可取計旨申達候 同十二日町触差出

十一月九日 晴

一下紺屋河内屋佐吉義悻宇兵衛去ル子三月相願久世御代官所山田常
右衛門殿御支配所大庭郡上河内下村七右衛門躰養子ニ遣シ置候処
右宇兵衛当卯三拾八才同人妻きみ式拾七才同人娘へん三才同人悻
坂之丞才右四人流世勝手ニ付引請申度住宅之義願出尤向方旦那
寺并村役人分別紙指越候旨願書指出伺之上聞届申達ス 同十八日
住宅証文出ス

一惣酒造屋共并酒改三人分米価高直ニ付酒直段之義御定法通今壱分
直段上候義尤新酒之節并寒造売出候節直段之義両度ニ相限り候得
共追々米高直ニて引合不申候間今壱分直段上ケ商売仕度歎書指出
候ニ付無奈義趣ニ相聞候得共猶大年寄共之存寄相認指出候様申達
置

一播州網干天満屋儀兵衛申者壱人同手代茂兵衛申もの壱人例年

之通反もの卸売ニ昨日參候ニ付逗留為仕度林田町福よし屋安右衛
門宿切手指出ス 辰正月七日帰届

一播州網干平松屋惣九郎申もの壱人同手代伊助申ものメ式人例
年之通小間物并晒蠟売ニ昨日參り候ニ付逗留為仕度右同町同人宿
切手指出ス 辰三月十八日帰届

一播州網干唐納屋佐七郎申もの壱人同手代弥八郎右式人例年之通
小間物反物売ニ昨日參り候ニ付逗留為仕度旨右同町同人宿切手指
出ス 辰三月十八日帰届

十一月十一日 寒風雪

一暮御褒美定例当月中取調候処急ニ取調指出候様御用番中御申之旨
大目付相馬分申来

一牢舍太田村五右衛門呼出吟味致候間立合指出候様佐藤八郎左衛門
分申来和右衛門罷出待候而出入取計候段届出候

一郡代所ニ而召捕候盗人秀吉引合之もの共相糺候様候様申来大年寄
江達置候処左之通口書指出郡代江相廻置ク

弓鋏 壱丁 美濃職人町浅川屋
鋸 壱枚 与七

右秀吉分質ニ取置ク

山刀式丁 鍛冶町 鍛冶屋

同三匁式分ニ買取

よき壱丁 同町 鍛冶 万五郎

唐鋏式丁

同三匁式分ニ買取

一 林田町豊国屋借屋住大田村五右衛門妻りき先頃口書指出御裁許之義伺置候処右口書之内留沢源吾長屋借受罷在候節夫五右衛門義も同居致居候哉又は忍ひく五右衛門立入候義哉今一応相糺候様御用番中御申聴之段十郎左衛門より申来候ニ付其段大年寄江申達置候処相糺候ニ付紙取計指出候処五右衛門申口引合候ニ付猶十郎左衛門へ相廻置ク

一 弓削長尾八郎左衛門今平均米相場書相廻候為挨拶鯛壱尾以飛札送来恒例之義ニ付致受納及返書

一 出羽守様来春御参勤ニ付御先触廻状到来左之通御懸日ニ而当所御止宿被成候間例之通御本陣御請印形致候ニと右御先触持参之もの今申聞候ニ付兼而難渋之義申立罷在御法之義御請も仕兼候得共何れ当所御止宿之義先ツ御請仕置万々一指支之節外方手挟之場所江成共御案内可申上候間兼而其段被指心得候様申渡御請可致旨源五兵衛江申達之通取計

御止宿御懸日

二月廿九日 同 晦日
 三月朔日 同 二日
 十一月十二日 晴

一 深信院様例月之通御仏参被成御先弘源藏和右衛門罷出無滞相濟候段届出候

一 京町猪野屋善助義娘なり当卯十九才之処三ヶ年已前不行諸ニて去ル文化丑年十一月義絶勘当相願候然ル処只今ニては心底取直し罷歸り孝養仕度旨所縁之ものを以相歎候ニ付勘当指免申度旨親類連

印願書指出伺之上聞届達ス

一 左之もの左之通御裁許之義明十三日指出ス尤郡代寺社取次御作事奉行申談候ニ而同様明日指出候様取計

五十敲之上
 御領分立去り

追込三日娘たき
 早々町内へ引取

叱置以来入念
 百敲之上帰町

右同断
 五十敲之上帰町

百敲之上帰町

百敲之上帰町

五十敲之上帰町

五十敲之上帰町

急度叱以来入念

追込三日

林田上ノ町御作事預屋敷
 家主宗吉借屋住 幸吉

元魚町浅田屋 平兵衛

右同人組合并年寄共
 船頭町新屋 伊三郎
 橋本町後藤屋 和助

材木町万屋与三兵衛家守
 清兵衛借屋住作人源吉

河原町高島屋 鶴治
 借屋住中野屋 利七

新職人町瀧本屋 庄藏
 借屋住松山屋 和吉

勝間田町油屋才治粹 左吉

御格所組菊原源吾
 屋敷住新魚町兵庫屋 仙藏

右組合共并町年寄共
 右年寄之内 甚右衛門

福渡町阿賀屋 助五郎

五十敲之上帰町

家守忠助借屋住久屋
左太郎

急度叱

右同人隣家并組合共

急度叱以来入念

上紺屋町小鷹屋 治兵衛

五十敲之上

御領分立去り

元三町目当時帳外
若木屋安兵衛

追込三日

新魚町野元屋 庄吉
借屋住肥後屋 宇吉

右同

右同居卯吉伯母まち

急度叱以来入念

右家主并組合とも

叱

同町 年寄共

五十敲之上主人

林田町常盤屋 丈右衛門

丈右衛門方へ差戻し

下人 友藏

手鎖懸ケ追込十日

河原町作人 宇助

十一月十三日 晴

一御用日ニ付登城

一博奕参会之もの共御裁許伺書口書取添御用番中江 指出置ク

一当暮御褒美調ニ答指出候様大目付令達有之左之通書付指出ス

書役兼両役共出情

下役

相勤候ニ付

大脇彦左衛門

銀札三拾匁

売荷物自他舟積

舟方吟味役
櫻野屋

見改出情相勤候ニ付

茂市郎

米五俵

一野村茂右衛門去ル五日昼八ツ時分暮前迄之内盗人入込左之品々
被盜取候由例之通町触差出候様郡代より通用有之 十二月八日無
之届

一女着木綿布子壱 代拾七匁位

但表御納戸茶紋丸之内たき菊裏上へ浅黄裾ひんろうしつき

く袖うらかねきん

一男着木綿袷壱 代拾八匁位

但ちくさと浅黄との地形裏は浅黄染

一木綿反物壱 代八匁位

但し空色と水色との堅しま

又

一右之寺院夜念仏三十日之間修行相願候 而御聞濟候由社取次野条

金平令通用有之大年寄江 為心得申達置ク

来ル十五日より 大信寺

来ル十六日より 成覚寺

一来ル十五日妙信寺ニおゐて振鬮有之候間警古出役差出呉候様寺社

取次より通用有之

一御蔵米六拾九匁 町米六拾五匁

一御払米三百俵 落札 木和屋源兵衛

代正銀六拾七匁五分三厘 町米准之

一東新町茶屋武左衛門義御領分林田村吉兵衛娘かよ当卯式拾壱才此

度妻ニ引受申度町内人別人願書指出承届

一東新町種屋伊助義娘ふさ当卯八才此度御領分林田上ノ町もと引受
ニて同村之所持家屋敷ニ為引越住居為仕度町内人別除願書指出承
届ル

一播州網干余陸屋惣七与申もの忝人同重兵衛与申手代忝人例年之通
八百屋物卸売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度旨中ノ町津田屋伝助宿
切手差出ス 辰三月二日帰届

一魚町多賀屋平四郎義原町南側ニ所持之家屋敷表口四間裏行拾七
間御役三步役也右之家屋敷質物ニ書入相応之利足を加へ当暮今月
々八匁ツ、元利相済皆済之極ニて新魚町檜野屋茂市郎取次銀札
九百六拾匁借受申度願書指出承届候 同十九日住宅証文出ス

但し是迄破損家普請之義大年寄場ニて銀札取替普請為致候処返
納候兔角及遅滞候ニ付以来は右之通家質願出証文取置度旨大年
寄合兼 伺出候 承届置候処右願書初 而差出破損繕料之内借渡
候由申出候

一紀州高野山万生院使僧本清与申僧上下式人例年之通且那廻リニ昨
日参り候ニ付逗留為仕度式丁目龍田屋茂兵衛宿切手指出ス 十二
月十六日帰「」

一安岡町坪屋与八郎義近年困窮ニ而造酒商売得不仕候処追々工面次
第造酒相初申度候得共先ツ当年沓ヶ年相休申度願書指出伺之上聞
届申達ス

一元魚町豊屋喜兵衛組合共今喜兵衛母当卯七拾四才ニ罷成候処喜兵
衛夫婦共至 而老母江実儀奇特ニ相仕へ候義年来一同及見罷在候ニ
付別紙行状書相認指出候ニ付右老母屋「」之内這上聞候ハ、聊孝

造も相立此上弥「」出情相仕へ可申旨組合之者分行状書差添届書
指出ス
十一月十四日 晴

一今朝牢渡取計昼廻り今勇藏宇左衛門罷出候処牢内別条無之候段届
出候

一牢舎左之もの病氣ニ付服薬之義願出

服痛 牢舎三郎兵衛

手痛 同 秀吉

右岩佐孝順診察之処難捨置申出候ニ付療治申付候段大年寄合相届
候

一林田町福よし屋安右衛門義備前加茂円城村円城納所沼本儀兵衛与
申もの上下式人当所用事有之罷越候ニ付廿日計逗留為仕度願書指
出承届候 同廿四日帰届

一久世御年貢銀六駄今晚紙屋助右衛門方へ俄ニ止宿ニ相成候ニ付隣
町夜廻り町役為挨拶罷越万端先例之通取計候段大年寄合相届「」
明朝正六時出立之由是亦届出候ニ付郡代所江及通用

一盗人秀吉引合之由書式通郡代分指戻来ル十八日御裁許相伺候旨十
郎左衛門分申来

一沢田村多平次外弘引合安岡町粉屋伊兵衛糺之義郡代分申来大年寄
届申達置

十一月十五日 雨

一久世御銀荷今朝無滞出立候旨大年寄合届出承置
一本行寺振鬪妙法寺ニ而興行候処雨天ニ付延引ニ相成明日快晴ニ候

得者猶又同所^ニ「」興行有之候間警古指出吳候様寺社取次野条金平^ハ申来

一左之通牢舎呼出吟味^ニ付立合指出候様佐藤八郎左衛門^ハ申来立合平左衛門罷出立合出入取計候段相届候

沢田村忠右衛門^ハ悴
宇吉

元太田村

五右衛門

一造酒屋共願書指出候酒直段上ケ御存寄無之願之通承届候様御用番十大夫殿^ハ申来則承届候段大年寄^江相達願書類大目付^江指出ス

一佐藤八郎左衛門^ハ差出候博奕縮方考之義御用番中^江差出置候処差支三ヶ条有之候ハ、相認差出候様十大夫殿^ハ申来ル

一左之ヶ条共御用番中^ハ申来夫々申付置

一三元三町目帳外若水屋安兵衛義妻方^江住居罷在候旨申立妻口書

^ニは療治等致候義無之旨申立相違^ニ付相糺候様申来

一右同人裁許伺之内安兵衛義^ハ御領分立去妻義は追込三日と有之夫立去り妻其俣町人別^ニ可有之筈有之間敷尤右妻いつ町人

別^ニ入候もの哉御尋之事

一林田町常盤屋丈右衛門下人友藏五十歳之上主人^江差戻^ニて主

人文右衛門咎不相見先例^ニも主人咎無之哉御尋之事

十一月十六日 晴

一牢舎若水屋安兵衛義呼出候間右家主新魚町野本屋庄吉指出并牢屋立合も指出候様佐藤八郎左衛門^ハ申来其段申付立合勇藏罷出候^而

出入取計候段届出

一元太田村五右衛門留治長屋^ニ居候義妻口書^ニてハ耽^与引合不申八郎左衛門方^ニて五右衛門再糺下ケ「」有之候間役筋^ニても又々相糺候様十郎左衛門より申来大年寄^江申達置ク

一元魚町豊島屋伝治義所持之旅人宿屋株当卯正月相願林田町福吉屋安右衛門^江願置候処此度取戻し候旨届書指出承置ク

一京町針屋和吉義肥前国長崎金龍町医師吉井元怡^与申もの親類^ニ候此度用事有之罷越候^ニ付当十一月今来辰ノ三月迄逗留為仕度旨願書指出承届候 辰三月晦日出立罷帰候旨届出候

一京町家守ぬし屋熊吉義借屋もの山手屋佐右衛門義去ル六月下旬不計罷出行方相知不申候^ニ付其段八月上旬届出候^ニ付百日尋申付置

候然ル此度罷帰申始末相尋候所四国遍路^ニ罷出其節願不出候段恐入候旨申之候間何卒何卒帰住指免候様組合家主願書指出先例之

通叱之上帰住指免候様大年寄へ相達ス

一細工町家根屋嘉兵衛妻^ハ悴亀吉江戸表御普請御用^ニ而罷越居申候処去ル十月上旬^ハ相煩同月十七日死去仕候段申来候^ニ付相届候旨届書指出承置ク

一右町同大工治助^ハ兄治兵衛義右同断出府候処脚氣相煩養生不相叶十月廿四日死去仕候旨申来候^ニ付届書指出承置ク

一二階町藤野屋嘉四郎家守嘉兵衛義借屋もの檜皮屋平五郎当卯拾三才母なみ四拾壹才此度伊豆与兵衛殿長屋^江引越申度町内人別指除

候様願書指出与兵衛殿引合之上聞届申達ス

十一月十七日 晴

一新職人町松野屋十右衛門義播州龍野下町本屋左吉^与申もの書物売

一四ヶ年以前迄参り候処不勝手ニ付得参り不申依之同人親類同国
姫路米田町灰屋吉兵衛^与申もの同商売仕候間右左吉代り当所出入
為致度旨願書指出承届候

一元魚町豊島屋伝治義所持之旅人宿屋株此度林田町福吉屋安右衛門
へ相譲り申度双方連印願書指出承届候

一中ノ町平野屋伊助義西新町^ニ而所持之家屋敷表口三間半裏行十七
間但し御役半役也右之家屋敷此度同町余野屋理之介へ代銀札
三百五拾匁^ニ相極売渡申度願書指出承届候 同廿四日売券差出ス
一林田町辰の屋喜助義御城代組井汲甚右衛門役介甚兵衛義当卯五拾
匁才此度役介^ニ引請申度町内人別人願書指出候処右井汲甚右衛門
ノ通用有之候ハ、承届候旨申達置ク

一播州姫路米田町灰屋吉兵衛^与申もの今日願濟^ニ而初^而罷越候^ニ付
逗留為仕度新職人町松野十右衛門宿切手指出ス

一牢舎忠郎治義病氣^ニ付服薬候義願出候旨牢番団助申出候^ニ付大年
寄^江申達置ク

一安岡町粉屋伊兵衛義沢田村多平治より米式俵預り候段先達^而届出
候^レ候処其砵銀札四拾匁貸渡候由伊兵衛届書無之候^ニ付為相札候処
無相違四拾匁貸候得共全く買取候^而代銀札^ニは無之旨申立候得共
外払紛敷取計不埒^ニ付追込五日申付候^而可代旨口書并伺書共郡代
^江相廻候^而明日壹緒^ニ指出候事

一博突一件之内御尋有之候ケ条共付紙いたし候^而御用番中^江指出ス
一佐藤八郎左衛門博突締り方取書御用番分相廻候^ニ付指支之ケ条付
紙いたし候^而十大夫殿^江指出ス

一牢舎忠郎治病氣岩佐孝順^江申付服薬為致候段大年寄分相届ル
十一月十八日 晴夜雨

一御用日^ニ付登城

一吹屋町吹屋八左衛門義備^与阿曾村五作清松^江相懸り売物代払候^ニ付
足守役所^江出訴致度旨願出添簡指遣及出訴候処右八左衛門代松江
屋勝左衛門昨夜罷帰り右一件致下濟候^而濟書并添簡指出候^ニ付右
書類共御用番十大夫^江指出置ク大目付^江も及沙汰置ク

一寺元村片岡助九郎方^ニ而備前邑久郡片岡村木挽長市所持之品去ル
十月廿日頃分当月七日迄之内被盜取候由例之通町触差出候様大目
付相馬分達有之候旨郡代より通用有之町触出ス

一男着布子 壹ツ 代凡拾五匁位

但表小納戸茶裏ひんろうし紋丸之内^ニ桐

一同 帷子 壹ツ 代凡拾匁位

但し弁慶しま

メ式品 十二月八日無之届出

一越中富山式町目松井屋庄右衛門同人手代左助右式人例年之通売
薬商内^ニ罷越候^ニ付逗留為仕度旨京町大村屋平吉宿切手指出ス

十二月廿九日届届

一播州網干平松屋佐十郎義^与申もの壹人例年之通灯燈張替^ニ昨日参
り候^ニ付逗留為仕度林田町福吉屋安右衛門宿切手指出ス 同廿四
日届届

一越中富山式番町薬種屋兵右衛門同人手代嘉兵衛右兩人例年之通売
薬商内^ニ昨日参り候^ニ付逗留為仕候旨京町大村屋平吉宿切手指出

ス 十二月廿九日帰届

十一月十九日 晴

一播州網干伊兵衛与申もの 忝人

一同人手代新六与申もの 忝人

一同 手代利右衛門与申もの 忝人

右之もの共例年之通塩物荒物卸売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度中

ノ町津田屋伝助宿切手指出ス 辰二月十一日三人共帰り届差出ス

一播州網干余陸屋利兵衛与申もの 忝人

一右同人手代源六与申もの 忝人

一同 手代忠治郎与申もの 忝人

右之もの共例年之通荒物并塩物御売昨日参り候ニ付宿仕度旨中ノ

町津田屋伝助宿切手指出ス 辰ノ二月十一日右三人共帰届差出ス

一京町山手屋佐右衛門義百日尋之内罷帰候ニ付叱之上帰住指免候段

今日申渡取計候段届出候

一安岡町糊屋伊兵衛義沢田村多平次外私一件引合ニ付追込五日可申

付旨口書并伺書指出置候処何之通被仰出候段郡代ノ通用有之来廿

一日取計候様申談置ク

十一月廿日 晴

一京町俵屋伊兵衛儀商売筋用事有之播州明石東櫓屋町わさひ屋伊右

衛門方へ罷越往来三十五日計逗留仕度願書指出大年寄承届候旨当

人願書指出ス 十二月十九日帰届

十一月廿一日 快晴

一昨夜及深更久世役所堀川定兵衛和田一九郎平塚左右助ノ書状差越

右預り所薪森原村庄屋佐五郎江召抱候元船頭町當時芽町住和市俸

太助義奉公中酒売代不算用有之候由ニ而 当人は不及申請人并同町

年寄江も度々及懸合候得共筋立不申候段右願書并請状写共相廻宜

取計申来

受人船頭町瓜生原屋 平七

同 同町 清水屋 新助

右者追々遂吟味彼是不申遣旨返書下案ヲ以先日飛脚之もの返書遣

し指返候旨可然哉候旨右書類指出伺置ク

一左之もの大年寄ニ而 追込申付

追込日数五日

安岡町糊屋 伊兵衛

右立合出役小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

右之段御用番并大目付江相届候

一左之もの入牢申付候間立合指出候様郡代より来ル

一今朝左之もの呼出遂吟味候処追々及白状当夏以来寺院紛失物不残

右三郎兵衛盜取候

牢舎 三郎兵衛

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番勇藏林平 目頭忝人平忝人

一左之もの共呼出遂吟味候間立合指出候様佐藤八郎左衛門ノ申来嘉

七罷出立合相勤候

沢田村 忠吉

同 忠右衛門^俣 卯吉

牢舎之もの

一宮村西方 庄助

右立合可有之出番等相勤候旨相届候

一久世返書下案之通何之御存寄も無之段十大夫殿分申来則返書相認候^而 飛脚宿紙屋助右衛門^江 相渡ス

十一月廿二日 雨

一左之通大目付廻状到来

一御入輿去ル六日之御日取被仰合候処御縁女様少々御風氣^ニ被為達候^ニ 付同十五日御入輿即日御婚姻御整被成候被仰合相濟候旨申来候

一西新町寿楽屋茂平義去ル十八日之夕八半頃土手筋分盜賊入込左之品被盜取候旨届書指出ス

一綿^(マユ)綿^(マユ)廿斤分 尤くすわた百匁計

右代三拾七匁程之積り

一銀札六匁四分

メ式品

右之段及御届目明^江 申付置ケ

一久世役所分申来候森原村左五郎願立之もの共左之もの呼出一応遂

吟味

今九ツ時揃^ニ 而

他参留申付候 芽町作人 和市

禁足申付候 右同人^俣 太助

右立合之面々左之通下役彦左衛門

小頭利右衛門 部屋目付藤四郎 出番平左衛門宇左衛門

大年寄孫左衛門 諸吟味清右衛門

一右兩人禁足他参留等申付候段御両所^江 相届

一材木町年寄三家屋佐之右衛門義近来病身^ニ 罷成忝人役^ニ 候間林田町へ山本直助材木町年寄申付候^而 可然旨外^ニ 町内役義相勤候人物無之候^ニ 付大年寄右之段伺出伺之通取計候様達ス

十一月廿三日 折々小雨夜少雪

一御用日^ニ 付登城

一布原村源右衛門去ル六日之夕左之品々被盜取候由^ニ 而例之通触流差出候様大目付分達有之則町触差出ス 十二月八日無之段届出

一脇差 忝腰 代式拾匁位

身壹尺七寸程無名縁頭鮫柄糸黒へた鑿切羽鏝金焼付

一男着木綿拾羽織 壹 代七匁位

表ひんろうし紋丸之内鷹羽裏茶染

一同裕羽折 壹 代四匁位

表ひんろうし紋みやうか裏そら色

一同单羽織 壹 代五匁位

空いろきつかう小もん

一同木綿单物 壹 代五匁位

空いろきつかう小もん紋鷹羽

一同 单物 壹 代五匁位

空いろ水いろ立島^(マ)

一同 裕 壺 代六匁位

表浅黄と水いろ立島古裏浅黄

一 白木綿 壺反 代七匁五分位

一 木綿きなた男帯 壺筋 代四分位

一手ぬくい 壺ツ 代四分位

メ拾品代六拾匁三分

一 堺町西川屋善助左之もの出入他所商人代り之義願書指出承届候

一 摂州豊島郡月軒町植木屋平兵衛 申もの六ヶ年以前迄参り候処

病身ニ相成得参り不申依之同人親類丹波水上郡久下村善五郎 与

申もの同商売ニて右代りニ出入

一 江州神崎郡新堂村島屋新平 与 申者きせる并墨筆御売ニ式拾五ヶ

年以前迄参り候処不勝手ニて得参り不申依 而 右代り同人親類丹

波水上郡文室村紙屋定八 与 申もの紬すり糸商人ニ付新平代りニ

出入為仕度

一 京都松原通新宮川亀屋源兵衛 与 申もの三味線張替ニ三拾三ヶ年

以前迄参り候処不勝手ニ付得参り不申仍 而 同人親類丹波水上郡

文室村布屋喜右衛門 与 申もの紬すり糸売仕由ニ付右代出入為仕

度由

一 古道具屋頭原田屋利兵衛 与 先年分取売商売不相成候処近来猥りニ

相成無株之もの紛敷取扱仕候類間々有之候 而 仲間之もの難渋仕候

ニ付先年之通惣町一統触流有之候様願書指出

但し惣町触流之義は先例之通取計候 而 可然候得共近来御家中

長屋もの直々右紛敷義商売致候哉相聞候ニ付何卒右締りも有
之度旨大目付^江申談置ク

一 小性町作人常藏義板倉光之進殿御領分備中賀陽郡八田部村久助当

卯三拾四才同人母鶴六拾式才同妻りの式拾九才同悴金治四才此度

借屋ニ居申候類藏役介ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村

役人より別紙指越候旨願書指出伺之上聞届申達ス 同晦日住宅証

文出

一 二階町三保屋家守伝治義借屋ニ居申候河本屋忠吉義当卯六拾三才

寛政十年年相願厩中間ニ罷出居候処此度暇被申付仍 而 河本屋つね

方へ引受度町内人別ニ差加候様願書指出小島唯七引合之上聞届申

達ス

一 牢舎秀吉呼出候ニ付立合指出候様郡代分申来昼廻り立合相勤入牢

之節源藏出ル

一 三町目帳外若木屋安兵衛妻義は新魚町人別之ものニ付今般夫安兵

衛無願指置候咎追込五日 与 相伺候処安兵衛御領分立去りニ候ハ、

夫ニ随ひ妻義も立去り申付候 而 可然旨御用番中より御申聞且又右

ニ相成候 而 御作事預り屋敷ニ罷達候帳外幸吉妻義は元魚町人別も

のニ候得共親共納得之上妻ニ致居候様哉内々相对ニ而 夫婦ニ相

成候哉幸吉并右妻親元魚町浅田屋平七再礼候 而 可代旨右口書両通

御渡ニ而 幸吉糺は八郎左衛門へ申達平七糺は大年寄^江申付置ク

一 舟頭町舟肝煎商人役料旁先例之通壺軒役指遣候 而 可代旨伺出伺之

通申付候

十一月廿四日 晴

一阿州名東郡高崎村磯五郎与申もの忝人例年之通藍玉壳ニ罷越ス

一同板野郡高房村新兵衛与申もの忝人例年之通藍玉壳ニ罷越ス

一同名東郡高原村平左衛門与申もの忝人例年之通藍玉壳ニ罷越ス

右之者共逗留為仕度旨船頭町今出屋熊吉宿切手指出ス 右三人共

翌辰年五月廿三日帰届

一来辰ノ正月常憲院様御年回ニ付御赦之もの内意伺出有之候間例之

通付替取計可申候旨大目付相馬分申来候

一牢舎幸吉呼出吟味有之候ニ付立合指出候様八郎左衛門分申来林平

嘉七等出役出入取計之

一盗人秀吉郡代方ニ而再札有之候処左之もの共猶亦引合有之候而十

郎左衛門分申来候ニ付相札候様大年寄江申達置ク

東新町はかね屋 善五郎

林田町辰の屋西隣 荷負屋

備前屋 武兵衛

十一月廿五日 晴

一御藏米六拾八匁 町米六拾四匁

一元魚町浅田屋平七再札候而大年寄分指出左之通再考伺書十大夫殿

江紙面ニて指出ス

安兵衛同様御領分

立去り

同居致居候得共幸吉

若木屋安兵衛妻 まち

元魚町浅田屋平七娘

妻ニは無之候ニ付右たき義

親平七方へ引取平七同様追込

十一月廿六日 晴

一安岡町粉屋伊兵衛義追込昨日迄五日ニ相成候ニ付今朝指免候段申

達置候処申渡取計候段大年寄分相届候ニ付御用番十大夫殿大目付

相馬江相届候

一盗人秀吉引合之左之もの大年寄場ニ而相札候処秀吉申達相違も無

之段申口ニ付口書指出ス

東新町銅屋善五郎

林田町備前屋武兵衛

一盗人秀吉引合之もの左之通御裁許伺書并口書共郡代江相廻置ク

盗物質ニ取候ニ付

急度叱質物差上ケ損失

盗物買取候ニ付急度

叱品々差上ケ代物損失

小豆裕質ニ取候処盗物

ニは候得共取次人も有之ニ而

不念之義無之

小豆裕被盜取候処紛失之

心得不届出不束ニ付叱

一来ル正月御法事有之候ニ付御赦之もの内意寺院より伺出有之例之

通付札取計指出候様大目付分申来今日付紙取計郡代江相廻ス

一長安寺分

美濃職人町豊後屋宇助

林田町備前屋武兵衛

東新町銅屋善五郎

同町 鍛冶万五郎

鍛冶町鍛冶屋喜助

美濃職人町浅川屋与七

たき

徘徊御免之義 難指免旨付紙取計

一同寺より 堺町作人平吉伴伝吉

右同断 右同断

一本琳寺寺 船頭町広瀬屋長治郎

右同断 右同断

一妙法寺寺 安岡町村屋藤助

婦住居御免之義 難指免旨付紙取計

一妙願寺寺 紺屋町倉敷屋源助

徘徊御免之義 右同断

一愛染寺寺弘法寺旦那 船頭町誓弥

婦住居御免之義 婦住御免御座候而可然旨付紙取計

一妙勝寺寺 元魚町松屋義助

婦住居御免之義 難指免旨付紙取計

十一月廿六日郡代江相廻し同廿八日指出す

十一月廿七日 晴

一伏見町平佐屋兵藏義生野御代官布施孫三郎殿御支配所当国之内勝

北郡樺村百性長右衛門妹とめ当卯三拾八才此度妻ニ引受申度住宅

之義願出尤向方旦那寺并村役人より別紙差越候旨願書指出候ニ付

伺之上聞届申達ス 十二月八日住宅証文出ス

一伏見町備前屋勘之助組合共分勘之助義当正月出奔仕其節相届候処

百日尋申付猶又行衛相知不申候段届出又候百日尋申付置候得共以

今行衛相知不申候段組合共分届書指出伺之上人別除帳申付候

一人馬間屋八十兵衛義今般助右衛門与改号仕度旨願書指出承届候

一牢舎三郎治快氣ニ付休薬為致候段且又牢舎秀吉義病氣療治願出若

佐孝順江療治申付候段届出候

一佐渡守様来春御参勤ニ付三月朔日広瀬御出立左之通御泊宿之旨御

先触本陣廻状到来之旨写差出

三月朔日 根雨御泊

同 二日 久世御泊

同 三日 土居御泊

右写之趣御用所并大目付江及御さた

十一月廿八日

一御用日ニ付登城

一御蔵米六拾七匁五分 町米六拾三匁五分

一新魚町亀屋源太郎義御領分東南条郡古林田村鍛冶吉之丞娘きよ当

卯十八才此度妻ニ引受申度町内人別人願書指出承届

一惣馬持共廿五人例年之通飼立為御手当当老人ニ付大豆貳俵半ツ、押

借仕度納所之義ハ来ル辰二月扶持大豆ニて引取候様願書指出恒例

之義ニ付伺之上聞届申達ス

一左之通御触到来ニ付組中并町触等指出且先例之通帳付廻勤之義申

達ス

一去ル十五日就吉辰御入輿即日御婚姻御觀式御祝義首尾能被成御

整候段申来依之為御歡御徒格以上并御目見相濟候部屋住ニ至迄

来月朔日五半時登城

一御前様御名広姫様ハ奉称候ニ付右之御名ニ指合候名相談候様被

仰出候

一去ル九日上使秋尾市左衛門を以御鷹之雁御拜領被成候段申来候
依之為御歎来月朔日御徒格以上并御目見相濟候部屋住ニ至迄五
半時登城可有之候

一先月以來博奕一件之もの三度御裁許伺書差出置候御裁許今日於御
用所御用番十大夫殿御申渡大目付相馬侍座

度々敲之もの左之通

百敲婦町之上

禁足

百敲之上

婦町

五十敲之上同断

五十敲婦町之上

禁足

五十敲婦町

右同断

百敲之上婦村

五十敲之上婦村

右同断

百敲之上

勸農所

中ノ町西屋治右衛門

西新町丸屋乙右衛門

同 町和氣屋太兵衛

同町 大坂屋宇兵衛

中ノ町菊屋文治

西新町西崎屋治兵衛

東新町広戸屋利兵衛

林田村 与之助

同村 平助

同村 市兵衛

日上村 源兵衛

同村 才右衛門

林田村 五三郎

五十敲之上

婦村

五十敲之上

御領分立去り

百敲之上

婦町

五十敲之上

婦町

百敲之上右同

右同断

五十敲之上婦町

右同断

右同断

五十敲之上

御領分立去り

五十敲之上

主人江 差戻

廿六人

山西村 嘉蔵

川部村 忠蔵

林田上ノ町御作事預り屋敷
家主宗吉 借屋住 幸吉

舟頭町新屋伊三郎

橋本町後藤屋和助

材木町作人 源吉

河原町中野屋利七

新職人町松山屋和吉

勝間田町油屋左吉

新魚町兵庫屋仙蔵

福渡町久屋 左太郎

三町目帳外
若木屋安兵衛

林田町常盤屋
下人 友蔵

一右御裁許被仰出候ニ付明廿九日取計可申旨郡代申談御両所江相届
候

一昨日右一件之もの共御裁許取計候ニ付牢屋呼出役所呼出等書付を
以大年寄江申達ス

十一月廿九日 晴

一昨日御裁許被仰出候博奕一件之もの共市郷廿六人今朝牢屋敷ニお
ゐて取計相済右立合左之面々

御徒目付金田十左衛門 下目付彦人

小頭利右衛門 部屋目付嘉七 出番勇藏 林平

目明頭彦人平目明彦人

一牢屋敷へ左之もの今朝呼出候 而左之通出役小頭より申渡ス

新魚町肥後屋宇吉伯母 まち

夫安兵衛義帳外の病氣ニハ
申ながら内々致同居右体帳外もの之
妻ニ付御領分立去り住居徘徊指構

林田町豊国屋大助 借屋住 りき

他領もの申なか不筋之
人別人相願夫五右衛門未帰住居も
不相成もの為逗留不埒ニ付

御領分立去住居徘徊差構

一右引合之もの共同之通御裁許被仰出候ニ付不残今五ツ時役所江指

出候様年寄江申達置今朝直ニ申渡候もの共左之通

中ノ町中島屋与治兵衛

ゆすり事之心付無之内々ニて
博奕参会之義可相済与銀札

小性町仮目明 宗藏

博奕参会之義承候ハ、早々

可申出役別候処無意義且又与治兵衛分酒肴代受納不致心得ニ候
ハ、取計方可有之処是又等閑不埒ニ付目明役取扱追込但し七日

中ノ町北原屋 三之助

悪事発頭いたし
彼是手段を以博奕参会之ものより

銀札ゆすり取候段不埒至極ニ付咎牢舎
但し日数五十日

北原屋三之助申まかせゆすり
事ニ致同意彼是手段を以博奕
参会之もの共銀札差出て配分取候
始末帯刀をも致居候もの別ニ可相慎候処不埒至極ニ付咎牢舎
但し日数三十日

娘たき義町人別之者ニ候処
去年以来御作事預屋敷借受候義心付候ハ、
早々願出候共取計方覚之候処等閑ニ致置候段
不埒ニ付追込三日尤娘たき引渡候町内江可引取

元魚町浅田屋 平兵衛

町人別ニ罷在ながら御作事預
屋敷借受其上奉公先ニて馴染ニ相成候由ニて
無宿幸吉致同居我假致方不埒ニ付
父平兵衛江引渡追込但し三日

同 同人娘 たき

他領もの任頼博奕之義
余人江通し其上絵物致持参候段
商内筋ニハ申ながら右体不埒之場所江立入不埒ニ付
手鎖懸ケ追込但し日数十日

河原町作人 卯助

一役所江呼出大年寄申達候もの左之通

過料五百文ツ、

追込五日

中ノ町西屋治右衛門 隣家組合

追込三日

右同五日

同 三日

同町年寄 善右衛門 忠右衛門

西新町丸屋嘉七

小性町藤屋幸之助

差構無之

河原町 荒神屋万吉

他 久治郎

（他參留指免

他 伊兵衛

立合

叱置以来可入念

元魚町浅田屋平兵衛
組合共

小頭利右衛門 部屋目付嘉七

右同

右同町 年寄共

一今日手鎖之もの呼出有之ニ付昼廻りと右衛門源藏出役

追込五日

新魚町野本屋庄吉
借屋住肥後屋宇吉

十一月晦日 晴

急度叱以来可入念

右同人家主并組合共

一例月之通三ヶ所番賃銀相渡ス

叱置以来可入念

右同町 年寄共

一伊勢山田河北助大夫名代辻田善治与申御師老人例年之通且那廻り

追込三日

林田町常盤屋丈右衛門

ニ昨日参り候ニ付宿仕度新職人町松野屋十右衛門宿切手出ス 辰

急度叱

福渡町久屋佐太郎
組合并隣家

五月三日帰届

急度叱以来可入念

上紺屋町小鷹屋
治兵衛

一伊勢山田結城弥三大夫名代高田兵吉与申御師上下式人例年之通且那廻り参り候ニ付宿仕度右同人宿切手差出ス 辰四月二日帰届

右同断

新魚町兵庫屋仙藏
組合共

右同

同町年寄 茂市郎

御家老 安藤丹後殿

追込三日

同 年寄 甚右衛門

御年寄

追込五日

林田町香々登屋六之助

大橋十大夫殿

右同

橋本町佐伯屋長左衛門

大目付 黒田頼母

急度叱可入念

右同人 組合とも

大年寄 玉置源五兵衛

叱置以来可入念

同町年寄 喜八

追込五日

林田町豊国屋代助

急度叱以来可入念

右同人 組合とも

叱置以来可入念

右同町 年寄共

十二月朔日 晴

右者 大年寄孫右衛門申渡諸吟味清右衛門

一恐悦惣登城ニ付五半時麻上下着用登城

一於梅之間例之通御奏者番以下三奉行迄一同御入興并御鷹之雁御拜

領被成候恐悦御小性頭上原彦藏江謁申上候蕙心院様江も同様謁申

上候

一御用所江三奉行罷出江戸表恐悦申上候退出懸ケ大目付江も及挨拶

一十大夫殿先日御用日ニ御留守詰出府被仰付候ニ而三奉行一同罷出

御歛申述

一桧之間江罷出江戸表恐悦申述候

一牢舎忠郎治病氣ニ付岩佐孝順江療治申旨有之候処今日ニ而二廻り

相成候得共今以快氣ニ無之候仍而猶又孝順江療治申付候段届出

一以後鉄砲獵ニ罷出候節は前日太田舎人江相届否指図之上罷出可申

旨大目付ニ達有之候段勘定奉行松島郡平ニ通用有之

一沢田村太平次出牢為致候間立会指出候様郡代より申来尤手形相廻

立合和右衛門罷出立合出牢取計候段届出候

十二月二日 快晴

一左之もの共昨日迄追込三日ニ相成候ニ付今朝指免候旨大年寄江申

達置候処申渡取計之段相届候ニ付御用番十大夫殿大目付頼母江相

届候

元魚町浅田屋 平兵衛

并同人娘 たき

新魚町年寄 甚右衛門

中ノ町年寄 善右衛門

忠右衛門

林田町常盤屋 丈右衛門

小性町藤屋 幸之助

一伏見町古金屋駒四郎義役マヤ茂吉義去ル七月出奔仕候而其段相届候処

百日尋申付仍而心懸り之所々相尋候得共行衛相知不申最早百日余

ニも相成候ニ付町内人別指除候様願書指出伺之上聞届申達ス

一堺町宿屋西川屋善助義備前岡山中ノ町真島屋太平次与申もの万紙

類御御売ニ拾七年以前迄参り候処不勝手ニ而得参り不申依之同人

親類備中郡宇都早島村帯江屋伊八与申もの雲齋足袋小倉帶地疊表

御売ニ右太平次代出入為致度相頼越候旨右同人願書指出承届候

一京町今出屋半兵衛義所持之家屋敷表口五間裏行拾七間御役半役右

家屋敷并式間半ニ三間之土蔵二ヶ所四間半ニ三間之借家壺ヶ所此

度質物ニ書入町内砂屋宇兵衛取次ニて銀札六百匁借用仕度旨願書

指出承届候同八日質入証文出。

一今九半時ニ左之もの共呼出森原村佐五郎今願立之趣相札候処相違

無之旨何も申立候ニ付三十日限急度濟方申付候

銀札三百五拾匁計

酒壳代引負候旨申立候ニ付三十日限

濟方申付

芽町和市俸 太助

舟頭町瓜生原屋 平七

同町清水屋 新助

十二月三日 晴

一御用日ニ付登城

一七間廊下ニおゐて論語講釈大村成夫相勤之例之通出席

一御用所ニおゐて御用番御年寄左之通御申達大目付出席

先達^而博奕参会ニ付

沢田村忠右衛門^俸卯吉

御咎も有之^与候処又候今般

致参会不届ニ付百敲之上帰村

右同断不届ニ付

百敲之上勸農所へ

差遣ス

沢田村彦右衛門^{下人}忠吉

同村 忠吉

一宮村西山方

庄助

一右御裁許被仰出候ニ付郡代申談候^而明後五日取計候段御用所并大

目付^江相届立合之義申達置ケ

一成覚寺義去ル晦日之夕左之品々紛失ニ付目明^江申達置候様大目付

之達有之段郡代之通用有之

一ふとん 但し表しの紺浅黄こばん烏裏浅黄

一大豆 壹俵

一昨日遂吟味候芽町和市俸太助義森原村佐五郎願立通相違も無之酒

売代銀札凡三百五十匁計引負候旨申立候ニ付三十日限売度濟方申

付候^而其段久世役所^江申遣候^而可然文通下案を以相伺候処宜取

計候様御用番十大夫殿御申達ニ付大目付^江も申達明日^江「久世

表^江飛脚指立候間飛脚之義被相達候様申達ス

一昨二日昼廻りと右衛門平左衛門出役候処西新町土手通り罷通候節

川向^ニ子供大勢罷在候処出役之もの^江对候様之雑言有之候ニ付則

町役高松屋忠右衛門方^江罷越為相札候処雑言高松屋太助俸龜の助

老人^ニ相極候由何卒役所^江茂不申立相濟呉候様年寄忠右衛門之每

々相改候由出役兩人之申出候ニ付委細小頭^江申付今度は小頭場合

ニ^而可相濟旨以来急度親々之申付候様年寄忠右衛門^江申達候様申

付候

一町講尺入用銀札拾八匁分九厘宮田喜左衛門之証文小手形共指出

猶亦役筋請差証文^江「勘定奉行^江指出候処早速相廻候ニ付大年

寄^江右達喜左衛門へ相渡候様申達ス

一昨昼廻り取計之義西新町年寄之一向内分^ニ而相濟呉候様相歎候旨

申出候ニ付小頭場合^ニて先ツ今度ハ相濟候^而可然旨申付小頭之年

寄^江相達候^江「」

十二月四日 小雨

一今朝左之もの共追込指免候旨申達置候処申渡取計之段届出候

新魚町 肥後屋 卯吉

西新町 丸屋 嘉七

林田町 かと屋 六之助

同町 豊国屋 大助

橋本町 佐伯屋 長左衛門

中ノ町西屋治右衛門 組合共
隣家之者

右追込指免候段御用番十大夫殿大目付頼母^江及御届候

一今朝久世表^江書状差遣候ニ付飛脚村上吉右衛門罷出書状相渡ス

一昨夜廻り平左衛門宇左衛門罷出候処宮脇町^江「喧花之趣相聞候ニ

付年寄遂吟味候処備後之もの之醫師手島勇伯芽町^{幸吉}同道^ニ而

申糺有之候ニ付同町年寄宅^江召連罷越^与得遂吟味候処全く兩人酒

狂之体ニ「不相分仍」芽町年寄并幸吉組合呼寄候而右兩人
共相渡組合預ケニ申付候旨夜廻り今届出

一右医師手島勇伯今朝ニ至候而昨夜之義大酒致候而一向前後相覚
不申甚恐入候旨何卒御免被下候ハ、早々罷帰申旨芽町年寄江歎出

「前後差話候上指免早々出立為致候段右芽町年寄相届候
旨宇左衛門相届尤芽町幸吉義は兼々大酒之上喧嘩等専ラニ致候
由ニて町役組合も度々及異見候得共相用不申趣」相聞候仍

先ツ組合預ケ其俣ニ致置与得組合共分も申聞候上否申出候様宇左
衛門今町役伊兵衛江申達置候段届出候

一御登米昨日積切ニ相成候段御藏元熊野屋文五郎罷出相届候

十二月五日 晴

一去ル三日御裁許被仰出郷中敲之もの左之通今朝牢屋敷ニおゐて取
計相濟

百敲之上帰村

沢田村忠右衛門 卯吉

右同断之上歡農所

同村庄右衛門下人 忠吉
一宮西山方 庄助

右出役之面々左之通

御徒目付金田十左衛門 下目付彦人 小頭利右衛門

部屋目付藤四郎 出番和右衛門

一右之段取計相濟候段届出候ニ付其段御用番十大夫殿并大目付頼母

江相届候

一久世役所江指遣候書状返書飛脚村上吉右衛門今指出ス

一郡代十郎左衛門他出ニ付留主中請致候処留守中別条無之

十二月六日 快晴

一左之もの今朝追込指免候様差紙遣置「渡取計候段届出候

追込七日昨日迄ニて相濟 小性町 宗藏

右之段御両所江及御届

一牢舎沢田村太四郎呼出申度候間立合指出候様郡代今申来林平嘉七
罷出立合出入取計候段届出候

十二月七日 晴夜小雨

一戸川町作人宇八義借屋ニ居申候作人伊八「当卯四十二才然ル処
当六月相願土井大炊頭殿御領分当国之内久米南条郡神目村宇之助

方ニ相勝不申逗留仕居申候処右伊八義近来乱心仕候而召連帰候
義も難仕右宇之助方江引請養育仕度申越候ニ付伊八当所支配相離
れ町内人別差除候様願書指出候ニ付伺之上聞届達ス

一芽町取付屋佐助義内藤山城守殿御領分当国之内久米北条郡坪井上

村円助俸多兵衛当卯式拾八才此度借屋ニ居申候岡島屋松太郎役介
ニ引請申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人今別紙差越候旨願
書指出伺之上聞届達ス 同十二月住宅証文出

一当暮割ノ高左之通

ノ三貫六百五拾七匁四厘

内

五百八拾八匁八分五厘 三步銀之利引之

三貫六拾八匁壹分九厘

此分式拾六貫貳百五拾文ニ割

老貫文ニ付

百拾六匁八分八厘三毛四

十二月八日 晴

一西新町金田屋治右衛門義他行先分出奔致候「」組合共江百日尋申付右日数之内不尋出候ハ、銘々過料五百文ツ、差出候様申付置候処今日右請書指出ス

一御用日ニ付登城
一船頭町御制札場破損ニ付御繕之義兼々出来候様大目付頼母江申達置ク
一去ル五日夜本光寺本堂ニ有之候左之品被盜取候ニ付目明江申付置候様大目付より達有之候段十郎左衛門分通用有之

一坪井町吉野屋なり義所持之家屋敷去ル寛政十一未正月羽折屋九一右衛門取次ニ而質物ニ書入銀札三百匁借受候処今般元利相済受返候旨断書指出ス

一磬 卷
但し唐真鍮口指渡凡壹尺壹寸計銘美作国津山西北条郡一宮村瑠璃山本光寺と有之

一牢舎沢田村太四郎呼出吟味有之立合候義十郎左衛門分申来宇左衛門立合出牢取計

一小性町細 屋勘兵衛義所持之家屋敷表口壹間五尺裏行四間御役二歩八厘右之家屋敷今津屋孫十郎後家取次ニ而質物ニ書入銀札式百五拾匁借用仕度願書指出承届候 同十日日本証文出

一撰州有馬辻堂茂兵衛与申者壹人例年之通墨筆白粉卸売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度中ノ町甲屋幸助宿切手指出ス

一伊勢内宮藤波神主名代河合金右衛門与申御師壹人例年之通且那廻りニ参り候ニ付宿仕候旨新職人町松野屋重右衛門宿切手指出ス

一備中妹尾表屋甚四郎弟勘吉武兵衛与申者式人例年之通畳表并合葉卸売ニ昨日参り候ニ付宿仕度旨右同人宿切手指出ス

正月廿一日帰届
一播州中筋万屋嘉兵衛与申もの壹人呉服類并菓種小間物卸売ニ此度

一船頭町今津屋孫十郎義生野御代官所河岸藏元申付同所江御廻米津出有之も川下ケ相济候迄は非常之手当売ニ申付可置且孫十郎義御廻米御用ニ而呼出候節は其時々懸合ニ不及呼出候様致度同所手代共分郡代十郎左衛門江申来則返書取計候段十郎左衛門分通用有之

初ニ而参り候ニ付逗留為仕候旨右同人宿切手指出ス 同廿九日帰届

其段大年寄江申達ス

十二月九日 快晴

一明日高野宮振鬮徳守宮ニ而興行有之候ニ付組之者指出候様寺社取次分申来其段申達ス

一左之もの手錠追込昨日迄十日ニ相成候ニ付今朝呼出指免候段直ニ申渡ス

一大坂寺田又兵衛殿手代星野慎平榎本宗八飯沼才治郎分先頃十月平均相場「」相廻候ニ付再返答紙屋助右衛門分指出則返書之義ニ付当番受取書相認相渡ス

手鎖懸ケ追込 河原町作人 宇助
右立合左之面々

付当番受取書相認相渡ス

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉^{〔備註〕}
出番嘉七字左衛門 大年寄源五兵衛 吟味清右衛門

追込

中ノ町中島屋
与治兵衛

右^者 大年寄役宅^ニ 指免候段申渡取計大年寄今届出候

一 右之もの共追込指免候段御用番申并大目付頼母^江 相届

一 中ノ町西屋治右衛門組合并隣家之者八人分過料錢左之通大年寄今
取立相納

一九六四貫文 但八軒分

払^ニノ三拾六匁式分三厘

一 盗人三郎兵衛寺院方^ニ 盗取候仏具類四月八日ころ両度金川道具

屋辰五郎^江 壳渡尤同所仙治郎^与 申もの受合^ニ 相立壳払候旨申口^ニ

付先日目明頭太兵衛同所^江 指遣候^而 為相糺候処相違無之不残買取

候由尤右品々ハ岡山表^江 壳払候^ニ 付有無之処相分不申候得共早々

相糺万一潰^ニも致候ハ、代^ニ而返弁可仕候間内済之義呉々相頼候

^ニ付早々吟味致候^而 參可申其上^ニ 内済^ニも可被成旨太兵衛今申

聞候^而 罷帰候処今般右辰五郎弟与兵衛^与 申もの太兵衛方へ罷越左

之品持參其余は不残岡山表今大坂^江 為相登漬^ニ 致候由^ニ 付代物^ニ

て指戻[〔]可申候間猶又内済之義相頼候段太兵衛[〕] 〔

一 黒木花立 忝ッ 成覚寺之分

一 同 香炉 忝ッ 泰安寺之分

一 同 蠟燭立 忝ッ

右之品届出候分^ニ 引合不申候^ニ 付三郎兵衛為相糺候処川向

長法寺^ニ 盗取候由

一 真鍮花立 忝対 愛染寺之分

右之品々有合其余は無之候^ニ 付代物[〔]之上上左之通返弁代銀札

差出ス

一 真鍮鶴龜蠟燭立 此代拾九匁五分

一 同牡丹形花立 同拾三匁七分七厘

一 同茶湯器 忝対 同八匁七分五厘

一 同飯仏器 同式匁式分五厘

一 にくろめ花瓶 同七匁五分

一 同 花瓶 同拾三匁七分五厘

一 真鍮鶴龜蠟燭立 代六匁式分五厘

掛目^ノ式貫五百九拾目

代^ニノ六拾四匁七分五厘

一 牢舎盗人三郎兵衛呼出逐吟味先ッ吟味筋相分り牢屋^江 指戻ス

立合之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉七

出番源藏宇左衛門 目明頭彦人 目明彦人

一金川道具屋辰五郎代与兵衛^与 申もの三郎兵衛[〔]買取候品々不

残指戻何卒致内済呉候様頼候段太兵衛今申出候^ニ 付右内済一札等

取置内済承届[〔]可然旨小頭今太兵衛^江 申付候

一 左之もの兩人入牢申付候間立合指届候様入牢手形佐藤八郎左衛門

今申来立合源藏罷出立合入牢取計候段届出候

樽井村喜三治粹

十二月十日 晴夕小雨

一昨夜寒入ニ付為伺御機嫌五ツ半時登城例之通梅之間ニおゐて寒中
伺御機嫌之義御奏者番以下一同御小性頭江謁申上候蕙心院様御前
様江茂 同様謁申上候

一久世山田常右衛門殿手附安藤利八郎義舟頭町藏元今津屋孫十郎方
江御年貢米河岸出為致候ニ付同人方江致止宿候間非常之節手当有
之候様致度旨申来則及返書

一御料御廻米中川筋川下ケ明日今相始候旨申出候旨郡代中今通用有
之其段大年寄江達置ク

合組預ケ申

一芽町玉島屋幸吉義去ル四日夕喧嘩一件ニ付夜廻りより組合預ケ申
付置候処右喧嘩一件ハ相済候得共右幸吉兼々身行不宜候ニ付町役
并組合今段々理解申聞候処以後急度身行相改考江「孝養可仕旨
呉々相歎候由ニ付何卒組合預ケ江」免呉候様申出候段組之者今
も申出候ニ付右預江「指免候間可申付旨大年寄江申達ス

一舟持惣代田原屋稻藏瓜生原屋弥吉高瀬屋勘右衛門共今御用木舟積
之義ニ付御蔵元相手江「願書指出候処今般致内済以後聊十分無之
候江」願書指戻候様願出候ニ付先願書相下ケ一件落着仕候段大
年寄今届出候

十二月十一日 寒風夜雪少

一伊勢山田御炊大夫名代西藤兵衛与申御師上下式人例年之通且那廻
りニ昨日参候ニ付宿仕度旨新職人町松野屋重右衛門宿切手指出ス

辰正月廿九日帰届

一御留守居河内卜右衛門今水野弥之助内菊池代右衛門江平均米相場
書相廻候処早々相届候旨返書来候

十二月十二日 雪折々

一明十三日御用日相延来十五日ニ相成候旨大目付頼母今申来候
一牢舎秀吉病氣ニ付岩佐孝順療治致居候処全快ニ付休薬為致候段孝
順届出候旨大年寄今相届牢番今も同様届出候

一河原町福田屋勘兵衛義当卯七十歳同人妻まつ五十三才右兩人共病
身者ニ而御座候処娘義は病ニ而漸ク老人夫婦之介抱のみニて渡世
甚難洪親類も無之組合今之もの何も貧窮ものニ而「行届不申
必至難義仕候ニ付右夫婦之もの江孤独救扶持被下置候様組合一同
歎書指出候ニ付伺之上聞届申達ス

一林田町福地屋嘉七義借屋ものなは屋忠兵衛去ル八月不計罷出行方
相知不申候ニ付其段相届候処百日尋申付候ニ付組合一同所々相尋
候得共一向行方相知不申最早百日余ニも相成候ニ付町内人別差除
候様願書指出伺之上聞届達ス

一二階町山手屋家守石右衛門義松平伊織殿御知行所播州佐用郡佐用
村江「兵衛悴嘉助当卯廿九才同人妻ゆり廿七才此度借家ニ居申候
弁蔵養子ニ仕度住宅之義願書尤向方且那寺并村役人今別紙書付指
越候旨願書指出候ニ付伺之上聞届申達ス 同廿五日住宅証文出ス

一先月廿三日御婚姻之御礼首尾好被仰上候旨畢而皆子餅御取替被為
濟候段江戸表今申来依之為御歎御徒格以上并御目見被濟候部屋住
ニ至迄来十五日五半時登城仕候処御奏者廻状到来ニ付例之通小頭

江 相達」 「大年寄江も例之通廻勤候義相達ス

一 宮脇町広瀬屋安治義土井大炊頭殿領分皿村江相懸り出訴一件先達而内済取扱ニ相成殘銀札式貫目八ヶ年賦ニ致」 「候処今般高尾村源八所持之田地高九斗九」 「宛米七俵壹斗四升加徳米五俵外ニ米壹俵相添右皿村年賦銀札式貫目無意義相済西今町野々口屋七郎右衛門へ相談之上取置候証文類相返候旨書付を以罷出承置ク

一 坪井町吉野屋なり義所持之家屋敷表口三間裏行拾七間御役老軒役右之家屋敷代銀札七百目相極町内尾上屋喜兵衛江売渡申度願書指出承届候 同十三日家売券状差出候

一 二階町境屋のふ義所持之家屋敷表口七間裏行十七間但し四間之間裏行九間御役八歩役右之家屋此度質物ニ書入新魚町檜野屋茂一郎取次ニて銀札壹貫三百四拾匁借受勘定ニ而も相応之利足ニ相定元利相済可申旨願書指出近例差出候大破分質入願ニて取繕申付候願書ニ付承届候 同十六日質入証文出

一 芽町岡崎屋善吉後家家守源太郎義借屋ニ居申候作人和市悻多吉義薪森原佐五郎より懸り合ニ付先月呼出稠敷済方申付勿論多吉義禁足申付置候処去ル七日之夕不計罷出候ニ付組合共折懸り所々相尋候得共一向行衛相知不申候旨届書指出候ニ付猶稠敷尋申付置ク

一 久世手代堀川定兵衛和田一九郎平塚左右助分郡代連名之書状差越当城下津山船頭町当時芽町住居和市悻太助并西々条郡行田村源藏与申もの久世御預り所同郡下原村百性鉄右衛門宅ニ而も同人弟惣兵衛其外之もの共一同致博奕候趣右村役人分訴出候ニ付遂吟味候間組合町村役人差添道中不取逃様手当いたし早々差出候様申来候ニ

付一応披見候上郡代江相廻置ク

十二月十三日 晴

一 久世之飛脚相休居候ニ付先ッ受取書両役名ニ而相認追而返書可指遣旨受取紙屋助右衛門呼出相渡ス

一 田邑村引乗寺義吟味筋有之門中預申付有之候処今昼前出寺いたし行方相知不申門中廻中組合目明非人迄尋被仰付目明非人尋候義早々申付候様大目付頼母分申来寺社取次十郎左衛門分も委細申来候処多分及深更候」 「明早朝可申付候間委細差図有之候様寺社取次へ申遣置ク

但し引乗寺義は讚州高松興賢寺より福渡り脇之豊楽寺へ参り夫分四五年已前田邑村江入法いたし候ものニ而候由寺社取次分申来

十二月十四日 晴

一 今朝目明頭江引乗寺尋之義申付候而太兵衛義寺社取次江も指出候而引乗寺様江も委度」 「尋候処福渡り豊楽寺ニも参り候哉難計旨申聽候由ニ付太兵衛義は福渡り辺江罷越候由尤非人共は田邑辺さくり候様可申付旨太兵衛分申出候

但し太兵衛旅行入用当役所ニ而受取」 「寺社取次分申聞候ニ付相渡呉候様申出」 「銀札五拾匁相渡置ク品ニ寄候而は讚州高松辺江も罷越候哉之旨申出候

一 今九半時分左之もの差出候様大年寄江指紙差遣ス

平兵衛病氣ニ付難罷出断出候 船頭町瓜生原屋 平七

芽町作人 和市

同町清水屋 新助

十二月十五日 晴

一 宿屋頭甲屋幸助義石兵衛 与 改号仕度届書指出承置ク

一 西新町高松屋忠右衛門義町年寄役相勤候処 近来病身ニ相成候ニ付

一 倅吉治義名代為相勤申度旨願書指出承届候

一 中ノ町福井屋善藏義林田上ノ町藤兵衛借屋ニ居申候清助当卯三拾

一 才才同人妻ゆき式拾四才同倅類藏式才右三人役介ニ引受渡世為仕

度旨町内人別人願書指出承届候

一 今九半時左之もの呼出候 而 左之通取計

倅太助下原村ニ而致博突候ニ付

芽町「」 和市

久世役所へ呼出候処出雇ニ付尋申付

内藏敷尋申付候

右「」 「組合共

芽町太助義出奔兼 而

船頭町清水屋清助

日限濟方申付置候日数尋不出

候ニおゐては弁銀濟方可申付旨今卷人受人瓜生原屋

平七義は不快ニ付不罷出候間同様申付候間可相達申付候

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉七

出番源藏 大年寄源五兵衛 諸吟味清右衛門

寺院所々ニ而 仏具

盗人無宿 三郎兵衛

口書印形取之

右立合

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉七

出番勇藏源藏 目明兩人

一 恐悦并御用日ニ付麻上下着用五半時登城

一 梅之間ニおゐて御奏者番以下一同御婚姻之御礼無御滞被仰上并皆

一 子餅御取替被為濟候恐悦御小性頭 江 謁申上候蕙心院様御前様 江 茂

同様恐悦申上候

一 御用所 江 三奉行一同罷出江戸表恐悦申上大目付役所 江 茂 同様及挨

搦

一 檢之間 江 三奉行罷出候 而 江戸表恐悦申上候

一 於御用所御用番十大夫殿左之通御申渡大目付頼母出席

諸吟味本役被仰付依之

御相印御元別段三人扶持被下候

美濃出屋 清右衛門

但し問屋目付兼相勤候義は被仰渡ニは無之得共伺之通問屋

目付兼候様被仰出

近來病身ニ罷成候ニ付役免

宮田喜左衛門

之義願出無余義趣ニ付役義

差免候尤多年出情相勤候ニ付御相印并苗字旅帯刀是迄之通被差免候

一 右之通被仰出候ニ付即刻奉書指向候尤宮田喜左衛門義は札元並ニ

一 付直ニ奉書指遣ス清右衛門義大年寄 江 召連罷出候様奉書指出ス

一 右之もの昼後罷出候ニ付立合左之通出役ニ付直ニ申渡ス

諸吟味出役問屋目付

美濃出屋 清右衛門

兼相勤相印御免別段

三人扶持被下之

願之通役免多年

宮田喜左衛門不快ニ付

出情相勤候ニ付苗字

相印旅帯刀是迄之通

名代豊屋 喜平次

立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 大年寄源五兵衛

清右衛門^江申渡候節は部屋目付立合有之節候得共不参^ニ付出席

無之喜左衛門へ申渡候節清右衛門申渡後故立合出席有之

一右申渡取計之段御用番中并大御目付^江申遣ス

一久世役所へ申来候芽町太助行田村源藏義博奕参会^ニ付呼出候趣到

来書御用書^江指出尤右返書下案を以両役相伺候処何之御存寄無之

候段御申達^ニ付明日飛脚指立候旨申上大目付へも飛脚之義達有之

候様申達置ク

一盗人三郎兵衛引合は本源寺川向長法寺仏具被盜取候哉被相糺候様

口書寺社取次向十郎左衛門へ相廻置ク

一座頭共左之通御祝頂戴仕度旨願出

御普請御建初

并御棟上ケ^ニ付

二

御婚礼為濟候^ニ付 壹

右之通願出候処今般之御普請は仮御殿^ニ付先例之通^ニは不被下御

普請^ニ付壹ツ分被下候旨被仰出候^ニ付兩様二ツ分被下候段大年寄

へ申達ス

十二月十六日 晴

一沢田村文右衛門義去月廿七日廿八日兩夜之内土蔵之後^江壁を切盜

人入込左之品々被盜取候由例之通触流指出候様大目付へ申来^ニ付

則町触差出ス 同廿七日無之段届出

一男着布子 壹ツ 代拾八匁位

但表のしめ花色裏淺黄紋丸之内^ニ鷹之羽

一同布子 壹ツ 代同

右同断

一布子 壹ツ 代同

但表御納戸茶裏淺黄紋右同断

一女着布子 壹ツ 代拾六匁位

但表檳榔子裏水色紋すもの^ニてふ

一同綿入 壹ツ 代四拾匁位

但表黒袖裏空色きぬ紋陰かしは

一同綿入小袖 壹ツ 代四拾五匁位

但表とくさ色裏そらいろ紋ききやう右地性何とも覺不申

一同綿入小袖 壹ツ 代同

但表空色裏紅紋ききやう右表之地性何とも覺不申

一銀式百目数五丁

メ八品

一新職人町年寄喜平次義召連下人源藏委細^{土目後}四ツ時左之品取逃仕候^ニ

付届書指出ス

一脇指 壹腰 代凡八拾匁位

但黒柄糸巻さめ白目貫赤銅し、ふちほとん金ほり上ケ頭角切

羽金させは、き上かい金下かい銀鍔赤銅ほとんし、身板打壹

尺五寸計無銘さや黒

一百分札 壹枚 印口六八敷と覚候

外^ニ銀札十七八匁計

×十八日町触差出ス 同廿七日無之段届出

一 牢舎忠郎治病氣是迄岩佐孝順療治相勤候処昨日迄^ニ 二 廻り相濟候得共休葉難相成猶又中村益安療治申付候旨届出候

一 左之もの共呼出吟味致候間立合指出候様佐藤八郎左衛門分申来平左衛門罷出立合候旨届出候

榑井村 要蔵

原口村 喜三八

一 左之もの入牢申付候間立合指出候様并呼出之兩人も指戻候旨八郎

左衛門分申来字左衛門立合罷出取計候段届出候

原口村文右衛門

右入牢手形八郎左衛門相廻候^ニ 付手形認替牢番^江 指遣ス

一 戸川村吉田屋字兵衛義借屋ものいなやみよ当卯七拾三才^ニ 罷成候

処内縁有之候^ニ 付使組吉原才治方為引越申度依之町内人別指除候

様願書指出承届候

一 雲州様来春御発駕^ニ 付先達^而 御本陣廻状到来候処猶亦今般御日取

違候旨左之通御懸ケ同本陣廻状到来之旨玉置佐兵衛より申出御兩

所^江 及御さた

一 久世役所へ御返書指遣候^ニ 付飛脚山本惣兵衛罷越相渡ス

十二月十七日 寒風

一 久世役所分再返答書指越候之処左之趣とも下原村役人分申立候間

芽町年寄岡崎屋伊兵衛相札候^而 申越候様由来

先達^而 差上訴書下ケ札^ニ も相認候通多助義鉄右衛門宅^ニ 而 同人

弟惣兵衛其外之もの共^与 博奕いたし候趣相聞候^ニ 付追^而 御吟味

も可有之^与 存他參等不仕候様取計置可呉旨去ル四日津山芽町兼

帶同所安岡町年寄岡崎や伊兵衛方へ庄屋平内分文通を以て懸合候処伊兵衛義文通披見之上使之ものを為紛置即刻多助を呼寄如

何申談候哉其義ハ不相弁候得共右文通及返簡候^而 者 御領主御役場^江 も御届不申候^而 は不相濟致迷惑候間何分内濟致呉候様口上

^ニ 而 申越則平内分差遣し候文通^者 破封候俣使之もの^江 差戻其後

掛合之義無御座候得共多助義去ル七日夕逃去候段難心得義^ニ い

たし

右御尋^ニ 付申上候以上当御預所へ

卯十二月十六日

作州西々条郡下原村

庄屋平内

年寄久右衛門

百姓代義右衛門

十二月十八日 寒風

一 御用候^ニ 付登城

一 郡代連名之久世再返書御用所^江 差出芽町年寄伊兵衛不束之取計^ニ

^而 下原村役人より申立候^ニ 付今昼後呼出相札候旨是又申上置ク

一 於御用所御用番十大夫殿左之通御申渡大目付頼母出席

無宿盗人友蔵義先年格別之御慈悲を以助命被仰付候処猶又立

帰り忍入盗相働候段重々不届^ニ 付兼田^ニ おゐて死罪被仰付

吉川龜之丞長屋住佐吉義御家中屋敷所々^ニ 而 盗相働其外所々

^ニ 而 も盗いたし重々不届^ニ 付於兼田死罪被仰付

右之段可被取計旨

一右兩人引合之もの共同之通宜取計候様御用所^ニ而^ニ十大夫殿御申達有之

一左之もの共入牢申付候間立合指出候様佐藤八郎左衛門^ノ申来平左衛門罷出取計候段相届候

原口村 和吉

同村同人悴 亀之助

同村喜三八悴 誓治

同村文右衛門悴 重吉

一芽町年寄岡崎屋伊兵衛呼出候^而下原村役人より懸合有之候始末相糺

芽町年寄岡崎屋 伊兵衛

下原村役人^ノ書状指越候処不及返書不埒之取計
役義不似合候義^ニ付口書印形取之候上
右懸り合中禁足申付候

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付嘉七

出番平左衛門林平 大年寄源五兵衛 諸吟味清右衛門

一安岡町年寄久山鶴藏義三郎右衛門^与改名仕度旨願書指出承届候

十二月十九日 晴

一春名代治郎^ノ福島為助^江差越候書状返書下案佐藤八郎左衛門^ノ指出候^ニ付御用番十大夫殿へ指出置候処何之答も無之候間宜取計候様御申越^ニ付其段八郎左衛門へ申達ス

一明目頭太兵衛義今日罷帰田邑引乘寺行方相知不申備中辺迄罷越候得共一向足付不申候段届出候^ニ付其段十郎左衛門へ申遣ス

一盗人三郎兵衛引合^ニ付本源寺長法寺社役所^ニ而^ニ糺有之候処三郎兵衛申候通相違無之旨三郎兵衛口書被差戻候^ニ付来廿三日御裁許相伺候旨申遣置ケ

一伏見町魚屋権兵衛義当卯三拾五才此度渡世為稼当廿日出立来ル午

十二月迄丸三ヶ年大坂東横堀瓦屋町玉屋武右衛門方へ罷越申度留

守中家役之義は親類町内山崎屋佐七へ頼置候旨願書指出承届候

文化五辰十二月勝手^ニ付罷帰ル

一京町作人嘉助義借屋^ニ居申候玉屋清吉小間物商内仕候処去ル十日之夕戸口錠を締切盗人入込左之品々被盜取候旨届出候 同廿九日無之段届

一折く、りちりめん紙 四五十枚計

一かんさし 但鉄すり込^{式本}同まかい^{四本}

代式匁五六分位

一腰下ケ 但地紬浪^ニ月入縫分ケさし共

代六七匁位

一壹升五合羽釜

代三匁位 壹ツ

一錠

代五分位 壹ツ

一五品

十二月廿日 晴

一 芽町年寄岡崎屋伊兵衛義下原村役人より太助博突懸り合之義懸合候節不取計有之久世役所相糺候様申来候ニ付一昨十八日相糺候而口書取之書状下案共御用番十大夫殿へ相伺置候処御存寄無之宜取計候様申来今日久世表^江 飛脚指立

但し飛脚杉山源藏^江 相渡兼^而 飛脚之義ハ大目付^江 相達置ク
一 左之牢舎之もの共呼出候間立合指出候様佐藤八郎左衛門申来出番平左衛門藤四郎罷出入立合取計候段相届候

植井村 要藏

原口村 和吉

同人悴 亀之助

同村 久右衛門

同人悴 十吉

同村 喜三八

同人悴 誓吉

メ七人

一 博突締方義ニ付参会之もの町役組合以来追込ニ取計候様先日御用番十大夫殿御申聞之旨大目付彦藏申聞候ニ付左候ハ、一応右之段触達置候^而 可然旨申談今日右触書下案十大夫殿^江 差出相伺置ク

十二月廿一日 晴

一 京愛宕山長床坊使僧休益坊^与 申僧上下三人例年之通且那廻り^ニ 昨日参り候ニ付宿仕度新魚町三沢屋^与 八郎宿切手出

一 久世表^江 指遣候飛脚杉山源藏晚刻罷帰返書持参取調向方可申遣

旨申来

一新魚町魚屋市郎右衛門借屋住松尾屋もよ義当國中谷村上分次郎兵衛^与 申もの懇意ニ候処当月八日罷越右村大円寺什物打きん当所へ持参候処存寄ニ不参老人持帰りと迷惑ニ付当分預り置呉候様尤大円寺も右之通申聞候旨申節ニ付預り置候処去十六日大円寺住持被参右きん受取度候^与 申候ニ付相濟候処同日中谷村喜右衛門^与 申もの外ニ忝人同道^ニ 右きん預り居候哉候旨微細工相尋候ニ付預

り候始末相達住持^江 相渡候段申聞尤其節候住持も参合被居候ニ付住持直对有之差申分無之趣^ニ てもよ宅は罷出候^而 年寄茂市郎宅^江 参り彼は懸合右きんハ預ケ置候^と 申候ニ付成程預り候得共右預

ケ主治郎兵衛相渡候上^者 申分無之哉^与 指詰候処治郎兵衛^江 相渡候上^者 申分無之由申之ニ付治郎兵衛罷越候を相待居候得共罷越仍

もよ代人を以中谷村へ罷越右きんハ預ケ主治郎兵衛^江 相渡受取書も取候^而 罷帰候段もよ届書指出町年寄茂市郎も右取計候始末弁書指出承置ク

一 細工町大工治右衛門義所持之家屋敷表口五間裏行拾七間但御役彦軒役石之家屋敷戸川町吉田屋甚右衛門取次^ニ 而銀札百五拾匁借受度願書指出承届 同廿五日質入証文出ス

十二月廿二日 曇

一 配當場城美代^与 御婚礼御祝義御飯御殿御祝義銀札壹貫目被下置自他座頭替女共^江 割渡難有頂戴候旨受書指出御用所^江 も及御さた

一 西新町大黒屋藤藏義脇坂中務大輔殿御預所当国之内城田村柳七悴庄吉并妻りよ当七月相願役介^ニ 引受罷通候処右妻りよ義家風^ニ 入

不申此度離縁仕右柳七方へ指戻シ申度当所支配相離れ町内人別除候様願書指出伺之上聞届申達ス

一新魚町大和屋徳兵衛義士岐山城守殿御領分当国内英田郡田原村林藏娘きよ当卯廿三才ニ罷成候此度養女ニ引受申度住宅之義願出尤向方旦那寺并村役人分別紙指越候旨願書指出伺之上聞届

一筑前門加郡柏原浦小平次手代惣兵衛 申者例年之通茶碗売ニ昨日参り候ニ付逗留為仕度京町小文字屋太兵衛宿切手指出ス 辰三月十八日帰届

一下紺屋町亀屋勘右衛門義御領分東北条郡上高倉村矢八悴三郎吉当卯式拾七才此度養子ニ引受申度町内人別人願書指出承届候

一美濃職人町財布屋平七義御領分東南条郡太田村武助役介いわ当卯七拾九才罷成候処親類ニ付引受申度町内人別人願書指出承届

一船頭町山家屋五郎七後家せん義御領分東南条郡太田村仙藏借屋ニ居申候たき当卯十八才同人弟七藏当卯十才右式人共役介引受申度町内人別人願書承届候

一植月友輔後家義福渡町南側所持之家屋敷表口四間裏行拾三間御役

九歩五厘石之家屋敷代銀札三百五拾匁ニ相極戸川町作人喜代松へ売渡申度連印願書指出承届候 同廿三日売券出

一二階町山手屋理兵衛家守藤吉義借屋ニ居申候作人喜助此度心願有之四国遍路ニ罷出申旨往來日数百五十日計之逗留ニて罷帰り申度願書指出承届候 辰三月十七日帰届候

一福渡町植月友輔後家義所持之家屋敷表口式間裏行拾七間御役半役右之家屋敷代銀札百五拾匁ニ相極同町豆腐屋和七 江 売渡シ申度願

書指出承届候 同廿三日売券出ス

一桶屋町小玉屋佐吉義所持之家屋敷表口三間裏行拾式間御役半役右之家屋敷此度新魚町なた屋弥十郎取次ニて質物書入銀札三百匁借受申度連印願書指出候ニ付承届候 同廿三日質入証文出ス

一西新町福留屋和助義林田上ノ町植田吉右衛門妻借屋ニ居申候とら当卯三拾七才此度妻ニ引受申度町内人別人願書指出承届候

一新魚町野田屋孫三郎義御領分東南条郡林田上ノ町瓦屋喜七娘民義拾老ケ年以前巳才妻ニ引受申候処家風ニ入不申候ニ付今度離縁仕差戻申度町内人別除願書指出候ニ付承届候

十二月廿三日 晴

一御用日ニ付登城

一於御用所御用番御年寄左之通御申渡大目付出席

船積出情相勤候ニ付

船方吟味役

米五俵被下置

樫野屋茂市郎

出情相勤候ニ付

町棟梁

同式俵ツ、

式人 江

一去ル十八日御裁許被仰出候死刑之もの兩人明後廿五日取計候段御用所并大目付郡代へ及通達置ケ

一来ル廿五日夕月廻ニ付金棒引夜廻り町々為取計可申旨大年寄申出候ニ付其段御両所 江 及御沙汰置ケ

一来ル大三十日夕関貫大扉九ツ時迄開置九ツ時今小門明置立番付候旨例年之通取計候段届出候ニ付是又御両所へ及御届

一芽町安岡町平常夜廻り近來怠候哉ニ被存候間太鼓為打候 而 相見セ

度旨町年寄今申出候由何出候ニ付相伺候処答も無之仍而勝手次第申付候様申達ス

一左之もの呼出左之通申達ス

（売買荷舟積悴

助右衛門申合出精相勤

櫻野屋

茂市郎

候ニ付米五俵被下之

右立合左之面々

下役彦左衛門 小頭利右衛門 部屋目付出席無之

大年寄源五兵衛 諸吟味清右衛門

一町棟梁式人江米式俵ツ、被下候間呼出申達候様大年寄江達置候処

申達取計候段相届

一右之通申渡取計候段御両所江相届候

一月廻ニ付例年之通町触差出文段町触帳ニ有之

一右之兩人江家作せ話料酒代指遣度旨伺出候処勝手次第取計候様申

付候右之通差遣ス

十二月廿四日 晴夜中雨

一大目付頼母対談致度旨申来罷越候之処明日無宿死罪之もの開贓之

義御医師願相濟候間其段取計候様尤左之面々は牢屋江罷出候義無

滞申付置候様達有之

御医師不残

町医師不残

植木半蔵

細川唯内

但し先達而開贓之節穢多不残罷出候得共明日之処は六人ニ限罷出候様申達候様大目付よりも噂有之

一 小頭呼出明日死罪取計之義手合仕置候様申達置ク

一 明日取計之申渡書書役相認指出ス

一 晩刻木屋太兵衛呼出候而首打刀切刃研立指出候様小頭今申付尤右

刀持夫牢屋下番持之

但し我みまをまていた様五半時頃研出来之旨申出候ニ付其節牢番罷出候様申達置ス

銀札八拾匁ツ、

櫻野屋茂市郎

野々口屋七郎右衛門

一来年油方年行司濱屋源右衛門へ申付候段届出候

一 櫻野屋茂市郎へ被下五俵町棟梁兩人被下之式俵ツ、勘定奉行相

廻大年寄へ相渡ス

十二月廿五日 朝雨晴

一 今六ツ時出役之面々牢屋敷江相揃候而直ニ兼田江出役之ものも有

之出番四人は罪人指添候而警衛

兼田ニおゐて兩人共

無宿盗人友蔵

死罪

吉川亀之丞長屋住
盗人佐吉

右出役之面々左之通

御徒目付金田十左衛門 下目付安井友治

郡代下代木村伝平 小頭利右衛門 部屋目付藤四郎

出番和右衛門平左衛門源藏宇左衛門 市郷目明共

一 九ツ時頃無滞相濟候段出役之面々罷帰相届尤出番和右衛門平左衛

門義は牢屋ニ而開贓之取計有之ニ而相詰候

一 大年寄宅ニおゐて盗人引合之もの左之通申渡ス小頭兼候 而嘉七立

合立役

佐吉無願逗留為致候上

奉公之受人ニ相立候ニ而

追込七日

舟頭町瓜生原屋弥吉

右同断ニ付追込三日

右同断ニ付急度叱

同人組合定太郎藤七定吉

右同町年寄とも

佐吉召仕中致盜候義

内分ニて相済候ニ付追込三日

坪井町川口屋庄助

右同断心付無之候ニ付

元魚町吉屋清蔵

盜物取次売払并盜物

預り候ニ付右品不残取上ケ候上

追込三日

同町中屋直蔵

盜物取次売払触流之

節心付無之候ニ付弁銀之上

追込三日

二階町藤屋嘉四郎
家守嘉兵衛借屋住
もと

盜物触流之節不吟味

不届出候ニ付追込三日

式町目小倉屋忠兵衛

佐吉。受人ニも相立其上盜物

品々質物取次いたし候ニ付

弁銀等之上追込七日

下紺屋町作人新助

并同人妻

同人組合五百吉一乘院

幸助市六不動院藤助

山吉庄五郎

右同断ニ付急度叱

佐吉受人ニ付追込三日

佐吉分買渡候品盜物ニ付

取上ケ損失

盜物質ニ取候ニ付取上ケ

損失

右同町年寄

福渡町作人石右衛門

京町片田屋定五郎

細工町指物屋長左衛門

一 右之通取計相済候段御兩所江相届候

一 御蔵米六拾六匁五分 町米六拾式匁五分

一 元魚町伊勢屋又助義所持之家屋敷表口七間半裏行十七間御役式軒

役右之家屋敷町内二文字屋清治郎取次ニ而質物ニ書入三月切ニ相

極銀札壹貫三百匁借受申度願書指出承届候

一 今日牢屋敷ニ而開贓有之左之面々罷出候旨村山節哲少手紙を以相

届候

丸尾道勇

箕作豊唯

細川雉内

井上昌哲

島崎周栄

高島生起

宮地東庫

町医左之もの

渡部三端

平野敬維

メ良哲共拾人

一左之もの入牢申付候間立合指出候様郡代より申来勇藏罷出立合相勤候段罷出

上ノ町人別盗人
万吉

一吉川亀之丞^江長屋もの佐吉今日兼田^ニおみて死罪被仰付候段及通用

一佐吉引合之もの共

一目明金吾義博奏吟味方出精相勤候^ニ付銀札三拾匁指遣度旨八郎左衛門^ニ付其段兩役相伺候処伺之通被仰付候旨十郎左衛門^ニ付通用有之

十二月廿六日

一坪井草野六左衛門^ニ歳末之為祝義例年之通纏節二連相送候^ニ付返書相認元魚町紙屋助右衛門^ニ相渡ス

一昨朝目付組古川来助後屋敷家守文藏方へ盗人這入候処文藏義在方へ罷越留守^ニ候て於近辺紙屋^与申もの見付盗物取返し目明^江通用致候内取逃し候旨大目付^ニ付承札候処右盗人は上ノ町住之もの^ニて郷中目明^江相渡候段申出町方懸り合無之候段大目付^江及噺置ク

一左之通御触至来例之通夫々^江指出ス

先達^而姫君様御誕生被為在候処思召有之候^ニ付表向御弘^与不被仰出候御名之義は安姫様^与奉称候尤表向御祝義等申上^ニ不及旨從公儀被仰出候^ニ付御名^ニ指合候名有之候ハ、相改可申旨被仰出候

一郡代十郎左衛門不意之義有之差扣伺呉候様申来候^ニ付大目付頼母宅^江罷越相伺候処無程不及其義候旨申来則十郎左衛門^ニ及通用

十二月廿七日 晴

一京町伊野屋善助伯州大塚村久米右衛門当卯四拾六才同人弟新兵衛三拾式才同人娘しけ十一才右三人此度役介^ニ引受申度住宅之義願出尤向方且那寺并村役人^ニも別紙指越候旨願書指出伺之上聞届達

同廿九日住宅証文出

一玉置宇左衛門義板倉主水殿家中備中庭瀬中西八十右衛門娘延当卯拾四才此度役介^ニ引受申度住宅之義願出尤浄土宗西寺町成道寺旦那^ニ可仕旨願書指出伺之上

一芽町作人和市組合共^ニ組合和市棹太助義新森原村佐五郎方へ奉公中引込借物候義^ニ付御懸合有之当月二日右太助御呼出三十日切濟方被仰付太助禁足被仰付候処去ル七日夕出奔仕其段御届申候処猶亦稠敷尋被仰付所々相尋候得共今以行衛相知不申最早限日^ニ近寄候^ニ付届書指出ス

但右届指出候^ニ付太助父和市并請人兩人^江弁銀濟方申付候上右之段久世役所申遣候^而可然^ニ付右受通下案明日相伺候事

一人馬問屋佐右衛門義是迄相用印形指候^ニ付改印仕度印鑑共断書指
出承置ク

一戸川町紙屋平助義所持之家屋敷表口四間裏行十七間御役本役右之家屋敷此度野田屋佐右衛門取次^ニ而質物^ニ書入銀札壹貫匁借受毎年五百吾拾匁ツ、来ル子ノ暮まで元利返済可致旨願書指出承届同廿八日質入証文出

一右同町作人文吾義所持之家屋敷表口四間小間中裏行拾七間御役本

役右之家屋敷町内吉田屋甚右衛門取次ニて質物ニ書入銀札百五拾

匁借受申旨願書指出承届 同廿八日右証文出

一舟頭町高瀬屋四郎兵衛義借屋ニ居申候作人きさ義今般林田上ノ町

城代組河島弥右衛門妻役介ニ差遣し申度町内人別除願書指出大庄

屋引合相済候旨ニ付承届候

一福渡町阿賀屋伝吉家守安兵衛義借屋ニ居申候源藏当月十五日与風

家出したし所々相尋候得共行方相知不申候段届書指出候ニ付先例

之通百日尋申付置ケ

一博奕締り方之義他領江罷出博奕参会致候共当人は不及申町役組合

等迄急度咎申付候間於吟味改堅相守候様且亦無宿もの差置申間敷

近来妻を当所ニ残置無宿ニ相成候もの又は夫計願立他領江引越当

人別を離れ候而右妻方内々致逗留候者有之趣相聞不埒ニ付以来は

右体之人別除願書差出候共不承届是又組合共与得申合不埒無之様

触書指出尤来別紙銘々受印形取之町役請負証文為指出候様大年寄

江申達ス

一西川永岡唯左衛門大屋代藏分以飛札例年之通酒壺樽鯉節式連為寒

中見舞相送り候旨羽織屋九一右衛門分指出則及返書

一繰綿改四人銘々改「左之通帳面指出小分略之

一千百四拾八本

三倉屋平兵衛

一七百式拾五本

大村屋源右衛門

一五百拾四本

米屋長兵衛

一七十六拾九本

並屋忠兵衛

一繰綿問屋分差出し口銭高左之通

一壺貫五百六拾七匁

内七步引三歩改料

同銀札高四百七拾匁分

一櫻野屋茂市郎分取納候分

一三拾四匁五分

合五百四匁六分

内八拾四匁式分 改方入用物代

残而四百式拾匁四分

内

三百五拾五匁四分 綿改四人江遣分

但し式歩壺厘不足之当り

五拾匁 櫻野屋茂市郎「」

但し壺分式厘不足之当り

一右之通割渡遣候而可然哉尤小頭出役「有之候ニ而割余り之分過

料として遣「可申哉之旨孫左衛門分伺「候ニ付何之「割無

之宜取計候様申達ス

一要人殿昨日江戸表分御帰着ニ付罷越

十二月廿八日 晴

一歳末ニ付大役人以上有役并御譜代之面々登城

一御用日ニ付出仕

一梅之間ニおゐて御奏者番以下一同歳末之御祝儀御小性頭江謁申上

候蕙心院様御前様江同様「」

一左之もの共追込昨日迄「
計候段届出候

舟頭町瓜生原屋弥吉
組合共

坪井町川口屋庄助

二階町 もと

式町目小倉屋忠兵衛

下紺屋町作人新助
組合共

福渡町作人石右衛門

元魚町中屋直兵衛

右指免候段御両所「
」候

一船頭町中村屋庄助「
」御領分西々条郡神戸村矢吉当卯拾四才同人
母たけ五拾「
」同娘さと廿五才右三人此度役介ニ引受申度町内
人別人願書指出承届候

一京町加茂屋平兵衛義姉すみ当卯廿九才此度御領分林田上ノ町甚順
妻ニ差遣し度町内人別除願書指出承届候

一左之もの兼 而 追込七日之伺済ニ 而 去ル廿五日申付候処年始 江 相懸
り候ニ付日数五日ニて御免被成候様今日相伺候処昼後十大夫殿
御紙面ニて日数五日ニ 而 御免被成候間宜取計「
」

舟頭「
」

下紺屋町作人
新助

一芽町太助出奔ニ付父和市并請人兩人 江 弁銀濟方申付候 而 其段久世

「
」江可申遣文通下案指添届書指出相伺候何之答も無之宜取
計候様御申達有之候ニ付明日立ニて久世役所へ飛脚指立候間飛脚
之義御達有之候様大目付 江 申達ス

一明日五ツ時左之もの共町役組合指添指出候「
」大年寄 江 申達ス

「
」町作人「
」

「
」町清「
」新助

同町瓜生原屋幸七

中ノ町西屋 治右衛門

同町菊屋 文治

十二月廿九日

一「
」屋午三郎義答牢舎昨日迄三十日ニ相成候ニ付番兩人牢屋指
向役所へ呼出左之面々立合之上牢舎指免候段直ニ申渡ス

答牢舎

日数三十日

郡代下代木村伝平役介
藤屋平三郎

木村伝平立合ニ罷出候尤前以郡代へ申達置ク

一左之もの共禁足昨日迄三十日ニ付相成候「
」役所へ呼出席有之ニ

「
」指免候段直ニ「
」渡

中ノ町西「
」 治右衛門

禁足日数
三十日

同町菊屋

文治

一左之もの共呼出芽町太助森原村引負銀三十日限濟方申付置候処出
奔ニ付猶又今日分弁限三十日限申付候

太助父^ニ付

芽町作人^和市

一 牢舎忠郎治病氣^ニ付中^一

「療治候処未^与 耽無之候得

太助請人^ニ付

舟頭町瓜生原屋平七
同町清水屋新助

共休藥為致候旨相届候段届出候
一 繰綿口銭夫々割渡取計候段届出候

右立合左之面々^一

十二月三十日 雪

下役彦左衛門 小頭利右衛門 「^一

一 左之兩人共兼 而 追込七日之伺濟^ニ候^一 「^一 右日数年始^江 相懸り候^ニ 付五日^ニ 御免被成候様仕度伺置候処伺之通被仰出候^ニ 付今朝

出番源藏和右衛門 大年寄源五兵衛 諸吟味清右衛門

指免候段申達候 而 申渡取計候段大年寄^ハ届出其段所^江 相届候

右牢舎禁足等指免候義御用番并大目付相届候

追込昨日迄毎日^ニ付
「今朝指免
舟頭町瓜生原屋弥吉
下紺屋町作人新助

一 太助出奔^ニ 付父和市同人請人兩人^江 今日より三十日限濟方申付候

段久世手代^江 及文通飛脚萩野勘十郎罷出書状相渡ス

一去ル十九日触流差出候京町嘉助^ニ 盜物之内沓^一 「^一 五合羽釜沓^ツ 代

式匁^ニ 勝間田町大屋文^一 「^一 林田松原新^与 申もの^ハ 代式匁^ニ 而 買取

候^一 「^一 届書指出目明^江 致吟味候様小頭^ハ 「^一 牢舎人服藥数左

之通

一 小性町藤屋幸之助義郡代所下代木村伝平役介平三郎当卯三拾才此

一 藥五拾六服

吉武修格

度引請^一 「^一 町内人別人願書指出承届候

代拾六匁八分

一 此間^ハ 病氣差起服瀉等^ニ 而 明元日登城難仕仍^而 不參之義郡代十郎

一同八拾四服

原寧運

左衛門へ相頼遣

代式拾五匁式分

一 久世表^江 指遣候飛脚萩野勘十郎罷帰候^而 返書指出

一同百四拾服

岩佐孝順

一 歳末^ニ 付組中并大年寄諸吟味等罷出候

代四拾式匁

右同人

千鶴万亀

一 膏藥三拾五枚

代三匁五分

一 藥式拾服

中村益庵

代六匁

津山郷土博物館紀要第三十一号

津山松平藩町奉行日記二十五

平成三十一年三月三十一日発行

編集
発行 津山郷土博物館 ©

岡山県津山市山下九二番地

印刷 株式会社 廣陽本社

岡山県津山市田町二二

